

OKI

CrosCore*

CrosCore*2

CrosCore*3

取扱説明書

Web 設定編

- ・本書は製品を安全にご使用いただくための注意事項が書かれています。ご使用になる前に必ずお読みください。
- ・ご使用になる間は、本書を製品の近くに保管していつでもご活用できるようにしてください。

このたびは、お買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになり正しくお使いください。

※本書では、CrosCore、CrosCore2、および CrosCore 3 を「主装置」と記載しています。

ご注意

- 本製品は、電話番号に代表される、個人情報の保存または保持可能な商品です。設置工事、保守、廃棄、譲渡および返却される際は、本製品内に保存または保持された個人情報を消去する必要があります。
- ご使用の際は、本書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本製品は、日本国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
This equipment is designed for in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本製品を分解したり改造することは、法律で禁止されていますので絶対に行わないでください。
- 本製品を設置するための配線工事および修理は、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は違法となり、また事故の元になりますので、絶対におやめください。
- 本書の内容につきましては、万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、販売店にお申しつけください。
- 本書の内容、外観については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容の一部または全部を無断転載、無断複写することは禁止されています。
- Microsoft、Microsoft Edge、および Windows は米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。
- Android、Google Chrome、Gmail、Google Workspace は、Google LLC の商標または登録商標です。
- iOS は、Cisco の米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- その他、本書に記載されている会社名・ロゴ・製品名・ソフトウェア名は、各会社の商標または登録商標です。
- Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。

免責事項

- 地震および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本装置の使用または使用不能から生じる付随的な損害（記憶内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中止、通信機会の喪失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 電話サービスを利用することによる金銭上の損害、および逸失利益について第三者からのいかなる請求についても当社はその責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

安全にお使いいただくために

必ずお読みください

本書には、あなたやほかの人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようにになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

表示の説明

表示	説明
 危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷(※1)を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷(※1)を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害(※2)を負う可能性が想定される内容および物的損害(※3)のみの発生が想定される内容を示しています。

※ 1： 重傷とは失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

※ 2： 傷害とは治療に入院や長期の通院を要しない、けが・やけど・感電などをさします。

※ 3： 物的損害とは家屋・家財および家畜・ペットなどにかかる拡大損害をさします。

図記号の説明

表示	説明
 禁止	禁止(してはいけないこと)を示します。 この記号のついた警告・注意文が指定する行為は絶対に行わないでください。
 強制	強制(必ずすること)を示します。 この記号のついた警告・注意文が指定する行為は必ず実施してください。

⚠ 危険

	禁止	電池パックの充電は、専用の充電器、ACアダプタを使用して行ってください。その他の充電条件で充電すると、電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。
	強制	電池パックはプラス $+$ ・マイナス $-$ の向きが決められています。コードレス電話機に接続するときは、プラス $+$ 、マイナス $-$ の向きを確かめてください。電池パックの液もれ・発熱・破壊により、火災・感電・やけど・けがの原因となります。
	禁止	電池パックを単体では充電しないでください。電池パックの液もれ・発熱・破壊により、火災・感電・やけど・けがの原因となります。
	禁止	電池パックは、指定の電話機以外には使用しないでください。電池パックの液もれ・発熱・破壊により、火災・感電・やけど・けがの原因となります。
	禁止	電話機に使用する電池は同梱の電池パックまたは、同一の電池パックを使用してください。
	強制	電池パックを使用する場合は、以下のことを必ず守ってください。 電池パックの液もれ・発熱・破壊により、火災・感電・やけど・けがの原因となります。 <ul style="list-style-type: none">・火の中に投入したり、加熱しない・直接はんだ付けしない・プラス$+$・マイナス$-$を針金などの金属類で接触させない・水・雨水・海水・薬品などにつけたり、ぬらさない・ネックレスなどの金属製品と一緒に持ち運んだり、保管しない・針を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたり、投げつけない・電池カバーを取り付けるとき、電池パックのコードを挟まない・外装チューブ(被覆)をはがしたり、傷つけない
	禁止	電池パックを分解・改造しないでください。
	分解禁止	電池パックの液もれ・発熱・破壊により、火災・感電・やけど・けがの原因となります。
	強制	電池パック内部の液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。こすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。
	強制	電池パックの液もれや異臭がするときは直ちに電源を切り、火気より遠ざけてください。
	強制	不要になったリチウムイオン電池を廃棄するときは、ショート防止のために、電極に絶縁テープを貼り、地方自治体の条例や規則に従うようにしてください。電極がショートすると、破裂、発火の原因となります。

 警告

	禁止	取付位置を変更しないでください 火災・感電・けがの原因となります。 配線工事を行うには資格が必要です。販売店にご相談ください。
	禁止	主装置の通風孔や電話機の開口部などから、金属類を入れないでください 火災・感電・故障の原因となります。万一、金属類が内部に入ったときは、すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて販売店にご連絡ください。
	禁止	主装置をぬれた手で操作したり、ぬれた布でふかないでください 感電の原因となります。
	ぬれ手 禁止	
	禁止	万一、内部に水などが入った場合、そのまま使用しないでください すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。
	電源プラグを抜く	
	禁止	主装置、電話機の上や近くに液体の入った容器(花びん・植木鉢・カップ・化粧品・薬品など)、小さな金属などを置かないでください 液体や金属が内部に入ると、火災・感電・故障の原因となります。万一、液体や金属が内部に入ったときは、すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて販売店にご連絡ください。
	電源プラグを抜く	
	禁止	雷が鳴り出したら、主装置・電源コード・LAN ケーブル・USB メモリなどに触れないでください 感電の原因となります。
	接触 禁止	
	禁止	万一、煙が出ている、異常音がする、変なにおいがするなどの異常状態が発生した場合、そのまま使用しないでください すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。 そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。なお、お客様による修理は危険ですからおやめください。
	電源プラグを抜く	
	禁止	一般のゴミとして放置しないでください 火災・けがの原因となります。 廃棄するときは、販売店にご相談ください。
	禁止	AC100V ± 10V の商用電源以外は、絶対に使用しないでください 火災・感電・故障の原因となります。
	禁止	内線・外線の各端子をショートさせないでください 火災・故障の原因となります。
	強制	電源プラグを電源コンセントへ直接接続してください 延長コードは過熱・発火の危険があるので使わないでください。

警告

	禁止	テーブルタップや分岐コンセント・分岐ソケットを使用したタコ足配線はしないでください 火災・過熱の原因となります。
	禁止	主装置、電話機を傾いた台の上や、振動、衝撃の多いところに置かないでください 落下・転倒により、けがの原因となります。万一、落下・転倒により破損したときは、主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。 そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。
	禁止	ぬれた手で電源プラグ、LAN ケーブル、USB メモリを抜き差ししないでください 感電・けがの原因となります。
	禁止	主装置、電話機に火の気を近づけたり、加熱しないでください 鉛蓄電池(バッテリー)や電池パックが液もれ・発熱・破裂し、火災・けがの原因となります。
	火気禁止	
	禁止	電源コード、電話機コード、LAN ケーブル、USB メモリを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、高温部に近づけたり、重い物を載せたり、挟み込んだり、加工しないでください コードや USB メモリが破損し、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだ場合は(芯線の露出、断線など)主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて販売店に交換をご依頼ください。
	禁止	工事者以外は、装置の蓋などを開けないでください 感電、故障の原因となります。
	強制	電源プラグは電源コンセントの奥までしっかりと差し込んでください 電源プラグの刃に、金属などが触ると火災・感電・故障の原因となります。
	強制	電源プラグの刃および刃の取付面に、ほこりが付着している場合は、よくふいてください 火災の原因となります。
	強制	主装置に鉛蓄電池(バッテリー)を使用する場合、寿命は(使用頻度にもよりますが)設置後2~3年(長寿命バッテリーの場合は6年)です。交換時期になりましたら、販売店にまとめて交換をご依頼ください 寿命が過ぎた鉛蓄電池(バッテリー)を使用し続けるとバッテリー内部の液もれの原因となります。万一、バッテリー内部からもれた液が皮膚や衣服についたときは、すぐきれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれることがあります。また、バッテリー内部の液もれが発生したときは、主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。
	禁止	機器で指定されていないバッテリーは使用しないでください。また、新しいバッテリーと古いバッテリーと混ぜての使用はしないでください 電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚染する原因となることがあります。
	禁止	分解・改造・修理しないでください 火災・感電・故障の原因となります。
	分解禁止	主装置・電話機の改造は法令違反になります。故障のときは、販売店に修理をご依頼ください。

 警告

	強制	万一異物が、本装置および電話機の内部に入った場合は、まず本装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、販売店にご連絡ください そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。特に小さなお子様のいる家庭ではご注意ください。
	強制	主装置の内部の点検・修理は、販売店に依頼してください
	禁止	歩行中に電話機を操作したり見たりしないでください 転倒・交通事故などの原因となります。
	禁止	電話機を電子レンジや高圧容器に入れたりしないでください 火災・故障の原因となります。
	禁止	引火性ガスが発生する場所では、電話機を絶対に充電しないでください 火災の原因となります。
	禁止	万一、充電器が落下したり、破損した場合は、そのまま使用しないでください 必ずACアダプタを電源コンセントから抜いて、お買い求めの販売店に至急ご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
	禁止	本装置を医療用電子機器(ペースメーカーなど)の近くで使用しないでください 電波により医療用電子機器に影響を与えることがあります。
	禁止	高精度な制御や、微弱な信号を取り扱う電子機器の近くで使用しないでください 電子機器が誤動作するなど影響が出る可能性があります。また、使用を制限された場所での使用はお控えください。 (ご注意いただきたい電子機器の例:補聴器・医療用電子機器(ペースメーカーなど)・火災報知機・自動ドア・自動制御機器など)
	禁止	充電器の開口部から金属類を入れないでください 万一、内部に異物が入った場合は、すぐにACアダプタを電源コンセントから抜いて、お買い求めの販売店に至急ご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
	禁止	充電端子を金属でショートさせないでください 火災・故障の原因となります。
	禁止	充電端子に水滴のついたまま充電しないでください 火災・故障の原因となります。
	禁止	無接点充電器や電話機に水滴のついたまま充電しないでください 火災・故障の原因となります。
	禁止	膨れた電池パックを無理に取り付けないでください 電池パックが変形し、電池パック内部の保護機構が壊れることで、液もれ、発熱、破裂、発火の原因となります。 電池パックが膨張した場合は、速やかに新しい電池パックと交換してください。
	強制	電池パックが液もれしたり、異臭がするときは、すぐに火気から遠ざけてください
	強制	所定の充電時間を越えても充電が完了しない場合には、すぐに充電をやめて、お買い求めの販売店にご連絡ください

⚠ 警告

	禁止	ぬれた手で電池パックを交換したり、ぬれた手で充電器の AC アダプタを抜き差ししないでください 感電の原因となります。
	ぬれ手 禁止	
	禁止	付属の AC アダプタ、充電器以外を使用しないでください 火災・けがや周囲を汚染する原因となることがあります。
	強制	AC アダプタ、充電器は指定の電源コンセントに接続してください それ以外の電源コンセントに接続すると火災・感電・故障の原因となります。
	強制	電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に傷害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください
	禁止	LAN ポートや PC ポートに接続したネットワークケーブルを電源コンセント、アナログ電話回線、デジタル電話回線(ISDN)、PBX デジタル電話回線には接続しないでください 火災・感電・故障の原因となります。
	強制	LAN ケーブルのモジュラープラグおよび USB メモリのコネクタは、ほこりが付着していないことを確認してからモジュラージャックまたは USB ポートに差し込んでください。また、モジュラープラグやコネクタにほこりが付着している場合は、よくふいてください ほこりにより火災・感電の原因となります。
	注意	動いている機械の近くでヘッドセットやイヤホンを使用している場合は、コード類の機械への巻き込みに十分注意してください 大怪我の原因になります。
	強制	充電器や AC アダプタの電源プラグは、ほこりが付着していないことを確認してから電源コンセントに差し込んでください。また、半年から 1 年に 1 回は電源プラグを電源コンセントから抜いて点検、清掃をしてください ほこりにより、火災・感電の原因となることがあります。なお、点検に関してはお買い求めの販売店にご相談ください。
	強制	故障したまま使用しないでください 火災・感電の原因となります。電話機の場合は直ちに電源スイッチを切り電池パックを外し、充電器の場合は必ず電源プラグをコンセントから抜いて修理をご依頼ください。
	禁止	電話機をねじったり、重い物をのせたり、強く押しつけたりして、圧迫しないでください 破損して、火災・やけど・けがの原因となることがあります。
	強制	無接点充電器にアルミなどのシールや金属製のものや異物など、電話機以外を置かないでください 金属が熱くなり、火災・やけどなどの原因となることがあります。

⚠ 注意

	強制	必ずアースを接続してください アース接続をしないで使用すると感電・故障の原因となることがあります。
	強制	主装置や電話機を壁掛けに変更するときは、販売店にご相談ください 配線工事を行うには資格が必要です。また、主装置や電話機の重みに耐える専用壁掛け金具を使用して適正な取り付けが必要です。
	禁止	電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください 電源コードが破損し、火災・感電の原因となることがあります。電源プラグを持って抜いてください。

 **注意**

	禁止	振動・衝撃の多い場所に置かないでください 火災・感電・故障の原因となります。また落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
	禁止	主装置や電話機を上下逆さまの状態で設置しないでください 火災・感電・故障の原因となることがあります。
	禁止	主装置、電話機の上に乗ったり、座ったりしないでください けがや故障の原因となることがあります。
	禁止	直射日光の当たるところや、暖房設備・ボイラーなどのため著しく温度が上昇するところに置かないでください 内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。
	禁止	湿気やほこりの多い場所、潮風、腐食性ガスのかかる場所、化学反応を起こすような場所(化学実験室など)には置かないでください 火災・感電・故障の原因となることがあります。
	禁止	風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください 火災・感電・故障の原因となることがあります。
	禁止	調理台のそばなど油煙や湯気が当たるような場所、ほこりが多い場所に置かないでください 火災・感電・故障の原因となることがあります。
	禁止	電源コード・電話機コード・LAN ケーブルを熱器具に近づけないでください コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
	禁止	落下させるほどの強い衝撃を与えないでください
	強制	移動させる場合は、電源プラグを電源コンセントから抜き、回線コードや電話機コードなど外部の接続線をはずしたことを確認の上、行ってください コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
	禁止	主装置や電話機の開口部をふさがないでください 開口部をふさぐと、内部の熱が上昇し、火災の原因となることがあります。
	禁止	電気雑音を発生するものに近い場所に置かないでください 通話に雑音が入ったり、使用できなくなることがあります。 <電気雑音の原因としては> <ul style="list-style-type: none"> ・車やオートバイが近くを通過する場合 ・放送局や無線局(アマチュア無線、CB無線など)の近くで使用する場合 ・テレビ・ラジオ・蛍光灯・OA機器・電子レンジ・電気コタツなどの近くで使用する場合 ・高周波溶接機・高周波ミシン・電気溶接機・ワイヤカッタなどの工作機械の近くで使用する場合
	禁止	強い磁界の発生源の近くに設置しないでください 火災・感電・故障の原因となることがあります。
	禁止	火のそばや炎天下などの高温の場所や、布団等かぶせた状態で、充電はしないでください 高温になると危険を防止する保護装置が働き、充電できなくなったり、保護装置が壊れる原因となります。
	強制	電池パックは、事故防止のため、小さいお子様の手の届かないところに保管してください 誤飲、感電の原因となります。
	注意	初めてご使用になる場合や長時間使用されなかった場合は、必ず充電して異常のないことを確認してからお使いください

⚠ 注意

	強制	長時間ご使用にならないときは、安全のため必ず充電器の AC アダプタまたは電源プラグを電源コンセントから抜いてください。また電話機の電源を切り、電池パックも取り出してください 発火・故障の原因となります。 主装置については、常時電源を「ON」の状態にしておいても問題ありません。
	強制	AC アダプタまたは電源プラグを電源コンセントから抜くときは、必ず AC アダプタまたは電源プラグを持って抜いてください 電源コードを引っ張ると、電源コードが傷つき、火災・感電・断線の原因となることがあります。
	禁止	コードレス電話機のアンテナを持って持ち運んだり、アンテナを無理に曲げたり引っ張ったりしないでください 故障の原因となります。
	注意	電話機等の底面には、ゴム製のスベリ止めを使用しています。ゴムとの接触面がまれに変色することがあります
	注意	コードレス電話機のアンテナを誤って目にささないようにしてください
	注意	アンテナなどの突起物を目や口などに入れないようにしてください。特に小さなお子様のいる家庭ではご注意ください
	強制	充電器をお手入れする際は、安全のため、あらかじめ AC アダプタまたは電源プラグを電源コンセントから抜いてください 感電の原因となることがあります。
	禁止	充電器の上に指輪、ネックレスなどの金属類を置かないでください 金属が熱くなり、火災・やけどなどの原因となることがあります。
	強制	充電は周囲温度 5°C ~ 35°C の範囲で行ってください 正常な充電ができなかったり、故障の原因となります。
	注意	十分充電しても使用できる時間が短くなった場合は電池パックの寿命の可能性があります。お買い求めの販売店に電池パックの交換をお申し付けください
	禁止	本製品の近くに、紙などの燃えやすいものを置かないでください 発熱により火災、感電の原因となることがあります。
	禁止	磁気カードや磁気記録メディア、精密機器などを本製品に近づけないでください キャッシュカードなどの登録情報が消去される場合があります。
	強制	充電器で充電する場合は、必ず正しい向きで充電してください 機能が使えなかったり、充電できないことがあります。
	強制	コードレス電話機ご使用時は必ず専用の電池パックを取り付けてご使用ください 電池パックが接続されていないと動作しません。
	強制	お手入れの際は安全のために、本装置の電源スイッチを切ってから電源プラグを電源コンセントから抜いて行ってください
	強制	水滴がついた場合は、乾いた布でふき取ってください 本装置および電話機の内部に水滴が入ると、火災・故障の原因となることがあります。
	禁止	表面が熱に弱い家具の上などの表面が熱に弱い場所には、本装置および電話機を置かないでください 家具等の表面が変色・変形する場合があります。

注意

	禁止	本装置および電話機の上に手をついたり、ものを載せないでください 火災や故障の原因となります。
	禁止	ぬれた雑巾、ベンジン、シンナー、アルコールおよびシリコン系クリーナなどで ふかないでください 本装置の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは水で薄 めた中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、柔らかい布でからぶき してください。
	禁止	受話器用カールコードやモジュラープラグで差し込まれている電話機コードを 強く引っ張らないでください 故障の原因となることがあります。

IP回線の特性について

- 下記のような場合には、IP電話サービスの通話品質が劣化したり、通信が切断される場合があります。
 - ・WAN(ブロードバンド)回線の接続状態によって十分な帯域がとれない場合
 - ・インターネットで十分な帯域がとれない場合
 - ・主装置に接続しているパソコンで、ファイル転送やストリーミングサービスのような大きな帯域を必要とするサービスを使用中の場合
- 相手の方からの音声品質がよい場合でも、こちらから相手への音声品質が劣化していることがあります。
 - ・ADSL回線をご利用の場合は、下りの伝送速度よりも上りの伝送速度のほうが低いため、通話中にインターネット上のサーバへ大きなファイルを送信したり、他拠点との間でファイルを転送することは避けてください。また、LAN内に、インターネットにアクセスできるWebサーバ、FTPサーバなどを設置しないでください。

SIP電話機および標準IP多機能電話機(NPKT)の特性について

- 下記のような場合には、電話機の通話品質が劣化したり、通信が切断される場合があります。
 - ・LANの接続状態によって、十分な帯域がとれない場合
 - ・LANに接続しているパソコンで、ファイル転送やストリーミングサービスのような大きな帯域を必要とするサービスを使用中の場合
- 相手の方からの音声品質がよい場合でも、こちらから相手への音声品質が劣化していることがあります。

取扱上のお願い / 主装置、電話機、他

停電などの外的要因、あるいは本装置の故障、誤動作、不具合によって通信などの機会を逸したために生じた逸失利益等の金銭的損害につきましては、当社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください

本装置を人命や、危害に直接的または、間接的に高い安全性が必要とされる環境下では使用しないでください

本装置に登録された内容は故障・修理のときに消失する場合があります

テレビ、ラジオ、無線機、電子レンジ、インバータ形蛍光灯などの磁気、電波を発生する場所や違法無線を受ける場所に設置した場合、ノイズや誤動作を引き起こすことがあります

放送局の近くや違法 CB 無線など、強い電波を受ける場所では通話中に雑音が入ることがあります。通話に支障をきたす場合には、販売店にご相談ください

別売品の停電用電源を接続している場合は、電源スイッチが「ON」のままで、電源プラグを抜いたり、配電盤などの電源を切らないでください

バッテリーが放電してしまい、停電時に動作しなくなります。また、バッテリーの寿命を縮める原因となります。

コードレス電話機を設置するときは、親機から約 3m 以上離してください

親機にあまり近い場合は、コードレス電話機が正常に動作しないことがあります。

マルチラインシステムコードレス電話機を除く、コードレス電話機は、防水対応ではありません

寒い戸外から急に暖かい室内にコードレス電話機を持ち込むと、急激な温度変化により、コードレス電話機内部に水滴(結露)がつくことがあります。結露が生じたときは電源を切って、水滴が蒸発するまでしばらく放置しておいてください

結露したまま使用すると、故障の原因となります。

コードレス電話機の通話は盗聴されにくくなっていますが、電波を利用しているため、通常の手段を超えた方法で第三者が故意に通話の内容を傍受する場合があります。この点を十分に留意して使用してください

目次

安全にお使いいただくために i

お使いになる前に

xiii

取扱説明書の見かた	xiii
本書の構成	xiv

第1章 基本操作

1

1-1 Web 設定の利用	1
●動作環境について	1
●ユーザ種別について	2
●設定データの反映について	2
Web 設定の起動と終了	3
●Web 設定を起動する(ログイン)	3
●Web 設定画面の各部の名称	5
●ヘルプ情報を参照する	6
●Web 設定を終了する	7

第2章 機能設定

8

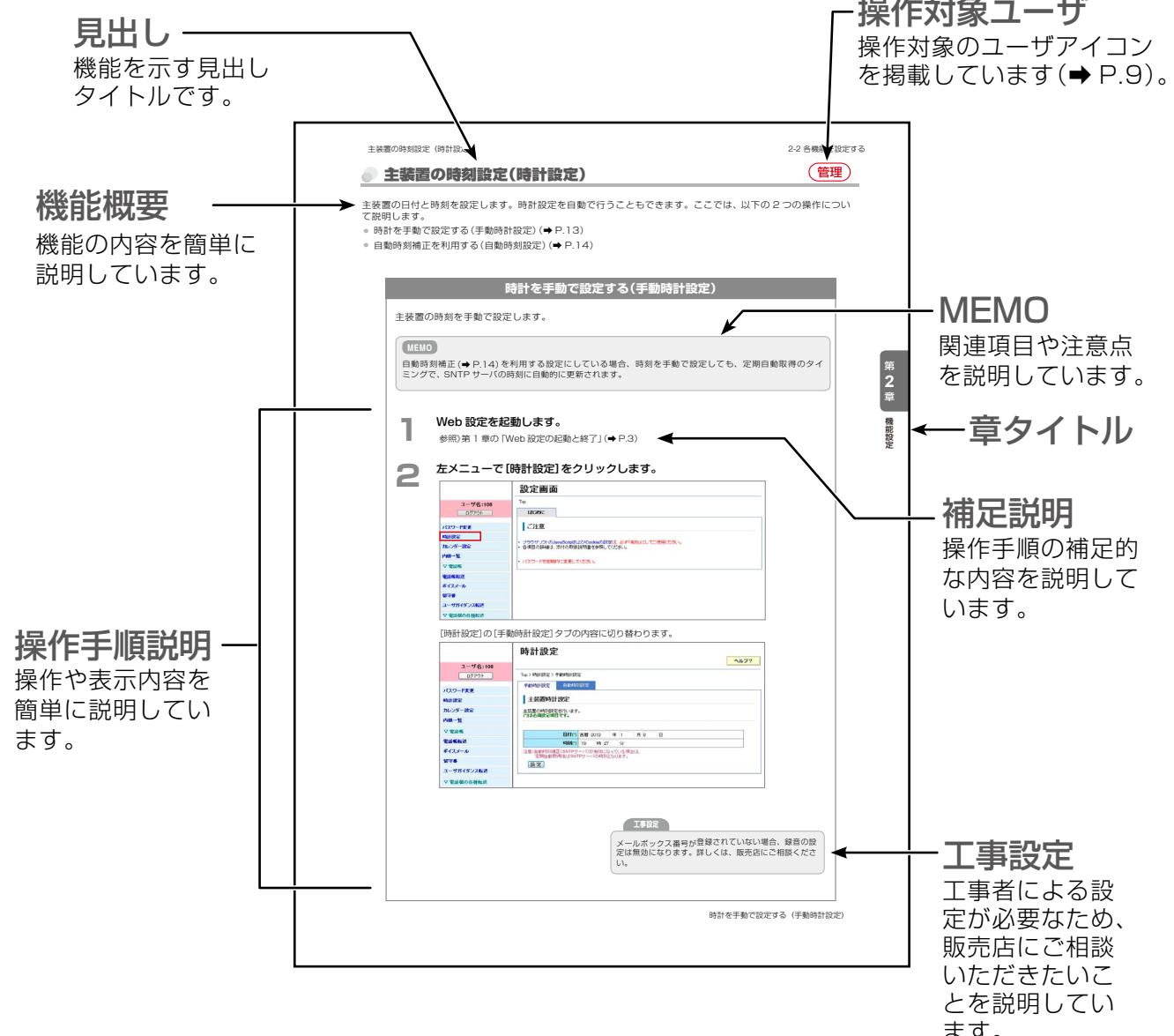
2-1 Web 設定でできること	8
2-2 各機能を設定する	10
ログインパスワードの変更(パスワード変更)	10
●特定の内線のパスワードを変更する	10
●すべての内線のパスワードをお買い上げ時の状態に戻す	12
主装置の時刻設定(時計設定)	13
●時計を手動で設定する(手動時計設定)	13
●自動時刻補正を利用する(自動時刻設定)	14
休日や祝祭日の登録(カレンダー設定)	16
●自テナントの毎年決まった休日(特定日)を登録する	16
●システム全体の毎年決まった祝祭日を登録する	20
●特定の年月日の休日 / 平日を登録する(特定日設定(年月日指定))	25
●特定の年月日の祝祭日を登録する(祝祭日設定(年月日指定))	28
内線番号とドアホン名の設定(内線一覧)	32
●内線一覧を確認する	32
●内線の名称を登録する	34
●ドアホン一覧を確認する	36
●ドアホンの名称を登録する	37
電話帳の登録(共通電話帳 / 個別電話帳)	39
●共通電話帳の登録内容を確認する	39
●共通電話帳に電話番号などの情報を新規登録する	42
●共通電話帳の登録内容を編集 / 削除する	45
●共通電話帳のグループを管理する	46
●個別電話帳の登録内容を確認する	49
●個別電話帳に電話番号などの情報を新規登録する	51
●個別電話帳の登録内容を編集 / 削除する	53
●個別電話帳のグループを管理する	55

電話帳のバックアップと取り込み(電話帳転送)	57
●電話帳のデータをPCにバックアップする	57
●PCにバックアップしたデータを取り込む	59
ボイスメールの管理(内蔵ボイスメール)	60
●ボイスメール一覧を確認する(ボイスメール管理)	61
●ボイスメールを保存する(ボイスメール管理)	66
●ボイスメールを削除する(ボイスメール管理)	69
●ボイスメールにコメントを付加する(ボイスメール管理)	70
●ボイスメール録音の通知先を設定する(録音通知先設定)	71
●ボイスメールをFTPサーバに自動転送する(外部保存設定)	74
●ボイスメールに付加するコメント文を登録する(コメント登録)	76
留守番の設定(留守番)	77
●自動応答利用時の動作を設定する(留守番タイマ連動)	77
●手動応答利用時の動作を設定する(手動切替設定)	82
●留守番機能の起動時間など、留守番関連の機能を設定する(関連設定)	87
ユーザガイダンスの管理(ユーザガイダンス転送)	90
●既存のユーザガイダンスを変更／削除／転送する(ユーザガイダンス編集)	90
●PC上の音声ファイルをユーザガイダンスとして登録する(新規登録)	92
各種転送の設定(電話機の各種転送)	95
●不在転送の利用設定および動作設定をする(不在転送)	95
●話中転送の動作を設定する(話中転送)	108
●無応答転送の動作を設定する(無応答転送)	115
●圏外転送の動作を設定する(圏外転送)	125
外線転送の設定(外線転送)	133
●外線自動転送モードを自動的に切り替える(タイマ連動設定)	133
●転送先情報を登録する(外線転送関連設定)	136
●外線転送回線グループごとの動作を転送モードとして登録する(転送先設定)	138
オートダイヤルの割り付け(オートダイヤル登録)	140
●オートダイヤルボタンに機能を割り付ける	140
●Com@WILLのランプに機能を割り付ける	143
メロディの管理(メロディ転送)	155
●既存のメロディを変更／削除／転送する	155
●PC上の音声ファイルを取り込む	157
音声自動応答(IVR)の設定	159
●シナリオ設定前の準備	160
●IVRのシナリオを設定する	161
●IVRのシナリオの設定内容を追加／変更／削除する	167
●5階層以上のシナリオを作成する	171
●IVRのシナリオを一覧表示する	173
やすく deRSS の設定	175
●やすく deRSS の利用設定をする	175
セーフティモード／チャイムのタイム設定(タイム運動)	177
●セーフティモードへの切り替え時刻を設定する(セーフティ)	177
●チャイム音を鳴らす時刻を設定する(チャイム)	179
Web カメラの設定(Web カメラ)	181
●Webカメラの利用情報を設定する(カメラ情報)	181
メール送信の設定(アドレス登録)	184
●セーフティメール通知の送信先を登録する(セーフティ)	184
●外線着信メール通知の送信先を設定する(外線着信)	187
●不在着信履歴通知の送信先を登録する(着信履歴関連)	189
●メール送信時にGmailのOAuth認可サービスを利用する(メール認証(OAuth))	191
プリンタ複合機(MFP)の名称変更	197
●プリンタ複合機(MFP)の名称を登録／変更する	197

お使いになる前に

取扱説明書の見かた

この取扱説明書は次のフォーマットをベースに記載してあります。



本書の構成

本書では、Web ブラウザベースのツール「Web 設定」を利用して設定できる内線の機能や、登録できる情報について、概要と操作方法をメインに説明します。
機能の詳細情報については、『取扱説明書(多機能電話機編)』を合わせて参照してください。

お使いになる前に(本章)

本書の見かたと構成についてまとめてあります。

お使いになる前に

第1章 基本機能編

「Web 設定」の起動と終了、操作画面の見かた、ヘルプの参照方法など、基本的な操作について説明しています。

第2章 機能設定編

「Web 設定」を利用して設定できる機能の概要と説明、各機能の設定方法について説明しています。

第1章 基本操作

1-1 Web 設定の利用

「Web 設定」は、LAN 接続された PC から Web ブラウザを介して、本システムの主装置にログインすることで利用できます。「Web 設定」を利用すると、各内線の機能設定を変更したり、電話帳など各種情報を登録・編集したりすることができます。

動作環境について	
「Web 設定」を利用する前に、以下の動作環境をご確認ください。	
OS	Windows 10、Windows 11
ブラウザ	Microsoft Edge、Google Chrome
Java スクリプト	<p>Java スクリプトが有効であることを確認してください。無効のままアクセスすると、有効にするよう促すメッセージが表示されます。この場合は、以下の操作で Java スクリプトを有効にしてから、再度アクセスしてください。</p> <p>■ JavaScript を有効にするには(Microsoft Edge の場合)</p> <p>画面右上の … をクリックし、[設定] → [Cookie とサイトのアクセス許可] → [サイトのアクセス許可] – [JavaScript] をクリックし、[サイトのアクセス許可 / JavaScript] で、[許可(推奨)] をオンにします。</p> 
Cookie の有効化	<p>Cookie が有効であることを確認してください。無効のままアクセスすると、検索処理が動作しません。この場合は、以下の操作で Cookie を有効にしてから、再度アクセスしてください。</p> <p>■ Cookie を有効にするには(Microsoft Edge の場合)</p> <p>画面右上の … をクリックし [設定] → [Cookie とサイトのアクセス許可] → [保存された Cookie とデータ] – [Cookie とデータの管理と削除] をクリックし、[保存された Cookie とデータ / Cookie とサイトデータ] で、[Cookie データの保存と読み取りをサイトに許可する(推奨)] をオンにします。</p> 

MEMO

本書では、Microsoft Edge(バージョン 97)を使用した操作について説明しています。

ユーザ種別について

「Web 設定」で設定、登録できる機能は、ログインする際のユーザ種別によって異なります。本書では、ユーザ種別を以下のように定義・表現しています。

管理ユーザ	システム管理電話機に指定された内線番号でログインするユーザ
一般ユーザ	システム管理電話機以外の内線番号でログインするユーザ

設定データの反映について

ログアウトしないと反映されないデータがありますので、データ設定後の動作確認をする前に、必ず「Web 設定」からログアウトしてください。

また、内線および回線が空き状態になるまで反映されないデータがありますので、ご注意ください。

使用中(通話中やメニュー操作中など)の内線電話機に対して以下の設定を行った場合、対象の内線電話機がいったん待受状態にならないと設定が反映されません。

対象の内線電話機で受話器を上げている場合は受話器を置いて、一度、待受状態に戻してから、ご使用ください。スピーカランプが点灯している場合は、スピーカボタンを押して、一度、待受状態に戻してからご使用ください。

- 内線名称の登録(▶ P.34)
- オートダイヤルボタンへの機能の割り付け(▶ P.140)

Web 設定の起動と終了

ここでは、Web 設定の起動(ログイン)から終了までの基本操作について説明します。

- Web 設定を起動する(ログイン) (→ P.3)
- Web 設定画面の各部の名称 (→ P.5)
- ヘルプ情報を参照する (→ P.6)
- Web 設定を終了する (→ P.7)

Web 設定を起動する(ログイン)

Web 設定を起動し、本システムの主装置にログインします。

Web 設定では、ログインする際のユーザ種別によって、利用できる機能が異なります。

管理ユーザとしてログインした場合は、すべての機能が利用でき、システムや全内線に対して、設定の変更を行うことができます。一般ユーザとしてログインした場合は、ご自分の内線の設定を変更する機能のみ利用できます。

- ご自分のユーザ種別を確認するには、本章の「ユーザ種別について」(→ P.2) を、利用できる機能を確認するには、「2-1 Web 設定でできること」(→ P.8) をそれぞれ参照してください。

1 ブラウザを起動します。

参照》「動作環境について」(→ P.1)

2 ブラウザのアドレスバーに、主装置本体の LAN 側 IP アドレスを入力し、[Enter] で確定します。

ログイン画面が表示されます。

3 ログイン情報を入力し、[サインイン] をクリックします。

項目	内容
ユーザー名	ご自分の内線番号を入力します。 ● ここで入力する内線番号の種類によってユーザ種別が変わります(→ P.2)。
パスワード	パスワードを半角で入力します。 ● 1 ~ 8 行までの半角英数字と *#/.<>: を入力できます。 ● 初期設定では、すべての内線に「0000」が設定されています。 MEMO ● 一般ユーザとしてログインする場合は、あらかじめ管理ユーザにパスワードを確認してください。 ● ログイン時のパスワードは定期的に変更してください。一般ユーザの場合はご自分のパスワードを、管理ユーザの場合は全内線のパスワードを変更できます(→ P.10)。

Web 設定が起動し、メイン画面が表示されます。

つづく→

ログイン時のユーザ種別によって、表示される内容が異なります。

<管理ユーザの場合>

<p>ユーザー名:108</p> <p>ログアウト</p> <hr/> <p>パスワード変更</p> <p>時計設定</p> <p>カレンダー設定</p> <p>内線一覧</p> <p>▼ 電話帳</p> <p>電話帳転送</p> <p>ボイスメール</p> <p>留守番</p> <p>ユーザガイダンス転送</p> <p>▼ 電話機の各種転送</p> <p>外線転送</p> <p>オートダイヤル登録</p> <p>メモディ転送</p> <p>IVR</p> <p>ですくdeRSS</p> <p>タイマ連動</p> <p>Webカバー</p> <p>アドレス登録</p> <p>MFP</p>	<p>設定画面</p> <p>Top</p> <p>はじめに</p> <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> • ブラウザソフトのJavaScriptおよびCookieの設定は、必ず「有効にしてご使用ください。」 • 各項目の詳細は、添付の取扱説明書を参照してください。 • パスワードを定期的に変更してください。
--	---

<一般ユーザの場合>

<p>ユーザー名:110</p> <p>ログアウト</p> <hr/> <p>パスワード変更</p> <p>内線一覧</p> <p>▼ 電話帳</p> <p>ボイスメール</p> <p>▼ 電話機の各種転送</p> <p>ですくdeRSS</p> <p>タイマ連動</p> <p>オートダイヤル登録</p>	<p>設定画面</p> <p>Top</p> <p>はじめに</p> <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> • ブラウザソフトのJavaScriptの設定は、必ず「有効にしてご使用ください。」 • 各項目の詳細は、添付の取扱説明書を参照してください。 • パスワードを定期的に変更してください。
---	--

Web 設定画面の各部の名称

Web 設定画面の各部の名称は以下のとおりです。各部の名称は、ユーザ種別にかかわらず共通です。
※管理ユーザとしてログインした場合の共通電話帳の設定画面を例に説明します。

画面タイトル
左メニューで選択した機能名が表示されます。



タブ
左メニューで選択した機能に付加設定がある場合に表示されます。

ユーザ名
ログイン時に入力した内線番号が表示されます。

左メニュー
設定する機能をクリックして選択します。
▽が表示された機能(電話帳・電話機の各種転送)には、付加機能が格納されています。クリックするたびに付加機能の表示 / 非表示が切り替わります。

[ログアウト] ボタン
Web 設定を終了するときにクリックします(→ P.7)。

設定領域
左メニューで選択した機能の設定項目が表示されます。
タブが存在する場合、クリックしたタブの設定項目が表示されます。

[ヘルプ] ボタン
すべての設定画面に表示されます(→ P.6)。

ヘルプ情報を参照する

Web 設定の各画面右上には [ヘルプ] ボタンが用意されています。[ヘルプ] ボタンをクリックすることで、Web 設定で使用されている各用語の解説を確認できます。

1 画面右上の [ヘルプ] ボタンをクリックします。

The screenshot shows a user interface for managing a general telephone book. On the left, there's a sidebar with navigation links like 'User Name: 108', 'Logout', 'Password Change', 'Clock Setting', 'Calendar Setting', 'Inbound List', 'Telephone Book' (with 'General Telephone Book' selected), 'Individual Telephone Book', 'Telephone Book Transfer', and 'Email'. The main content area is titled 'General Telephone Book' and shows a list of entries. At the top right of this area, there is a yellow-bordered 'Help?' button.

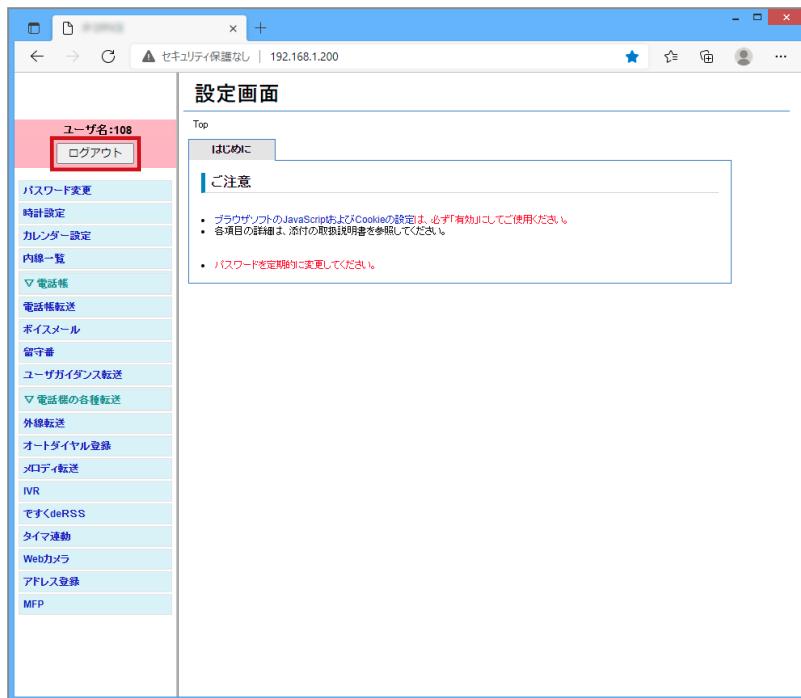
ブラウザまたはブラウザの別タブが起動し、用語集が表示されます。

The screenshot shows a 'Help' section with a 'Glossary' link. Below it is a table with terms and their definitions. The first row of the table is highlighted with a blue background.

【英数字】	
ACR	ダイヤルされた内容によって、最適なキャリア（通信網を提供している会社）を選択して発信できる機能です。
Com@WILL	高度なIP電話機機能をパソコン上で簡単に利用できる高機能なソフトフォンです。
DGLまたはDGLグループ	着信の一つの形式で、内線を例えれば組織毎にグループ化し、発信者はそのグループを指定して発信することで、グループ内の内線全てを呼び出せる機能です。 着信は一つのDGLボタンに先着順でキューリングされる。
DGL着信呼数制限	同じDGLまたはDGLグループに着信できる数を制限できる機能です。
IVR	IVR (Interactive Voice Response) とは、対象外線に着信の際、予め用意された音声による案内の再生や、電話をかけてきた相手のダイヤル操作に応じて予め設定された着信先に着信させることができる機能です。
MFP	デジタル複合プリンタ (MultiFunction Printer) の略称です。 PBXとLANを使用して沖電気工業社製のデジタル複合プリンタ（以下MFPとする）と接続し、MFPの状態通知など連携サービスができます。
MSAまたはMSAグループ	DGLが一つのDGLキーに着信がキューリングされるのと違って、MSAグループの着信ひとつひとつを電話機のボタン（MSAボタン）に着信させる機能です。
MSA呼数	MSAボタンに着信できる最大数のことです。
OAuth2.0	ネットワークサービスの利用権限を認可する手順の一つです。
OAuth2.0 : アクセストークン	ネットワークサービスの利用権限を認可するために必要な情報です。
OAuth2.0 : サービスアカウントキー	GoogleCloudサービスを利用するため必要なアカウントの認証情報です。
OAuth2.0 : 認証コード	アクセストークンの取得に必要な認証用コードです。
PBX外線 (PBX回線)	PBXの内線をボタン電話の外線に接続して、ボタン電話からPBXの内線発信ができる回線のことです。
PHS	RCR28標準に準拠したデジタルコードレス電話機です。

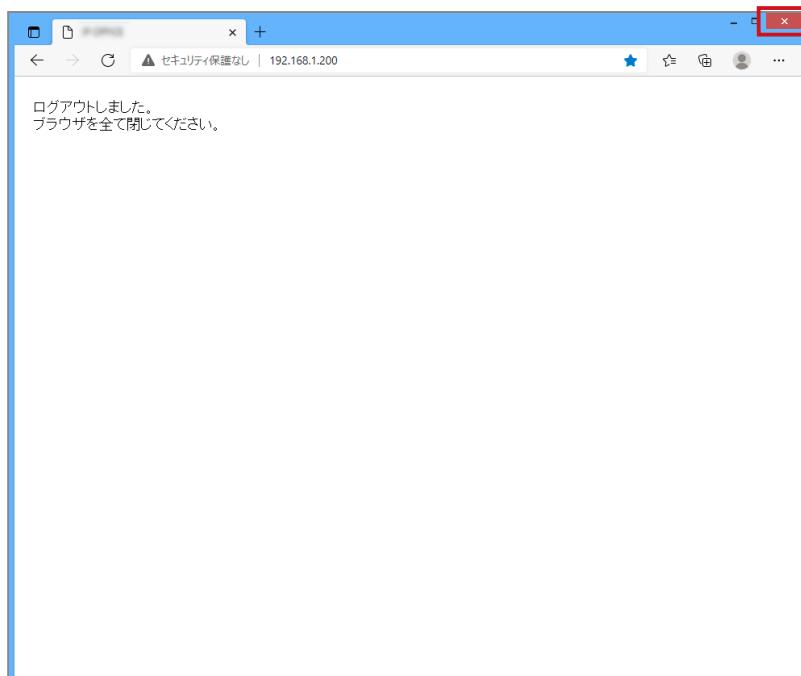
Web 設定からログアウトしたあと、ブラウザを閉じて、Web 設定を終了します。

1 [ログアウト] ボタンをクリックします。



「ログアウトしました・・・」というメッセージが表示されます。

2 ブラウザまたはブラウザタブの[×] (閉じる) ボタンをクリックします。



ブラウザが閉じ、Web 設定が終了します。

第2章 機能設定

本章では、Web 設定で設定できる機能を紹介し、それぞれの設定手順について説明します。

2-1 Web 設定でできること

Web 設定で利用できる機能は、ログイン時のユーザ種別によって異なります。
設定を行う前に、ご自分が利用できる機能をご確認ください。

機能名	概要	管理ユーザ	一般ユーザ	参照先
パスワード変更	Web 設定にログインするときのパスワードを設定できます。	○	○	P.10
時計設定	主装置の日付と時刻を設定できます。	○	—	P.13
カレンダー設定	会社の営業形態に合わせ、特定の日にちや曜日を休日や祝祭日としてカレンダーに登録できます。	○	—	P.16
内線一覧	内線一覧やドアホン一覧で登録情報を確認したり、名称を登録したりすることができます。	○	△ (ドアホン名称 設定不可)	P.32
共通電話帳	電話帳(共通電話帳と個別電話帳)の登録・確認を行うことができます。	○	△ (参照のみ)	P.39
個別電話帳			○	
電話帳転送	本システムに登録されている共通電話帳と個別電話帳のデータを PC(パソコン)の任意のフォルダに保存し、バックアップデータを作成できます。	○	—	P.57
ボイスメール	ボイスメール(録音メッセージ)の登録や確認を行うことができます。	○	△ (外部保存、 コメント登録 設定不可)	P.60
留守番	留守番設定時の動作を設定できます。	○	—	P.77
ユーザガイダンス転送	ユーザガイダンスの登録や確認を行うことができます。	○	—	P.90
電話機の各種転送	電話機の転送モードごとに動作を設定できます。	○	○	P.95
外線転送	外線自動転送の動作を設定できます。	○	—	P.133
オートダイヤル登録	オートダイヤルに機能を割り付けることができます。	○	○	P.140
メロディ転送	電話機の着信音など、メロディデータを PC にバックアップしたり、PC からメロディデータを取り込んだりすることができます。	○	—	P.155
IVR	音声自動応答(IVR:Interactive Voice Response)で使用するシナリオ(ダイヤルと動作の組み合わせ)を作成 / 変更 / 登録または確認することができます。	○	—	P.159
ですく deRSS	コンテンツ表示機能の利用設定や動作設定を行うことができます。	○	○	P.175
タイマ運動	セーフティモードの起動およびチャイムの鳴動タイミングを設定できます。	○	○	P.177
Web カメラ	セーフティモードで連動させて利用できる Web カメラの情報や連動設定を行うことができます。	○	—	P.181
アドレス登録	セーフティモードや外線自動転送モード時に送信できるメールの相手先や動作について設定できます。	○	—	P.184
MFP	プリンタ複合機(MFP)の名称を登録または変更することができます。	○	—	P.197

○:操作可能

△:管理ユーザのみの機能あり

—:操作不可

■対象ユーザの識別方法について

本書では、操作可能 / 不可がひと目でわかるよう、機能ごとに対象のユーザアイコンを掲載しています。

ユーザアイコン	内容
管理	管理ユーザが設定できる機能です。
一般	一般ユーザが設定できる機能です。

2-2 各機能を設定する

Web 設定を使って PC（パソコン）から設定できる機能の概要と操作手順について、管理ユーザでログインした場合に表示される左メニューの順番に沿って説明します。

ログインパスワードの変更（パスワード変更）

管理
一般

Web 設定へのログインパスワードを変更します。

ユーザ種別によって操作できる内容が異なります。

操作	管理ユーザ	一般ユーザ	参照先
特定の内線のパスワードを変更する	○	○	P.10
すべての内線のパスワードをお買い上げ時の状態に戻す	○	-	P.12

○：操作可能

-：操作不可

特定の内線のパスワードを変更する

1 Web 設定を起動します。

参照》第 1 章の「Web 設定の起動と終了」（➡ P.3）

2 左メニューで [パスワード変更] をクリックします。

The screenshot shows the 'Top' page of the web interface. On the left is a navigation menu with items like ユーザ名:108, ログアウト, パスワード変更 (highlighted with a red box), 時計設定, カレンダー設定, 内線一覧, ▽ 電話帳, 電話帳転送, ボイスメール, 留守番, ユーザガイド転送, ▽ 電話機の各種転送, 外線転送, オートダイヤル登録, カーナー転送, IVR. The main area is titled '設定画面' (Setting Page) and contains sections for 'Top' (Top), 'はじめに' (Getting Started), and 'ご注意' (Notice). The 'ご注意' section includes a note about JavaScript and Cookies.

[パスワード変更] の設定項目に切り替わります。

The screenshot shows the 'パスワード変更' (Password Change) page. The left sidebar remains the same as the previous screenshot. The main area is titled 'パスワード変更'. It displays a note: 'ログインパスワードの変更を行います。' (Change the login password.) followed by '(※は必須設定項目です。)' (※ is a required setting item.). Below this are input fields for 'ユーザー名' (User Name) with value '108' (半角数字)～4桁 (Half-width digits) and '全ユーザ指定(初期化時のみ有効)' (All users specified (only effective at initialization time)), 'パスワード' (Password) with value '*****' (半角1～8桁)※1 (Half-width 1～8 digits)※1, and 'パスワード確認' (Password Confirmation) with value '*****'. At the bottom are '設定' (Set) and '初期化' (Reset) buttons.

3

以下の項目を設定します。

ログインパスワード変更

ログインパスワードの変更を行います。
(*)は必須設定項目です。

ユーザ名(*)	108	(半角数字1~4桁)	<input type="checkbox"/> 全ユーザ指定(初期化時のみ有効)
パスワード	(半角1~8桁) ※1		
パスワード確認			

※1 未入力の場合パスワード無しとなります

設定 初期化

(*)の付いた項目は必ず登録してください。

項目	内容
ユーザ名 *	パスワードを設定する内線番号を半角で入力します。 すでにパスワードが登録されている内線番号を選択すると、パスワードが変更されます。
パスワード	設定するパスワードを半角で入力します。 ● 1 ~ 8 衢までの半角英数字と *#/.<>: を入力できます。 ● 初期設定では、すべての内線に「0000」が設定されています。 ● 何も入力しないとパスワードなしでログインできるようになります。
パスワード確認	[パスワード] に入力したパスワードと同じものを確認用に入力します。

4

[設定]をクリックします。

- 入力した設定内容を変更したい場合は、再度、入力しなおしてください。
- [初期化]をクリックすると、初期設定の状態に戻ります。

ポップアップが表示されます。

5

他の内線のパスワードを設定する場合は、手順3～4の操作を繰り返します。

6

表示されたポップアップで[OK]をクリックします。

指定した内線のパスワードが設定されます。以降、この内線からWeb設定にログインするときは、ここで設定したパスワードの入力が必要になります。

すべての内線のパスワードをお買い上げ時の状態に戻す 管理

すべての内線のパスワードをお買い上げ時の状態「0000」に戻します。

1 [ログインパスワード変更] 画面を表示して（→ P.10）、[ユーザ名] の [全ユーザ指定(初期化時のみ有効)] をチェックし、[初期化] をクリックします。

2 表示されたポップアップで [OK] をクリックします。
すべての内線のパスワードがお買い上げ時の状態「0000」に戻ります。

ポップアップが表示されます。



※1 未入力の場合はパスワード無しとなります

設定 初期化

主装置の時刻設定（時計設定）

管理

主装置の日付と時刻を設定します。時計設定を自動で行うこともできます。ここでは、以下の2つの操作について説明します。

- ・時計を手動で設定する（手動時計設定）（➡ P.13）
- ・自動時刻補正を利用する（自動時刻設定）（➡ P.14）

時計を手動で設定する（手動時計設定）

主装置の時刻を手動で設定します。

MEMO

自動時刻補正（➡ P.14）を利用する設定にしている場合、時刻を手動で設定しても、定期自動取得のタイミングで、SNTPサーバの時刻に自動的に更新されます。

1 Web設定を起動します。

参照》第1章の「Web設定の起動と終了」（➡ P.3）

2 左メニューで[時計設定]をクリックします。



設定画面

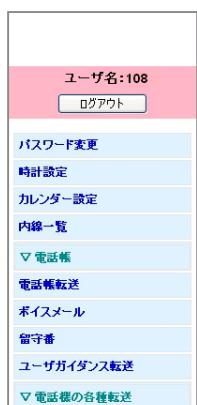
Top

はじめに

ご注意

- ・ブラウザ／ソフトのJavaScriptおよびCookieの設定は、必ず「有効にしてご使用ください。」
- ・各項目の詳細は、添付の取扱説明書を参照してください。
- ・パスワードを定期的に変更してください。

[時計設定]の[手動時計設定]タブの内容に切り替わります。



時計設定

Top > 時計設定 > 手動時計設定

手動時計設定 自動時計設定

主装置時計設定

主装置の時刻設定を行います。
（＊は必須設定項目です。）

日付	西暦 2013 年 1 月 8 日
時刻	19 時 27 分

注意：自動時刻補正（SNTPサーバ）が有効になっている場合は、定期自動取得側はSNTPサーバの時刻となります。

設定

3

以下の項目を設定します。

時計設定

ヘルプ?

Top > 時計設定 > 手動時計設定

手動時計設定 自動時刻設定

主装置時計設定

主装置の時刻設定を行います。

(*)は必須設定項目です。

日付(*) 西暦 2013 年 1 月 8 日

時刻(*) 19 時 29 分

注意: 自動時刻補正(SNTPサーバ)が有効になっている場合は、定期自動取得後はSNTPサーバの時刻となります。

設定

(*)の付いた項目は必ず登録してください。

項目	内容
日付 *	西暦で日付を入力します。
時刻 *	時、分を入力します(24 時間制で入力してください)。

4

[設定] をクリックします。

5

表示されたポップアップで [OK] をクリックします。

主装置の時刻が設定されます。

自動時刻補正を利用する(自動時刻設定)

インターネット環境で利用している場合、自動時刻補正機能を利用して、主装置の時刻を SNTP サーバの時刻に定期的に合わせることができます。自動時刻補正是、お買い上げ時の状態で利用する設定になっています。自動時刻補正を行わないように設定することもできます。

1

[時計設定] 画面を表示して (→ P.13)、[自動時刻設定] タブをクリックします。

<div style="background-color: #e0f2e0; padding: 5px;"> ユーザ名:108 <input type="button" value="ログアウト"/> </div> <div style="background-color: #e0f2e0; padding: 5px;"> パスワード変更 時計設定 カレンダー設定 内線一覧 ▼ 電話帳 電話帳転送 ポイズメール 留守番 ユーザガイドンス転送 </div>	<div style="text-align: right;">ヘルプ?</div> <div style="border-bottom: 1px solid black; margin-bottom: 5px;">Top > 時計設定 > 手動時計設定</div> <div style="background-color: #e0f2e0; padding: 2px 5px; display: inline-block;">手動時計設定</div> 自動時刻設定 <div style="border-bottom: 1px solid black; margin-top: 5px;">主装置時計設定</div> <div style="margin-top: 5px;">主装置の時刻設定を行います。</div> <div style="margin-top: 5px;">(*)は必須設定項目です。</div> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 日付(*) 西暦 2013 年 1 月 8 日 時刻(*) 19 時 30 分 </div> <div style="margin-top: 5px; font-size: small;">注意: 自動時刻補正(SNTPサーバ)が有効になっている場合は、定期自動取得後はSNTPサーバの時刻となります。</div> <div style="margin-top: 5px; border: 1px solid #ccc; padding: 2px;">設定</div>
---	--

つづく→

[時計設定] の [自動時刻設定] タブの内容に切り替わります。

時計設定

定期的にInternet上のSNTPサーバーにアクセスし時刻補正機能を有効にします。

利用しない 利用する

設定 初期化

2

[自動時刻補正利用] で、時刻補正を行うかどうかを設定します。

[利用する] を選択すると、インターネット上の SNTP サーバに定期的にアクセスし、主装置の時刻補正を行い、電話機のディスプレイに表示される時刻が自動的に補正されます(初期設定)。

[利用しない] を選択すると、自動時刻補正是行われず、主装置に手動で設定された時刻が電話機のディスプレイに表示されます。

利用しない 利用する

OK キャンセル

3

[設定] をクリックします。

- ・入力した設定内容を変更したい場合は、再度、入力しなおしてください。
- ・[初期化] をクリックすると、初期設定の状態に戻ります。

ポップアップが表示されます。

4

表示されたポップアップで [OK] をクリックします。

自動時刻補正の利用の有無が設定されます。

休日や祝祭日の登録（カレンダー設定）


 管理

会社の営業形態に合わせ、特定の日にちや曜日を休日としてカレンダーに登録できます。さらに、創立記念日など、特定日を祝祭日として登録することもできます。祝祭日の設定も、毎年固定の日付にするか、第一月曜日など、変動する形式にするかを選ぶことができます。また、年により変動する休日や祝祭日は、年月日を指定して設定することができます。

設定した休日、祝祭日の設定は、必要に応じていつでも解除できます。

- 自テナントの毎年決まった休日（特定日）を登録する（→ P.16）
 - 日付ごとに休日を登録する（特定日設定（月日指定））（→ P.16）
 - 曜日ごとに休日を登録する（特定日設定（曜日指定））（→ P.19）
- システム全体の毎年決まった祝祭日を登録する（→ P.20）
 - 日付ごとに祝祭日を登録する（祝祭日設定（月日指定））（→ P.20）
 - 曜日ごとに祝祭日を登録する（祝祭日設定（変動日指定））（→ P.22）
- 特定の年月日の休日／平日を登録する（特定日設定（年月日指定））（→ P.25）
- 特定の年月日の祝祭日を登録する（祝祭日設定（年月日指定））（→ P.28）

MEMO

- カレンダーに休日／平日（特定日）を登録する場合は、テナントごとに設定します。Web 設定で設定するときは、設定対象のテナントに所属するシステム管理電話機の内線番号でログインしてください。設定した値は、ログインした内線が所属するテナントに設定されます。
- 祝祭日および特定日の各設定で同じ日が重複して登録されている場合は、以下の優先順位で休日または平日として扱われます。

優先順位	設定	参照先
高 ↑ ↓ 低	特定日設定（年月日指定）	P.25
	特定日設定（月日指定）	P.16
	祝祭日設定（年月日指定）	P.28
	祝祭日設定（月日指定）	P.20
	祝祭日設定（変動日指定）	P.22
	特定日設定（曜日指定）	P.19

- 祝祭日の設定は、システム全体に設定されます。

＜例＞同じ日がそれぞれ以下のように設定されているとき

(A) 対象日は「休日」として扱われます。

- 特定日設定（年月日指定）：休日
- 特定日設定（月日指定）：平日

(B) 対象日は「平日」として扱われます。

- 特定日設定（年月日指定）：平日
- 祝祭日設定（年月日指定）：祝祭日

自テナントの毎年決まった休日（特定日）を登録する

毎年決まった休日を登録します。休日は、年間で最大 64 日まで登録できます。
休日の設定は、以下の 2 通りの方法で設定できます。

- 日付ごとに休日を登録する（特定日設定（月日指定））（→ P.16）
- 曜日ごとに休日を登録する（特定日設定（曜日指定））（→ P.19）

■ 日付ごとに休日を登録する（特定日設定（月日指定））

1

Web 設定を起動します。

参照》第 1 章の「Web 設定の起動と終了」（→ P.3）

2

左メニューで[カレンダー設定]をクリックします。

[カレンダー設定]の[特定日(月日)]タブの内容に切り替わります。

3

プルダウンメニューから目的の月を選択し、休日に設定する日付をクリックします。

[特定日設定(固定日)]の設定内容に切り替わります。

4

[日付]に選択した月と日にちが表示されていることを確認し、[平日 / 休日]で[休日]を選択します。

[平日]を選択すると、選択した日付が平日に設定されます。

5

設定する場合は、[指定] をクリックします。

- 特定日の設定を取り消す場合は、[解除] をクリックします。
- ポップアップが表示されます。

6

表示されたポップアップで [OK] をクリックします。

- 選択した日付が休日に設定され、[特定日設定(月日)] 表示に戻ります。
- 休日に設定した日付は、カレンダー上にピンク色で表示されます。
- 平日に設定した日付は、カレンダー上に水色で表示されます。

The screenshot shows a software interface for setting specific days. At the top, there are tabs: '特定日(月日)' (selected), '祝祭日(月日)', '特定日(年月日)', and '祝祭日(年月日)'. Below this is a section titled '特定日設定(月日)' with the sub-instruction '特定日(固定日/曜日指定)を設定することにより任意の日曜日を休日/平日として動作させます。' A link '▶ 曜日指定' is present. At the bottom of the dialog is a calendar for February. The days are arranged in a grid:

前の月		2月					次の月	
1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日
15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日
29日								

The date '14' is highlighted with a light blue background, while other dates like '1' and '8' are highlighted with a pink background.

■ 曜日ごとに休日を登録する（特定日設定（曜日指定））

1 [カレンダー設定]画面を表示して（→ P.16）、[曜日指定]をクリックします。

カレンダー設定

特定日(月日) 祝祭日(月日) 特定日(年月日) 祝祭日(年月日)

特定日設定(月日)

特定日(固定日 曜日指定)を設定することにより任意の日 曜日を休日/平日として動作させます。

▶ **曜日指定**

前の月 1 ル月 次の月

1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日
8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日
15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日
22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日
29日	30日	31日				

[特定日設定（曜日指定）] の設定内容に切り替わります。

2 目的の曜日のプルダウンメニューから [休日] を選択します。

- [平日] を選択すると、休日の設定が解除されます。
- 複数の曜日を休日に設定することもできます。

特定日(月日) 祝祭日(月日) 特定日(年月日) 祝祭日(年月日)

特定日設定(曜日指定)

特定日を曜日指定で設定することにより任意の曜日を休日/平日として動作させます。

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
休日	平日	平日	平日	平日	平日	休日

設定

3 [設定] をクリックします。

ポップアップが表示されます。

4 表示されたポップアップで [OK] をクリックします。

選択した曜日が休日に設定され、[特定日設定(月日)] 表示に戻ります。

特定日(月日) 祝祭日(月日) 特定日(年月日) 祝祭日(年月日)

特定日設定(月日)

特定日(固定日 曜日指定)を設定することにより任意の日 曜日を休日/平日として動作させます。

▶ **曜日指定**

前の月 1 ル月 次の月

1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日
8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日
15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日
22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日
29日	30日	31日				

MEMO

休日に設定した曜日を確認するには、[曜日指定] をクリックし、[特定日設定(曜日指定)] 表示に切り替えます。

システム全体の毎年決まった祝祭日を登録する

毎年決まった祝祭日を登録します。祝祭日は、年間で最大 32 日(00 ~ 31)まで登録できます。

祝祭日の登録は、以下の 2 通りの方法で設定できます。

- 日付ごとに祝祭日を登録する（祝祭日設定（月日指定））（→ P.20）
- 曜日ごとに祝祭日を登録する（祝祭日設定（変動日指定））（→ P.22）

■ 日付ごとに祝祭日を登録する（祝祭日設定（月日指定））

指定した日付を祝祭日として登録できます。お買い上げ時の設定では、以下の日付が祝祭日としてあらかじめ登録されています。

※春分の日と秋分の日は、年により日付が前後するので登録しなおす必要があります。

登録番号	日付	祝祭日
00	1月 1日	元日
01	2月 11日	建国記念の日
02	3月 21日	春分の日
03	4月 29日	昭和の日
04	5月 3日	憲法記念日
05	5月 4日	みどりの日
06	5月 5日	こどもの日
07	8月 11日	山の日
08	9月 23日	秋分の日
09	11月 3日	文化の日
10	11月 23日	勤労感謝の日
11	2月 23日	天皇誕生日

1 [カレンダー設定] 画面を表示して（→ P.16）、[祝祭日（月日）] タブをクリックします。

The screenshot shows the 'Calendar Settings' page. On the left is a sidebar with navigation links: ユーザ名:108 (User Name: 108), ログアウト (Logout), パスワード変更 (Password Change), 時計設定 (Clock Setting), カレンダー設定 (Calendar Setting), 内線一覧 (Intra-line List), 電話帳 (Phone Book), 電話帳転送 (Phone Book Transfer), ボイスメール (Voicemail), 留守番 (Answering Machine), ユーザガイドランク (User Guide Rank), and ハイブリッド電話機 (Hybrid Telephone). The main area is titled 'カレンダー設定' (Calendar Settings) with a 'ヘルプ?' button. Below it is a breadcrumb trail: Top > カレンダー設定 > 特定日(月日). There are four tabs at the top: 特定日(月日) (selected), 祝祭日(月日) (highlighted in red), 特定日(年月日), and 祝祭日(年月日). A sub-section titled '特定日設定(月日)' is shown, with a note: '特定日(固定日/曜日指定)を設定することにより任意の日曜日を休日/平日として動作させます。' (Setting a specific day (fixed day/weekend指定) allows you to set any Sunday as a holiday/working day). Below this is a '曜日指定' (Weekday Specification) section with a calendar for January. The 1st, 2nd, 3rd, 4th, 5th, 6th, and 7th are highlighted in pink, while the 8th, 9th, 10th, 11th, 12th, 13th, 14th, 15th, 16th, 17th, 18th, 19th, 20th, 21st, 22nd, 23rd, 24th, 25th, 26th, 27th, 28th, 29th, 30th, and 31st are grey.

[祝祭日（月日）] タブの内容に切り替わります。

This screenshot shows the same 'Calendar Settings' page as the previous one, but the '祝祭日(月日)' tab is now selected. The main content area is titled '祝祭日設定(月日)' with a 'ヘルプ?' button. Below it is a breadcrumb trail: Top > カレンダー設定 > 祝祭日(月日). The tabs are identical to the previous screen. A sub-section titled '祝祭日設定(月日)' is shown, with a note: '祝祭日(固定日/変動日)およびユーザ独自の休日の登録を行います。' (Registers fixed days/variable days and user-specific holidays). Below this is a '変動日設定' (Variable Day Setting) section with a calendar for January. The 1st, 2nd, 3rd, 4th, 5th, 6th, and 7th are highlighted in pink, while the 8th, 9th, 10th, 11th, 12th, 13th, 14th, 15th, 16th, 17th, 18th, 19th, 20th, 21st, 22nd, 23rd, 24th, 25th, 26th, 27th, 28th, 29th, 30th, and 31st are grey.

2

プルダウンメニューから目的の月を選択し、祝祭日に設定する日付をクリックします。

[祝祭日設定(固定日)] の設定内容に切り替わります。

3

[日付] に選択した日付が表示されていることを確認し、[指定] をクリックします。

ポップアップが表示されます。

4

表示されたポップアップで [OK] をクリックします。

- 選択した日付が祝祭日に設定され、[祝祭日設定(月日)] 表示に戻ります。
- 祝祭日に設定した日付は、カレンダー上にピンク色で表示されます。

■ 曜日ごとに祝祭日を登録する（祝祭日設定（変動日指定））

ハッピーマンデーなど、1月第2週の月曜日のように、毎年変動する日を祝祭日として登録できます。

以下の変動日が祝祭日としてあらかじめ登録されています。

登録番号	変動日	祝祭日
00	1月第2月曜日	成人の日
01	10月第2月曜日	スポーツの日
02	7月第3月曜日	海の日
03	9月第3月曜日	敬老の日

1 [カレンダー設定] 画面を表示して（→ P.16）、[祝祭日（月日）] タブをクリックします。

The screenshot shows the 'Calendar Setting' page. On the left is a sidebar with various menu items. The main area has a title 'Calendar Setting' and a navigation bar with tabs: 'Specific Day (Month/Day)', 'Public Holiday (Month/Day) [selected]', 'Specific Day (Year/Month)', and 'Public Holiday (Year/Month)'. Below the tabs is a section titled 'Moveable Public Holiday (Month)' with a note: 'Specify the day (fixed day/movable day) to be a public holiday (holiday/working day) by specifying the day of the week.' A calendar grid for July is shown, with days 1, 8, 15, 22, and 29 highlighted in pink to represent the movable public holidays.

[祝祭日（月日）] タブの内容に切り替わります。

2 [変動日設定] をクリックします。

This screenshot is identical to the one above, showing the 'Calendar Setting' page with the 'Moveable Day Setting' tab selected. The sidebar and overall layout are the same, with the 'Moveable Day Setting' tab highlighted in red. The calendar grid below shows the same pink-highlighted days (1, 8, 15, 22, 29) representing the movable public holidays.

[祝祭日設定（変動日）] の設定内容に切り替わります。

3

[変動日]のプルダウンメニューから、月、週数、曜日をそれぞれ選択します。

例：1月の第1週の月曜日

特定日(月日)	祝祭日(月日)	特定日(年月日)	祝祭日(年月日)
---------	---------	----------	----------

祝祭日設定(変動日)

祝祭日を毎月に任意の曜日を設定することができます。
既に設定されている日は設定することができます。

変動日 1 ▼月 第1 ▼日 ▼曜日

設定

<input type="checkbox"/> 1月第2月曜日
<input type="checkbox"/> 10月第2月曜日
<input type="checkbox"/> 7月第3月曜日
<input type="checkbox"/> 9月第3月曜日

注意：削除対象日にチェックしてから削除ボタンを押してください。

削除

MEMO

すでに祝祭日登録されている変動日は登録できません。登録する場合は、あらかじめ祝祭日の登録を解除してください(→ P.24)。

4

[設定]をクリックします。

ポップアップが表示されます。

5

表示されたポップアップで[OK]をクリックします。

選択した変動日が祝祭日に設定され、[祝祭日設定(月日)]表示に戻ります。

特定日(月日)	祝祭日(月日)	特定日(年月日)	祝祭日(年月日)
---------	---------	----------	----------

祝祭日設定(月日)

祝祭日(固定日/変動日)およびユーザ独自の休日の登録を行います。

▶ 変動日設定

前の月	1 ▼月	次の月				
1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日
8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日
15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日
22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日
29日	30日	31日				

MEMO

祝祭日に設定した曜日を確認するには、[変動日設定]をクリックし、[祝祭日設定(変動日)]表示に切り替えます。

■ 祝祭日の変動日の設定を解除する

あらかじめ登録されている変動日や独自に登録した変動日をまとめて解除できます。

- [祝祭日設定(変動日)]画面を表示して(→P.22)、登録を解除する変動日をチェックします。

<input type="checkbox"/> 1月第2月曜日
<input type="checkbox"/> 10月第2月曜日
<input type="checkbox"/> 7月第3月曜日
<input type="checkbox"/> 9月第3月曜日
<input checked="" type="checkbox"/> 1月第1日曜日

注意:削除対象日にチェックしてから削除ボタンを押してください。
削除

- [削除]をクリックします。

ポップアップが表示されます。

- 表示されたポップアップで[OK]をクリックします。

選択した変動日の登録が解除され、[祝祭日設定(月日)]表示に戻ります。

前月		1月					次の月	
◀	▶	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日
8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日		
15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日		
22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日		
29日	30日	31日						

特定の年月日の休日 / 平日を登録する(特定日設定(年月日指定))

特定の年月日を指定して、休日 / 平日を最大 64 日まで登録することができます。

- 1** [カレンダー設定] 画面を表示して(→ P.16)、[特定日(年月日)] タブをクリックします。

The screenshot shows the 'Calendar Setting' page with the following details:

- User Name: 108
- Top navigation: Top > カレンダー設定 > 特定日(月日)
- Tab selection: 特定日(月日) (highlighted in red), 祝祭日(月日), 特定日(年月日) (highlighted in blue), 祝祭日(年月日)
- Section: 特定日設定(年月)
- Description: 特定日(固定日/曜日指定)を設定することにより任意の日/曜日を休日/平日として動作させます。
- Link: > 曜日指定
- Calendar: A 7x8 grid calendar from Monday to Sunday, showing dates from 1st to 29th.

[カレンダー設定] の [特定日(年月日)] タブの内容に切り替わります。

The screenshot shows the 'Calendar Setting' page with the following details:

- User Name: 108
- Top navigation: Top > カレンダー設定 > 特定日(年月日)
- Tab selection: 特定日(月日) (highlighted in red), 祝祭日(月日), 特定日(年月日) (highlighted in blue), 祝祭日(年月日)
- Section: 特定日設定(年月日)
- Description: 特定日を年月日指定で設定することにより任意の年月日を休日/平日として動作させます。
既に設定されている日は設定することができません。
(*)は必須設定項目です。
- Input fields: 年月日(*) (highlighted in red), 年, 月, 日, 平日 (radio button), 休日 (radio button).
- Buttons: 設定, 2018年2月24日 休日, 今日より前をチェック, 削除.

- 2** [年月日] に休日(または平日)に設定する年、月、日をそれぞれ入力し、[休日] (または[平日]) を選択します。

年は西暦(4桁の半角数字)で入力、月は1～12の半角数字、日は1～31の半角数字で入力してください。

The screenshot shows the 'Specific Day Setting (Year Month)' form with the following details:

- Top navigation: 特定日(月日) (highlighted in blue), 祝祭日(月日), 特定日(年月日) (highlighted in red), 祝祭日(年月日)
- Section: 特定日設定(年月日)
- Description: 特定日を年月日指定で設定することにより任意の年月日を休日/平日として動作させます。
既に設定されている日は設定することができません。
(*)は必須設定項目です。
- Input fields: 年月日(*) (highlighted in red), 年, 月, 日, 平日 (radio button), 休日 (radio button).
- Buttons: 設定, 2018年2月24日 休日, 今日より前をチェック, 削除.

MEMO

すでに祝祭日または特定日に登録されている日を重複登録した場合は、P.16 の MEMO に記載した優先順位に従って、休日または平日として扱われます。

3

[設定] をクリックします。

ポップアップが表示されます。

4

表示されたポップアップで [OK] をクリックします。

入力した年月日が休日（または平日）として設定され、画面下のリストに追加されます。

※リストは年月日の順に並んで表示されます。

特定日(月日)		祝祭日(月日)		特定日(年月日)		祝祭日(年月日)	
特定日設定(年月日)							
特定日を年月日指定で設定することにより任意の年月日を休日/平日として動作させます。 既に設定されている日は設定することができます。 (*)は必須設定項目です。							
年月日(YMD) 年 月 日 平日 休日 <input type="checkbox"/> 2018年2月24日 休日 <input checked="" type="checkbox"/> 2019年2月24日 休日							
設定 <input type="checkbox"/> 今日より前をチェック <small>注意:削除対象日にチェックしてから削除ボタンを押してください。</small> <input type="button" value="削除"/>							

■ 年月日に設定した特定日を解除するには

特定日を解除したい場合は、次の操作手順で日付を削除します。

- 画面下のリストで、特定日の設定を解除する年月日の行頭の□をクリックしてチェックを付けます。

MEMO

過去の日付の特定日設定をすべて解除したい場合は、[今日より前をチェック] をクリックすると、現在の日付と比較し、過去の日付にチェックが付きます。

The screenshot shows a software interface for managing specific dates. At the top, there are four tabs: '特定日(月日)', '祝祭日(月日)', '特定日(年月日)', and '祝祭日(年月日)'. The third tab, '特定日(年月日)', is selected and highlighted in blue. Below the tabs is a section titled '特定日設定(年月日)'. It contains a note: '特定日を年月日指定で設定することにより任意の年月日を休日/平日として動作させます。既に設定されている日は設定することができます。' followed by '(*)は必須設定項目です。'. There is a date input field '年月日 (*)' with '2019年2月24日' and a radio button for '休日'. Below this is a '設定' (Set) button. A list of specific dates is shown in a table format. The row for '2019年2月24日 休日' has a checkbox next to it, which is checked and highlighted with a red border. Other rows in the list include '2018年2月24日 休日' (unchecked) and a note '今日より前にチェック' (Check before today). At the bottom of the list is a '削除' (Delete) button.

- [削除]をクリックします。

ポップアップが表示されます。

- 表示されたポップアップで[OK]をクリックします。

選択した年月日の休日 / 平日設定が解除され、画面下のリストから削除されます。

This screenshot shows the same software interface as the previous one, but the date '2018年2月24日 休日' in the list is now unchecked, indicating it has been deleted. The rest of the interface remains the same, including the tabs at the top, the note about mandatory fields, and the '今日より前にチェック' note.

特定の年月日の祝祭日を登録する（祝祭日設定（年月日指定））

春分の日と秋分の日など年により変動するような祝祭日を、年月日で指定して登録することができます（最大 64 日）。

ここでは、以下の操作について説明します。

- 10 年分の春分・秋分の日を一括登録する（→ P.28）
- 年月日指定の祝祭日の設定を解除するには（→ P.30）
- 年月日を指定して祝祭日を登録する（→ P.31）

■ 10 年分の春分・秋分の日を一括登録する

2022～2031 年（10 年分）の春分の日と秋分の日（以下の日付）を祝祭日として一括登録することができます。

年	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031
春分の日	3/21	3/21	3/20	3/20	3/20	3/21	3/20	3/20	3/20	3/21
秋分の日	9/23	9/23	9/22	9/23	9/23	9/23	9/22	9/23	9/23	9/23

MEMO

- 手順 5 の画面のように、[祝祭日設定（年月日）] の画面に上表の日付が一覧表示されている場合は、すでに 10 年分の春分の日と秋分の日が登録されています。
- ここで登録される春分の日と秋分の日（上表）は「みなし日」です。「みなし日」は、国立天文台のホームページ (<http://www.nao.ac.jp/faq/a0301.html>) に記載されている日付です（主装置内に保存）。
- 春分の日と秋分の日は、『暦象年表』という小冊子に基づき閣議決定され、決定する日の前年 2 月第 1 平日付の官報で暦要項として公告されます。公告と「みなし日」が異なる場合は登録しなおしてください。

1 [カレンダー設定] 画面を表示して（→ P.16）、[祝祭日（年月日）] タブをクリックします。



[カレンダー設定] の [祝祭日（年月日）] タブの内容に切り替わります。



2

[春分・秋分の日設定(2022～2031年)]をクリックします。

カレンダー設定

Top > カレンダー設定 > 祝祭日(年月日)

特定日(月日) 祝祭日(月日) 特定日(年月日) 祝祭日(年月日)

祝祭日設定(年月日)

祝祭日に任意の日を設定することができます。
既に設定されている日は設定することできません。
(*は必須設定項目です。)

年月日(Y) 年 月 日

設定 [春分・秋分の日設定(2022～2031年)] ※1

*1 10年分の春分の日と秋分の日を自動で入力します。
既に設定されている日は設定することできません。
(*は必須設定項目です。)

※2 2022年以降の春分の日と秋分の日の登録が重ならないように、[祝祭日(月日)]で毎年決まった祝祭日として春分の日と秋分の日が設定されている場合は、設定を解除してください。

祝祭日設定(年月日)の設定はありません。

ポップアップが表示されます。

3

表示されたポップアップで[OK]をクリックします。

10年分(2022～2031年)の春分の日と秋分の日が、画面に一覧表示されます。
※リストは年月日の順に並んで表示されます。

カレンダー設定

Top > カレンダー設定 > 祝祭日(年月日)

特定日(月日) 祝祭日(月日) 特定日(年月日) 祝祭日(年月日)

祝祭日設定(年月日)

祝祭日に任意の日を設定することができます。
既に設定されている日は設定することできません。
(*は必須設定項目です。)

年月日(Y) 年 月 日

設定 [春分・秋分の日設定(2022～2031年)] ※1

*1 10年分の春分の日と秋分の日を自動で入力します。
2022年以降の春分の日と秋分の日の登録が重ならないように、[祝祭日(月日)]で毎年決まった祝祭日として春分の日と秋分の日が設定されている場合は、設定を解除してください。

<input type="checkbox"/> 2022年3月21日
<input type="checkbox"/> 2022年9月23日
<input type="checkbox"/> 2023年3月21日
<input type="checkbox"/> 2023年9月23日
<input type="checkbox"/> 2024年3月20日
<input type="checkbox"/> 2024年9月22日
<input type="checkbox"/> 2025年3月20日
<input type="checkbox"/> 2025年9月23日
<input type="checkbox"/> 2026年3月20日
<input type="checkbox"/> 2026年9月23日
<input type="checkbox"/> 2027年3月21日

今日も前日チェック

注意: 判除対象日にチェックしてから削除ボタンを押してください。

削除

以上で、2022～2031年の春分の日と秋分の日の一括登録は完了です。

続けて、2022年以降の春分の日と秋分の日の登録が重ならないように、[祝祭日(月日)]で毎年決まった祝祭日として春分の日と秋分の日が設定されている場合は、設定を解除します。

4

[祝祭日(月日)]タブをクリックします。

祝祭日はカレンダー上にピンク色で表示されています。

5

春分の日の日付を選択して、[解除]をクリックします。

カレンダーで3月21日前後のピンク色の日付を探してください。

参照》「システム全体の毎年決まった祝祭日を登録する」—

「■日付ごとに祝祭日を登録する(祝祭日設定(月日指定))」(→ P.20)

6

秋分の日の日付を選択して、[解除]をクリックします。

カレンダーで9月23日前後のピンク色の日付を探してください。

以上で、2022年～2031年の春分の日と秋分の日は前頁の表の「みなし日」に登録されます。

■ 年月日指定の祝祭日の設定を解除するには

祝祭日を解除したい場合は、次の操作手順で日付を削除します。

- [祝祭日(年月日)] タブの画面で、画面下のリストから祝祭日の設定を解除する年月日の行頭の□をクリックしてチェックを付けます。

MEMO

過去の日付の祝祭日設定をすべて解除したい場合は、「今日より前をチェック」をクリックすると、現在の日付と比較し、過去の日付にチェックが付きます。

特定日(月日) 祝祭日(月日) 特定日(年月日) **祝祭日(年月日)**

祝祭日設定(年月日)

祝祭日に任意の日を設定することができます。
既に設定されている日は設定することができません。
(*)は必須設定項目です。

年月日(*) [] 年 [] 月 [] 日

[設定] [春分・秋分の日設定(2022~2031年)] ※1

*1 10年分の春分の日と秋分の日を自動で入力します。
2022年以降の春分の日と秋分の日の登録が重ならないように、[祝祭日(月日)]で毎年決まった祝祭日として春分の日と秋分の日が設定されている場合は、設定を解除してください。

<input type="checkbox"/> 2022年3月21日
<input type="checkbox"/> 2022年9月23日
<input type="checkbox"/> 2023年3月21日
<input type="checkbox"/> 2023年9月23日
<input checked="" type="checkbox"/> 2024年3月20日
<input type="checkbox"/> 2024年9月22日
<input type="checkbox"/> 2025年3月20日
<input type="checkbox"/> 2025年9月23日
<input type="checkbox"/> 2026年3月20日
<input type="checkbox"/> 2026年9月23日
<input type="checkbox"/> 2027年3月21日

[今日より前をチェック]

注意:削除対象日にチェックしてから削除ボタンを押してください。

[削除]

- [削除] をクリックします。

ポップアップが表示されます。

- 表示されたポップアップで [OK] をクリックします。

選択した年月日の祝祭日設定が解除され、画面下のリストから削除されます。

特定日(月日) 祝祭日(月日) 特定日(年月日) **祝祭日(年月日)**

祝祭日設定(年月日)

祝祭日に任意の日を設定することができます。
既に設定されている日は設定することができません。
(*)は必須設定項目です。

年月日(*) [] 年 [] 月 [] 日

[設定] [春分・秋分の日設定(2022~2031年)] ※1

*1 10年分の春分の日と秋分の日を自動で入力します。
2022年以降の春分の日と秋分の日の登録が重ならないように、[祝祭日(月日)]で毎年決まった祝祭日として春分の日と秋分の日が設定されている場合は、設定を解除してください。

<input type="checkbox"/> 2022年3月21日
<input type="checkbox"/> 2022年9月23日
<input type="checkbox"/> 2023年3月21日
<input type="checkbox"/> 2023年9月23日
<input type="checkbox"/> 2024年9月22日
<input type="checkbox"/> 2025年3月20日
<input type="checkbox"/> 2025年9月23日
<input type="checkbox"/> 2026年3月20日
<input type="checkbox"/> 2026年9月23日
<input type="checkbox"/> 2027年3月21日
<input type="checkbox"/> 2027年9月23日

[今日より前をチェック]

注意:削除対象日にチェックしてから削除ボタンを押してください。

[削除]

■ 年月日を指定して祝祭日を登録する

1 [祝祭日(年月日)] タブの画面で、[年月日] に祝祭日に設定する年、月、日をそれぞれ入力し、[設定] をクリックします。

年は西暦(4桁の半角数字)で入力、月は1～12の半角数字、日は1～31の半角数字で入力してください。

特定日(月日) 祝祭日(月日) 特定日(年月日) 祝祭日(年月日)

祝祭日設定(年月日)

祝祭日に任意の日を設定することができます。
既に設定されている日は設定することができます。
(*)は必須設定項目です。

年月日 (*) 2031 年 7 月 24 日

設定 春分・秋分の日設定(2022～2031年) ※1

※1 10年分の春分の日と秋分の日を自動で入力します。
2022年以降の春分の日と秋分の日の登録が重ならないように、[祝祭日(月日)]で毎年決まった祝祭日として春分の日と秋分の日が設定されている場合は、設定を解除してください。

祝祭日設定(年月日)の設定はありません。

ポップアップが表示されます。

2 表示されたポップアップで[OK]をクリックします。

入力した年月日が祝祭日として登録され、画面下のリストに追加されます。

※リストは年月日の順に並んで表示されます。

特定日(月日) 祝祭日(月日) 特定日(年月日) 祝祭日(年月日)

祝祭日設定(年月日)

祝祭日に任意の日を設定することができます。
既に設定されている日は設定することができます。
(*)は必須設定項目です。

年月日 (*) 年 月 日

設定 春分・秋分の日設定(2022～2031年) ※1

※1 10年分の春分の日と秋分の日を自動で入力します。
2022年以降の春分の日と秋分の日の登録が重ならないように、[祝祭日(月日)]で毎年決まった祝祭日として春分の日と秋分の日が設定されている場合は、設定を解除してください。

□ 2031年7月24日

今日より前をチェック

注意:削除対象日にチェックしてから削除ボタンを押してください。

削除

MEMO

- すでに祝祭日または特定日に登録されている日を重複登録した場合は、P.16 の MEMO に記載した優先順位に従って、休日または平日として扱われます。
- ここで春分の日と秋分の日を登録した場合は、[祝祭日(月日)] で登録されていないことを確認してください。[祝祭日(月日)] でも登録されている場合は、登録が重ならないように [祝祭日(月日)] で春分の日と秋分の日の設定を解除してください。
[祝祭日(月日)] での登録確認と設定解除の操作については「■ 10年分の春分・秋分の日を一括登録する」(➡ P.28) の手順 4 以降を参照してください。

内線番号とドアホン名の設定（内線一覧）

自テナントグループに所属する内線の内線一覧やドアホン一覧を表示して、登録されている番号や名称を確認したり、新たに名称を登録したりすることができます。登録した名称は、必要に応じていつでも編集・削除することができます。

内線番号とドアホン名の設定は、ユーザ種別によって操作できる内容が異なります。

操作	管理ユーザ	一般ユーザ	参照先
内線一覧を確認する	○	○	P.32
内線の名称を登録する	○	○	P.34
ドアホン一覧を確認する	○	○	P.36
ドアホンの名称を登録する	○	—	P.37

○：操作可能 —：操作不可

MEMO

内線一覧 / ドアホン一覧には、他テナントグループの内線は表示されません。対象のテナントグループに所属する内線番号でログインしてください。ログインした内線が所属するテナントグループの内線一覧 / ドアホン一覧を表示し、内線名称 / ドアホン名称を登録、編集することができます。

内線一覧を確認する
管理
一般

内線一覧を表示して、内線番号や名称を確認できます。内線一覧は、50台ごとにプルダウンできるので、目的の番号を素早く見つけることができます。すでに名称が登録されている場合は、一覧の表示を力ナ順に並べ替えることもできます。

1 Web 設定を起動します。

参照》第1章の「Web 設定の起動と終了」(→ P.3)

2 左メニューで [内線一覧] をクリックします。

2

つづく→

[内線一覧] の [内線] タブに内線一覧が表示されます。

The screenshot shows the 'Inbound Line List' page. On the left is a sidebar with various settings like User Name, Password Change, Time Settings, and Call Log. The main area has tabs for 'Inbound' and 'Doorphone'. The 'Inbound' tab is selected, showing a table with columns: Inbound Number, Pinyin Name, and Katakana Name. The table lists numbers from 2000 to 2016.

Inbound Number	Pinyin Name	Katakana Name
内線2000		
内線2001		
内線2002		
内線2003		
内線2004		
内線2005		
内線2006		
内線2007		
内線2008		
内線2009		
内線2010		
内線2011		
内線2012		
内線2013		
内線2014		
内線2015		
内線2016		

3 [並び替え] のプルダウンメニューで目的の内線番号のグループを選択します。

The screenshot shows the same 'Inbound Line List' page, but the sorting dropdown menu is open. The '番号順' (Number Order) option is selected. The table below shows the same list of inbound lines as before.

Inbound Number	Pinyin Name	Katakana Name
内線2000…		
内線2000		
内線2001		
内線2002		
内線2003		
内線2004		
内線2005		
内線2006		
内線2007		
内線2008		
内線2009		
内線2010		
内線2011		
内線2012		
内線2013		
内線2014		

- [次へ] をクリックすると、次の 50 件が表示されます。
- [前へ] をクリックすると、前の 50 件が表示されます。
- 内線のカナ名称が登録されている場合、[カナ順] をクリックすると、内線一覧がカナ名称順に並び替わります。

内線の名称を登録する

管理

一般

内線に名称を登録することができます。内線に名称を登録すると、待機中や発着信時に電話機のディスプレイにご自分や相手の内線名称が表示されます。内線名称には、漢字名称とカナ名称を登録できます。漢字名称には全角10文字まで、カナ名称には半角20文字まで登録できます。

- 一般ユーザの場合は、ご自分の内線名称のみ登録できます。
- 管理ユーザの場合は、すべての内線名称を登録できます。

1 [内線一覧] 画面の [内線] タブで (→ P.32)、名称を登録する内線番号をクリックします。

すでに名称が登録されている内線番号を選択すると、名称の編集・削除を行うことができます。

内線番号	漢字名称	カナ名称
内線2000		
内線2001		
内線2002		
内線2003		
内線2004		
内線2005		
内線2006		
内線2007		
内線2008		
内線2009		
内線2010		
内線2011		
内線2012		
内線2013		
内線2014		
内線2015		
内線2016		

2 以下の項目を設定します。

漢字名称とカナ名称の両方、またはどちらかを登録します。

漢字名称	山田太郎	(全角10文字／半角20文字以内)
カナ名称	ヤマダタロウ	(半角20文字以内)

項目	内容
漢字名称	<p>選択した内線の漢字名称を入力します。[漢字名称]には、全角文字(漢字、ひらがな、カナ、英字、数字、記号)で最大10文字まで、半角文字(カナ、英字、数字、記号)で最大20文字まで入力できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 内線の漢字名称には、全角半角を混在させた名称を登録できます。 すでに漢字名称が登録された内線を選択した場合、ここで名称を変更できます。 選択した内線からの着信時、ここで登録した漢字名称が電話機のディスプレイに表示されます。
カナ名称	<p>選択した内線のカナ名称を入力します。[カナ名称]は半角文字(カナ、英字、数字、記号)で最大20文字まで入力できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> カナ名称を登録すると、内線一覧をカナ名称順に並べ替えることができます。 すでにカナ名称が登録された内線を選択した場合、ここで名称を変更できます。 漢字名称を登録せずにカナ名称のみを登録すると、その内線からの着信時、電話機のディスプレイにはカナ名称が表示されます。

3

[設定]をクリックします。

- 名称を削除する場合は、[削除]をクリックします。

ポップアップが表示されます。

4

表示されたポップアップで[OK]をクリックします。

入力した名称が登録され、内線一覧に表示されます。以降、ここで登録した名称が、待機中や発着信時に電話機のディスプレイに表示されます。

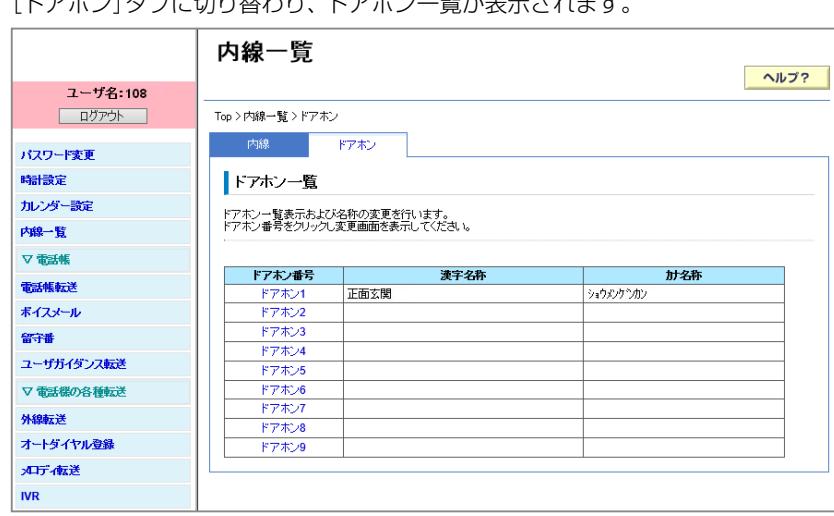
- [削除]をクリックした場合は、名称が削除され、内線一覧には内線番号のみが表示されます。

内線番号	漢字名前	ｶﾅ名前
内線2000		
内線2001	山田太郎	ﾔﾏﾀﾞﾀﾛｳ
内線2002		
内線2003		
内線2004		
内線2005		
内線2006		
内線2007		
内線2008		
内線2009		
内線2010		
内線2011		
内線2012		
内線2013		
内線2014		

1 [内線一覧] 画面を表示して(→ P.32)、[ドアホン] タブをクリックします。



[ドアホン] タブに切り替わり、ドアホン一覧が表示されます。



ドアホンの名称を登録する

管理

本システムには、最大9台のドアホンを利用できます。Web設定を使って、接続されたドアホンにそれぞれ名称を登録できます。ドアホンに名称を登録すると、ドアホン着信時に電話機のディスプレイにドアホン名称が表示されます。ドアホン名称には、漢字名称とカナ名称を登録できます。

1 [内線一覧] 画面を表示して(→P.32)、[ドアホン] タブをクリックします。

The screenshot shows the 'Inbound Call List' (内線一覧) page. On the left is a sidebar with various settings like Password Change, Timer Setting, and Call Log. The main area has tabs for 'Inbound' (内線) and 'Doorbell' (ドアホン), with 'Doorbell' being the active tab. Below the tabs is a note: '表示および名称の変更を行います。' (Change display and name). A table lists 20 internal lines (内線) numbered 2000 to 2019, each with a 'Edit' (編集) link. The first entry, '内線2001 山田太郎', has its details shown in a preview pane: 漢字名称 (Hankou Tenmei) '山田太郎' and 加名称 (Kaname) 'ヤマダタロウ'.

内線番号	漢字名称	カナ名称
内線2000		
内線2001	山田太郎	ヤマダタロウ
内線2002		
内線2003		
内線2004		
内線2005		
内線2006		
内線2007		
内線2008		
内線2009		
内線2010		
内線2011		
内線2012		
内線2013		
内線2014		
内線2015		
内線2016		
内線2017		
内線2018		
内線2019		

[ドアホン] タブに切り替わり、ドアホン一覧が表示されます。

2 名称を登録するドアホン番号をクリックします。

すでに名称が登録されているドアホン番号を選択すると、名称の編集・削除を行うことができます。

The screenshot shows the 'Doorbell List' (ドアホン一覧) page. The sidebar and tabs are identical to the previous screen. The main area shows a table of doorbells. The first row, 'ドアホン1 正面玄関 シュウガクシカウ', is highlighted with a red box. A note above the table says: 'ドアホン表示および名称の変更を行います。' (Change display and name). The table has columns for 'Doorbell Number' (ドアホン番号), 'Display Name' (漢字名称), and 'Kana Name' (カナ名称).

ドアホン番号	漢字名称	カナ名称
ドアホン1	正面玄関	ショウガクシカウ
ドアホン2		
ドアホン3		
ドアホン4		
ドアホン5		
ドアホン6		
ドアホン7		
ドアホン8		
ドアホン9		

3**以下の項目を設定します。**

漢字名称とカナ名称の両方、またはどちらかを登録します。

漢字名称	裏口	(全角10文字／半角20文字以内)
カナ名称	ウラグチ	(半角20文字以内)

設定 削除

項目	内容
漢字名称	<p>選択したドアホンの漢字名称を入力します。[漢字名称]には、全角文字(漢字、ひらがな、カナ、英字、数字、記号)で最大 10 文字まで、半角文字(カナ、英字、数字、記号)で最大 20 文字まで入力できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ドアホンの漢字名称には、全角半角を混在させた名称を登録できます。 すでに漢字名称が登録されたドアホンを選択した場合、ここで名称を変更できます。 漢字名称を削除する場合は、[漢字名称]欄を空白にします。 選択したドアホンからの着信時、ここで登録した漢字名称が電話機のディスプレイに表示されます。
カナ名称	<p>選択したドアホンのカナ名称を入力します。[カナ名称]には、半角文字(カナ、英字、数字、記号)で最大 20 文字まで入力できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> すでにカナ名称が登録されたドアホンを選択した場合、ここで名称を変更できます。 カナ名称を削除する場合は、[カナ名称]欄を空白にします。 漢字名称を登録せずにカナ名称のみを登録すると、そのドアホンからの着信時、電話機のディスプレイにはカナ名称が表示されます。

4**[設定]をクリックします。**

- ドアホンの設定を取り消すには、[削除]をクリックします。

ポップアップが表示されます。

5**表示されたポップアップで[OK]をクリックします。**

入力した名称が登録され、ドアホン一覧に表示されます。以降、ここで登録した名称が、ドアホン着信時に電話機のディスプレイに表示されます。

- [削除]をクリックした場合は、名称が削除され、ドアホン一覧にはドアホン番号のみが表示されます。

ドアホン番号	漢字名称	カナ名称
ドアホン1	正面玄関	ショウジンケン
ドアホン2	裏口	ウラグチ
ドアホン3		
ドアホン4		
ドアホン5		
ドアホン6		
ドアホン7		
ドアホン8		
ドアホン9		

電話帳の登録（共通電話帳／個別電話帳）

本システムでは、共通電話帳と個別電話帳 2 つの電話帳を使い分けることができます。

共通電話帳は、テナントに所属するすべての内線で利用できます。個別電話帳は各内線ごとに利用できます。それぞれの電話帳に別々の情報（電話番号や漢字名称、カナ名称など）を登録できます。共通電話帳と個別電話帳ともに、登録時にグループを指定して、取引先別など、電話帳をグループ分けすることもできます。

共通電話帳と個別電話帳を合わせて、最大 10,000 件までの情報を登録できます。

MEMO

- 共通電話帳はテナントごとに管理されています。対象のテナントに所属するシステム管理電話機の内線番号でログインしてください。ログインした内線が所属するテナントの共通電話帳を登録、編集、削除、閲覧することができます。
- 個別電話帳は内線ごとに管理されています。ログインした内線の個別電話帳を登録、編集、削除、閲覧することができます。

電話帳は、ユーザ種別によって操作できる内容が異なります。

操作	管理ユーザ	一般ユーザ	参照先
共通電話帳の登録内容を確認する	○	○	P.39
共通電話帳に電話番号などの情報を新規登録する	○	—	P.42
共通電話帳の登録内容を編集／削除する	○	—	P.45
共通電話帳のグループを管理する	○	△(閲覧のみ)	P.46
個別電話帳の登録内容を確認する	○	○	P.49
個別電話帳に電話番号などの情報を新規登録する	○	○	P.51
個別電話帳の登録内容を編集／削除する	○	○	P.53
個別電話帳のグループを管理する	○	○	P.55

○：操作可能

△：閲覧のみ可能

—：操作不可

共通電話帳の登録内容を確認する

管理

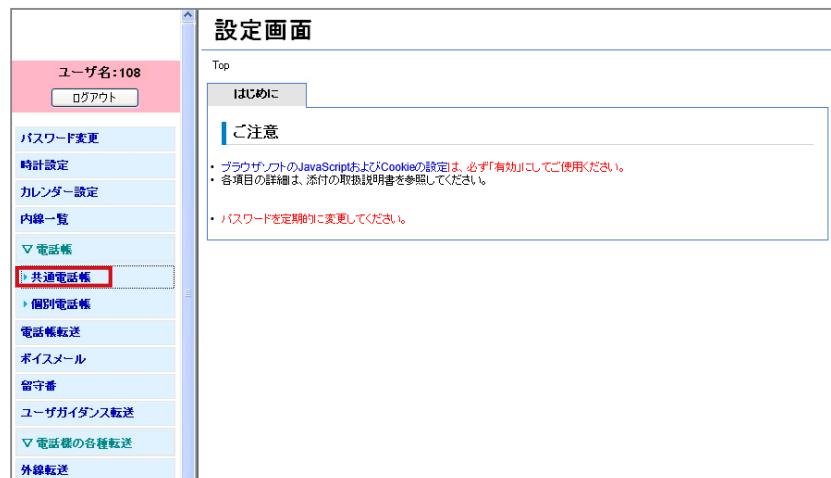
一般

共通電話帳に登録されている内容を確認できます。電話帳一覧では、メモリ番号を 50 件ごとにプルダウンできるので、目的の相手を素早く見つけることができます。カナ名称が登録されている場合は、一覧の表示をカナ順に並べ替えることもできます。

1 Web 設定を起動します。

参照》第 1 章の「Web 設定の起動と終了」(→ P.3)

2 左メニューで [電話帳] – [共通電話帳] をクリックします。



つづく→

3

[共通電話帳] の [電話帳一覧] タブに電話帳一覧が表示されます。

メモリ番号	漢字名前	カタ名称	電話番号/メモ	電話帳グループ番号
0000	○○株式会社	マルマルカクシキカイシャ	0311112222	グループ0
0001	△△株式会社	サンカラサンカラカクシキカイシャ	0322223333	グループ0

[並び替え] のプルダウンメニューで目的のメモリ番号のグループを選択します。

メモリ番号	漢字名前	カタ名称	電話番号/メモ	電話帳グループ番号
0000	○○株式会社	マルマルカクシキカイシャ	0311112222	グループ0
0001	△△株式会社	サンカラサンカラカクシキカイシャ	0322223333	グループ0

- [次へ] をクリックすると、次の 50 件が表示されます。
- [前へ] をクリックすると、前の 50 件が表示されます。
- 共通電話帳のカナ名称が登録されている場合、[カナ順] をクリックすると、電話帳一覧がカナ名称順に並び替わります。

4

詳細情報を確認する場合は、目的のメモリ番号をクリックします。

- 管理ユーザの場合は [詳細情報] の内容が編集可能な状態で表示されます。共通電話帳の編集については、「共通電話帳の登録内容を編集 / 削除する」(→ P.45) を参照してください。
- 一般ユーザの場合は [詳細情報] の内容が表示され、内容は編集できません。
- 一覧表示に戻す場合は、[電話帳一覧] タブをクリックします。

つづく→

<管理ユーザの場合の詳細情報>

電話帳一覧		新規登録	電話帳グループ
詳細情報			
共通電話帳詳細情報を表示します。 (*)は必須設定項目です。			
メモリ番号	0000		
電話番号1(*)	0311112222 (半角32桁以内) ※1 外線 <input type="button" value="▼"/> 00 (方路指定選択時のみ有効、0~63)		
電話番号2(*)	_____ (半角32桁以内) ※1 外線 <input type="button" value="▼"/> 00 (方路指定選択時のみ有効、0~63)		
電話番号3(*)	_____ (半角32桁以内) ※1 外線 <input type="button" value="▼"/> 00 (方路指定選択時のみ有効、0~63)		
漢字名称	〇〇株式会社 (全角16文字／半角32文字以内)		
カナ名称	マルマルカシキカイシャ (半角32文字以内)		
電話帳グループ番号	グループ0 <input type="button" value="▼"/>		
識別着信音	<input checked="" type="radio"/> 無し <input type="radio"/> トーン 1 <input type="button" value="▼"/> <input type="radio"/> メロディ <input type="button" value="▼"/> 著信メロディ <input type="button" value="▼"/> <input type="radio"/> 外部音源 1 <input type="button" value="▼"/>		
着信形式	昼	無し <input type="button" value="▼"/> _____ ※2	
	夜間A-1	無し <input type="button" value="▼"/> _____ ※2	
	夜間A-2	無し <input type="button" value="▼"/> _____ ※2	
	夜間A-3	無し <input type="button" value="▼"/> _____ ※2	
	夜間B	無し <input type="button" value="▼"/> _____ ※2	
ACR機能	<input type="radio"/> 利用しない <input checked="" type="radio"/> 利用する		
発番号通知	網契約に従う <input type="button" value="▼"/>		
メモ	(全角16文字／半角32文字以内)		

※1 設定には電話番号1～3の最低1つの登録が必要です
(未入力の場合)は番号無となります)
※2 内線選択時 :内線番号1～4桁
DGL選択時 :グループ 0～99
MSA選択時 :グループ 0～99
開番号選択時 :番号1～4桁
着信代行選択時 :MBX番号1～8桁

<一般ユーザの場合の詳細情報>

電話帳一覧		電話帳グループ
詳細情報		
共通電話帳詳細情報を表示します。		
メモリ番号	0000	
電話番号1	0311112222 (発信種別:外線)	
電話番号2		
電話番号3		
漢字名称	〇〇株式会社	
カナ名称	マルマルカシキカイシャ	
電話帳グループ番号	グループ0	
識別着信音	無し	
着信形式	昼	無し
	夜間A-1	無し
	夜間A-2	無し
	夜間A-3	無し
	夜間B	無し
ACR機能	利用する	
発番号通知	網契約に従う	
メモ		

共通電話帳に電話番号などの情報を新規登録する

管理

共通電話帳に電話番号や漢字名称、カナ名称などを新規に登録します。

1

[共通電話帳] 画面を表示して(→ P.39)、[新規登録] タブをクリックします。

メモリ番号	漢字名称	カナ名称	電話番号/メモ	電話帳グループ番号
0000	○○株式会社	マルマルカシキカイシャ	0311112222	グループ0
0001	△△株式会社	サンカサンカカフカシカイシャ	0322223333	グループ0

[新規登録] タブに切り替わり、電話帳の項目が表示されます。

2

基本情報を登録します。

メモリ番号 (*)	* [入力欄] <0000～9999:空き番号へ登録>
電話番号1(*)	外線 [ドロップダウン] 00 [入力欄] (半角32桁以内) ※1 (方路指定選択時のみ有効、0～63)
電話番号2(*)	外線 [ドロップダウン] 00 [入力欄] (半角32桁以内) ※1 (方路指定選択時のみ有効、0～63)
電話番号3(*)	外線 [ドロップダウン] 00 [入力欄] (半角32桁以内) ※1 (方路指定選択時のみ有効、0～63)
漢字名称	[入力欄] (全角16文字/半角32文字以内)
カナ名称	[入力欄] (半角32文字以内)
メモ	[入力欄] (全角16文字/半角32文字以内)

※1 登録には電話番号1～3の最低1つの登録が必要です
(未入力の場合は番号無しとなります)

[設定] [全設定項目表示]

(*) の付いた項目は必ず登録してください。

項目	内容
メモリ番号 *	<p>メモリ番号を入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「*」を入力すると、空き番号のなかで、一番若い番号が自動的に選択されます。 ● 0～9999 の範囲で選択できます。 ● すでに登録されているメモリ番号を選択すると、保存時にエラーメッセージが表示され、上書きできませんのでご注意ください。 <p>※すでに登録されているメモリ番号に電話番号を登録(変更)したい場合は、編集画面を表示して(→ P.45)、変更してください。</p>

つづく→

項目	内容
電話番号 1*	最低 1 つの電話番号の登録が必要です。
電話番号 2*	電話番号を入力し、プルダウンメニューから電話番号種別を選択します。 外線 : 外線番号の登録時に選択します。
電話番号 3*	特番展開 : 主装置に接続されている内線電話の電話番号(内線番号)の登録時に選択します。 PBX : 構内交換機(PBX)に接続されている内線電話の電話番号(内線番号)の登録時に選択します。 方路指定 : 方路を指定する場合、方路番号を入力します。 <ul style="list-style-type: none"> ● それぞれ最大 32 行まで登録できます。 ● 半角の 0 ~ 9、*、#、特殊コード(-:オートポーズ、P:PB 切替、E:自動終話コード、[](スペース):ネスティングダイヤル)が入力できます。
MEMO	
<ul style="list-style-type: none"> ● 電話番号登録の詳細については、『取扱説明書(多機能電話機編)』 - 「1-7 電話帳の登録」を参照してください。 ● 方路番号などの用語については、『取扱説明書(多機能電話機編)』 - 「A-1 用語説明」を参照してください。 	
漢字名称	必要に応じて、漢字名称を入力します。[漢字名称]を登録すると、以降、この相手からの着信時に漢字名称が電話機のディスプレイに表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> ● 漢字、ひらがな、全角 / 半角のカナ、英数、記号を入力できます。 ● 最大全角 16 文字まで入力できます。
カナ名称	必要に応じて、カナ名称を入力します。[カナ名称]を登録すると、電話帳一覧をカナ順に並べ替えることができます。 <ul style="list-style-type: none"> ● 半角のカナ、英数、記号を入力できます。 ● 最大半角 32 文字 ● 漢字名称を登録せずにカナ名称を登録すると、以降、この相手からの着信時にカナ名称が電話機のディスプレイに表示されます。
メモ	必要に応じて、メモを入力します。 <ul style="list-style-type: none"> ● 漢字、ひらがな、全角 / 半角のカナ、英数、記号を入力できます。 ● 最大全角 16 文字まで入力できます。

3 必要に応じて、[全設定項目表示] をクリックし、詳細情報を登録します。

メモリ番号(*) * (0000~9999):空き番号へ登録

電話番号1(*) 03-444-555 (半角32桁以内) ※1
外線 □ 〇 (方路指定選択時のみ有効. 0~63)

電話番号2(*) 外線 □ 〇 (方路指定選択時のみ有効. 0~63)

電話番号3(*) 外線 □ 〇 (方路指定選択時のみ有効. 0~63)

漢字名称 △一株式会社 (全角16文字/半角32文字以内)

カナ名称 ヤマ(カガシ)カジカ

電話帳グループ番号 グループ0

識別着信音 無し トーン 1 メロディ 着信メロディ1 外部音源 1

着信形式

星	無し	※2
夜間A1	無し	※2
夜間A2	無し	※2
夜間A3	無し	※2
夜間B	無し	※2

ACR機能 利用しない 利用する

発番号通知 紙契約に従う

メモ (全角16文字/半角32文字以内)

※1 登録には電話番号1~3の最低1つの登録が必要です
(未入力の場合は番号無になります)
※2 内線選択時 :内線番号1~4桁
DGL選択時 :グループ 0~99
MSA選択時 :グループ 0~99
開番号選択時 :番号 1~4桁
着信代行選択時 :MBX番号 1~8行

設定

つづく→

4

5

[設定] をクリックします。

ポップアップが表示されます。

表示されたポップアップで [OK] をクリックします。

登録した内容が共通電話帳に保存され、共通電話帳の電話帳一覧に表示されます。

電話帳一覧				
新規登録 電話帳グループ				
電話帳一覧				
共通電話帳一覧表示および電話帳編集を行います。				
並び替え	番号順	カナ順	前へ	次へ
メモリ番号	漢字名称	カナ名称	電話番号/メモ	電話帳グループ番号
0000	○○株式会社	マルマルカワジカイシャ	0311112222	グループ0
0001	△△株式会社	サンカクサンカカジカイシャ	0322223333	グループ0
0002	△一株式会社	ヤマイカワジカイシャ	03444555	グループ0
前へ 次へ				

共通電話帳にすでに登録されている相手の情報を編集または削除します。

1 [共通電話帳] の [電話帳一覧] タブで (➡ P.39)、目的のメモリ番号をクリックします。

メモリ番号	漢字名称	カナ名称	電話番号／メモ	電話帳グループ番号
0000	○○株式会社	マルマルカシキカシキ	0311112222	グループ0
0001	△△株式会社	サンカツカカカシキカシキ	0322223333	グループ0
0002	△△株式会社	ヤマイチカシキカシキ	03444555	グループ0

[電話帳一覧] タブの [詳細情報] に切り替わり、電話帳の登録内容が表示されます。

2 必要に応じて、登録内容を編集します。

(*)の付いた項目を空欄にしないでください。

メモリ番号	0002	
電話番号1~3(*)	03444555 外線 □ 00 (方路指定選択時のみ有効、0~63)	
電話番号2(*)	外線 □ 00 (方路指定選択時のみ有効、0~63)	
電話番号3(*)	外線 □ 00 (方路指定選択時のみ有効、0~63)	
漢字名称	△一株式会社 (全角16文字／半角32文字以内)	
カナ名称	ヤマイチカシキカシキ (半角32文字以内)	
電話帳グループ番号	グループ0 □	
識別暗証音	<input type="radio"/> 無し <input checked="" type="radio"/> トーン 1 □ <input type="radio"/> メロディ 著者メロディ1 □ <input type="radio"/> 外部音源 1 □	
着信形式	昼	無し □ ※2
	夜間A1	無し □ ※2
	夜間A2	無し □ ※2
	夜間A3	無し □ ※2
	夜間B	無し □ ※2
ACR機能	<input type="radio"/> 利用しない <input checked="" type="radio"/> 利用する	
発番号通知	網契約に従う □	
メモ	(全角16文字／半角32文字以内)	

※1 設定1回は電話番号1~3の最低1つの登録が必要です
(未入力の場合は番号無しとなります)
※2 内線選択時 :内線番号1~4桁
DGL選択時 :グループ 0~99
MSA選択時 :グループ 0~99
開番号選択時 :番号1~4桁
着信代行選択時 :MBX番号1~8桁

設定 削除

設定項目については、「共通電話帳に電話番号などの情報を新規登録する」(➡ P.42) の手順 2 ~ 3 を参照してください。

3**[設定] をクリックします。**

- 登録を削除する場合は、[削除] をクリックします。

ポップアップが表示されます。

4**表示されたポップアップで [OK] をクリックします。**

編集した内容が共通電話帳に保存され、電話帳一覧の内容が更新されます。

共通電話帳のグループを管理する

共通電話帳には、あらかじめ 10 個のグループが用意されています。このグループに漢字名称やカナ名称、リモートコールバック利用の有無、着信ランプの色を登録できます。

- 共通電話帳グループの場合、一般ユーザが操作できるのはグループ一覧のみです。
- 登録先のグループは、電話帳の新規登録時(→ P.42)または編集時(→ P.45)に指定します。

ここでは、以下の 2 つの操作について説明します。

- すでに登録されているグループ情報を確認する(→ P.46)
- グループ情報を登録する(→ P.47)

■ すでに登録されているグループ情報を確認する 管理 一般**1**

[共通電話帳] 画面を表示して(→ P.39)、[電話帳グループ] タブをクリックします。

メモリ番号	漢字名前	カナ名前	電話番号/メモ	電話帳グループ番号
0000	○○株式会社	マルマルカシキカシキ	0311112222	グループ0
0001	△△株式会社	サンカラサンカラカシキカシキ	0322223333	グループ0

[電話帳グループ] タブに切り替わり、共通電話帳のグループ一覧が表示されます。

つづく→

<管理ユーザの共通電話帳グループ一覧>

管理ユーザの場合、このままグループ情報を登録することもできます。

電話帳一覧 新規登録 電話帳グループ

電話帳グループ

共通電話帳グループを編集します。

電話帳グループ番号	漢字名称 (全角5文字／半角10文字以内)	カナ名称 (半角10文字以内)	リモートコールバック	着信ランプ
グループ0	グループ0	グループ0	する	設定無し
グループ1	グループ1	グループ1	する	設定無し
グループ2	グループ2	グループ2	しない	設定無し
グループ3	グループ3	グループ3	しない	設定無し
グループ4	グループ4	グループ4	しない	設定無し
グループ5	グループ5	グループ5	しない	設定無し
グループ6	グループ6	グループ6	しない	設定無し
グループ7	グループ7	グループ7	しない	設定無し
グループ8	グループ8	グループ8	しない	設定無し
グループ9	グループ9	グループ9	しない	設定無し

設定 初期化

<一般ユーザの共通電話帳グループ一覧>

電話帳一覧 電話帳グループ

電話帳グループ

共通電話帳グループを表示します。

電話帳グループ番号	漢字名称	カナ名称	リモートコールバック	着信ランプ
グループ0	グループ0	グループ0	する	設定無し
グループ1	グループ1	グループ1	する	設定無し
グループ2	グループ2	グループ2	しない	設定無し
グループ3	グループ3	グループ3	しない	設定無し
グループ4	グループ4	グループ4	しない	設定無し
グループ5	グループ5	グループ5	しない	設定無し
グループ6	グループ6	グループ6	しない	設定無し
グループ7	グループ7	グループ7	しない	設定無し
グループ8	グループ8	グループ8	しない	設定無し
グループ9	グループ9	グループ9	しない	設定無し

■ グループ情報を登録する 管理

- 1 [共通電話帳] の [電話帳グループ] タブで (→ P.46)、目的のグループ番号の以下の項目を設定します。

電話帳一覧 新規登録 電話帳グループ

電話帳グループ

共通電話帳グループを編集します。

電話帳グループ番号	漢字名称 (全角5文字／半角10文字以内)	カナ名称 (半角10文字以内)	リモートコールバック	着信ランプ
グループ0	グループ0	グループ0	する	設定無し
グループ1	グループ1	グループ1	する	設定無し
グループ2	グループ2	グループ2	しない	設定無し
グループ3	グループ3	グループ3	しない	設定無し
グループ4	グループ4	グループ4	しない	設定無し
グループ5	グループ5	グループ5	しない	設定無し
グループ6	グループ6	グループ6	しない	設定無し
グループ7	グループ7	グループ7	しない	設定無し
グループ8	グループ8	グループ8	しない	設定無し
グループ9	グループ9	グループ9	しない	設定無し

設定 初期化

つづく→

項目	内容
漢字名称	選択したグループの漢字名称を入力します。[漢字名称]には、全角文字(漢字、ひらがな、カナ、英字、数字、記号)で最大5文字まで、半角文字(カナ、英字、数字、記号)で最大10文字まで入力できます。 <ul style="list-style-type: none"> ● グループの漢字名称には、全角半角を混在させた名称を登録できます。 ● すでに漢字名称が登録されたグループの場合、ここで名称を変更できます。
カナ名称	選択したグループのカナ名称を入力します。[カナ名称]には、半角文字(カナ、英字、数字、記号)で最大10文字まで入力できます。 <ul style="list-style-type: none"> ● すでにカナ名称が登録されたグループの場合、ここで名称を変更できます。
リモートコールバック	リモートコールバック機能を利用するかどうかを設定します。プルダウンメニューから[する]/[しない]のどちらかを選択します。
着信ランプ	該当グループに所属する電話番号からの着信時に表示するランプの色を選択します。プルダウンメニューから目的の色を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ● [設定無し]を選択すると、電話機に設定されている着信ランプの色になります。

2

[設定]をクリックします。

- 入力した設定内容を変更したい場合は、再度、入力しなおしてください。
- [初期化]をクリックすると、初期設定の状態に戻ります。

ポップアップが表示されます。

3

表示されたポップアップで[OK]をクリックします。

登録したグループ情報が登録され、グループ一覧に表示されます。

個別電話帳の登録内容を確認する

管理 **一般**

個別電話帳に登録されている内容を確認できます。電話帳一覧では、メモリ番号を50件ごとにプルダウンできるので、目的の相手を素早く見つけることができます。カナ名称が登録されている場合は、一覧の表示をカナ順に並べ替えることもできます。

- 1 Web 設定を起動します。**
参照》第1章の「Web 設定の起動と終了」(→ P.3)
- 2 左メニューで [電話帳] – [個別電話帳] をクリックします。**

[個別電話帳] の [電話帳一覧] タブに電話帳一覧が表示されます。

メモリ番号	漢字名前	カナ名前	電話番号/メモ	電話帳グループ番号
0000	○○商事	マルマルカウジ	0311112222	グループ0
0001	△△株式会社	ヤマヤカシキカイ	0322233333	グループ0

3

[並び替え] のプルダウンメニューで目的のメモリ番号のグループを選択します。

The screenshot shows the 'Phone Book List' screen. At the top, there are tabs: 'Phone Book List' (selected), 'New Registration', and 'Phone Book Group'. Below the tabs, there is a search bar with '内線番号(*)' set to '108' and a '選択' (Select) button. A note says '(半角数字1~4桁)' (Half-width digits 1~4). A dropdown menu labeled '並び替え' (Sort by) is open, showing '番号順' (Number Order) and 'カナ順' (Kana Order), with 'カナ順' selected. The main table lists three entries:

メモリ番号	漢字名称	カナ名称	電話番号/メモ	電話帳グループ番号
0000	○○商事	マルマルショウジ	0311112222	グループ0
0001	△△株式会社	ヤマヤマカクシキカイシャ	0322233333	グループ0

At the bottom right of the table are '前へ' (Previous) and '次へ' (Next) buttons.

- [次へ] をクリックすると、次の 50 件が表示されます。
- [前へ] をクリックすると、前の 50 件が表示されます。
- 個別電話帳のカナ名称が登録されている場合、[カナ順] をクリックすると、電話帳一覧がカナ名称順に並び替わります。

4

詳細情報を確認する場合は、目的のメモリ番号をクリックします。

The screenshot shows the 'Phone Book List' screen with the same layout as the previous one. The sorting dropdown is still set to 'カナ順'. The table now highlights the first entry (0000, ○○商事) with a red box. The '前へ' and '次へ' buttons are at the bottom right.

選択したメモリ番号の詳細情報が表示されます。

- 一覧表示に戻す場合は、[電話帳一覧] タブをクリックします。

The screenshot shows the 'Detailed Information' screen for the selected memory number (0000, ○○商事). The tab at the top is 'New Registration' (selected). The table contains the following fields:

メモリ番号	0000
電話番号1(*)	0311112222 外線 ▾ 00 (半角32桁以内) ※1 (方略指定選択時のみ有効、0~63)
電話番号2(*)	外線 ▾ 00 (半角32桁以内) ※1 (方略指定選択時のみ有効、0~63)
電話番号3(*)	外線 ▾ 00 (半角32桁以内) ※1 (方略指定選択時のみ有効、0~63)
漢字名称	○○商事 (全角16文字 / 半角32文字以内)
カナ名称	マルマルショウジ (半角32文字以内)
電話帳グループ番号	グループ0
識別音信音	<input type="radio"/> 無し <input type="radio"/> トーン 1 <input type="radio"/> メロディ 著信メロディ <input type="radio"/> 外部音源 1
ACR機能	<input type="radio"/> 利用しない <input checked="" type="radio"/> 利用する
契約区分	網契約に従う
メモ	(全角16文字 / 半角32文字以内)

At the bottom left is a note: '※1 設定には電話番号1~3の最低1つの登録が必要です (未入力の場合は番号無になります)'.

At the bottom right are '設定' (Settings) and '削除' (Delete) buttons.

1 個別電話帳に電話番号などの情報を新規登録する

個別電話帳に電話番号や漢字名称、カナ名称などを新規に登録します。

[個別電話帳] 画面を表示して(→ P.49)、[新規登録] タブをクリックします。

[新規登録] タブに切り替わり、電話帳の項目が表示されます。

2 基本情報を登録します。

基本情報を登録します。

(*)の付いた項目は必ず登録してください。

項目	内容
メモリ番号 *	メモリ番号を入力します。 ● 「*」を入力すると、空き番号のなかで、一番若い番号が自動的に選択されます。 ● 0～9999 の範囲で選択できます。 ● すでに登録されているメモリ番号を選択すると、保存時にエラーメッセージが表示され、上書きできませんのでご注意ください。 ※すでに登録されているメモリ番号に電話番号を登録(変更)したい場合は、編集画面を表示して(→ P.53)、変更してください。

つづく→

項目	内容
電話番号 1*	最低 1 つの電話番号の登録が必要です。 電話番号を入力し、プルダウンメニューから電話番号種別を選択します。
電話番号 2*	外線：外線番号の登録時に選択します。
電話番号 3*	特番展開：主装置に接続されている内線電話の電話番号（内線番号）の登録時に選択します。 PBX：構内交換機（PBX）に接続されている内線電話の電話番号（内線番号）の登録時に選択します。 方路指定：方路を指定する場合、方路番号を入力します。 <ul style="list-style-type: none"> ● それぞれ最大 32 衢まで登録できます。 ● 半角の 0～9、*、#、特殊コード（- : オートポーズ、P : PB 切替、E : 自動終話コード、[] (スペース) : ネスティングダイヤル）が入力できます。
MEMO <ul style="list-style-type: none"> ● 電話番号登録の詳細については、『取扱説明書（多機能電話機編）』－「1-7 電話帳の登録」を参照してください。 ● 方路番号などの用語については、『取扱説明書（多機能電話機編）』－「A-1 用語説明」を参照してください。 	
漢字名称	必要に応じて、漢字名称を入力します。漢字名称を登録すると、以降、この相手からの着信時に漢字名称が電話機のディスプレイに表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> ● 漢字、ひらがな、全角 / 半角のカナ、英数、記号を入力できます。 ● 最大全角 16 文字まで入力できます。
カナ名称	必要に応じて、カナ名称を入力します。カナ名称を登録すると、電話帳一覧をカナ順に並べ替えることができます。 <ul style="list-style-type: none"> ● 半角のカナ、英数、記号を入力できます。 ● 最大半角 32 文字 ● 漢字名称を登録せずにカナ名称を登録すると、以降、この相手からの着信時にカナ名称が電話機のディスプレイに表示されます。
メモ	必要に応じて、メモを入力します。 <ul style="list-style-type: none"> ● 漢字、ひらがな、全角 / 半角のカナ、英数、記号を入力できます。 ● 最大全角 16 文字まで入力できます。

3

必要に応じて、[全設定項目表示] をクリックし、詳細情報を登録します。

電話帳一覧 新規登録 電話帳グループ

新規登録

個別電話帳を新規に作成します。
(*)は必須設定項目です。

内線番号(*)	108	選択	(半角数字1~4桁)
メモリ番号(*)	*	(0000~9999):空き番号へ登録)	
電話番号1(*)	0333334444	(半角32桁以内)※1 外線 <input checked="" type="checkbox"/> 00 (方路指定選択時のみ有効, 0~63)	
電話番号2(*)		(半角32桁以内)※1 外線 <input checked="" type="checkbox"/> 00 (方路指定選択時のみ有効, 0~63)	
電話番号3(*)		(半角32桁以内)※1 外線 <input checked="" type="checkbox"/> 00 (方路指定選択時のみ有効, 0~63)	
漢字名称	山田	(全角16文字/半角32文字以内)	
カナ名称	ヤマダ	(半角32文字以内)	
電話帳グループ番号	グループ1	<input checked="" type="checkbox"/>	
識別着音	<input checked="" type="radio"/> 無し <input type="radio"/> トーン 1 <input type="radio"/> メロディ <input type="radio"/> 密着メロディ 1 <input type="radio"/> 外部音源 1	<input type="radio"/>	
ACR機能	<input type="radio"/> 利用しない <input checked="" type="radio"/> 利用する		
発番号通知	締契約に従う	<input checked="" type="checkbox"/>	
メモ	(全角16文字/半角32文字以内)		

*1 登録には電話番号 1~3 の最低 1 つの登録が必要です
(未入力の場合には番号無になります)

設定

つづく→

項目	内容
電話帳グループ番号	プルダウンメニューからグループ番号を選択します。 0～9のグループ番号を選択できます。 ● 個別電話帳グループの名称や着信ランプの種類などを設定できます（→P.55）。
識別着信音	着信音の種類をクリックし、プルダウンメニューからパターンを選択します。 ● 識別着信しない場合は[無し]をクリックします。
ACR 機能	[利用しない]または[利用する]のどちらかをクリックします。
発番号通知	発信時に電話番号を通知するかどうかを設定します。 プルダウンメニューから[網契約に従う]、[非通知]または[通知]のいずれかを選択します。

4

[設定]をクリックします。

ポップアップが表示されます。

5

表示されたポップアップで[OK]をクリックします。

登録した内容が個別電話帳に保存され、個別電話帳の一覧に表示されます。

個別電話帳の登録内容を編集／削除する

管理

一般

個別電話帳にすでに登録されている相手の情報を編集または削除します。

1

[個別電話帳] の [電話帳一覧] タブで（→ P.49）、目的のメモリ番号をクリックします。

メモリ番号	漢字名前	カタカナ	電話番号/メモ	電話帳グループ番号
0000	〇〇商事	マルゼンシヨウジ	0311112222	グループ0
0001	△△株式会社	ヤマヤマガクシキガisha	0322233333	グループ0
0002	山田	ヤマダ	0333334444	グループ1

[電話帳一覧] タブの [詳細情報] に切り替わり、電話帳の登録内容が表示されます。

2

必要に応じて、登録内容を編集します。

(*)の付いた項目を空欄にしないでください。ただし、[電話番号 1]～[電話番号 3]のいずれか 1 つに電話番号が入力されていれば、残りの 2 つが空欄でも問題ありません。

設定項目については、「個別電話帳に電話番号などの情報を新規登録する」(→ P.51) の手順 2～3 を参照してください。

3

[設定]をクリックします。

- 登録を削除する場合は、[削除]をクリックします。

ポップアップが表示されます。

4

表示されたポップアップで[OK]をクリックします。

編集した内容が個別電話帳に保存され、電話帳一覧の内容が更新されます。

個別電話帳のグループを管理する

管理

一般

個別電話帳には、あらかじめ 10 個のグループが用意されています。このグループに漢字名称やカナ名称、リモートコールバック利用の有無、着信ランプの色を登録できます。

- 登録先のグループは、電話帳の新規登録時(→ P.51)または編集時に指定します(→ P.53)。

ここでは、以下の 2 つの操作について説明します。

- すでに登録されているグループ情報を確認する(→ P.55)
- グループ情報を登録する(→ P.56)

■ すでに登録されているグループ情報を確認する

1 [個別電話帳] 画面を表示して(→ P.49)、[電話帳グループ] タブをクリックします。

並び替え	番号順	カナ順	漢字名稱	カナ名稱	電話番号/メモ	電話帳グループ番号
	メモリ番号	○○商事	マルミンヨウジ	031112222	グループ0	
	0000	△△株式会社	ヤマヤマカワシキカイシャ	032223333	グループ0	
	0001	山田	ヤマダ	033334444	グループ1	
	0002					

[電話帳グループ] タブに切り替わり、個別電話帳のグループ一覧が表示されます。
このままグループ情報を登録することもできます。

電話帳 グループ番号	漢字名稱 (全角5文字／半角10文字以内)	カナ名稱 (半角10文字以内)	着信ランプ
グループ0	グループ0	グループ0	設定無し
グループ1	〇〇課	マルマルガ	設定無し
グループ2	グループ2	グループ2	設定無し
グループ3	グループ3	グループ3	設定無し
グループ4	グループ4	グループ4	設定無し
グループ5	グループ5	グループ5	設定無し
グループ6	グループ6	グループ6	設定無し
グループ7	グループ7	グループ7	設定無し
グループ8	グループ8	グループ8	設定無し
グループ9	グループ9	グループ9	設定無し

■ グループ情報を登録する

1 [個別電話帳] の [電話帳グループ] タブで (→ P.55)、目的のグループ番号の以下の項目を設定します。

内線番号(*)	選択 (半角数字1~4行)	漢字名称 (全角5文字/半角10文字以内)	カナ名称 (半角10文字以内)	着信ランプ
グループ0	108	グループ0	グループ0	設定無し
グループ1		〇〇課	マルマルガ	設定無し
グループ2		グループ2	グループ2	設定無し
グループ3		グループ3	グループ3	設定無し
グループ4		グループ4	グループ4	設定無し
グループ5		グループ5	グループ5	設定無し
グループ6		グループ6	グループ6	設定無し
グループ7		グループ7	グループ7	設定無し
グループ8		グループ8	グループ8	設定無し
グループ9		グループ9	グループ9	設定無し

項目	内容
漢字名称	選択したグループの漢字名称を入力します。[漢字名称]には、全角文字(漢字、ひらがな、カナ、英字、数字、記号)で最大 5 文字まで、半角文字(カナ、英字、数字、記号)で最大 10 文字まで入力できます。 <ul style="list-style-type: none">● グループの漢字名称には、全角半角を混在させた名称を登録できます。● すでに漢字名称が登録されたグループの場合、ここで名称を変更できます。
カナ名称	選択したグループのカナ名称を入力します。[カナ名称]には、半角文字(カナ、英字、数字、記号)で最大 10 文字まで入力できます。 <ul style="list-style-type: none">● すでにカナ名称が登録されたグループの場合、ここで名称を変更できます。
着信ランプ	該当グループに所属する電話番号からの着信時に表示するランプの色を選択します。プルダウンメニューから目的の色を選択します。 <ul style="list-style-type: none">● [設定無し] を選択すると、電話機に設定されている着信ランプの色になります。

2 [設定] をクリックします。

- 入力した設定内容を変更したい場合は、再度、入力しなおしてください。
- [初期化] をクリックすると、初期設定の状態に戻ります。

ポップアップが表示されます。

3 表示されたポップアップで [OK] をクリックします。

登録したグループ情報が登録され、グループ一覧に表示されます。

電話帳のバックアップと取り込み（電話帳転送）

管理

本システムに登録されている共通電話帳と個別電話帳のデータをPC(パソコン)の任意のフォルダに保存し、バックアップデータを作成できます。また、PCに保存したバックアップデータを本システムに取り込んで復元することもできます。

電話帳のデータをPCにバックアップする

共通電話帳または個別電話帳をPC上の任意のフォルダに保存し、バックアップファイルを作成します。

1 Web設定を起動します。

参照》第1章の「Web設定の起動と終了」(→P.3)

2 左メニューで[電話帳転送]をクリックします。

The screenshot shows the 'Setting' page with the following details:

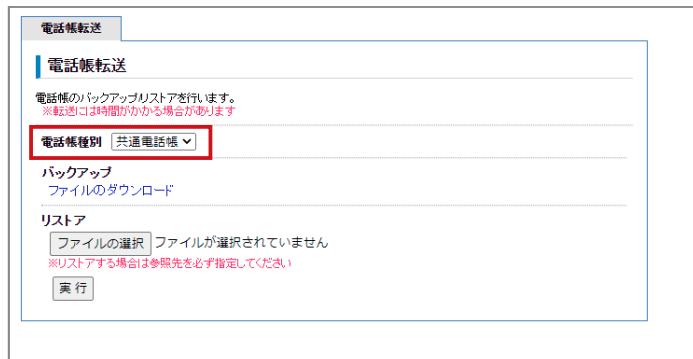
- User Name:** 108
- Logout**
- Left Sidebar (Menu):**
 - パスワード変更
 - 時計設定
 - カレンダー設定
 - 内線一覧
 - ▼ 電話帳
 - 電話帳転送** (highlighted with a red border)
 - ボイスメール
 - 留守番
 - ユーザガイダンス転送
 - ▼ 電話機の各種転送
 - 外線転送
 - オートダイヤル登録
 - メロディ転送
 - IVR
- Right Content Area (Setting Page):**
 - Top Bar:** Top > はじめに
 - Section:** ご注意
 - ブラウザ/ノットのJavaScriptおよびCookieの設定は、必ず「有効」にしてご使用ください。
 - 各項目の詳細は、添付の取扱説明書を参照してください。
 - パスワードを定期的に変更してください。

[電話帳転送]の設定内容が表示されます。

The screenshot shows the 'Phonebook Transfer' setting page with the following details:

- User Name:** 108
- Logout**
- Left Sidebar (Menu):** Same as the previous screenshot.
- Right Content Area (Phonebook Transfer Page):**
 - Top Bar:** Top > 電話帳転送 > 電話帳転送
 - Section:** 電話帳転送
 - 電話帳のバックアップリストアを行います。
※転送に時間がかかる場合があります
 - 電話帳種別: **共通電話帳** (highlighted with a blue border)
 - リストア
 - ファイルの選択: ファイルが選択されていません
※リストアする場合は参照先を必ず指定してください
 - 実行

3 [電話帳種別] のプルダウンメニューから [共通電話帳] または [個別電話帳] を選択します。

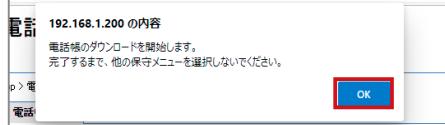


4 [バックアップ] の [ファイルのダウンロード] をクリックします。



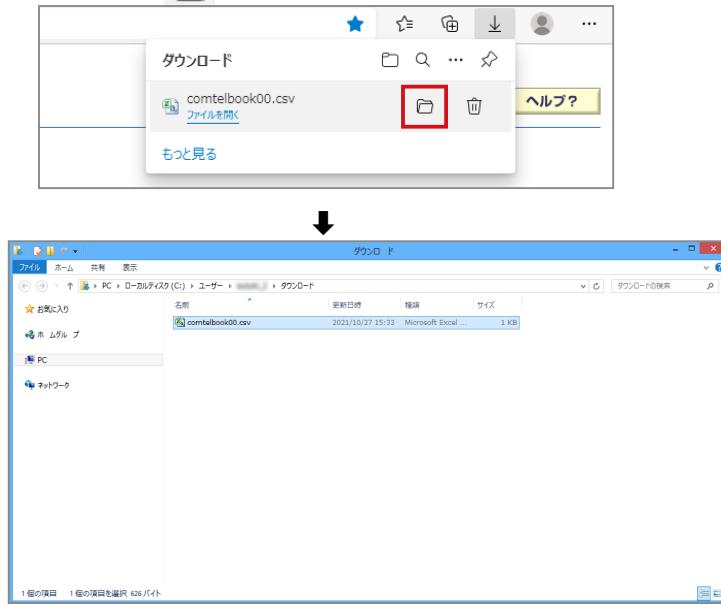
ポップアップが表示されます。

5 表示されたポップアップで [OK] をクリックします。



選択した電話帳データが PC のダウンロードフォルダに保存(転送)され、画面上部のツールバーにダウンロード情報がポップアップ表示されます。

ポップアップで ([フォルダに表示]) をクリックすると、ダウンロードフォルダを確認できます。



PCにバックアップしたデータを取り込む

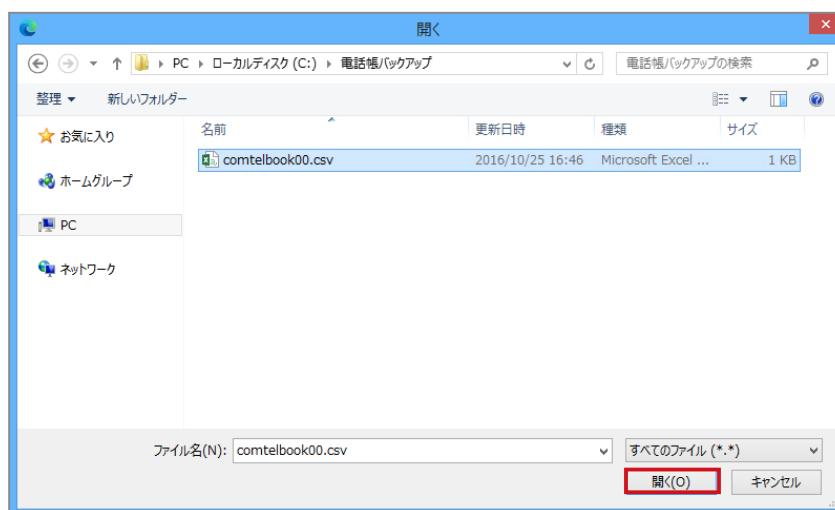
PC(パソコン)にバックアップした共通電話帳または個別電話帳のデータを本システムの主装置に取り込みます。

1 [電話帳転送] 画面で(➡ P.57)、[リストア]の[ファイルの選択]をクリックします。



Windowsの[開く]ダイアログが表示されます。

2 復元するファイルを指定し、[開く]をクリックします。



ファイルの取り込みが完了すると、選択したファイル名が[リストア]に表示されます。

3 [実行]をクリックします。

選択した電話帳のバックアップデータが本システムの主装置に取り込まれます。

ボイスメールの管理（内蔵ボイスメール）

留守番や各種代行、通話録音などでメールボックス内に録音されたボイスメール（メッセージ）を一覧表示して録音日時などを確認し、削除 / コメント付加 / PC（パソコン）上の任意のフォルダへの保存などをすることができます。ボイスメールの保存は、手動 / 自動で行うことができます。

また、ボイスメールが録音されたことを決まった時間帯に指定の電話番号へ電話でお知らせするか、または指定のEメールアドレスへEメールでお知らせするように設定することもできます。

また、ボイスメールに付加するコメント文とそれに対応するコメント番号を登録することができます。ここでコメントを登録しておくと、通話録音中やメッセージ再生中に、電話機のボタン操作でメッセージにコメントを付加することができます（『取扱説明書（多機能電話機編）』を参照）。

- 一般ユーザの場合は、ご自分の内線またはテナントに指定されたメールボックス内のボイスメールのみ管理できます（外部自動保存を除く）。
- 管理ユーザの場合は全メールボックス内のボイスメールを管理できます。

ボイスメールの管理は、ユーザ種別によって操作できる内容が異なります。

操作	管理ユーザ	一般ユーザ	参照先
ボイスメール一覧を確認する（ボイスメール管理）	○	○	P.61
ボイスメールを保存する（ボイスメール管理）	○	○	P.66
ボイスメールを削除する（ボイスメール管理）	○	○	P.69
ボイスメールにコメントを付加する（ボイスメール管理）	○	○	P.70
ボイスメール録音の通知先を設定する（録音通知先設定）	○	○	P.71
ボイスメールをFTPサーバに自動転送する（外部保存設定）	○	—	P.74
ボイスメールに付加するコメント文を登録する（コメント登録）	○	—	P.76

○：操作可能　—：操作不可

工事設定

- 主装置のIPアドレスが登録されていない場合、外部保存設定は無効になります。詳しくは、販売店にご相談ください。
- メールボックス番号が登録されていない場合、外部保存設定は無効になります。詳しくは、販売店にご相談ください。

MEMO

- ボイスメールをPC（パソコン）上に保存するとwav形式のファイルとして保存されます。
- wav形式ファイルは、Windows Media Player等を使用してパソコン上で再生することができます。
- 保存されるwavファイルの詳細については「ボイスメールを保存する（ボイスメール管理）」（→P.66）を参照してください。

ボイスメール一覧を確認する（ボイスメール管理）

管理**一般**

指定したメールボックス内のボイスメール（メッセージ）を一覧表示して、録音日時や通話相手などを確認することができます。録音日時順などに並べ替えたり、検索条件を指定して検索し、目的のボイスメールを素早く見つけることもできます。

1 Web 設定を起動します。

参照》第1章の「Web 設定の起動と終了」（→ P.3）

2 左メニューで【ボイスメール】をクリックします。

設定画面

Top

はじめに

ご注意

- ブラウザソフトのJavaScriptおよびCookieの設定は、必ず「有効」にしてご使用ください。
- 各項目の詳細は、添付の取扱説明書を参照してください。
- パスワードを定期的に変更してください。

[ボイスメール] の [ボイスメール管理] タブの内容が表示されます。

3 メールボックスを指定します。

以下の項目を設定します。

ボイスメール

Top > ボイスメール > ボイスメール管理

ヘルプ?

ボイスメール管理 拍音通知先設定 外部保存設定 コメント登録

メールボックスアクセス

メールボックスごとに任意の録音内容を取得・消去を行います。（内蔵ボイスメール装置の場合）
(*)は必須設定項目です。

メールボックス番号 (*)	<input type="text"/>	(半角数字1~4桁)
パスワード	<input type="password"/>	(半角数字4桁) ※1

※1 パスワード未入力の場合はパスワード無じとなります

[選択]

(*)の付いた項目は必ず登録してください。

項目	内容
メールボックス番号 *	対象のメールボックス番号を入力します。 <ul style="list-style-type: none"> 一般ユーザの場合、ご自分の内線またはテナントに指定されている共通メールボックス番号を入力します。
パスワード	メールボックスにパスワードが設定されている場合はパスワードを入力します。 <ul style="list-style-type: none"> パスワードが設定されていない場合は空欄のままにします。

4 [選択] をクリックします。

指定したメールボックス内のボイスメールが一覧表示されます。

5

メールボックス内のボイスメールを確認します。

The screenshot shows a web-based interface for managing voicemails. At the top, there are tabs: 'Voicemail Management' (selected), 'Recording Notification Settings', 'External Storage Settings', and 'Import/Export'. Below the tabs, it says 'Mailbox: 80' and 'Target Range: 1~1000 items / MBX recording: 3 items / MBX deleted recording: 2997 items (System deleted recording: 9979 items)'. A section titled '+ Search Filter:' includes a dropdown for 'Sort by' (set to 'Number'), radio buttons for 'Simple Display' (selected), 'Detailed Display', and 'All Item Display', and a 'Select All' checkbox. Navigation buttons include '< Previous' (disabled), '1' (selected), 'Next >', 'Get' (disabled), and 'Delete' (disabled). Below these are two pages of search results:

選択	番号	既読/ 未読	録音 時間	録音日時	通話相手	最終通話者
<input type="checkbox"/>	0001	未読	250:00	13/01/14(月) 08:18	9000900900	システム
<input type="checkbox"/>	0002	未読	250:00	13/01/14(月) 04:08	9000900900	内線 112
<input type="checkbox"/>	0003	未読	180:25	13/01/13(日) 23:51	200	内線 112

Below the table are buttons: '< Previous' (disabled), '1' (selected), 'Next >', 'Get' (disabled), and 'Delete' (disabled).

- 【対象範囲】のプルダウンメニューで、表示または検索対象のボイスメールの範囲を選択します（1000件ごと）。表示、検索、並べ替えは、設定した対象範囲で行われます。
- 【ページ】のプルダウンメニューでページ番号を選択すると、指定したページが表示されます（50件ごと）。
- 【次へ】をクリックすると、次のページが表示されます。
- 【前へ】をクリックすると、前のページが表示されます。
- 【並べ替え】のプルダウンメニューで並び順（【番号順】、【録音日時順】、【録音時間昇順】、【録音時間降順】）を選択すると、それぞれの順に並び替わります。初期設定は【番号順】です。
- 検索条件を指定すると、特定の条件のボイスメールだけを表示させることができます。
詳細は「■ボイスメール検索フィルタの使いかた」（▶ P.64）を参照してください。
- 【簡易表示】、【詳細表示】、【全項目表示】の選択により、表示項目が変わります。
詳細は「■【簡易表示】、【詳細表示】、【全項目表示】の表示項目」（▶ P.63）を参照してください。

■ [簡易表示]、[詳細表示]、[全項目表示] の表示項目

[簡易表示]、[詳細表示]、[全項目表示] を選択すると、それぞれ以下のような項目が表示されます。初期設定は [簡易表示] です。

<簡易表示の場合>

選択	番号	既読/未読	録音時間	録音日時	通話相手	最終通話者
<input type="checkbox"/>	0001	未読	250:00	13/01/14(月) 08:18	9000900900	システム
<input type="checkbox"/>	0002	未読	250:00	13/01/14(月) 04:08	9000900900	内線 112

<詳細表示の場合>

選択	番号	既読/未読	録音時間	録音日時	通話相手	ダイヤルイン番号	通話回線	最終通話者	コメント
<input type="checkbox"/>	0001	未読	250:00	13/01/14(月) 08:18	9000900900		外線001	システム	(未登録) <input type="button" value="設定"/>
<input type="checkbox"/>	0002	未読	250:00	13/01/14(月) 04:08	9000900900		外線001	内線 112	1折り返し電話する <input type="button" value="設定"/>

<全項目表示の場合>

選択	番号	既読/未読	録音時間	録音日時	通話相手名称	通話相手番号	ダイヤルイン番号	通話回線	最終通話者名称	最終通話者番号	コメント
<input type="checkbox"/>	0001	未読	250:00	13/01/14(月) 08:18		9000900900		外線001	システム	(未登録)	<input type="button" value="設定"/>
<input type="checkbox"/>	0002	未読	250:00	13/01/14(月) 04:08		9000900900		外線001	内線 112	1折り返し電話する	<input type="button" value="設定"/>

項目		内容									
選択		取得または削除対象のボイスメールの行にチェックを入れて選択します。									
番号		ボイスメール一覧に登録されているメッセージの通し番号です。									
既読 / 未読		ボイスメールが既読であるか、未読であるかを表示します。									
録音時間		ボイスメールの録音時間を表示します。									
録音日時		ボイスメールが録音開始された日時を表示します。									
通話相手 (※ 1)	番号	着信した電話の相手の電話番号(外線)を表示します。									
	名称	相手の番号が共通電話帳に登録してある場合に、相手の名称が表示されます。									
ダイヤルイン番号		着信時に受信したダイヤルイン番号が表示されます。この項目は簡易表示のときは表示されません。									
通話回線		外線、専用線、DGL グループ番号、MSA グループ番号、内線番号、ドアホン、ナースコール(※ 2)が表示されます。この項目は簡易表示のときは表示されません。									
最終通話者 (※ 1)	番号	通話録音の場合、最後に通話した電話の内線番号が表示されます。留守番モードや転送で録音された場合には、「システム」と表示されます。									
	名称	表示された内線番号に名称が登録されている場合に、内線名称が表示されます。									
コメント		ボイスメールに付加されているコメントが表示されます。この項目は簡易表示のときは表示されません。また、[設定] ボタンを押して、コメントを付けたり、変更することもできます(「ボイスメールにコメントを付加する(ボイスメール管理)」(P.70)を参照)。									

(※ 1) 簡易表示、詳細表示のときは、番号か名称のどちらかが表示されます。

共通電話帳または内線名称が登録されている場合は、名称が表示されます。

(※ 2) ナースコール装置の機種によっては専用線として表示されることがあります。

■ボイスメール検索フィルタの使いかた

ボイスメール一覧では、以下の方法でボイスメールを検索することができます。

1 [検索フィルタ] の左の [+] をクリックします。

[条件 1]～[条件 3] の選択領域が表示されます。

選択	番号	既読/ 未読	録音 時間	録音日時	通話相手	最終通話者
<input type="checkbox"/>	0001	未読	250:00	13/01/14(月) 08:18	9000900900	システム
<input type="checkbox"/>	0002	未読	250:00	13/01/14(月) 04:08	9000900900	内線 112
<input type="checkbox"/>	0003	未読	130:25	13/01/13(日) 23:51	200	内線 112

2 [条件 1]～[条件 3] のいずれかのプルダウンメニューから検索条件を選択します。

選択した検索条件に応じて、右側にプルダウンメニュー、ラジオボタンなど検索サブフィルタとして選択できる条件が表示されます。

< [既読 / 未読]、[録音日時]、[録音時間] を選択した場合の例 >

条件1 既読/未読	<input checked="" type="radio"/> 既読 <input type="radio"/> 未読
条件2 録音日時	2015年11月01日00時00分～2015年11月30日23時59分
条件3 録音時間	000 分 03 秒～006 分 00 秒
<input type="button" value="検索"/>	

< [通話回線]、[最終通話者]、[通話相手番号] を選択した場合の例 >

条件1 通話回線	外線
条件2 最終通話者	外線
条件3 通話相手番号	番号
<input type="button" value="検索"/>	

< [ダイヤルイン番号]、[コメント] を選択した場合の例 >

条件1 ダイヤルイン番号	
条件2 コメント	2:折り返し電話する
条件3	
<input type="button" value="検索"/>	

[条件 1]～[条件 3] で選択できる検索条件と、それぞれの検索サブフィルタは以下のとおりです。

No	検索条件	検索サブフィルタ
1	既読 / 未読	[既読]、[未読] から選択します。
2	録音日時	表示される数字入力欄に年月日、時間を入力します。 ● 年は 4 衡、月日、時間は 2 衡で入力します。 有効範囲は、2000 年 01 月 01 日 00 時 00 分～ 2099 年 12 月 31 日 23 時 59 分です。 月は 01～12、日は 01～31、時は 00～23、分は 00～59 で指定してください。

つづく→

No	検索条件	検索サブフィルタ
3	録音時間	表示される数字入力欄に分秒を入力します。 ● 有効な範囲は 000 分 03 秒～ 255 分 00 秒までです。
4	通話回線	プルダウンメニューの [外線]、[専用線]、[DGL]、[MSA]、[ドアホン]、[ナースコール]、[内線] から選択します。 ● [内線] を選択した場合には、内線番号入力欄が表示されます。内線番号として入力できるのは、0～9999 です。内線名称での検索はできません。 ● [ドアホン] を選択した場合は、選択可能なドアホンがプルダウンメニューに表示されます。
5	最終通話者	プルダウンメニューの [外線]、[専用線]、[システム]、[内線]、[ドアホン]、[ナースコール] から選択します。 ● [内線] を選択した場合には、[番号]、[名称(カナ)]、[名称(漢字)] から選んで、文字列入力欄に検索文字列を指定します。 [名称(カナ)] : 半角文字 [名称(漢字)] : 全角文字と半角文字 [番号] : 0～9999 ● [ドアホン] を選択した場合は、選択可能なドアホンがプルダウンメニューに表示されます。
6	通話相手番号	プルダウンメニューの [番号]、[名称(カナ)]、[名称(漢字)] から選択します。文字列入力欄に検索したい文字列を指定します。 ● [名称(カナ)] : 半角文字 [名称(漢字)] : 全角文字と半角文字 [番号] : 半角の 0～9、*、#、特殊コード (-:オートポーズ、P:PB 切替) が入力できます (最大 20 衔)。
7	ダイヤルイン番号	表示される番号入力欄に検索したい番号を入力します。 ● 半角の 0～9、*、#、特殊コード (-:オートポーズ、P:PB 切替) が入力できます (最大 20 衔)。
8	コメント	プルダウンメニューから選択します。プルダウンメニューには、登録されているコメントが表示されます (コメント登録については「ボイスメールに付加するコメント文を登録する (コメント登録)」(→ P.76) を参照)。 [(未登録)] を指定すると、コメントが付いていないボイスメールを検索できます。

MEMO

- [条件 1]～[条件 3]に同じ検索条件を選択し、検索サブフィルタだけ、別々の条件を選択して検索することもできます。例えば、[通話回線] の [外線] と [専用線] を検索したい場合に利用できます。
- 文字の検索では、入力された文字列を「含む」ものを抽出します。また、ひらがなとカタカナ、全角と半角を区別します。

3 [どれか含む(OR)] または [すべて含む(AND)] のどちらかをクリックします。

[条件 1]～[条件 3]に選択した条件のうちのいずれかを含むものを検索するか、あるいはすべてを含むものを検索するかを選択します。

■ 検索フィルタ:

検索方法:
 どれか含む(OR) すべて含む(AND)

条件1	既読/未読	▼	<input checked="" type="radio"/> 既読 <input type="radio"/> 未読
条件2	録音日時	▼	2015 年 11 月 01 日 00 時 00 分～ 2015 年 11 月 30 日 23 時 59 分
条件3	録音時間	▼	000 分 03 秒～ 006 分 00 秒
<input type="button" value="検索"/>			

4 [検索] をクリックします。

検索条件(および検索サブフィルタ)と一致したボイスメールだけが、一覧に表示されます。

ボイスメールを保存する（ボイスメール管理）

管理**一般**

指定したメールボックス内のボイスメールを手動でPC（パソコン）上に保存することができます。

1 [ボイスメール] 画面の [ボイスメール管理] タブで、メールボックスを指定します（→ P.61）。

指定したメールボックス内のボイスメールが一覧表示されます。

The screenshot shows the 'Voicemail Management' page with the following details:

- Top navigation:** Top > Voicemail > Voicemail Management
- Tab selection:** Voicemail Management (highlighted in blue)
- Search bar:** メールボックス: 80 (Mailbox: 80)
- Filter:** 対象範囲: 1~1000件 / MBX録音: 3件 / MBX残り録音: 2997件 (システム残り録音: 9979件)
- Search:** + 検索フィルタ:
- Display options:** 並べ替え: 番号順 (Sort by: Number), 明細表示 (Details), 詳細表示 (Detailed), 全項目表示 (All items)
- Pagination:** 全て選択 (Select all) / 前へ (Previous) / 次へ (Next) / 1 / 1ページ (3件) (Page 1 / 1 page (3 items))
- Table:** A table listing three recorded messages with columns: 選択 (Select), 番号 (Number), 録音/未読 (Recorded/Unread), 録音時間 (Recording time), 録音日時 (Recording date and time), 通話相手 (Call recipient), and 最終通話者 (Last caller). The messages are:

選択	番号	録音/未読	録音時間	録音日時	通話相手	最終通話者
<input type="checkbox"/>	0001	未読	250:00	13/01/14(月) 08:18	9000900900	システム
<input type="checkbox"/>	0002	未読	250:00	13/01/14(月) 04:08	9000900900	内線 112
<input type="checkbox"/>	0003	未読	130:25	13/01/13(日) 23:51	200	内線 112
- Buttons:** 取得 (Get) / 削除 (Delete)

2 PC 上に保存するボイスメールをチェックして選択します。

The screenshot shows the 'Voicemail Management' page with the following details:

- Top navigation:** Top > Voicemail > Voicemail Management
- Tab selection:** Voicemail Management (highlighted in blue)
- Search bar:** メールボックス: 80 (Mailbox: 80)
- Filter:** 対象範囲: 1~1000件 / MBX録音: 3件 / MBX残り録音: 2997件 (システム残り録音: 9979件)
- Search:** + 検索フィルタ:
- Display options:** 並べ替え: 番号順 (Sort by: Number), 明細表示 (Details), 詳細表示 (Detailed), 全項目表示 (All items)
- Pagination:** 全て選択 (Select all) / 前へ (Previous) / 次へ (Next) / 1 / 1ページ (3件) (Page 1 / 1 page (3 items))
- Table:** A table listing three recorded messages with columns: 選択 (Select), 番号 (Number), 録音/未読 (Recorded/Unread), 録音時間 (Recording time), 録音日時 (Recording date and time), 通話相手 (Call recipient), and 最終通話者 (Last caller). The first message has its checkbox checked (highlighted in red).
- Buttons:** 取得 (Get) / 削除 (Delete)

[取得] ボタンが選択可能状態になります。

- ボイスメールを複数選択した場合は、一括保存ファイル（取得用ファイル）の作成にかかる概算時間が[取得] ボタンの上に表示されます。

<ボイスメールを複数選択したときの表示例>

The screenshot shows the 'Voicemail Management' page with the following details:

- Top navigation:** Top > Voicemail > Voicemail Management
- Tab selection:** Voicemail Management (highlighted in blue)
- Search bar:** メールボックス: 80 (Mailbox: 80)
- Filter:** 対象範囲: 1~1000件 / MBX録音: 3件 / MBX残り録音: 2997件 (システム残り録音: 9979件)
- Search:** + 検索フィルタ:
- Display options:** 並べ替え: 番号順 (Sort by: Number), 明細表示 (Details), 詳細表示 (Detailed), 全項目表示 (All items)
- Pagination:** 全て選択 (Select all) / 前へ (Previous) / 次へ (Next) / 1 / 1ページ (3件) (Page 1 / 1 page (3 items))
- Table:** A table listing three recorded messages with columns: 選択 (Select), 番号 (Number), 録音/未読 (Recorded/Unread), 録音時間 (Recording time), 録音日時 (Recording date and time), 通話相手 (Call recipient), and 最終通話者 (Last caller). The first two messages have their checkboxes checked (highlighted in red).
- Note:** 取得用ファイル作成時間: 約19分50秒 (Time to create download file: approximately 19 minutes and 50 seconds)
- Buttons:** 取得 (Get) / 削除 (Delete)

MEMO

[全て選択] をクリックした場合、Web 画面に表示されていない行は操作の対象にはなりません。

3

[取得]をクリックします。

全て選択

選択	番号	既読/ 未読	録音 時間	録音日時	通話相手	最終通話者
<input checked="" type="checkbox"/>	0001	未読	250:00	13/01/14(月) 08:18	9000900900	システム
<input type="checkbox"/>	0002	未読	250:00	13/01/14(月) 04:08	9000900900	内線 112
<input type="checkbox"/>	0003	未読	130:25	13/01/13(日) 23:51	200	内線 112

取得 削除

「・・・取得を行いますか？」というポップアップが表示されます。

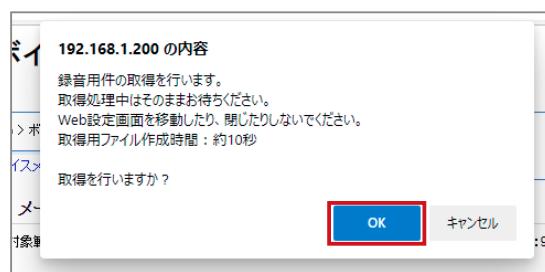
- ボイスメールを複数選択した場合は、ポップアップに一括保存ファイル（取得用ファイル）作成時間の目安も表示されます。

MEMO

一括保存ファイル（取得用ファイル）の作成にかかる時間が規定の範囲を超える場合は、選択するボイスメールの変更を促すメッセージが表示されます。規定時間内に収まるように、一度に選択／保存するボイスメールの数や録音時間（ファイルサイズ）の合計などを調整してください。

4

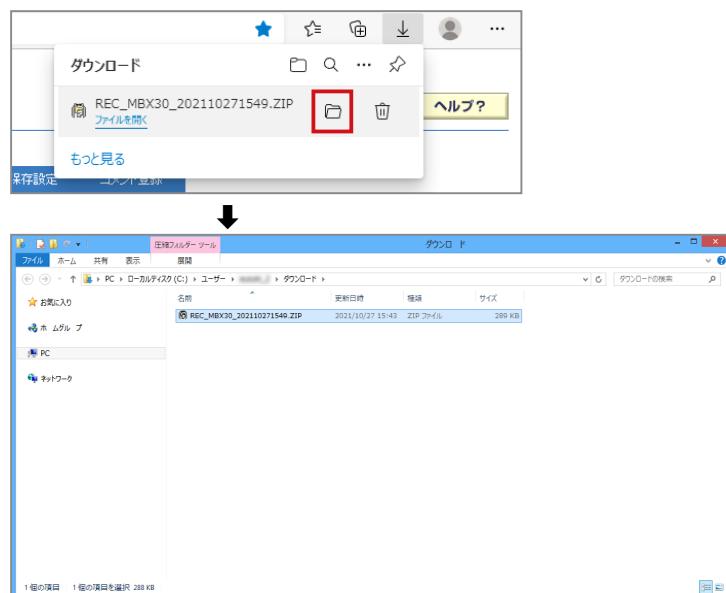
ポップアップで[OK]をクリックします。



選択したボイスメールがPCのダウンロードフォルダに保存（転送）されます。

- ボイスメールを複数選択した場合は、保存ファイル作成中、画面（[取得]ボタンの上）に、一括保存ファイルの作成が完了するまでの残り時間が、カウントダウン形式で表示されます（表示例：しばらくお待ちください。取得用ファイル作成中 残：19分40秒）。

画面上部のツールバーに表示されたダウンロード情報のポップアップで ([フォルダに表示]) をクリックすると、ダウンロードフォルダを確認できます。



つづく→

MEMO

- PC 上には wav 形式のファイルとして保存されます。ファイル名を特に指定しない場合、「メールボックス番号 + 録音日時 + 管理番号 .WAV」のようなファイル名が自動的に付与されます。例えば、メールボックス番号が 80、録音日時が 2013 年 1 月 14 日 8 時 18 分のボイスメールを PC 上に保存した場合、以下のようなファイル名になります。

例：MBX80_201301140818_0002.WAV

- 複数のボイスメールを同時に保存したときは、zip 形式の圧縮ファイルとして保存され、ファイル名を特に指定しない場合、「REC + メールボックス番号 + 保存ファイル作成日時 .ZIP」のようなファイル名が自動的に付与されます。例えば、メールボックス番号が 80、保存ファイルの作成された日時が 2015 年 11 月 16 日 10 時 17 分の場合、以下のようなファイル名になります。

例：REC_MBX80_201511161017.ZIP

※ zip 形式のファイルには、wav 形式の複数のボイスメール保存ファイルが圧縮されて入っています。必要に応じて解凍してください。保存ファイルの名前は、1 ファイルずつ保存したときの名前と同じです。

ボイスメールを削除する（ボイスメール管理）

管理
一般

指定したメールボックス内のボイスメールを削除することができます。

1 [ボイスメール] 画面の [ボイスメール管理] タブで、メールボックスを指定します（→ P.61）。

指定したメールボックス内のボイスメールが一覧表示されます。

ボイスメール

ヘルプ？

Top > ボイスメール > ボイスメール管理

ボイスメール管理 録音通知先設定 外部保存設定 コメント登録

メールボックス: 80

対象範囲 1～1000件 / MBX録音:3件 / MBX残り録音:2997件 (システム残り録音:9979件)

+ 検索フィルタ:

並べ替え 番号順 ▼ 簡易表示 詳細表示 全項目表示

全て選択

◀前へ 1 / 1ページ(3件) 次へ▶

選択	番号	既読/未読	録音時間	録音日時	通話相手	最終通話者
<input type="checkbox"/>	0001	未読	250:00	13/01/14(月) 08:18	9000900900	システム
<input type="checkbox"/>	0002	未読	250:00	13/01/14(月) 04:08	9000900900	内線 112
<input type="checkbox"/>	0003	未読	130:25	13/01/13(日) 23:51	200	内線 112

取得 削除

◀前へ 1 / 1ページ(3件) 次へ▶

2 削除するボイスメールをチェックして選択します。

全て選択						
選択	番号	既読/未読	録音時間	録音日時	通話相手	最終通話者
<input checked="" type="checkbox"/>	0001	未読	250:00	13/01/14(月) 08:18	9000900900	システム
<input type="checkbox"/>	0002	未読	250:00	13/01/14(月) 04:08	9000900900	内線 112
<input type="checkbox"/>	0003	未読	130:25	13/01/13(日) 23:51	200	内線 112

取得 削除

◀前へ 1 / 1ページ(3件) 次へ▶

[削除] ボタンが選択可能状態になります。

MEMO

[全て選択] をクリックした場合、Web 画面に表示されていない行は操作の対象にはなりません。

3 [削除] をクリックします。

全て選択						
選択	番号	既読/未読	録音時間	録音日時	通話相手	最終通話者
<input checked="" type="checkbox"/>	0001	未読	250:00	13/01/14(月) 08:18	9000900900	システム
<input type="checkbox"/>	0002	未読	250:00	13/01/14(月) 04:08	9000900900	内線 112
<input type="checkbox"/>	0003	未読	130:25	13/01/13(日) 23:51	200	内線 112

取得 削除

◀前へ 1 / 1ページ(3件) 次へ▶

「削除を実行します。」というポップアップが表示されます。

4 ポップアップで [OK] をクリックします。

選択したメッセージが削除されます。

2 [詳細表示] または [全項目表示] を選択して、[コメント] 列が表示されるようにします。

選択	番号	既読/未読	録音時間	録音日時	通話相手	ダイヤルイン番号	通話回線	最終通話者	コメント
<input type="checkbox"/>	0001	未読	250:00	13/01/14(月) 08:18	9000900900		外線001	システム	(未登録) <input type="button" value="設定"/>
<input type="checkbox"/>	0002	未読	250:00	13/01/14(月) 04:08	9000900900		外線001	内線 112	1折り返し電話する <input type="button" value="設定"/>
<input type="checkbox"/>	0003	未読	130:25	13/01/13(日) 23:51	200		内線 200	内線 112	(未登録) <input type="button" value="設定"/>

3 コメントを付加（または変更）する対象のボイスメールを見つけます。

対象のボイスメールがすぐに見つからない場合は、「ボイスメール一覧を確認する（ボイスメール管理）」（→ P.61）を参照して、並べ替えや検索をして見つけてください。

4 対象のボイスメールの行の [コメント] 列で、プルダウンメニューから追加（または変更）したいコメントを選択します。

プルダウンメニューには、登録されているコメント文が表示されます。コメント文の登録については、「ボイスメールに付加するコメント文を登録する（コメント登録）」（→ P.76）を参照してください。

5 [設定] をクリックします。

選択	番号	既読/未読	録音時間	録音日時	通話相手	ダイヤルイン番号	通話回線	最終通話者	コメント
<input type="checkbox"/>	0001	未読	250:00	13/01/14(月) 08:18	9000900900		外線001	システム	(未登録) <input type="button" value="設定"/>
<input type="checkbox"/>	0002	未読	250:00	13/01/14(月) 04:08	9000900900		外線001	内線 112	2開い合わせ <input type="button" value="設定"/>
<input type="checkbox"/>	0003	未読	130:25	13/01/13(日) 23:51	200		内線 200	内線 112	(未登録) <input type="button" value="設定"/>

選択したコメント文が対象のボイスメールに付加されます。

ボイスメール録音の通知先を設定する(録音通知先設定) 管理 一般

ボイスメールが録音されたことを決まった時間帯に指定の電話番号へ電話でお知らせするように設定します。または、ボイスメールが録音されたことを指定のEメールアドレスへEメールでお知らせするように設定します。

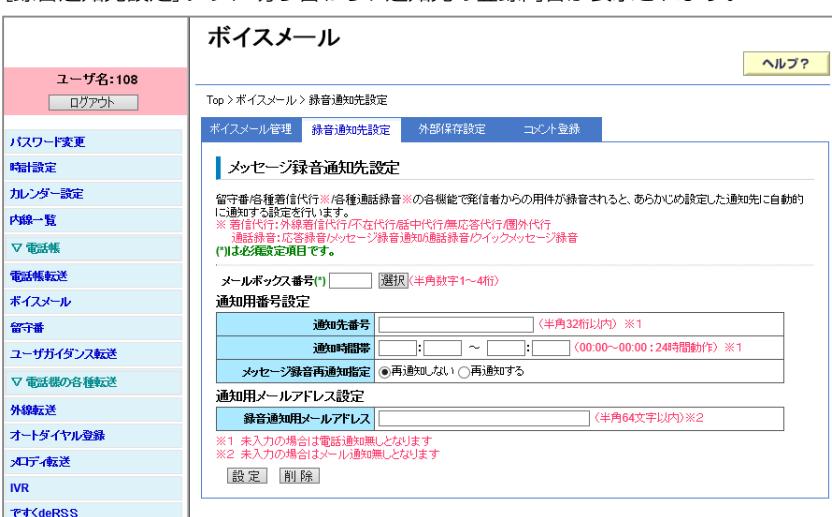
工事設定

Eメールでの通知を使用するにはインターネット接続環境、およびEメール機能利用情報やメール送信／受信サーバ情報などの設定が必要です。販売店にご相談ください。

1 [ボイスメール] 画面を表示して(→P.61)、[録音通知先設定] タブをクリックします。



[録音通知先設定] タブに切り替わり、通知先の登録内容が表示されます。



2

以下の項目を設定します。

ボイスメール管理 録音通知先設定 外部保存設定 コメント登録

メッセージ録音通知先設定

留守番/各種着信代行※各種通話録音※の各機能で発信者からの用件が録音されると、あらかじめ設定した通知先に自動的に通知する設定を行います。
※ 着信代行/外線着信代行/不在代行/話中代行/無応答代行/国外代行
電話録音:応答録音/メッセージ録音通知/通話録音/ウィックメッセージ録音
(*)は必須設定項目です。

メールボックス番号(*)	80	[選択] (半角数字1~4桁)
通知用番号設定		
通知先番号	12345678900 (半角32桁以内) ※1	
通知時間帯	[] : [] ~ [] : [] (00:00~00:00:24時間動作) ※1	
メッセージ録音再通知指定	<input checked="" type="radio"/> 再通知しない <input type="radio"/> 再通知する	
通知用メールアドレス設定		
録音通知用メールアドレス	(半角64文字以内) ※2	

※1 未入力の場合は電話通知無しとなります
※2 未入力の場合はメール通知無しとなります

設定 **削除**

(*)の付いた項目は必ず登録してください。

項目	内容	
メールボックス番号*	対象のメールボックス番号を入力し、[選択]をクリックします。 <ul style="list-style-type: none"> 一般ユーザの場合、ご自分の内線またはテナントに指定されている共通メールボックス番号を入力します。 	
通知用番号設定 (電話呼出)	<p>通知先番号*</p> <p>通知時間帯</p> <p>メッセージ録音再通知指定</p>	<p>通知先電話番号を特番から入力します。</p> <p>通知時間帯の開始と終了時間をそれぞれ入力します。</p> <p>ボイスメールが録音されても、前回の録音通知で通知先が応答しなかった場合には、再通知しないように、設定することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 再通知しない場合は、[再通知しない]を選択します。初期設定では[再通知する]が選択されています。
通知用メールアドレス設定 (Eメール通知)	録音通知用メールアドレス*	<p>通知先のEメールアドレスを入力します(半角64文字以内)。</p> <ul style="list-style-type: none"> 未入力の場合は、Eメールによる通知は行われません。
MEMO		<ul style="list-style-type: none"> [再通知しない]を選択することにより、通知先が不応答だった場合の再通知(リトライ)と、新たなボイスメールが録音されたときの通知が重複しないようにすることができます。 [再通知しない]を選択した場合でも、メールボックス内に残っているすべての未再生メッセージを再生したあとであれば、メッセージ録音通知が行われます。
MEMO		<ul style="list-style-type: none"> Eメールでの通知の場合、通知する時間帯の設定はできません。ボイスメールが録音されると即座に通知(メール送信)されます。 メールサーバへの送信に失敗した場合は、メールは破棄されます。再通知は行われません。

※電話での通知(電話呼出)とEメールでの通知(Eメール通知)は、両方同時またはどちらか片方だけを設定することもできます。

3

[設定]をクリックします。

- 設定を取り消す場合は、[削除]をクリックします。

ポップアップが表示されます。

4

表示されたポップアップで[OK]をクリックします。

以降、指定したメールボックスにボイスメールが録音されると、[通知先番号]で指定した電話番号に、[通知時間帯]で指定した時間帯に電話がかかり、ボイスメールの録音が通知されます。ただし、[メッセージ録音再通知指定]の設定と前回の通知が不応答かどうかにより、通知されない場合もあります。

また、ボイスメールが録音されると即座に[録音通知用メールアドレス]で指定したEメールアドレスに、以下のようなEメールが送信されます。

メールサーバへの送信に失敗した場合は、メールは破棄されます。再通知は行われません。

<送信されるメールの例>

タイトル: 【MBX100】新規メッセージがありました (Created at 22:15:50)

本文:

【MBX100】に新規録音がありました。

(メッセージを聴取するには、電話番号「XXXXXXXXXXXX」にかけてください。)

件数 3 件／新規 2 件

最新 1 件メッセージの情報は下記の通りです。

「相手名称」 ○○太郎

「相手番号」 XXXXXXXXXX

「メモ」 ○○○株式会社

「着信情報」 外線 001

「録音日時」 4月 13 日(水) 午後 10:15

「録音時間」 0 分 50 秒

指定したタイミングで、メールボックスに録音されたすべてのボイスメールを自動的にネットワーク上のFTPサーバに転送するように設定できます。ボイスメールをサーバに転送したあと、メールボックスから自動的に削除するように設定することもできます。
一度転送されたボイスメールは再転送されません。

1 [ボイスメール] 画面を表示して (→ P.61)、[外部保存設定] タブをクリックします。

The screenshot shows the 'Voicemail' management interface. On the left is a sidebar with various menu items like 'Password Change', 'Clock Setting', and 'Voicemail'. The main area has tabs at the top: 'Voicemail Management', 'Recording Notification Setting', 'External Save Setting' (which is highlighted in red), and 'Comment Registration'. Below the tabs, there's a section titled 'Mailbox Access' with fields for 'Mailbox Number' and 'Password'. A note at the bottom says '※1 Password is required if it is not entered.' and a 'Select' button.

[外部保存設定] タブに切り替わり、外部保存設定の内容が表示されます。

This screenshot shows the 'Message External Save Setting' screen. It has a similar layout to the previous one, with a sidebar and tabs. The 'External Save Setting' tab is selected. The main area contains a section titled 'External Save Implementation' with options for 'Time Specification' or 'Delivery Interval'. There are also fields for 'Recipient Domain/IP Address', 'Save Destination Folder', and 'FTP Account' (User ID and Password). A note at the bottom says '※1 External save implementation is selected when this item is checked.' and '※2 Settings are反映 after execution.' with buttons for 'Setting', 'Initial Value', and 'Execute'.

2 [外部保存実施] で [する] をクリックし、以下の項目を設定します。

This screenshot is a close-up of the 'External Save Implementation' section from the previous screenshot. The 'External Save Implementation' checkbox and its sub-options ('Time Specification' and 'Delivery Interval') are highlighted with a red border. Other visible fields include 'Recipient Domain/IP Address' (XXX.XXX.XXX.XXX), 'Save Destination Folder' (XXXXXXXXXX), and 'FTP Account' (User ID: XXXXXXXXXX, Password: *****). Notes at the bottom mention '※1 External save implementation is selected when this item is checked.' and '※2 Settings are反映 after execution.'

つづく →

項目	内容
外部保存実施	ボイスメールを FTP サーバに転送するかどうかを設定します。 ● 初期設定は [しない] です。
外部保存間隔	転送のタイミング(間隔)を日にち単位または分単位で指定します。 [日時指定]を選択した場合: [日間隔] のプルダウンメニューから日にちを選択し、[時] のプルダウンメニューから時間を選択します。 ● 日にちは、1～10日の範囲から、時間は0～23時の範囲から選択できます。指定した日にち間隔で指定した時刻に保存されます。 [送信後の間隔]を選択した場合: [分後] のプルダウンメニューから、次の送信までの間隔を1～60分の範囲から選択します。 ※登録後にシステム時刻を変更しても、転送日時 / 転送間隔は再計算されません。
送信先ドメイン / IP アドレス	保存する FTP サーバの送信先ドメインまたは IP アドレスを入力します。
保存先フォルダ	FTP サーバの保存先フォルダを入力します。 ● 入力可能文字は以下の半角英数字記号です。 ・ 半角英数字: A-Z, a-z, 0-9 ・ 記号: -_!* '();/?:@&=+\$,\ ※ FTP サーバによっては、使えない記号があります。 ● 最大 64 文字まで入力できます。 指定した保存先フォルダ内に、メールボックス番号名のフォルダが作成され、録音メッセージファイル(.wav)が保存されます。
FTP アカウント	FTP サーバに登録したユーザ ID を入力します。 FTP サーバに登録したパスワードを入力します。
外部保存時のメッセージ自動削除	FTP サーバに転送されたボイスメールをメールボックスから削除するかどうかを設定します。 ● 初期設定は [しない] です。
FTP データ転送方式	FTP クライアントの転送方式を設定します ([PASV] / [ACTIVE])。 ● 初期設定は [PASV] です。

3

[設定]をクリックします。

- 入力した設定内容を変更したい場合は、再度、入力しなおしてください。
- [初期化]をクリックすると、初期設定の状態に戻ります。
- 外部保存をすぐに実行する場合は、[実行]をクリックします。

ポップアップが表示されます。

4

表示されたポップアップで [OK] をクリックします。

以降、指定された日時または指定された間隔で、録音されたボイスメールが FTP サーバに自動的に転送されます。

ボイスメールに付加するコメント文を登録する（コメント登録） 管理

ボイスメールに付加するコメント文を登録して、コメント文とコメント番号との対応付けを行います。ここでコメントを登録しておくと、通話録音中やボイスメールの再生中に、電話機のボタン操作でボイスメールにコメントを付加することができます（『取扱説明書（多機能電話機編）』を参照）。また、ここで登録したコメント文は、「ボイスメール管理」画面の検索サブフィルタまたはコメント列のプルダウンメニューに表示されます。

※ここで登録したコメントは、システム全体で共通に利用されます。

1 [ボイスメール] 画面を表示して（→ P.61）、[コメント登録] タブをクリックします。

The screenshot shows the 'Voicemail' management interface. On the left is a sidebar with various settings like 'Password Change', 'Clock Setting', and 'Voicemail'. The main area has tabs at the top: 'Voicemail Management', 'Recording Alert Setting', 'External Save Setting', and 'Comment Registration' (which is highlighted). Below the tabs is a section titled 'Mailbox Access' with fields for 'Mailbox Name' and 'Password'. A note at the bottom says '※1 Password must be entered if the password field is empty.' There is also a 'Select' button.

[コメント登録] タブに切り替わり、コメント文の登録内容が表示されます。

The screenshot shows the 'Comment Registration' tab selected. It displays a list of registered comments numbered 1 to 10. The first comment, '折り返し電話する', is highlighted with a red box. The other comments are listed below it. At the bottom of the list, there are page navigation buttons '1 2 3' and a 'Setting' button.

2 コメント文（全角 10 文字まで）を入力して、[設定] をクリックします。

登録できるコメントは最大 50 個までです。

The screenshot shows the 'Comment Registration' screen. A new comment, 'お待てり', is being entered into the input field. This entry is highlighted with a red box. Below the input field, there is a note: '用件録音に付けるコメントを登録します。（全角10文字まで）'. At the bottom of the screen, there are page navigation buttons '1 2 3' and a 'Setting' button, which is also highlighted with a red box.

入力したコメントが、登録されます。対応するコメント番号は入力した欄の番号になります。

留守番の設定（留守番）

管理

留守番設定時の動作について設定します。
以下の内容を設定できます。

- ・自動応答利用時の動作を設定する（留守番タイマ連動）（➡ P.77）
- ・手動応答利用時の動作を設定する（手動切替設定）（➡ P.82）
- ・留守番機能の起動時間など、留守番関連の機能を設定する（関連設定）（➡ P.87）

MEMO

留守番の動作は、テナントごとに設定します。Web 設定で動作を設定するときは、設定対象のテナントに所属するシステム管理電話機の内線番号でログインしてください。設定した値は、ログインした内線が所属するテナントに設定されます。

1 Web 設定を起動します。

参照》第1章の「Web 設定の起動と終了」（➡ P.3）

2 左メニューで【留守番】をクリックします。

The screenshot shows the 'Setting' page with the following interface elements:

- Top Bar:** ユーザ名:108, ログアウト
- Left Sidebar:** パスワード変更, 時計設定, カレンダー設定, 内線一覧, ▽電話帳, 電話帳転送, ポイスメール, **留守番** (highlighted in red), ユーザガイダンス転送, ▽電話機の各種転送, 外線転送, オートダイヤル登録, メロディ転送, IVR
- Content Area:** Top tab: はじめに, ご注意: ブラウザ/ソフトのJavaScriptおよびCookieの設定は、必ず「有効にしてご使用ください。」各項目の詳細は、添付の取扱説明書を参照してください。・パスワードを定期的に変更してください。

【留守番】の【タイマ連動設定】タブの設定内容が表示されます。

The screenshot shows the 'Voicemail' settings page with the following interface elements:

- Top Bar:** ユーザ名:108, ログアウト
- Left Sidebar:** パスワード変更, 時計設定, カレンダー設定, 内線一覧, ▽電話帳, 電話帳転送, ポイスメール, 留守番 (highlighted in blue), ユーザガイダンス転送, ▽電話機の各種転送, 外線転送, オートダイヤル登録, メロディ転送, IVR
- Content Area:** Top tab: タイマ連動設定, 関連設定, 手動切替設定, タイマ連動設定 tab is selected. Sub-section: 留守番タイマ連動設定. Note: 外線着信時の自動応答による用件録音機能について、曜日・時間毎に動作を設定を行います。各曜日をクリックし、設定画面を表示してください。（内蔵ポイスメールのみ有効な設定です）. A large table grid for setting voicemail times from 00:00 to 14:00 across the days of the week.

3

留守番タイマの動作を設定する曜日をクリックします。

タイム運動設定 関連設定 手動切替設定

留守番タイマ運動設定

外線着信時の自動応答による用件録音機能について、曜日/時間毎に動作設定を行います。
各曜日をクリックし設定画面を表示してください。(内蔵ボイスメールの場合のみ有効な設定です)

	日	月	火	水	木	金	土	休日/祝祭日
00:00	在宅							
01:00								
02:00								
03:00								
04:00								
05:00								
06:00								
07:00								
08:00								
09:00								
10:00								
11:00								
12:00								
13:00								
14:00								
15:00								
16:00								

4

選択した曜日の 00:00 に切り替わる動作モードを選択し、[時間帯 1] の設定を行います。

タイム運動設定 関連設定 手動切替設定

留守番タイマ運動設定(日曜日)

動作選択

動作選択 在宅 前日モードを継続 スケジュールに従う

時間帯1

開始時間 00:00

留守番グループ動作 グループA 在宅 グループB 在宅
グループC 在宅 グループD 在宅 ※2

留守番モニタ指定 サイレント モニタ

応答録音ガイダンス指定 固定ガイダンス1 番号 (ユーザガイダンス選択時のみ有効、00~99)

応答専用ガイダンス指定 固定ガイダンス1 番号 (ユーザガイダンス選択時のみ有効、00~99)

終了ガイダンス指定 固定ガイダンス 番号 (ユーザガイダンス選択時のみ有効、00~99)

録音通知方法 電話呼出 Eメール ※3

項目	内容
動作選択	在宅 [時間帯 1] (00:00) の留守番機能を OFF に設定します。
	前日モードを継続 前日と同じモードに設定します。
	スケジュールに従う 登録したスケジュールどおりに動作させます。
時間帯 1	開始時間 [時間帯 1] は 00:00 に固定されています。
	留守番グループ動作 留守番グループごとの動作をプルダウンメニューから選択します。 在宅: 留守番機能を OFF に設定します。 応答録音: 外線着信に自動応答し、応答録音ガイダンスを流してガイダンス終了後にメッセージを録音します。 応答専用: 外線着信に自動応答し、応答専用ガイダンスを 2 回流します。 ※全グループで「在宅」を選択した場合は、留守番モードに切り替わりません。
工事設定	
録音終了後または応答専用ガイダンスが流れたあと、自動的に電話が切れるように(または切れないように)設定することができます。また、自動的に電話が切れるように設定されている場合、電話が切れる前に「ご利用ありがとうございました」というガイダンスを流すかを設定することができます。詳しくは、販売店にご相談ください。	

つづく→

項目	内容
留守番モニタ指定	<p>留守番モニタ動作を選択します。</p> <p>サイレント: 録音中に相手のメッセージが聞こえないように設定します。</p> <p>モニタ: 録音中に相手のメッセージが聞こえるように設定します。</p>
応答録音ガイダンス指定	<p>フルダウンメニューから応答録音ガイダンスの種類を選択します。</p> <p>[無し]、[固定ガイダンス1]、[固定ガイダンス2]のほか、[ユーザガイダンス]から選択できます。</p> <p>[ユーザガイダンス]を選択した場合、ユーザガイダンス番号を入力します。</p> <p>固定ガイダンスの内容は以下のとおりです。</p> <p>固定ガイダンス1: ただ今、留守にしています。発信音のあとにメッセージをお話しください。</p> <p>固定ガイダンス2: お電話ありがとうございます。 申し訳ございませんが、本日の業務は終了いたしました。 メッセージを承ります。ピーという発信音のあとに、お名前とご用件をお話しください。</p> <p>工事設定</p> <p>メールボックス番号が登録されていない場合、応答録音の設定は無効になります。詳しくは、販売店にご相談ください。</p> <p>MEMO</p> <ul style="list-style-type: none"> [無し]を選択した場合は、応答ガイダンスは流れず、応答直後に録音開始告知音が「ピー」と鳴ります。 ユーザガイダンスは、[ユーザガイダンス転送] (→ P.90) を使って登録できます。
応答専用ガイダンス指定	<p>フルダウンメニューから応答専用ガイダンスの種類を選択します。</p> <p>[無し]、[固定ガイダンス1]、[固定ガイダンス2]のほか、[ユーザガイダンス]から選択できます。</p> <p>[ユーザガイダンス]を選択した場合、ユーザガイダンス番号を入力します。</p> <p>固定ガイダンスの内容は以下のとおりです。</p> <p>固定ガイダンス1: ただ今、留守にしています。しばらくしてからおかけ直しください。</p> <p>固定ガイダンス2: お電話ありがとうございます。 申し訳ございませんが、本日の業務は終了いたしました。 後程、お電話いただきますようお願いいたします。</p> <p>MEMO</p> <p>ユーザガイダンスは、[ユーザガイダンス転送] (→ P.90) を使って登録できます。</p>

つづく→

項目	内容
終了ガイダンス指定	<p>プルダウンメニューから、最大録音時間を超えた状態で留守番タイマが起動したときに、「ピーピー」のお知らせ音のあとに流す終了ガイダンスを選択します。</p> <p>[無し]、[固定ガイダンス]、[ユーザガイダンス]から選択できます。</p> <p>[ユーザガイダンス]を選択した場合、ユーザガイダンス番号を入力します。</p> <p>無し: 「ピーピー」のお知らせ音のみを流します。</p> <p>固定ガイダンス: 「ピーピー」のお知らせ音のあとに「制限時間になりましたので、録音を終了します。」のガイダンスを流します。</p> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>MEMO</p> <ul style="list-style-type: none"> ユーザガイダンスは、[ユーザガイダンス転送]を使って登録できます（➡ P.90）。 メッセージの録音最大時間は 1 ~ 255 分の範囲で指定できます。 </div> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>工事設定</p> <p>録音終了後、お知らせ音や終了ガイダンスが流れたらあと、自動的に電話が切れるように（または切れないように）設定することができます。また、自動的に電話が切れるように設定されている場合、電話が切れる前に「ご利用ありがとうございました」というガイダンスを流すかを設定することができます。詳しくは、販売店にご相談ください。</p> </div>
録音通知方法	<p>メッセージ（留守録）が録音されたことを通知する方法（電話/Eメール）を選択します。</p> <p>[電話呼出]または[Eメール]（あるいは両方）をチェックして選択します。録音通知しない場合は、両項目ともチェックを外します。</p> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>工事設定</p> <p>Eメールを使用するには、工事設定（Eメール機能利用情報、メール送受信サーバ情報など）が必要です。詳しくは、販売店にご相談ください。</p> </div> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>MEMO</p> <p>メッセージ録音の通知は、[ボイスメール]の通知先に指定した電話番号またはEメールアドレスに通知されます（➡ P.71）。</p> </div>

5 手順 4 に従って、[時間帯 2]～[時間帯 10] の項目を設定します。設定した内容を違う曜日にコピーする場合、[コピー先] で目的の曜日にチェックを入れます。

必要な時間帯のみ設定します。

不要な時間帯を削除するには [削除] をクリックします。

時間帯2 削除	
開始時間	: (00:01～23:59) ※1
留守番グループ動作	グループA 在宅 フラップB 在宅 フラップC 在宅 フラップD 在宅 ※2
留守番モニタ指定	<input checked="" type="radio"/> サイレント <input type="radio"/> モニタ
応答録音ガイダンス指定	固定ガイダンス1 フラップ番号 (ユーザガイダンス選択時のみ有効、00～99)
応答専用ガイダンス指定	固定ガイダンス1 フラップ番号 (ユーザガイダンス選択時のみ有効、00～99)
終了ガイダンス指定	固定ガイダンス フラップ番号 (ユーザガイダンス選択時のみ有効、00～99)
録音通知方法	<input checked="" type="checkbox"/> 電話呼出 <input type="checkbox"/> Eメール ※3

時間帯3 削除	
開始時間	: (00:01～23:59) ※1
留守番グループ動作	グループA 在宅 フラップB 在宅 フラップC 在宅 フラップD 在宅 ※2
留守番モニタ指定	<input checked="" type="radio"/> サイレント <input type="radio"/> モニタ
応答録音ガイダンス指定	固定ガイダンス1 フラップ番号 (ユーザガイダンス選択時のみ有効、00～99)
応答専用ガイダンス指定	固定ガイダンス1 フラップ番号 (ユーザガイダンス選択時のみ有効、00～99)
終了ガイダンス指定	固定ガイダンス フラップ番号 (ユーザガイダンス選択時のみ有効、00～99)
録音通知方法	<input checked="" type="checkbox"/> 電話呼出 <input type="checkbox"/> Eメール ※3

時間帯4 削除	
開始時間	: (00:01～23:59) ※1
留守番グループ動作	グループA 在宅 フラップB 在宅 フラップC 在宅 フラップD 在宅 ※2
留守番モニタ指定	<input checked="" type="radio"/> サイレント <input type="radio"/> モニタ
応答録音ガイダンス指定	固定ガイダンス1 フラップ番号 (ユーザガイダンス選択時のみ有効、00～99)
応答専用ガイダンス指定	固定ガイダンス1 フラップ番号 (ユーザガイダンス選択時のみ有効、00～99)
終了ガイダンス指定	固定ガイダンス フラップ番号 (ユーザガイダンス選択時のみ有効、00～99)
録音通知方法	<input checked="" type="checkbox"/> 電話呼出 <input type="checkbox"/> Eメール ※3

時間帯9 削除	
開始時間	: (00:01～23:59) ※1
留守番グループ動作	グループA 在宅 フラップB 在宅 フラップC 在宅 フラップD 在宅 ※2
留守番モニタ指定	<input checked="" type="radio"/> サイレント <input type="radio"/> モニタ
応答録音ガイダンス指定	固定ガイダンス1 フラップ番号 (ユーザガイダンス選択時のみ有効、00～99)
応答専用ガイダンス指定	固定ガイダンス1 フラップ番号 (ユーザガイダンス選択時のみ有効、00～99)
終了ガイダンス指定	固定ガイダンス フラップ番号 (ユーザガイダンス選択時のみ有効、00～99)
録音通知方法	<input checked="" type="checkbox"/> 電話呼出 <input type="checkbox"/> Eメール ※3

時間帯10 削除	
開始時間	: (00:01～23:59) ※1
留守番グループ動作	グループA 在宅 フラップB 在宅 フラップC 在宅 フラップD 在宅 ※2
留守番モニタ指定	<input checked="" type="radio"/> サイレント <input type="radio"/> モニタ
応答録音ガイダンス指定	固定ガイダンス1 フラップ番号 (ユーザガイダンス選択時のみ有効、00～99)
応答専用ガイダンス指定	固定ガイダンス1 フラップ番号 (ユーザガイダンス選択時のみ有効、00～99)
終了ガイダンス指定	固定ガイダンス フラップ番号 (ユーザガイダンス選択時のみ有効、00～99)
録音通知方法	<input checked="" type="checkbox"/> 電話呼出 <input type="checkbox"/> Eメール ※3

コピー先	<input checked="" type="checkbox"/> 日 <input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 火 <input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 木 <input type="checkbox"/> 金 <input type="checkbox"/> 土 <input type="checkbox"/> 休日/祝祭日
------	---

※1 未入力の場合は時間帯切替無となります
※2 グループA～Dが全て在宅に設定した場合は在宅モードとなります
※3 通知先はEメールの画面から設定してください

[設定] [初期化] ▲上へ

6 [設定] をクリックします。

- 入力した設定内容を変更したい場合は、再度、入力しなおしてください。
- [初期化] をクリックすると、初期設定の状態に戻ります。

ポップアップが表示されます。

7

表示されたポップアップで[OK]をクリックします。

選択した曜日と時間帯の留守番タイマの動作が登録され、タイムテーブルに表示されます。

	日	月	火	水	木	金	土	休日/祝祭日
00:00	留守番	在宅						
01:00								
02:00								
03:00								
04:00								
05:00								
06:00								
07:00								
08:00								
09:00								
10:00								

手動で留守番に切り替えたときの動作を留守番グループごとに設定します。またテナントごとに、ガイダンスの種類や、手動切り替え時に選択可能な留守番モードなども設定できます。

1

手動応答利用時の動作を設定する（手動切替設定）

[留守番]画面を表示して（➡ P.77）、[手動切替設定]タブをクリックします。

留守番																																																																																																																																															
ユーザ名:108	ログアウト																																																																																																																																														
Top > 留守番 > タイマ連動設定																																																																																																																																															
タイム連動設定 関連設定 手動切替設定																																																																																																																																															
留守番タイマ連動設定																																																																																																																																															
外線着信時の自動応答による用件録音機能について、曜日/時間毎に動作設定を行います。 各曜日をクリックし設定画面を表示してください。（内蔵ボイスメールの場合のみ有効な設定です）																																																																																																																																															
<table border="1"> <thead> <tr><th></th><th>日</th><th>月</th><th>火</th><th>水</th><th>木</th><th>金</th><th>土</th><th>休日/祝祭日</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>00:00</td><td>在宅</td><td>在宅</td><td>在宅</td><td>在宅</td><td>在宅</td><td>在宅</td><td>在宅</td><td>在宅</td></tr> <tr><td>01:00</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>02:00</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>03:00</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>04:00</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>05:00</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>06:00</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>07:00</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>08:00</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>09:00</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>10:00</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>11:00</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>12:00</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>13:00</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>										日	月	火	水	木	金	土	休日/祝祭日	00:00	在宅	01:00									02:00									03:00									04:00									05:00									06:00									07:00									08:00									09:00									10:00									11:00									12:00									13:00															
	日	月	火	水	木	金	土	休日/祝祭日																																																																																																																																							
00:00	在宅	在宅	在宅	在宅	在宅	在宅	在宅	在宅																																																																																																																																							
01:00																																																																																																																																															
02:00																																																																																																																																															
03:00																																																																																																																																															
04:00																																																																																																																																															
05:00																																																																																																																																															
06:00																																																																																																																																															
07:00																																																																																																																																															
08:00																																																																																																																																															
09:00																																																																																																																																															
10:00																																																																																																																																															
11:00																																																																																																																																															
12:00																																																																																																																																															
13:00																																																																																																																																															

[手動切替設定]タブに切り替わり、手動切替設定の内容が表示されます。

留守番																																																																						
ユーザ名:108	ログアウト																																																																					
Top > 留守番 > 手動切替設定																																																																						
タイム連動設定 関連設定 手動切替設定																																																																						
留守番手動切替設定																																																																						
手動で留守番切替を行った時の動作設定を行います。（内蔵ボイスメールの場合のみ有効な設定です）																																																																						
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">留守番グループ動作</td> <td>グループA 応答録音</td> <td>グループB 在宅</td> </tr> <tr> <td colspan="2">グループC 在宅</td> <td>グループD 在宅</td> <td>※1</td> </tr> <tr> <td colspan="9">留守番モニタ指定</td> </tr> <tr> <td colspan="9"> <input checked="" type="radio"/> サインルート <input type="radio"/> モニタ </td> </tr> <tr> <td colspan="9"> ガイダンス1 応答録音ガイダンス 固定ガイダンス1 ✓ 番号 (00~99) ※2 応答専用ガイダンス 固定ガイダンス2 ✓ 番号 (00~99) ※2 締了ガイダンス 固定ガイダンス ✓ 番号 (00~99) ※2 </td> </tr> <tr> <td colspan="9"> ガイダンス2 応答録音ガイダンス 無し ✓ 番号 (00~99) ※2 応答専用ガイダンス 無し ✓ 番号 (00~99) ※2 締了ガイダンス 無し ✓ 番号 (00~99) ※2 </td> </tr> <tr> <td colspan="9"> ガイダンス3 応答録音ガイダンス 無し ✓ 番号 (00~99) ※2 応答専用ガイダンス 無し ✓ 番号 (00~99) ※2 締了ガイダンス 無し ✓ 番号 (00~99) ※2 </td> </tr> <tr> <td colspan="9"> 録音通知方法 <input checked="" type="checkbox"/> 電話呼出 <input type="checkbox"/> Eメール ※4 </td> </tr> </table>									留守番グループ動作		グループA 応答録音	グループB 在宅	グループC 在宅		グループD 在宅	※1	留守番モニタ指定									<input checked="" type="radio"/> サインルート <input type="radio"/> モニタ									ガイダンス1 応答録音ガイダンス 固定ガイダンス1 ✓ 番号 (00~99) ※2 応答専用ガイダンス 固定ガイダンス2 ✓ 番号 (00~99) ※2 締了ガイダンス 固定ガイダンス ✓ 番号 (00~99) ※2									ガイダンス2 応答録音ガイダンス 無し ✓ 番号 (00~99) ※2 応答専用ガイダンス 無し ✓ 番号 (00~99) ※2 締了ガイダンス 無し ✓ 番号 (00~99) ※2									ガイダンス3 応答録音ガイダンス 無し ✓ 番号 (00~99) ※2 応答専用ガイダンス 無し ✓ 番号 (00~99) ※2 締了ガイダンス 無し ✓ 番号 (00~99) ※2									録音通知方法 <input checked="" type="checkbox"/> 電話呼出 <input type="checkbox"/> Eメール ※4								
留守番グループ動作		グループA 応答録音	グループB 在宅																																																																			
グループC 在宅		グループD 在宅	※1																																																																			
留守番モニタ指定																																																																						
<input checked="" type="radio"/> サインルート <input type="radio"/> モニタ																																																																						
ガイダンス1 応答録音ガイダンス 固定ガイダンス1 ✓ 番号 (00~99) ※2 応答専用ガイダンス 固定ガイダンス2 ✓ 番号 (00~99) ※2 締了ガイダンス 固定ガイダンス ✓ 番号 (00~99) ※2																																																																						
ガイダンス2 応答録音ガイダンス 無し ✓ 番号 (00~99) ※2 応答専用ガイダンス 無し ✓ 番号 (00~99) ※2 締了ガイダンス 無し ✓ 番号 (00~99) ※2																																																																						
ガイダンス3 応答録音ガイダンス 無し ✓ 番号 (00~99) ※2 応答専用ガイダンス 無し ✓ 番号 (00~99) ※2 締了ガイダンス 無し ✓ 番号 (00~99) ※2																																																																						
録音通知方法 <input checked="" type="checkbox"/> 電話呼出 <input type="checkbox"/> Eメール ※4																																																																						
<small>※1 グループA～Dが全て在宅で設定した場合は在宅モードとなります ※2 ガイダンス番号はユーザガイダンス選択時のみ有効です ※3 ガイダンス2・3はユーザ選択式の留守番ボタン押下時のみ有効です ※4 通知先はボイスメールの画面から設定してください</small>																																																																						
<input type="button" value="設定"/> <input type="button" value="初期化"/>																																																																						

2

手動で留守番切替を行ったときの動作を設定します。

タイム運動設定 関連設定 手動切替設定

留守番手動切替設定

手動で留守番切替を行った時の動作設定を行います。（内蔵ボイスメールの場合のみ有効な設定です）

留守番グループ動作		グループA 応答録音 ✓ グループB 在宅 ✓ グループC 在宅 ✓ グループD 在宅 ✓	※1
留守番モニタ指定		<input checked="" type="radio"/> サイレント <input type="radio"/> モニタ	
ガイダンス1	応答録音ガイダンス	固定ガイダンス ✓ 番号 (00~99) ※2	
	応答専用ガイダンス	固定ガイダンス ✓ 番号 (00~99) ※2	
	終了ガイダンス	固定ガイダンス ✓ 番号 (00~99) ※2	
ガイダンス2 ※3	応答録音ガイダンス	無し ✓ 番号 (00~99) ※2	
	応答専用ガイダンス	無し ✓ 番号 (00~99) ※2	
	終了ガイダンス	無し ✓ 番号 (00~99) ※2	
ガイダンス3 ※3	応答録音ガイダンス	無し ✓ 番号 (00~99) ※2	
	応答専用ガイダンス	無し ✓ 番号 (00~99) ※2	
	終了ガイダンス	無し ✓ 番号 (00~99) ※2	
録音通知方法 <input checked="" type="checkbox"/> 電話呼出 <input type="checkbox"/> Eメール ※4			

※1 グループA～Dが全て在宅に設定した場合は在宅モードとなります。
※2 ガイダンス番号はユーザガイダンス選択時のみ有効です。
※3 ガイダンス2、3はユーザー選択式の留守番ボタン押下時のみ有効です。
※4 通知先はボイスメールの画面から設定してください。

設定 初期化

項目	内容
留守番グループ動作	<p>留守番グループごとの動作をプルダウンメニューから選択します。 在宅: 留守番機能を OFF に設定します。 応答録音: 外線着信に自動応答し、応答録音ガイダンスを流してガイダンス終了後にメッセージを録音します。 応答専用: 外線着信に自動応答し、応答専用ガイダンスを 2 回流します。 ※全グループで「在宅」を選択した場合は、留守番モードに切り替えられません。</p> <p>工事設定</p> <p>録音終了後または応答専用ガイダンスが流れたあと、自動的に電話が切れるように（または切れないように）設定することができます。また、自動的に電話が切れるように設定されている場合、電話が切れる前に「ご利用ありがとうございました」のようなガイダンスを流すかを設定することができます。詳しくは、販売店にご相談ください。</p>
留守番モニタ指定	<p>留守番モニタ動作を選択します。 サイレント: 録音中に相手のメッセージが聞こえないように設定します。 モニタ: 録音中に相手のメッセージが聞こえるように設定します。</p>

つづく→

項目	内容
ガイダンス 1、 ガイダンス 2、 ガイダンス 3	<p>留守番中に電話がかかってきたとき相手に流すガイダンスや留守番モードを選択します（テナントごと）。</p> <ul style="list-style-type: none"> 留守番ボタン（ユーザ選択方式）を押して切り替える場合： ガイダンス 1～3 で、応答録音ガイダンスや応答専用ガイダンスの各パターンを指定しておくと、留守番ボタンを押すたびにガイダンスや留守番モードを切り替えることができます。 ガイダンス 1～3 の設定は、留守番グループ A～D のいずれかが「応答録音」か「応答専用」の場合に有効になります。また、留守番グループごと（A～D）に指定された動作よりも、ガイダンス 1～3 に指定された留守番モードが優先されます。 ガイダンス 1～3 の設定は、テナント内の全グループに同時に適用されます。 留守番ボタン（設定に従う）を押して切り替える場合： 留守番グループごと（A～D）に指定された動作に従って、ガイダンス 1 に指定されたガイダンスが流れます。この場合は、ガイダンス 2、3 に指定されたガイダンスは使用されません。また、ガイダンス 1 に指定されたガイダンスでも、グループに指定された動作と異なるガイダンスは使用されません。 <p>MEMO</p> <ul style="list-style-type: none"> 留守番ボタンはオートダイヤルボタンです。付加情報（留守番動作指定）として、「設定に従う」または「ユーザ選択方式」を設定できます。オートダイヤルボタンの登録については「オートダイヤルの割り付け（オートダイヤル登録）」（→ P.140）、付加情報については、『取扱説明書（多機能電話機編）』－「A-7 オートダイヤルボタン機能一覧表」を参照してください。 留守番ボタンを使用した留守番モードの切替操作については、『取扱説明書（多機能電話機編）』－「留守番機能の設定と使いかた（手動切替）」を参照してください。
応答録音ガイダンス	<p>プルダウンメニューから応答録音ガイダンスの種類を選択します。[無し]、[固定ガイダンス 1]、[固定ガイダンス 2]のほか、[ユーザガイダンス]から選択できます。 [ユーザガイダンス]を選択した場合、ユーザガイダンス番号を入力します。 固定ガイダンスの内容は以下のとおりです。</p> <p>固定ガイダンス 1: まだ今、留守にしています。発信音のあとにメッセージをお話しください。</p> <p>固定ガイダンス 2: お電話ありがとうございます。 申し訳ございませんが、本日の業務は終了いたしました。 メッセージを承ります。ピーという発信音のあとに、お名前とご用件をお話しください。</p> <p>工事設定</p> <p>メールボックス番号が登録されていない場合、応答録音の設定は無効になります。詳しくは、販売店にご相談ください。</p> <p>MEMO</p> <ul style="list-style-type: none"> [無し]を選択した場合、留守番ボタンの動作指定が「設定に従う」（ガイダンス 1）のときは、応答ガイダンスは流れず応答直後に録音開始告知音が「ピー」と鳴ります。留守番ボタンの動作指定が「ユーザ選択方式」のときは、留守番ボタンでのパターン切替時にこのガイダンスはスキップされます（候補として表示されません）。 ユーザガイダンスは、[ユーザガイダンス転送]（→ P.90）を使って登録できます。

つづく→

項目	内容
応答専用ガイダンス	<p>プルダウンメニューから応答専用ガイダンスの種類を選択します。[無し]、[固定ガイダンス1]、[固定ガイダンス2]のほか、[ユーザガイダンス]から選択できます。</p> <p>[ユーザガイダンス]を選択した場合、ユーザガイダンス番号を入力します。</p> <p>固定ガイダンスの内容は以下のとおりです。</p> <p>固定ガイダンス1:ただ今、留守にしています。しばらくしてからおかけ直してください。</p> <p>固定ガイダンス2:お電話ありがとうございます。 申し訳ございませんが、本日の業務は終了いたしました。 後程、お電話いただきますようお願いいたします。</p> <p>MEMO</p> <ul style="list-style-type: none"> [無し]を選択した場合、留守番ボタンの動作指定が「設定に従う」(ガイダンス1)のときは、応答ガイダンスは流れません。留守番ボタンの動作指定が「ユーザ選択方式」のときは、留守番ボタンでのパターン切替時にこのガイダンスはスキップされます(候補として表示されません)。 ユーザガイダンスは、[ユーザガイダンス転送] (→ P.90)を使って登録できます。
終了ガイダンス	<p>プルダウンメニューから、最大録音時間を超えた状態で留守番タイマが起動したときに、「ピーピー」のお知らせ音のあとに流す終了ガイダンスを選択します。[ユーザガイダンス]を選択した場合、ユーザガイダンス番号を入力します。</p> <p>無し:「ピーピー」のお知らせ音のみ流します。</p> <p>固定ガイダンス:「ピーピー」のお知らせ音のあとに「制限時間になりましたので、録音を終了します。」のガイダンスを流します。</p> <p>MEMO</p> <ul style="list-style-type: none"> ユーザガイダンスは、[ユーザガイダンス転送]を使って登録できます(→ P.90)。 メッセージの録音最大時間は1~255分の範囲で指定できます。 <p>工事設定</p> <p>録音終了後、お知らせ音や終了ガイダンスが流れたあと、自動的に電話が切れるように(または切れないように)設定することができます。また、自動的に電話が切れるように設定されている場合、電話が切れる前に「ご利用ありがとうございました」のようなガイダンスを流すかを設定することができます。詳しくは、販売店にご相談ください。</p>

つづく→

3**[設定] をクリックします。**

- 入力した設定内容を変更したい場合は、再度、入力しなおしてください。
- [初期化] をクリックすると、初期設定の状態に戻ります。

ポップアップが表示されます。

4**表示されたポップアップで [OK] をクリックします。**

留守番機能の手動切替時の動作が登録されます。

項目	内容
録音通知方法	<p>メッセージ(留守録)が録音されたことを通知する方法(電話 /E メール)を選択します。</p> <p>[電話呼出] または [E メール] (あるいは両方)をチェックして選択します。録音通知しない場合は、両項目ともチェックを外します。</p> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 工事設定 <p>E メールを使用するには、工事設定(E メール機能利用情報、メール送受信サーバ情報など)が必要です。詳しくは、販売店にご相談ください。</p> </div> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin-top: 10px;"> MEMO <p>メッセージ録音の通知は、[ボイスメール] の通知先に指定した電話番号または E メールアドレスに通知されます(→ P.71)。</p> </div>

留守番機能の起動時間など、留守番関連の機能を設定する（関連設定）

在宅モード / 留守番モードで自動応答するまでの時間やワンショット留守番機能で応答する際の応答ガイダンス、ワンショット留守番中にメッセージが録音されたことを通知する方法（電話 / E メール）、留守番切替時に優先させる動作の指定を行います。

1 [留守番] 画面を表示して（→ P.77）、[関連設定] タブをクリックします。

The screenshot shows the 'User Name: 108' and 'Logout' buttons at the top left. On the left, there is a sidebar with various menu items like 'Password Change', 'Clock Setting', 'Calendar Setting', 'Inbound List', 'Phone Book', 'Fax Transfer', 'Email', '留守番', 'User Guidance Transfer', 'Fax of Various Transfers', 'Outbound Transfer', 'One-Touch Dialing Registration', 'Modem Transfer', 'IVR', and 'RSS'. The main area is titled '留守番' and shows the 'Related Settings' tab selected. It contains a note about setting up automatic response times and one-touch message recording notifications. A large table grid is present for setting response times from 00:00 to 16:00 across days of the week.

[関連設定] タブに切り替わり、設定内容が表示されます。

This screenshot shows the same 'User Name: 108' and 'Logout' buttons. The sidebar and main title are identical to the previous screenshot. The 'Related Settings' tab is selected. The main area now displays detailed configuration options for '留守番起動時間' (Activation Time), 'ワンショット留守番動作' (One-touch Message Recording Action), '録音通知方法' (Recording Notification Method), and '留守番切替指定' (Switching Method). A note at the bottom indicates that the '留守番モード' (Leave mode) must be set to 'On' for these settings to take effect.

2 以下の項目を設定します。

This screenshot shows the same setup as the previous one, but with the '留守番起動時間' (Activation Time) and 'ワンショット留守番動作' (One-touch Message Recording Action) sections highlighted by a red box. These sections contain dropdown menus for '固定ガイダンス' (Fixed Guidance) and '番号' (Number), and checkboxes for '電話呼出' (Phone Call) and 'Eメール' (Email).

つづく→

(*)の付いた項目は必ず登録してください。

項目	内容
留守番起動時間 *	<p>留守番起動時間を指定します。 在宅モード時: 留守番が OFF の状態のときに、留守番を起動させる秒数を入力します。「0」を入力すると、着信に応答しない設定になります。 留守番モード時: 留守番が ON の状態のときに、留守番を起動させる時間を入力します。「0」を入力すると、着信に即時応答する設定になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 在宅モード、留守番モードともに 0 ~ 180 秒の間で指定できます。
ワンショット留守番動作	<p>プルダウンメニューからワンショット留守番で使うガイダンスの種類を選択します。</p> <p>[固定ガイダンス 1]、[固定ガイダンス 2]のほか、[ユーザガイダンス]から選択できます。 [ユーザガイダンス]を選択した場合、ユーザガイダンス番号を入力します。 固定ガイダンスの内容は以下のとおりです。</p> <p>固定ガイダンス 1(録音あり): ただ今、留守にしています。発信音のあとにメッセージをお話しください。</p> <p>固定ガイダンス 2(録音あり): お電話ありがとうございます。申し訳ございませんが、本日の業務は終了いたしました。メッセージを承ります。ピーという発信音のあとに、お名前とご用件をお話しください。</p> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>工事設定</p> <p>メールボックス番号が登録されていない場合、応答録音の設定は無効になります。詳しくは、販売店にご相談ください。</p> </div> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>MEMO</p> <p>ユーザガイダンスは、[ユーザガイダンス転送] (→ P.90) を使って登録できます。</p> </div>
録音通知方法	<p>ワンショット留守番中に、メッセージ(留守録)が録音されたことを通知する方法(電話 / E メール)を選択します。 [電話呼出] または [E メール] (あるいは両方) をチェックして選択します。録音通知しない場合は、両項目ともチェックを外します。</p> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>工事設定</p> <p>E メールを使用するには、工事設定(E メール機能利用情報、メール送受信サーバ情報など)が必要です。詳しくは、販売店にご相談ください。</p> </div> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>MEMO</p> <p>メッセージ録音の通知は、[ボイスメール] の通知先に指定した電話番号または E メールアドレスに通知されます (→ P.71)。</p> </div>
留守番切替指定	優先させる動作を指定します。 [手動優先] または [自動優先] のどちらかをクリックします。

3**[設定]をクリックします。**

- 入力した設定内容を変更したい場合は、再度、入力しなおしてください。
- [初期化]をクリックすると、初期設定の状態に戻ります。

ポップアップが表示されます。

4**表示されたポップアップで[OK]をクリックします。**

留守番関連の設定が登録されます。

ユーザガイダンスの管理（ユーザガイダンス転送）

管理

ユーザガイダンスとは、留守番や転送などのサービス設定時に利用できるシステム管理電話機で録音した音声ファイルです。

録音音声のほか、PC（パソコン）に保存されている任意の音声ファイルを本システムに取り込んでユーザガイダンスとして登録することもできます。また、既存のユーザガイダンスの名称を変更したり、ファイルを削除したり、PCに転送したりすることもできます。

ここでは、以下の2つの操作について説明します。

- 既存のユーザガイダンスを変更／削除／転送する（ユーザガイダンス編集）（➡ P.90）
- PC上の音声ファイルをユーザガイダンスとして登録する（新規登録）（➡ P.92）

既存のユーザガイダンスを変更／削除／転送する（ユーザガイダンス編集）

すでに登録されているユーザガイダンスの名称を変更したり、ファイルを削除したり、ファイルをPC上の任意のフォルダに転送し、バックアップすることができます。

1 Web設定を起動します。

参照）第1章の「Web設定の起動と終了」（➡ P.3）

2 左メニューで[ユーザガイダンス転送]をクリックします。

The screenshot shows the left sidebar of the Web settings interface. The 'User Guidance Transfer' option is highlighted with a red box. Other options visible in the sidebar include 'Password Change', 'Clock Setting', 'Calendar Setting', 'Inbound Call List', 'Phone Book', 'Phone Book Transfer', 'Email', 'Fax', 'User Guidance Transfer', 'Phone Number Transfer', 'External Transfer', 'Autodialer Registration', 'Metaphor Transfer', and 'IVR'. The main panel is titled 'Setting Screen' and contains a 'Note' section with instructions about browser settings and file formats.

[ユーザガイダンス転送]の[ガイダンス一覧]タブが表示され、既存のユーザガイダンス一覧が表示されます。

The screenshot shows the 'User Guidance Transfer' screen with the 'User Guidance List' tab selected. The main area displays a table with columns for 'User Guidance ID', 'User Guidance Name (Kanji)', 'User Guidance Name (Hiragana)', and 'User Guidance File Name'. One entry is shown: 'User Guidance 00' with 'User Guidance 02' in both names and 'VGUIDANCE00.wav' as the file name. Navigation buttons for 'Previous' and 'Next' are at the bottom of the table.

3

編集、削除または転送するユーザガイダンス番号をクリックします。

ガイダンス番号	ガイダンス名(漢字名称)	ガイダンス名(カナ名称)	ガイダンスファイル名
ガイダンス00	ガイダンス02	ガイダンス02	VGUIDANCE00.wav

[ユーザガイダンス編集] の設定内容が表示されます。

ガイダンス番号	00
ガイダンス名(漢字名称)	ガイダンス02 (全角10文字以内／半角20文字以内)
ガイダンス名(カナ名称)	ガイダンス02 (半角20文字以内)
ガイダンスファイル名	VGUIDANCE00.wav

[ガイダンス名変更] [削除] [ダウンロード]

4

■ユーザガイダンス名称を変更する場合

①[ガイダンス名(漢字名称)]と[ガイダンス名(カナ名称)]の内容を修正し、
[ガイダンス名変更]をクリックします。

- ・[ガイダンス名(漢字名称)]には、全角10文字または半角20文字まで入力できます。
- ・[ガイダンス名(カナ名称)]には、半角20文字まで入力できます。

②表示されたポップアップで[OK]をクリックします。

選択したユーザガイダンス名称が変更されます。

■ユーザガイダンスを削除する場合

①[削除]をクリックします。

②表示されたポップアップで[OK]をクリックします。

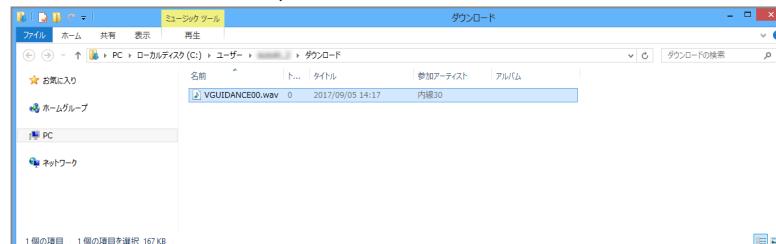
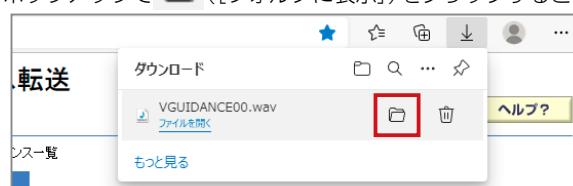
選択したユーザガイダンス名称が削除されます。

■ユーザガイダンスの音声ファイルを転送する場合

[ダウンロード]をクリックします。

選択したユーザガイダンスがPCのダウンロードフォルダに保存(転送)され、画面上部のツールバーにダウンロード情報がポップアップ表示されます。

ポップアップで ([フォルダに表示]) をクリックすると、ダウンロードフォルダを確認できます。



PC 上の音声ファイルをユーザガイダンスとして登録する(新規登録)

PC(パソコン)上の任意のフォルダに保存されている音声ファイルをユーザガイダンスとして本システムに取り込むことができます。

取り込むことが可能な音声ファイルの形式とサイズの条件は以下のとおりです。

圧縮アルゴリズム / 圧縮ビットレート	G.711 μ-Law(64kbps)
ファイル形式	WAV
1 ファイルサイズ	最大 2.4Mbyte (5 分)

※音声ファイルのファイル名には、半角英数記号を使用してください。全角英数字、日本語、特殊文字などのファイル名の音声ファイルは取り込むことができません。

- 1 [ユーザガイダンス転送] 画面を表示して(→ P.90)、[新規登録] タブをクリックします。

The screenshot shows the 'User Guidance Transfer' interface. On the left is a sidebar with navigation links: ユーザ名:108 (User Name: 108), ログアウト (Logout), パスワード変更 (Password Change), 時計設定 (Clock Setting), カレンダー設定 (Calendar Setting), 内線一覧 (Intra-line List), ▽ 電話帳 (Phone Book), 電話帳転送 (Phone Book Transfer), ボイスメール (Voicemail), 留守番 (Answering Machine), and ユーザガイダンス転送 (User Guidance Transfer). The main area is titled 'ユーザガイダンス転送' (User Guidance Transfer) and shows the '新規登録' (New Registration) tab is selected. Below it is a table titled '登録ガイダンス一覧' (List of Registered Guidelines) with one entry: ガイダンス番号: ガイダンス00, ガイダンス名(漢字名称): ガイダンス02, ガイダンス名(かけ名称): がいだんす02, ガイダンスファイル名: VGUIDANCE00.wav.

[新規登録] タブに切り替わり、設定内容が表示されます。

The screenshot shows the 'User Guidance Transfer' interface with the 'User Guidance Registration' form displayed. The sidebar and main title are the same as the previous screenshot. The form fields are: ガイダンス番号 (*) (Guidance Number) with placeholder <00~99>; ガイダンス名(漢字名称) (Guidance Name (Chinese Character Name)) with placeholder (全角10文字以内 / 半角20文字以内) ※1; ガイダンス名(かけ名称) (Guidance Name (Pseudonym)) with placeholder (半角20文字以内) ※1; and ファイル指定 (*) (File Specification) with placeholder ファイルの選択 (Select file) and note ファイルが選択されていません (File is not selected). A note at the bottom states ※1 未入力の場合は名称無となります (If empty, the name will not be present).

2

ユーザガイダンス名称などを設定します。

ガイダンス一覧 新規登録

ユーザガイダンス登録

応答用ガイダンスを新規に登録します。
(*)は必須設定項目です。

ガイダンス番号 (*)	* <input type="text"/> (00~99/*:空き番号へ登録)
ガイダンス名(漢字名称)	ガイダンス02 (全角10文字以内／半角20文字以内) ※1
ガイダンス名(カナ名称)	ガイダンス02 (半角20文字以内) ※1
ファイル指定 (*)	<input type="button" value="ファイルの選択"/> ファイルが選択されていません

※1 未入力の場合は名称無となります

(*)の付いた項目は必ず登録してください。

項目	内容
ガイダンス番号 *	登録先のガイダンス番号を入力します。 <ul style="list-style-type: none"> すでに登録されている番号には登録できません。 「*」を入力すると、一番若い空き番号が自動的に選択されます。
ガイダンス名(漢字名称)	ユーザガイダンスの漢字名称を入力します。[ガイダンス名(漢字名称)]には、全角文字(漢字、ひらがな、カナ、英字、数字、記号)で最大10文字まで、半角文字(カナ、英字、数字、記号)で最大20文字まで入力できます。 <ul style="list-style-type: none"> ユーザガイダンスの漢字名称には、全角半角を混在させた名称を登録できます。 ここで登録した漢字名称がユーザガイダンス一覧や電話機のディスプレイに表示されます。
ガイダンス名(カナ名称)	ユーザガイダンスのカナ名称を入力します。[ガイダンス名(カナ名称)]には、半角文字(カナ、英字、数字、記号)で最大20文字まで入力できます。 <ul style="list-style-type: none"> 漢字名称を登録せずにカナ名称のみを登録すると、ユーザガイダンス一覧や電話機のディスプレイにはカナ名称が表示されます。

3

[ファイルの選択]をクリックします。

ガイダンス一覧 新規登録

ユーザガイダンス登録

応答用ガイダンスを新規に登録します。
(*)は必須設定項目です。

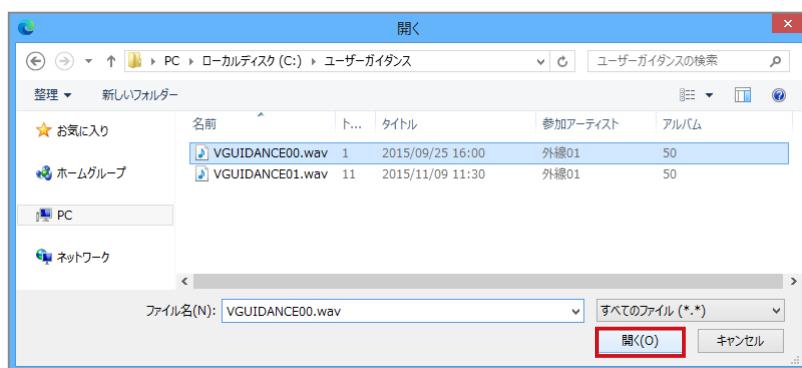
ガイダンス番号 (*)	* <input type="text"/> (00~99/*:空き番号へ登録)
ガイダンス名(漢字名称)	ガイダンス02 (全角10文字以内／半角20文字以内) ※1
ガイダンス名(カナ名称)	ガイダンス02 (半角20文字以内) ※1
ファイル指定 (*)	<input type="button" value="ファイルの選択"/> ファイルが選択されていません

※1 未入力の場合は名称無となります

Windows の[開く]ダイアログが表示されます。

4

取り込む音声ファイルを選択し、[開く]をクリックします。



選択した音声ファイル名が[ファイル指定]に表示されます。

5

[登録]をクリックします。

ポップアップが表示されます。

6

表示されたポップアップで[OK]をクリックします。

選択した音声ファイルがユーザガイダンスとして登録され、登録ガイダンス一覧に表示されます。

各種転送の設定(電話機の各種転送)

管理 一般

一般

電話機の各種転送サービス(不在転送、話中転送、無応答転送、圏外転送)利用時の動作を着信種別ごとに設定できます。

一般ユーザの場合は、ご自分の内線の転送動作のみ、管理ユーザの場合は全内線の転送動作を設定できます。ここでは、以下の4つの転送について説明します。

- 不在転送の利用設定および動作設定をする(不在転送)(→ P.95)
 - 話中転送の動作を設定する(話中転送)(→ P.108)
 - 無応答転送の動作を設定する(無応答転送)(→ P.115)
 - 圏外転送の動作を設定する(圏外転送)(→ P.125)

不在転送の利用設定および動作設定をする(不在転送)

不在転送の利用設定や不在理由の内容変更、着信種別ごとの動作設定を行います。ここでは、以下の6つの操作について説明します。

- 不在転送の利用設定を行う(不在モード設定)(\rightarrow P.95)
 - 不在転送の転送理由を変更する(不在理由設定)(\rightarrow P.97)
 - 内線着信時の転送動作を設定する(内線着信)(\rightarrow P.98)
 - 外線着信時の転送動作を設定する(外線着信)(\rightarrow P.100)
 - 専用線着信時の転送動作を設定する(専用線着信)(\rightarrow P.103)
 - 発番号ごとに転送動作を設定する(発番号別)(\rightarrow P.106)

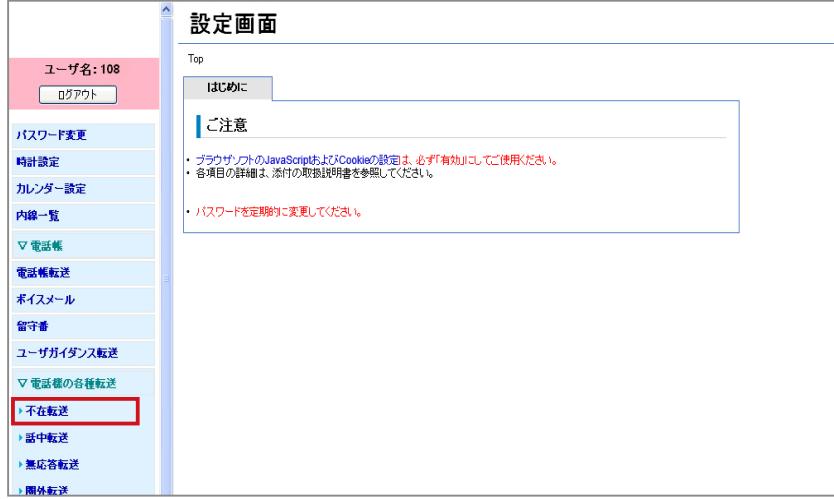
■不在転送の利用設定を行う(不在モード設定)

内線、外線または専用線から着信があったときに、不在転送を行うかどうかを設定します。

1 Web 設定を起動します。
参考》第 1 章の「Web 設定の起動」

参照》第1章の「Web設定の起動と終了」(→P.3)

左メニューで [電話機の各種転送] - [不在転送] をクリックします。



[電話機の各種転送] – [不在転送] の [不在モード設定] タブが表示されます。



3 [内線番号] に不在モードを設定する内線番号を入力し、[選択] をクリックします。

- 一般ユーザの場合は、ご自分の内線のみ設定できます。

4 [不在モード] の [ON]/[OFF] をクリックし、不在転送モードを利用するかどうかを設定します。

[ON]（転送する）を選択した場合、プルダウンメニューから不在理由を選択します。

- 初期設定は [OFF]（転送しない）です。

5 [設定] をクリックします。

- 入力した設定内容を変更したい場合は、再度、入力しなおしてください。
- [初期化] をクリックすると、初期設定の状態に戻ります。

ポップアップが表示されます。

6 表示されたポップアップで [OK] をクリックします。

選択した内線が不在転送モードになります。

■不在転送の転送理由を変更する（不在理由設定）

不在転送機能には、あらかじめ9つの不在理由が用意されています（初期設定）。設定されている不在理由の内容を変更することができます。

- 1** [電話機の各種転送] – [不在転送] 画面を表示して（**→ P.95**）、[不在理由設定] タブをクリックします。



[不在理由設定] タブの設定内容に切り替わります。

- 2** [内線番号] に不在理由を変更する内線番号を入力し、[選択] をクリックします。

- 一般ユーザの場合は、ご自分の内線のみ設定できます。

- 3** 不在理由の内容を直接修正します。



- 4** [設定] をクリックします。

- 入力した設定内容を変更したい場合は、再度、入力しなおしてください。
- [初期化] をクリックすると、初期設定の状態に戻ります。

ポップアップが表示されます。

- 5** 表示されたポップアップで [OK] をクリックします。

選択した内線の不在理由の選択肢が修正した内容に変わります。

■内線着信時の転送動作を設定する（内線着信）

不在転送モード中に内線から着信があった場合の転送先など、内線着信に対する転送動作を設定します。

- 1** [電話機の各種転送] – [不在転送] 画面を表示して（→ P.95）、[内線着信] タブをクリックします。



[内線着信] タブの設定内容に切り替わります。

- 2** [内線番号] に転送動作を設定する内線番号を入力し、[選択] をクリックします。

- 一般ユーザの場合は、ご自分の内線のみ設定できます。

- 3** [転送種別] で目的の転送先をクリックし、必要に応じて [付加情報] の項目を設定します。



項目	内容
内線転送	内線からの着信を指定した内線番号に転送します。
内線番号	転送先の内線番号を入力します。
ツインコール	内線への転送時に、転送元の着信を停止するか継続するかを選択します。 停止する場合は[無し]を、継続する場合は[有り]を選択します。

つづく→

項目	内容
外線転送	内線からの着信を指定した外線の電話番号に転送します。
相手先番号	転送先の電話番号を入力します。 ● 最大 32 衔まで登録できます。 ● 半角の 0 ~ 9、*、#、特殊コード（-：オートポーズ、P：PB 切替）が入力できます。
発信種別	フルダウントメニューから転送先の電話番号種別を選択します。 外線 ：回線を指定せず、使用できるいずれかの外線で転送します。 特番展開 ：入力した閉番号により専用線で転送します。 PBX ：主装置に接続されている構内交換機（PBX）を経由して外線へ転送します。 方路指定 ：方路（回線の束）を指定して転送します。この場合、方路番号も入力します。
<p>MEMO</p> <ul style="list-style-type: none"> 転送先の設定については、『取扱説明書（多機能電話機編）』－「3-5 電話に応答できないときの便利な機能」を参照してください。 方路番号などの用語については、『取扱説明書（多機能電話機編）』－「A-1 用語説明」を参照してください。 	
<p>工事設定</p> <ul style="list-style-type: none"> [特番展開] は [相手先番号] として閉番号を利用する場合に選択します。閉番号の設定については、販売店にご確認ください。 設定されている方路番号については、販売店にご確認ください。 	
ツインコール	外線への転送時に、転送元の着信を停止するか継続するかを選択します。 停止する場合は [無し] を、継続する場合は [有り] を選択します。
DGL グループ転送	内線からの着信を指定した DGL グループ内の内線に転送します。
グループ番号	転送先の DGL グループ番号を入力します。
内線代表転送	内線からの着信を内線代表機能に基づいて転送します。
<p>工事設定</p> <p>内線代表機能については、販売店にご相談ください。</p>	
転送無し [切断]	内線からの着信を転送せずに、そのまま切断します。
転送せずに着信を継続	内線からの着信を転送せずに、そのまま継続させます。
鳴動無し / 鳴動有り	継続時に着信音を鳴らすかどうかを選択します。着信音を鳴らす場合は [鳴動有り] を、鳴らさない場合は [鳴動無し] を選択します。

4

[設定] をクリックします。

- 入力した設定内容を変更したい場合は、再度、入力しなおしてください。
- [初期化] をクリックすると、初期設定の状態に戻ります。
- ここで設定を外線、専用線からの着信にも適用する場合は、[一括設定] をクリックします。

ポップアップが表示されます。

5

表示されたポップアップで [OK] をクリックします。

内線から着信があった場合の不在転送動作が設定されます。

- [一括設定] をクリックした場合は、外線および専用線からの着信時にも同じ設定が適用されます。

■外線着信時の転送動作を設定する（外線着信）

不在転送モード中に外線から個別着信があった場合の転送先など、外線着信に対する転送動作を設定します。

- [電話機の各種転送] – [不在転送] 画面を表示して（→ P.95）、[外線着信] タブをクリックします。

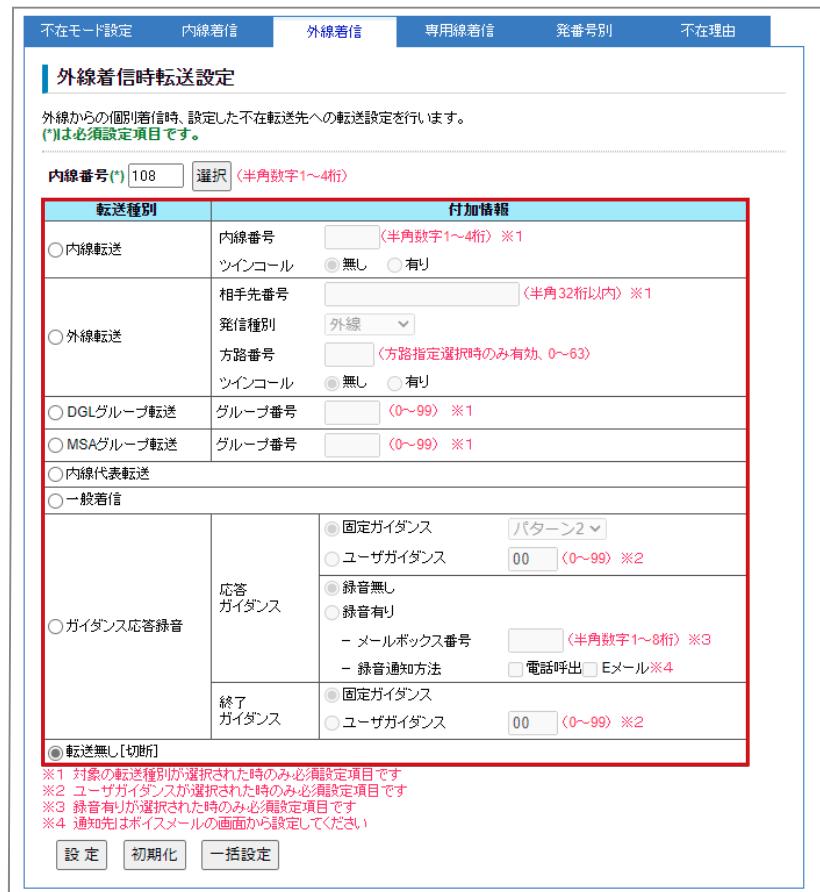


[外線着信] タブの設定内容に切り替わります。

- [内線番号] に転送動作を設定する内線番号を入力し、[選択] をクリックします。

- 一般ユーザの場合は、ご自分の内線のみ設定できます。

- [転送種別] で目的の転送先をクリックし、必要に応じて [附加情報] の項目を設定します。



つづく→

項目	内容
内線転送	外線からの着信を指定した内線番号に転送します。
内線番号	転送先の内線番号を入力します。
ツインコール	内線への転送時に、転送元の着信を停止するか継続するかを選択します。 停止する場合は[無し]を、継続する場合は[有り]を選択します。
外線転送	外線からの着信を指定した外線の電話番号に転送します。
相手先番号	転送先の電話番号を入力します。 ● 最大 32 衔まで登録できます。 ● 半角の 0 ~ 9、*、#、特殊コード(-:オートポーズ、P:PB 切替)が入力できます。
発信種別	プルダウンメニューから転送先の電話番号種別を選択します。 外線: 回線を指定せず、使用できるいすれかの外線で転送します。 特番展開: 入力した閉番号により専用線で転送します(※1)。 PBX: 主装置に接続されている構内交換機(PBX)を経由して外線へ転送します。 方路指定: 方路(回線の束)を指定して転送します。この場合、方路番号も入力します。
<p>MEMO</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 転送先の設定については、『取扱説明書(多機能電話機編)』-「3-5 電話に応答できないときの便利な機能」を参照してください。 ● 方路番号などの用語については、『取扱説明書(多機能電話機編)』-「A-1 用語説明」を参照してください。 	
<p>工事設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [特番展開]は[相手先番号]として閉番号を利用する場合に選択します。閉番号の設定については、販売店にご確認ください。 ● 設定されている方路番号については、販売店にご確認ください。 	
(※1)転送リモコン特番も入力できます。	
ツインコール	外線への転送時に、転送元の着信を停止するか継続するかを選択します。 停止する場合は[無し]を、継続する場合は[有り]を選択します。
DGL グループ転送	外線からの着信を指定した DGL グループ内の内線に転送します。
グループ番号	転送先の DGL グループ番号を入力します。
MSA グループ転送	外線からの着信を指定した MSA グループ内の内線に転送します。
グループ番号	転送先の MSA グループ番号を入力します。
内線代表転送	外線からの着信を内線代表機能に基づいて転送します。
<p>工事設定</p> <p>内線代表機能については、販売店にご相談ください。</p>	
一般着信	不在の場合、個別着信などを着信しても一般着信になります。

つづく→

項目	内容	
ガイダンス応答録音	外線からの着信に音声ガイダンスで応答し、メールボックスにメッセージを録音します。	
応答ガイダンス	固定ガイダンス / ユーザガイダンス	ガイダンスの種類を[固定ガイダンス]([パターン1]/[パターン2])または[ユーザガイダンス]から選択します。 [ユーザガイダンス]を選択した場合は、利用するユーザガイダンス番号を入力します。
録音無し / 録音有り		<p>MEMO</p> <p>ユーザガイダンスは、[ユーザガイダンス転送]を使って登録できます(→P.90)。</p>
終了ガイダンス	固定ガイダンス / ユーザガイダンス	<p>相手のメッセージを録音するかどうかを選択します。 [録音有り]を選択した場合、メールボックス番号を入力します。また、[録音通知方法]でメールボックスにメッセージが録音されたことを通知する方法を選択します。 [電話呼出]または[Eメール](あるいは両方)をチェックして選択します。録音通知しない場合は、両項目ともチェックを外します。</p> <p>工事設定</p> <p>Eメールを使用するには、工事設定(Eメール機能利用情報、メール送受信サーバ情報など)が必要です。</p> <p>MEMO</p> <ul style="list-style-type: none"> メッセージ録音の通知は、[ボイスメール]の通知先に指定した電話番号またはEメールアドレスに通知されます(→P.71)。 メッセージの録音最大時間は1~255分の範囲で指定できます。
転送無し [切断]	外線からの着信を転送せずに、そのまま切断します。	

4

[設定]をクリックします。

- 入力した設定内容を変更したい場合は、再度、入力しなおしてください。
- [初期化]をクリックすると、初期設定の状態に戻ります。
- ここでの設定を内線、専用線からの着信にも適用する場合は、[一括設定]をクリックします。

ポップアップが表示されます。

5

表示されたポップアップで[OK]をクリックします。

外線から着信があった場合の不在転送動作が設定されます。

- [一括設定]をクリックした場合は、内線および専用線からの着信時にも同じ設定が適用されます。

■専用線着信時の転送動作を設定する（専用線着信）

不在転送モード中に専用線から着信があった場合の転送先など、専用線着信に対する転送動作を設定します。

1 [電話機の各種転送] – [不在転送] 画面を表示して（→ P.95）、[専用線着信] タブをクリックします。

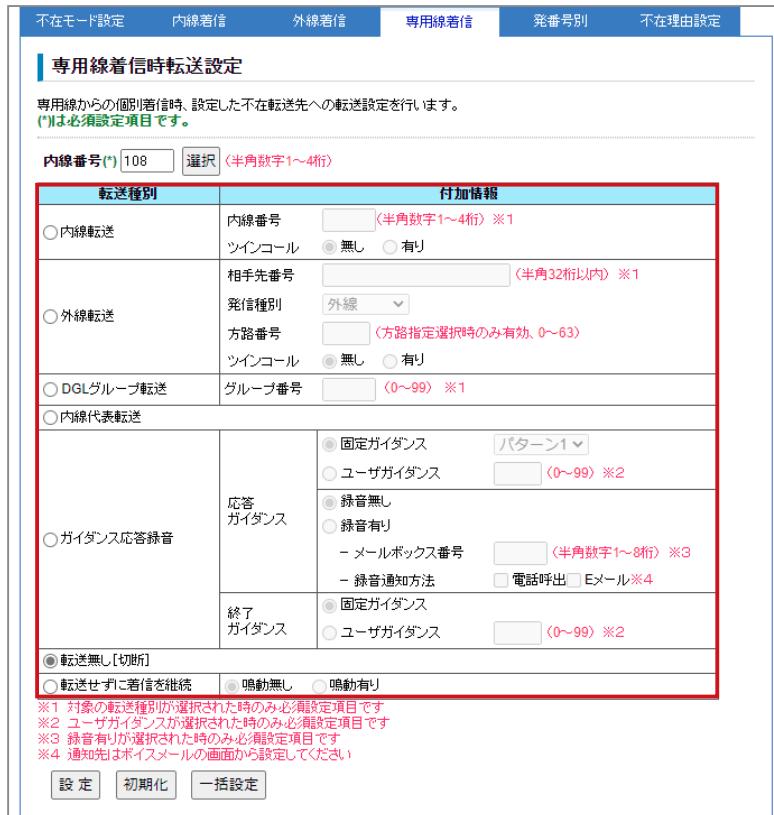


[専用線着信] タブの設定内容に切り替わります。

2 [内線番号] に転送動作を設定する内線番号を入力し、[選択] をクリックします。

- 一般ユーザの場合は、ご自分の内線のみ設定できます。

3 [転送種別] で目的の転送先をクリックし、必要に応じて [付加情報] を設定します。



つづく→

項目	内容			
内線転送	専用線からの着信を指定した内線番号に転送します。			
	<table border="1"> <tr> <td>内線番号</td> <td>転送先の内線番号を入力します。</td> </tr> <tr> <td>ツインコール</td> <td>内線への転送時に、転送元の着信を停止するか継続するかを選択します。 停止する場合は[無し]を、継続する場合は[有り]を選択します。</td> </tr> </table>	内線番号	転送先の内線番号を入力します。	ツインコール
内線番号	転送先の内線番号を入力します。			
ツインコール	内線への転送時に、転送元の着信を停止するか継続するかを選択します。 停止する場合は[無し]を、継続する場合は[有り]を選択します。			
外線転送	専用線からの着信を指定した外線の電話番号に転送します。			
	<table border="1"> <tr> <td>相手先番号</td> <td>転送先の電話番号を入力します。 ● 最大 32 衔まで登録できます。 ● 半角の 0 ~ 9、*、#、特殊コード(- : オートポーズ、P: PB 切替)が入力できます。 </td> </tr> <tr> <td>発信種別</td> <td> ブルダウンメニューから転送先の電話番号種別を選択します。 外線:回線を指定せず、使用できるいづれかの外線で転送します。 特番展開:入力した閉番号により専用線で転送します。 PBX:主装置に接続されている構内交換機(PBX)を経由して外線へ転送します。 方路指定:方路(回線の束)を指定して転送します。この場合、方路番号も入力します。 </td> </tr> </table>	相手先番号	転送先の電話番号を入力します。 ● 最大 32 衔まで登録できます。 ● 半角の 0 ~ 9、*、#、特殊コード(- : オートポーズ、P: PB 切替)が入力できます。	発信種別
相手先番号	転送先の電話番号を入力します。 ● 最大 32 衔まで登録できます。 ● 半角の 0 ~ 9、*、#、特殊コード(- : オートポーズ、P: PB 切替)が入力できます。			
発信種別	ブルダウンメニューから転送先の電話番号種別を選択します。 外線: 回線を指定せず、使用できるいづれかの外線で転送します。 特番展開: 入力した閉番号により専用線で転送します。 PBX: 主装置に接続されている構内交換機(PBX)を経由して外線へ転送します。 方路指定: 方路(回線の束)を指定して転送します。この場合、方路番号も入力します。			
<p>MEMO</p> <ul style="list-style-type: none"> 転送先の設定については、『取扱説明書(多機能電話機編)』-「3-5 電話に応答できないときの便利な機能」を参照してください。 方路番号などの用語については、『取扱説明書(多機能電話機編)』-「A-1 用語説明」を参照してください。 				
<p>工事設定</p> <ul style="list-style-type: none"> [特番展開]は[相手先番号]として閉番号を利用する場合に選択します。閉番号の設定については、販売店にご確認ください。 設定されている方路番号については、販売店にご確認ください。 				
ツインコール	外線への転送時に、転送元の着信を停止するか継続するかを選択します。 停止する場合は[無し]を、継続する場合は[有り]を選択します。			
DGL グループ転送	専用線からの着信を指定した DGL グループ内の内線に転送します。			
グループ番号	転送先の DGL グループ番号を入力します。			
内線代表転送	専用線からの着信を内線代表機能に基づいて転送します。			
<p>工事設定</p> <p>内線代表機能については、販売店にご相談ください。</p>				

つづく→

項目	内容	
ガイダンス応答録音	専用線からの着信に音声ガイダンスで応答し、メールボックスにメッセージを録音します。	
応答ガイダンス	固定ガイダンス / ユーザガイダンス	ガイダンスの種類を [固定ガイダンス] ([パターン1]/[パターン2]) または [ユーザガイダンス] から選択します。 [ユーザガイダンス] を選択した場合は、利用するユーザガイダンス番号を入力します。
録音無し / 録音有り		<p>MEMO</p> <p>ユーザガイダンスは、[ユーザガイダンス転送] を使って登録できます(→ P.90)。</p>
終了ガイダンス	固定ガイダンス / ユーザガイダンス	相手のメッセージを録音するかどうかを選択します。 [録音有り] を選択した場合、メールボックス番号を入力します。また、[録音通知方法] でメールボックスにメッセージが録音されたことを通知する方法を選択します。[電話呼出] または [Eメール] (あるいは両方) をチェックして選択します。録音通知しない場合は、両項目ともチェックを外します。
転送無し [切断]		<p>工事設定</p> <p>Eメールを使用するには、工事設定 (Eメール機能利用情報、メール送受信サーバ情報など) が必要です。</p>
転送せずに着信を継続		<p>MEMO</p> <ul style="list-style-type: none"> メッセージ録音の通知は、[ボイスメール] の通知先に指定した電話番号または Eメールアドレスに通知されます(→ P.71)。 メッセージの録音最大時間は 1 ~ 255 分の範囲で指定できます。
鳴動無し / 鳴動有り		<p>MEMO</p> <p>ユーザガイダンスは、[ユーザガイダンス転送] を使って登録できます(→ P.90)。</p>
転送せずに着信を継続		専用線からの着信を転送せずに、そのまま切断します。
鳴動無し / 鳴動有り		専用線からの着信を転送せずに、そのまま継続させます。
		継続時に着信音を鳴らすかどうかを選択します。着信音を鳴らす場合は [鳴動有り] を、鳴らない場合は [鳴動無し] を選択します。

4 [設定]をクリックします。

- 入力した設定内容を変更したい場合は、再度、入力しなおしてください。
- [初期化] をクリックすると、初期設定の状態に戻ります。
- ここでの設定を内線、外線からの着信にも適用する場合は、[一括設定] をクリックします。

ポップアップが表示されます。

5 表示されたポップアップで [OK] をクリックします。

専用線から着信があった場合の不在転送動作が設定されます。

- [一括設定] をクリックした場合は、内線および外線からの着信時にも同じ設定が適用されます。

■発番号ごとに転送動作を設定する(発番号別)

電話帳に登録されている相手を発番号として登録することで、転送先などを設定できます。

- 1** [電話機の各種転送] – [不在転送] 画面を表示して (→ P.95)、[発番号別] タブをクリックします。



[発番号別] タブの設定内容に切り替わります。

- 2** [内線番号] に転送動作を設定する内線番号を入力し、[選択] をクリックします。

- 一般ユーザの場合は、ご自分の内線のみ設定できます。

- 3** [発番号] で転送動作を設定する発番号をクリックします。



[発番号 X (内線 YYYY)] (X は選択した発番号、Y は内線番号) の設定項目が表示されます。

4

[発番号設定] で以下の項目を設定します。

不在モード設定	内線着信	外線着信	専用線着信	発番号別	不在理由設定																														
発番号1 (内線108)																																			
(*)は必須設定項目です。																																			
発番号設定 電話帳種別 <input checked="" type="radio"/> 共通電話帳 <input type="radio"/> 個別電話帳 電話帳メモリ番号 (*) <input type="text" value="0000~9999"/>																																			
転送先設定 <table border="1"> <thead> <tr> <th>転送種別</th> <th colspan="2">付加情報</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内線転送</td> <td>内線番号 <input type="text" value="108"/> (半角数字1~4桁) ※1</td> <td>○無し <input checked="" type="radio"/> 有り</td> </tr> <tr> <td>外線転送</td> <td>相手先番号 <input type="text"/></td> <td>(半角32桁以内) ※1</td> </tr> <tr> <td>DGLグループ転送</td> <td>発信種別 <input type="radio"/> 外線</td> <td>方路番号 <input type="text"/> (方路指定選択時のみ有効、0~63)</td> </tr> <tr> <td>MSAグループ転送</td> <td>シainコール <input checked="" type="radio"/> 有り</td> <td></td> </tr> <tr> <td>内線代表転送</td> <td>グループ番号 <input type="text"/> (0~99) ※1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般着信</td> <td>グループ番号 <input type="text"/> (0~99) ※1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ガイダンス応答録音</td> <td> <input checked="" type="radio"/> 固定ガイダンス <input type="radio"/> ユーザガイダンス <input checked="" type="radio"/> 錄音無し <input type="radio"/> 錄音有り 応答ガイダンス - メールボックス番号 <input type="text"/> (半角数字1~8桁) ※3 - 錄音通知方法 <input type="checkbox"/> 電話呼出 <input type="checkbox"/> Eメール※4 </td> <td></td> </tr> <tr> <td>終了ガイダンス</td> <td> <input checked="" type="radio"/> 固定ガイダンス <input type="radio"/> ユーザガイダンス <input type="text"/> (0~99) ※2 </td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3">○転送無し[切削]</td> </tr> </tbody> </table>						転送種別	付加情報		内線転送	内線番号 <input type="text" value="108"/> (半角数字1~4桁) ※1	○無し <input checked="" type="radio"/> 有り	外線転送	相手先番号 <input type="text"/>	(半角32桁以内) ※1	DGLグループ転送	発信種別 <input type="radio"/> 外線	方路番号 <input type="text"/> (方路指定選択時のみ有効、0~63)	MSAグループ転送	シainコール <input checked="" type="radio"/> 有り		内線代表転送	グループ番号 <input type="text"/> (0~99) ※1		一般着信	グループ番号 <input type="text"/> (0~99) ※1		ガイダンス応答録音	<input checked="" type="radio"/> 固定ガイダンス <input type="radio"/> ユーザガイダンス <input checked="" type="radio"/> 錄音無し <input type="radio"/> 錄音有り 応答ガイダンス - メールボックス番号 <input type="text"/> (半角数字1~8桁) ※3 - 錄音通知方法 <input type="checkbox"/> 電話呼出 <input type="checkbox"/> Eメール※4		終了ガイダンス	<input checked="" type="radio"/> 固定ガイダンス <input type="radio"/> ユーザガイダンス <input type="text"/> (0~99) ※2		○転送無し[切削]		
転送種別	付加情報																																		
内線転送	内線番号 <input type="text" value="108"/> (半角数字1~4桁) ※1	○無し <input checked="" type="radio"/> 有り																																	
外線転送	相手先番号 <input type="text"/>	(半角32桁以内) ※1																																	
DGLグループ転送	発信種別 <input type="radio"/> 外線	方路番号 <input type="text"/> (方路指定選択時のみ有効、0~63)																																	
MSAグループ転送	シainコール <input checked="" type="radio"/> 有り																																		
内線代表転送	グループ番号 <input type="text"/> (0~99) ※1																																		
一般着信	グループ番号 <input type="text"/> (0~99) ※1																																		
ガイダンス応答録音	<input checked="" type="radio"/> 固定ガイダンス <input type="radio"/> ユーザガイダンス <input checked="" type="radio"/> 錄音無し <input type="radio"/> 錄音有り 応答ガイダンス - メールボックス番号 <input type="text"/> (半角数字1~8桁) ※3 - 錄音通知方法 <input type="checkbox"/> 電話呼出 <input type="checkbox"/> Eメール※4																																		
終了ガイダンス	<input checked="" type="radio"/> 固定ガイダンス <input type="radio"/> ユーザガイダンス <input type="text"/> (0~99) ※2																																		
○転送無し[切削]																																			
※1 対象の転送種別が選択された時のみ必須設定項目です。 ※2 ユーザガイダンスが選択された時のみ必須設定項目です。 ※3 錄音有りが選択された時のみ必須設定項目です。 ※4 通常把你ボイスメールの画面から設定してください。																																			
<input type="button" value="設定"/> <input type="button" value="削除"/>																																			

(*)の付いた項目は必ず登録してください。

項目	内容
電話帳種別	発番号に登録する電話番号が登録されている電話帳を選択します。
電話帳メモリ番号 *	電話帳のメモリ番号を入力します。

5

目的の転送先をクリックし、必要に応じて [付加情報] の項目を設定します。

発番号別の転送先設定は、外線着信と同じです。

参照》「■外線着信時の転送動作を設定する（外線着信）」(→ P.100) の手順 3

6

[設定] をクリックします。

- 発番号の登録を取り消す場合は、[削除] をクリックします。

ポップアップが表示されます。

7

表示されたポップアップで [OK] をクリックします。

発番号に登録した電話番号から電話があった場合の不在転送動作が設定されます。

不在モード設定	内線着信	外線着信	専用線着信	発番号別	不在理由設定																											
発番号別転送設定																																
発番号毎に設定した不在転送先への転送設定を行います。 (*)は必須設定項目です。																																
内線番号 <input type="text" value="108"/> 選択 (半角数字1~4桁) <table border="1"> <thead> <tr> <th>発番号</th> <th>発番号設定</th> <th>転送先設定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>発番号1</td> <td>共通電話帳／メモリNo.0000 電話番号1／03-1111-2222</td> <td>転送無し</td> </tr> <tr> <td>発番号2</td> <td></td> <td>転送無し</td> </tr> <tr> <td>発番号3</td> <td></td> <td>転送無し</td> </tr> <tr> <td>発番号4</td> <td></td> <td>転送無し</td> </tr> <tr> <td>発番号5</td> <td></td> <td>転送無し</td> </tr> <tr> <td>発番号6</td> <td></td> <td>転送無し</td> </tr> <tr> <td>発番号7</td> <td></td> <td>転送無し</td> </tr> <tr> <td>発番号8</td> <td></td> <td>転送無し</td> </tr> </tbody> </table>						発番号	発番号設定	転送先設定	発番号1	共通電話帳／メモリNo.0000 電話番号1／03-1111-2222	転送無し	発番号2		転送無し	発番号3		転送無し	発番号4		転送無し	発番号5		転送無し	発番号6		転送無し	発番号7		転送無し	発番号8		転送無し
発番号	発番号設定	転送先設定																														
発番号1	共通電話帳／メモリNo.0000 電話番号1／03-1111-2222	転送無し																														
発番号2		転送無し																														
発番号3		転送無し																														
発番号4		転送無し																														
発番号5		転送無し																														
発番号6		転送無し																														
発番号7		転送無し																														
発番号8		転送無し																														

話中転送の動作を設定する（話中転送）

話中転送とは、話中にかかってきた電話を指定した転送先に転送する機能です。話中転送モード中の着信種別ごとの動作を設定できます。

ここでは、以下の3つの操作について説明します。

- 内線着信時の転送動作を設定する（内線着信）（→ P.108）
- 外線着信時の転送動作を設定する（外線着信）（→ P.110）
- 専用線着信時の転送動作を設定する（専用線着信）（→ P.112）

■内線着信時の転送動作を設定する（内線着信）

話中転送モード中に内線から着信があった場合の転送先など、内線着信に対する転送動作を設定します。

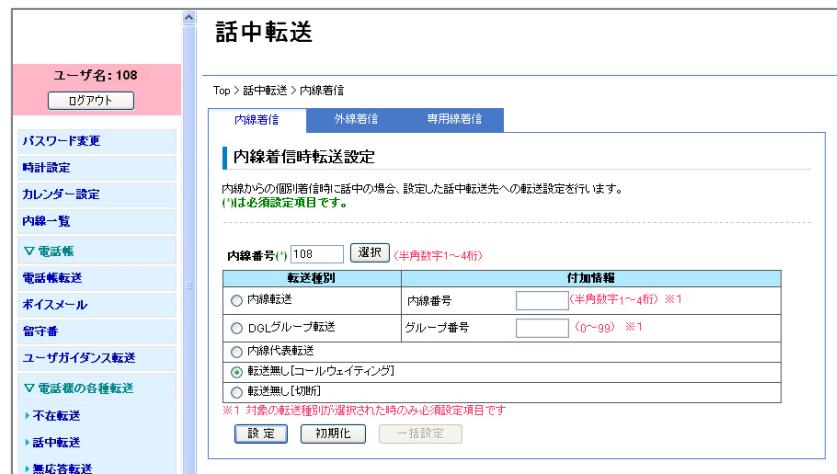
1 Web設定を起動します。

参照》第1章の「Web設定の起動と終了」（→ P.3）

2 左メニューで[電話機の各種転送] - [話中転送]をクリックします。



[電話機の各種転送] - [話中転送]の[内線着信]タブが表示されます。



3 [内線番号] に転送動作を設定する内線番号を入力し、[選択] をクリックします。

- 一般ユーザの場合は、ご自分の内線のみ設定できます。

4 [転送種別] で目的の転送先をクリックし、必要に応じて [付加情報] の項目を設定します。



項目	内容
内線転送	内線からの着信を指定した内線番号に転送します。
内線番号	転送先の内線番号を入力します。
DGL グループ転送	内線からの着信を指定した DGL グループ内の内線に転送するときに選択します。
グループ番号	転送先の DGL グループ番号を入力します。
内線代表転送	内線からの着信を内線代表機能に基づいて転送します。 工事設定 内線代表機能については、販売店にご相談ください。
転送無し [コールウェイティング]	内線からの着信を転送せずに、話中の通話が終了したタイミングで着信音を鳴らします。
転送無し [切断]	内線からの着信を転送せずに、そのまま切断します。

5 [設定] をクリックします。

- 入力した設定内容を変更したい場合は、再度、入力しなおしてください。
- [初期化] をクリックすると、初期設定の状態に戻ります。
- ここで設定を外線、専用線からの着信にも適用する場合は、[一括設定] をクリックします。

ポップアップが表示されます。

6 表示されたポップアップで [OK] をクリックします。

- 内線から着信があった場合の話中転送動作が設定されます。
- [一括設定] をクリックした場合は、外線および専用線からの着信時にも同じ設定が適用されます。

■外線着信時の転送動作を設定する（外線着信）

話中転送モード中に外線から個別着信があった場合の転送先など、外線着信に対する転送動作を設定します。

- 1** [電話機の各種転送] – [話中転送] 画面を表示して（→ P.108）、[外線着信] タブをクリックします。



[外線着信] タブの設定内容に切り替わります。

- 2** [内線番号] に転送動作を設定する内線番号を入力し、[選択] をクリックします。

- 一般ユーザの場合は、ご自分の内線のみ設定できます。

- 3** [転送種別] で目的の転送先をクリックし、必要に応じて [付加情報] を設定します。



つづく→

項目	内容	
内線転送	内線番号	外線からの着信を指定した内線番号に転送します。 転送先の内線番号を入力します。
DGL グループ転送	グループ番号	外線からの着信を指定した DGL グループ内の内線に転送します。 転送先の DGL グループ番号を入力します。
MSA グループ転送	グループ番号	外線からの着信を指定した MSA グループ内の内線に転送します。 転送先の MSA グループ番号を入力します。
内線代表転送		外線からの着信を内線代表機能に基づいて転送します。 工事設定 内線代表機能については、販売店にご相談ください。
一般着信		話中の場合、個別着信などを着信しても一般着信になります。
ガイダンス応答録音		外線からの着信に音声ガイダンスで応答し、メールボックスにメッセージを録音します。
応答ガイダンス	固定ガイダンス / ユーザガイダンス	ガイダンスの種類を [固定ガイダンス] ([パターン1]/[パターン2]) または [ユーザガイダンス] から選択します。 [ユーザガイダンス] を選択した場合は、利用するユーザガイダンス番号を入力します。 MEMO ユーザガイダンスは、[ユーザガイダンス転送] を使って登録できます(→ P.90)。
録音無し / 録音有り		相手のメッセージを録音するかどうかを選択します。 [録音有り] を選択した場合、メールボックス番号を入力します。また、[録音通知方法] でメールボックスにメッセージが録音されたことを通知する方法を選択します。 [電話呼出] または [Eメール] (あるいは両方) をチェックして選択します。 録音通知しない場合は、両項目ともチェックを外します。 工事設定 Eメールを使用するには、工事設定(Eメール機能利用情報、メール送受信サーバ情報など)が必要です。
終了ガイダンス	固定ガイダンス / ユーザガイダンス	ガイダンスの種類を [固定ガイダンス] または [ユーザガイダンス] から選択します。 [ユーザガイダンス] を選択した場合は、利用するユーザガイダンス番号を入力します。 MEMO ユーザガイダンスは、[ユーザガイダンス転送] を使って登録できます(→ P.90)。
転送無し[切断]		外線からの着信を転送せずに、そのまま切断します。

4**[設定] をクリックします。**

- 入力した設定内容を変更したい場合は、再度、入力しなおしてください。
- [初期化] をクリックすると、初期設定の状態に戻ります。
- ここで設定を内線、専用線からの着信にも適用する場合は、[一括設定] をクリックします。

ポップアップが表示されます。

5**表示されたポップアップで [OK] をクリックします。**

外線から着信があった場合の話中転送動作が設定されます。

- [一括設定] をクリックした場合は、内線および専用線からの着信時にも同じ設定が適用されます。

■専用線着信時の転送動作を設定する（専用線着信）

話中転送モード中に専用線から着信があった場合の転送先など、専用線着信に対する転送動作を設定します。

1**[電話機の各種転送] – [話中転送] 画面を表示して（→ P.108）、[専用線着信] タブをクリックします。**

[専用線着信] タブの設定内容に切り替わります。

2**[内線番号] に転送動作を設定する内線番号を入力し、[選択] をクリックします。**

- 一般ユーザの場合は、ご自分の内線のみ設定できます。

3

[転送種別] で目的の転送先をクリックし、必要に応じて [付加情報] の項目を設定します。

内線着信 外線着信 専用線着信

専用線着信時転送設定

専用線からの個別着信時に話中の場合、設定した話中転送先への転送設定を行います。
(*)は必須設定項目です。

内線番号(*) 108 [選択] (半角数字1~4桁)

転送種別	付加情報	
<input type="radio"/> 内線転送	内線番号	(半角数字1~4桁) ※1
<input type="radio"/> DGLグループ転送	グループ番号	(0~99) ※1
<input type="radio"/> 内線代表転送		
<input type="radio"/> ガイダンス応答録音	応答ガイダンス	<input checked="" type="radio"/> 固定ガイダンス パターン1 <input type="radio"/> ユーザガイダンス (0~99) ※2 <input checked="" type="radio"/> 錄音無し <input type="radio"/> 錄音有り - メールボックス番号 (半角数字1~8桁) ※3 - 錄音通知方法 電話呼出 Eメール
	終了ガイダンス	<input checked="" type="radio"/> 固定ガイダンス <input type="radio"/> ユーザガイダンス (0~99) ※2
<input type="checkbox"/> 転送無し[切断]		

(※1) 設定の転送種別が選択された時のみ必須設定項目です
 (※2) ユーザガイダンスが選択された時のみ必須設定項目です
 (※3) 錄音有りが選択された時のみ必須設定項目です

[設定] [初期化] [一括設定]

項目	内容
内線転送	専用線からの着信を指定した内線番号に転送します。
内線番号	転送先の内線番号を入力します。
DGL グループ転送	専用線からの着信を指定した DGL グループ内の内線に転送します。
グループ番号	転送先の DGL グループ番号を入力します。
内線代表転送	専用線からの着信を内線代表機能に基づいて転送します。 工事設定 内線代表機能については、販売店にご相談ください。

つづく→

項目		内容
ガイダンス応答録音		専用線からの着信に音声ガイダンスで応答し、メールボックスにメッセージを録音します。
応答ガイダンス	固定ガイダンス / ユーザガイダンス	<p>ガイダンスの種類を [固定ガイダンス] ([パターン1]/[パターン2]) または [ユーザガイダンス] から選択します。 [ユーザガイダンス] を選択した場合は、利用するユーザガイダンス番号を入力します。</p> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin-top: 10px;"> MEMO ユーザガイダンスは、[ユーザガイダンス転送] を使って登録できます(→ P.90)。 </div>
	録音無し / 録音有り	<p>相手のメッセージを録音するかどうかを選択します。 [録音有り] を選択した場合、メールボックス番号を入力します。また、[録音通知方法] でメールボックスにメッセージが録音されたことを通知する方法を選択します。[電話呼出] または [Eメール] (あるいは両方) をチェックして選択します。録音通知しない場合は、両項目ともチェックを外します。</p> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 工事設定 Eメールを使用するには、工事設定(Eメール機能利用情報、メール送受信サーバ情報など)が必要です。 </div> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin-top: 10px;"> MEMO <ul style="list-style-type: none"> メッセージ録音の通知は、[ボイスメール] の通知先に指定した電話番号またはEメールアドレスに通知されます(→ P.71)。 メッセージの録音最大時間は1~255分の範囲で指定できます。 </div>
終了ガイダンス	固定ガイダンス / ユーザガイダンス	<p>ガイダンスの種類を [固定ガイダンス] または [ユーザガイダンス] から選択します。 [ユーザガイダンス] を選択した場合は、利用するユーザガイダンス番号を入力します。</p> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin-top: 10px;"> MEMO ユーザガイダンスは、[ユーザガイダンス転送] を使って登録できます(→ P.90)。 </div>
転送無し [切断]		専用線からの着信を転送せずに、そのまま切断します。

4 [設定] をクリックします。

- 入力した設定内容を変更したい場合は、再度、入力しなおしてください。
- [初期化] をクリックすると、初期設定の状態に戻ります。
- ここで設定を内線、外線からの着信にも適用する場合は、[一括設定] をクリックします。

ポップアップが表示されます。

5 表示されたポップアップで [OK] をクリックします。

専用線から着信があった場合の話中転送動作が設定されます。

- [一括設定] をクリックした場合は、内線および外線からの着信時にも同じ設定が適用されます。

無応答転送の動作を設定する（無応答転送）

無応答転送とは、かかってきた電話に一定時間応答しないときに、指定した転送先に電話を転送する機能です。無応答転送モード中の着信種別ごとの動作を設定できます。また、無応答転送するまでの時間を指定することもできます。

ここでは、以下の4つの操作について説明します。

- 内線着信時の転送動作を設定する（内線着信）（→ P.115）
- 外線着信時の転送動作を設定する（外線着信）（→ P.118）
- 専用線着信時の転送動作を設定する（専用線着信）（→ P.121）
- 無応答転送するまでの時間を設定する（関連設定）（→ P.124）

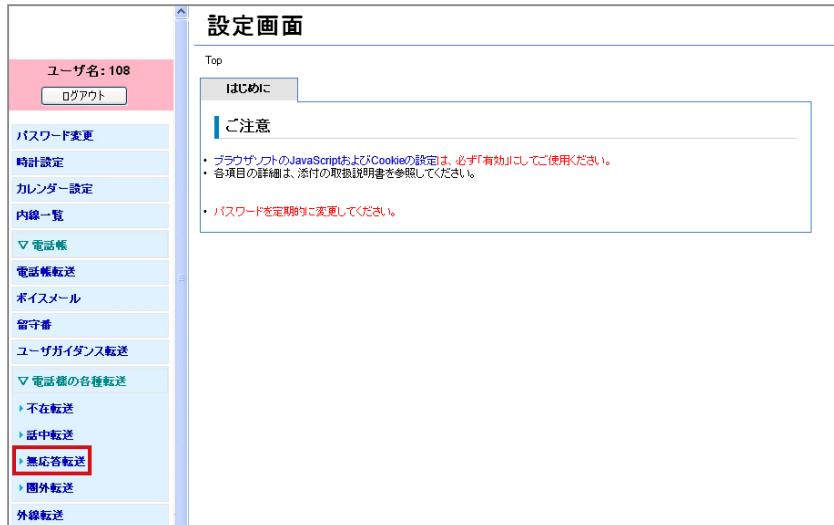
■内線着信時の転送動作を設定する（内線着信）

無応答転送モード中に内線から着信があった場合の転送先など、内線着信に対する転送動作を設定します。

1 Web 設定を起動します。

参照）第1章の「Web 設定の起動と終了」（→ P.3）

2 左メニューで【電話機の各種転送】－【無応答転送】をクリックします。



【電話機の各種転送】－【無応答転送】の【内線着信】タブが表示されます。



3 【内線番号】に転送動作を設定する内線番号を入力し、【選択】をクリックします。

- 一般ユーザの場合は、ご自分の内線のみ設定できます。

4

[転送種別] で目的の転送先をクリックし、必要に応じて [付加情報] の項目を設定します。

項目	内容
内線転送	内線からの着信を指定した内線番号に転送します。
内線番号	転送先の内線番号を入力します。
ツインコール	内線への転送時に、転送元の着信を停止するか継続するかを選択します。 停止する場合は[無し]を、継続する場合は[有り]を選択します。
外線転送	内線からの着信を指定した外線の電話番号に転送します。
相手先番号	転送先の電話番号を入力します。 <ul style="list-style-type: none"> 最大 32 衡まで登録できます。 半角の 0 ~ 9、*、#、特殊コード(-:オートポーズ、P:PB 切替)が入力できます。
発信種別	ブルダウンメニューから転送先の電話番号種別を選択します。 外線: 回線を指定せず、使用できるいずれかの外線で転送します。 特番展開: 入力した閉番号により専用線で転送します。 PBX: 主装置に接続されている構内交換機(PBX)を経由して外線へ転送します。 方路指定: 方路(回線の束)を指定して転送します。この場合、方路番号も入力します。
MEMO	
<ul style="list-style-type: none"> 転送先の設定については、『取扱説明書(多機能電話機編)』-「3-5 電話に応答できないときの便利な機能」を参照してください。 方路番号などの用語については、『取扱説明書(多機能電話機編)』-「A-1 用語説明」を参照してください。 	
工事設定	
<ul style="list-style-type: none"> [特番展開]は[相手先番号]として閉番号を利用する場合に選択します。閉番号の設定については、販売店にご確認ください。 設定されている方路番号については、販売店にご確認ください。 	
ツインコール	外線への転送時に、転送元の着信を停止するか継続するかを選択します。 停止する場合は[無し]を、継続する場合は[有り]を選択します。

つづく→

項目	内容
DGL グループ転送	内線からの着信を指定した DGL グループ内の内線に転送します。
グループ番号	転送先の DGL グループ番号を入力します。
内線代表転送	内線からの着信を内線代表機能に基づいて転送します。 工事設定 内線代表機能については、販売店にご相談ください。
転送せずに着信を継続	内線からの着信を転送せずに、そのまま継続させます。

5

[設定]をクリックします。

- 入力した設定内容を変更したい場合は、再度、入力しなおしてください。
- [初期化]をクリックすると、初期設定の状態に戻ります。
- ここで設定を外線、専用線からの着信にも適用する場合は、[一括設定]をクリックします。

ポップアップが表示されます。

6

表示されたポップアップで[OK]をクリックします。

- 内線から着信があった場合の無応答転送動作が設定されます。
- [一括設定]をクリックした場合は、外線および専用線からの着信時にも同じ設定が適用されます。

■外線着信時の転送動作を設定する（外線着信）

無応答転送モード中に外線から個別着信があった場合の転送先など、外線着信に対する転送動作を設定します。

- 1** [電話機の各種転送] – [無応答転送] 画面を表示して（→ P.115）、[外線着信] タブをクリックします。

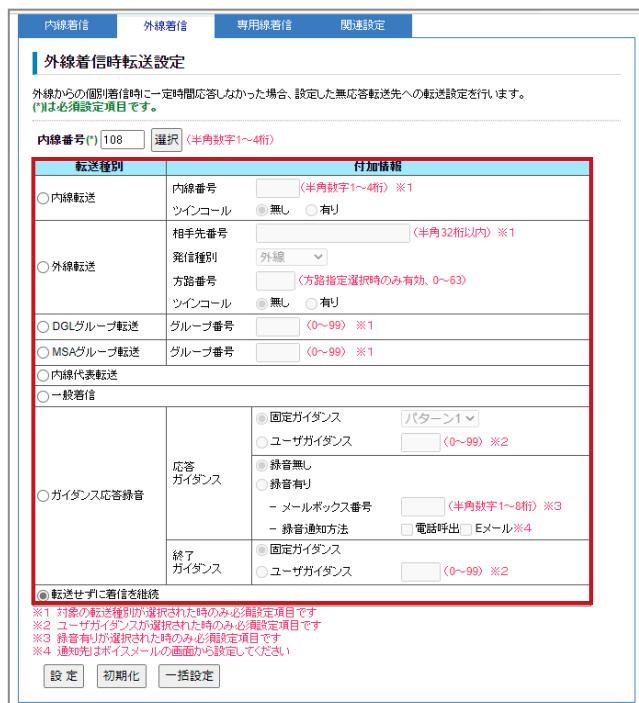


[外線着信] タブの設定内容に切り替わります。

- 2** [内線番号] に転送動作を設定する内線番号を入力し、[選択] をクリックします。

- 一般ユーザの場合は、ご自分の内線のみ設定できます。

- 3** [転送種別] で目的の転送先をクリックし、必要に応じて [付加情報] の項目を設定します。



つづく→

項目	内容
内線転送	外線からの着信を指定した内線番号に転送します。
	内線番号 転送先の内線番号を入力します。
	ツインコール 内線への転送時に、転送元の着信を停止するか継続するかを選択します。 停止する場合は[無し]を、継続する場合は[有り]を選択します。
外線転送	外線からの着信を指定した外線の電話番号に転送します。
	相手先番号 転送先の電話番号を入力します。 ● 最大 32 衔まで登録できます。 ● 半角の 0～9、*、#、特殊コード(-:オートポーズ、P:PB 切替)が入力できます。
	発信種別 プルダウンメニューから転送先の電話番号種別を選択します。 外線: 回線を指定せず、使用できるいすれかの外線で転送します。 特番展開: 入力した閉番号により専用線で転送します(※ 1)。 PBX: 主装置に接続されている構内交換機(PBX)を経由して外線へ転送します。 方路指定: 方路(回線の束)を指定して転送します。この場合、方路番号も入力します。
<p>MEMO</p> <ul style="list-style-type: none"> 転送先の設定については、『取扱説明書(多機能電話機編)』-「3-5 電話に応答できないときの便利な機能」を参照してください。 方路番号などの用語については、『取扱説明書(多機能電話機編)』-「A-1 用語説明」を参照してください。 	
<p>工事設定</p> <ul style="list-style-type: none"> [特番展開]は[相手先番号]として閉番号を利用する場合に選択します。閉番号の設定については、販売店にご確認ください。 設定されている方路番号については、販売店にご確認ください。 <p>(※ 1)転送リモコン特番も入力できます。</p>	
ツインコール	外線への転送時に、転送元の着信を停止するか継続するかを選択します。 停止する場合は[無し]を、継続する場合は[有り]を選択します。
DGL グループ転送	外線からの着信を指定した DGL グループ内の内線に転送します。
グループ番号	転送先の DGL グループ番号を入力します。
MSA グループ転送	外線からの着信を指定した MSA グループ内の内線に転送します。
グループ番号	転送先の MSA グループ番号を入力します。
内線代表転送	外線からの着信を内線代表機能に基づいて転送します。
<p>工事設定</p> <p>内線代表機能については、販売店にご相談ください。</p>	
一般着信	一定時間応答がない場合、個別着信などを着信しても一般着信になります。

つづく→

項目		内容
ガイダンス応答録音		外線からの着信に音声ガイダンスで応答し、メールボックスにメッセージを録音します。
応答ガイダンス	固定ガイダンス／ユーザガイダンス	<p>ガイダンスの種類を【固定ガイダンス】（【パターン1】／【パターン2】）または【ユーザガイダンス】から選択します。【ユーザガイダンス】を選択した場合は、利用するユーザガイダンス番号を入力します。</p> <p>MEMO</p> <p>ユーザガイダンスは、【ユーザガイダンス転送】を使って登録できます（→ P.90）。</p>
	録音無し／録音有り	<p>相手のメッセージを録音するかどうかを選択します。【録音有り】を選択した場合、メールボックス番号を入力します。また、【録音通知方法】でメールボックスにメッセージが録音されたことを通知する方法を選択します。【電話呼出】または【Eメール】（あるいは両方）をチェックして選択します。録音通知しない場合は、両項目ともチェックを外します。</p> <p>工事設定</p> <p>Eメールを使用するには、工事設定（Eメール機能利用情報、メール送受信サーバ情報など）が必要です。</p> <p>MEMO</p> <ul style="list-style-type: none"> メッセージ録音の通知は、【ボイスメール】の通知先に指定した電話番号またはEメールアドレスに通知されます（→ P.71）。 メッセージの録音最大時間は1～255分の範囲で指定できます。
終了ガイダンス	固定ガイダンス／ユーザガイダンス	<p>ガイダンスの種類を【固定ガイダンス】または【ユーザガイダンス】から選択します。【ユーザガイダンス】を選択した場合は、利用するユーザガイダンス番号を入力します。</p> <p>MEMO</p> <p>ユーザガイダンスは、【ユーザガイダンス転送】を使って登録できます（→ P.90）。</p>
転送せずに着信を継続		外線からの着信を転送せずに、そのまま継続させます。

4

[設定]をクリックします。

- 入力した設定内容を変更したい場合は、再度、入力しなおしてください。
- 【初期化】をクリックすると、初期設定の状態に戻ります。
- ここで設定を内線、専用線からの着信にも適用する場合は、[一括設定]をクリックします。

ポップアップが表示されます。

5

表示されたポップアップで[OK]をクリックします。

外線から着信があった場合の無応答転送動作が設定されます。

- [一括設定]をクリックした場合は、内線および専用線からの着信時にも同じ設定が適用されます。

■専用線着信時の転送動作を設定する（専用線着信）

無応答転送モード中に専用線から着信があった場合の転送先など、専用線着信に対する転送動作を設定します。

- 1** [電話機の各種転送] – [無応答転送] 画面を表示して（→ P.115）、[専用線着信] タブをクリックします。

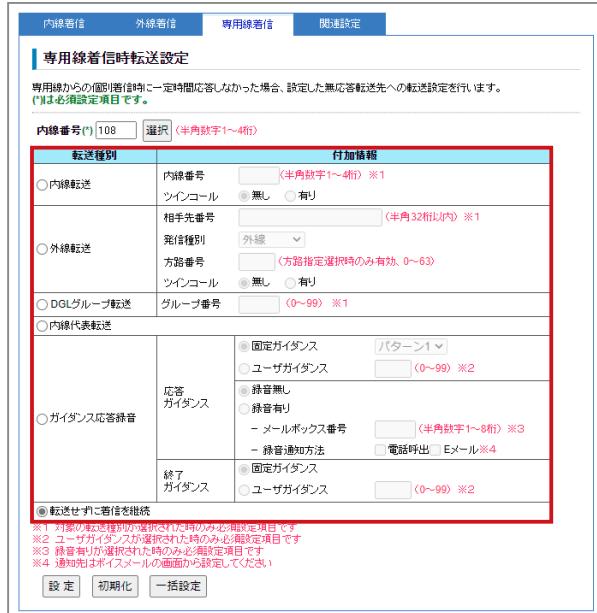


[専用線着信] タブの設定内容に切り替わります。

- 2** [内線番号] に転送動作を設定する内線番号を入力し、[選択] をクリックします。

- 一般ユーザーの場合は、ご自分の内線のみ設定できます。

- 3** [転送種別] で目的の転送先をクリックし、必要に応じて [付加情報] の項目を設定します。



つづく→

項目	内容
内線転送	専用線からの着信を指定した内線番号に転送します。
	内線番号 転送先の内線番号を入力します。
	ツインコール 内線への転送時に、転送元の着信を停止するか継続するかを選択します。 停止する場合は[無し]を、継続する場合は[有り]を選択します。
外線転送	専用線からの着信を指定した外線の電話番号に転送します。
相手先番号	転送先の電話番号を入力します。 ● 最大 32 衔まで登録できます。 ● 半角の 0～9、*、#、特殊コード(-:オートポーズ、P:PB 切替)が入力できます。
発信種別	ブルダウンメニューから転送先の電話番号種別を選択します。 外線 :回線を指定せず、使用できるいすれかの外線で転送します。 特番展開 :入力した閉番号により専用線で転送します。 PBX :主装置に接続されている構内交換機(PBX)を経由して外線へ転送します。 方路指定 :方路(回線の束)を指定して転送します。この場合、方路番号も入力します。
<p>MEMO</p> <ul style="list-style-type: none"> 転送先の設定については、『取扱説明書(多機能電話機編)』-「3-5 電話に応答できないときの便利な機能」を参照してください。 方路番号などの用語については、『取扱説明書(多機能電話機編)』-「A-1 用語説明」を参照してください。 	
<p>工事設定</p> <ul style="list-style-type: none"> [特番展開]は[相手先番号]として閉番号を利用する場合に選択します。閉番号の設定については、販売店にご確認ください。 設定されている方路番号については、販売店にご確認ください。 	
ツインコール	外線への転送時に、転送元の着信を停止するか継続するかを選択します。 停止する場合は[無し]を、継続する場合は[有り]を選択します。
DGL グループ転送	専用線からの着信を指定した DGL グループ内の内線に転送します。
グループ番号	転送先の DGL グループ番号を入力します。
内線代表転送	専用線からの着信を内線代表機能に基づいて転送します。
<p>工事設定</p> <p>内線代表機能については、販売店にご相談ください。</p>	

つづく→

項目	内容
ガイダンス応答録音	専用線からの着信に音声ガイダンスで応答し、メールボックスにメッセージを録音します。
応答ガイダンス	固定ガイダンス / ユーザガイダンス ガイダンスの種類を [固定ガイダンス] ([パートーン1]/[パートーン2]) または [ユーザガイダンス] から選択します。 [ユーザガイダンス] を選択した場合は、利用するユーザガイダンス番号を入力します。
録音無し / 録音有り	相手のメッセージを録音するかどうかを選択します。 [録音有り] を選択した場合、メールボックス番号を入力します。また、[録音通知方法] でメールボックスにメッセージが録音されたことを通知する方法を選択します。[電話呼出] または [Eメール] (あるいは両方) をチェックして選択します。録音通知しない場合は、両項目ともチェックを外します。 [工事設定] Eメールを使用するには、工事設定 (Eメール機能利用情報、メール送受信サーバ情報など) が必要です。
終了ガイダンス	固定ガイダンス / ユーザガイダンス ガイダンスの種類を [固定ガイダンス] または [ユーザガイダンス] から選択します。 [ユーザガイダンス] を選択した場合は、利用するユーザガイダンス番号を入力します。
転送せずに着信を継続	専用線からの着信を転送せずに、そのまま継続させます。

4

[設定]をクリックします。

- 入力した設定内容を変更したい場合は、再度、入力しなおしてください。
- [初期化]をクリックすると、初期設定の状態に戻ります。
- ここでの設定を内線、外線からの着信にも適用する場合は、[一括設定]をクリックします。

ポップアップが表示されます。

5

表示されたポップアップで[OK]をクリックします。

専用線から着信があった場合の無応答転送動作が設定されます。

- [一括設定]をクリックした場合は、内線および外線からの着信時にも同じ設定が適用されます。

■無応答転送するまでの時間を設定する（関連設定）

無応答転送を始めるまでの時間を設定します。

1 [電話機の各種転送] – [無応答転送] 画面を表示して（→ P.115）、[関連設定] タブをクリックします。

[関連設定] タブの設定内容に切り替わります。

内線番号	選択	付加情報
内線転送	内線番号 (半角数字1~4桁) ※1 ソインコール <input checked="" type="radio"/> 無し <input type="radio"/> 有り	
外線転送	相手先番号 (半角32桁以内) ※1 発信種別 外線 方言番号 0 (方言指定選択時のみ有効、0~63) ソインコール <input checked="" type="radio"/> 無し <input type="radio"/> 有り	
DGLグループ転送	グループ番号 (0~99) ※1	
内線代表転送		
転送せずに出発を接続		

※1 対象の転送種別が選択された時のみ必須設定項目です。

設定 初期化 一括設定

2 [内線番号] に転送動作を設定する内線番号を入力し、[選択] をクリックします。

- 一般ユーザの場合は、ご自分の内線のみ設定できます。

3 [無応答タイマ指定] に無応答転送を始めるまでの秒数を入力します。

- 10 ~ 180 秒の間で指定できます。

内線番号	選択	付加情報
内線番号 (半角数字1~4桁)	選択 (半角数字1~4桁)	
無応答タイマ指定 (秒)	30 秒 (10~180)	

設定 初期化

4 [設定] をクリックします。

- 入力した設定内容を変更したい場合は、再度、入力しなおしてください。
- [初期化] をクリックすると、初期設定の状態に戻ります。

ポップアップが表示されます。

5 表示されたポップアップで [OK] をクリックします。

無応答転送が始まるまでの時間が設定されます。

圧外転送の動作を設定する（圧外転送）

圧外転送とは、電話がかかってきたときにデジタルコードレス電話機（UM）や SIP 電話機が圧外で応答できない場合に、指定した転送先に電話を転送する機能です。圧外転送モード中の着信種別ごとの動作を設定できます。

ここでは、以下の 3 つの操作について説明します。

- 内線着信時の転送動作を設定する（内線着信）（→ P.125）
- 外線着信時の転送動作を設定する（外線着信）（→ P.127）
- 専用線着信時の転送動作を設定する（専用線着信）（→ P.130）

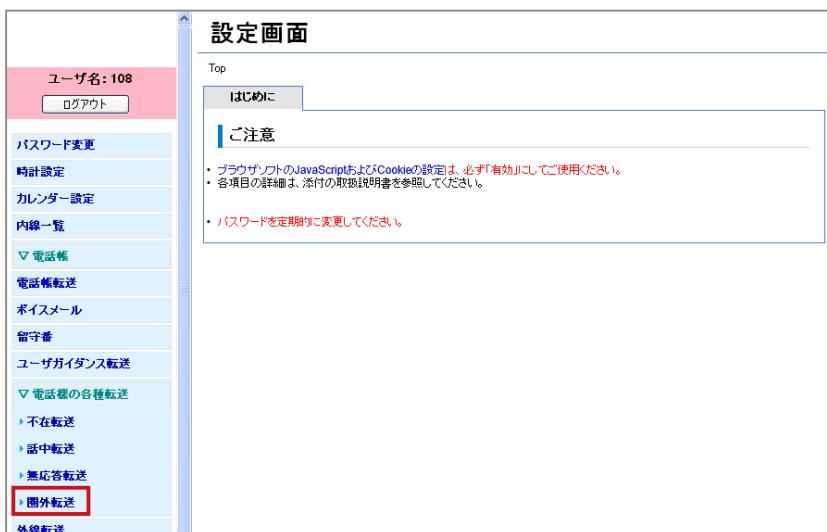
■内線着信時の転送動作を設定する（内線着信）

圧外転送モード中に内線から着信があった場合の転送先など、内線着信に対する転送動作を設定します。

1 Web 設定を起動します。

参照》第 1 章の「Web 設定の起動と終了」（→ P.3）

2 左メニューで [電話機の各種転送] – [圧外転送] をクリックします。



[電話機の各種転送] – [圧外転送] の [内線着信] タブが表示されます。



3

[内線番号] に転送動作を設定する内線番号を入力し、[選択] をクリックします。

- 一般ユーザの場合は、ご自分の内線のみ設定できます。

4

[転送種別] で目的の転送先をクリックし、必要に応じて [付加情報] の項目を設定します。

内線着信 外線着信 専用端着信

内線着信時転送設定

内線からの個別着信時に端末(PHSまたはSIP端末)が国外だった場合、設定した国外転送先への転送設定を行います。
(*)は必須設定項目です。

内線番号 (*)	選択	(半角数字1~4桁)
<input type="text" value="108"/>	<input type="button" value="選択"/>	(半角数字1~4桁) ※1
転送種別		
<input checked="" type="radio"/> 内線転送	内線番号	<input type="text"/> (半角数字1~4桁) ※1
<input type="radio"/> 外線転送	相手先番号	<input type="text"/> (半角32桁以内) ※1
	発信種別	<input type="button" value="外線"/>
	方路番号	<input type="text"/> (方路指定選択時のみ有効、0~63)
<input type="radio"/> DGLグループ転送	グループ番号	<input type="text"/> (0~99) ※1
<input type="radio"/> 内線代表転送		
<input type="radio"/> 転送無し[切替]		

※1 対象の転送種別が選択された時のみ必須設定項目です

項目	内容
内線転送	内線からの着信を指定した内線番号に転送します。
内線番号	転送先の内線番号を入力します。
外線転送	内線からの着信を指定した外線の電話番号に転送します。
相手先番号	転送先の電話番号を入力します。 ● 最大 32 行まで登録できます。 ● 半角の 0 ~ 9、*、#、特殊コード(-:オートポーズ、P:PB 切替)が入力できます。
発信種別	プルダウンメニューから転送先の電話番号種別を選択します。 外線: 回線を指定せず、使用できるいずれかの外線で転送します。 特番展開: 入力した閉番号により専用線で転送します。 PBX: 主装置に接続されている構内交換機(PBX)を経由して外線へ転送します。 方路指定: 方路(回線の束)を指定して転送します。この場合、方路番号も入力します。
<p>MEMO</p> <ul style="list-style-type: none"> 転送先の設定については、『取扱説明書(多機能電話機編)』-「3-5 電話に応答できないときの便利な機能」を参照してください。 方路番号などの用語については、『取扱説明書(多機能電話機編)』-「A-1 用語説明」を参照してください。 	
<p>工事設定</p> <ul style="list-style-type: none"> [特番展開]は[相手先番号]として閉番号を利用する場合に選択します。閉番号の設定については、販売店にご確認ください。 設定されている方路番号については、販売店にご確認ください。 	
DGL グループ転送	内線からの着信を指定した DGL グループ内の内線に転送します。
グループ番号	転送先の DGL グループ番号を入力します。

つづく→

項目	内容
内線代表転送	内線からの着信を内線代表機能に基づいて転送します。 [工事設定] 内線代表機能については、販売店にご相談ください。
転送無し[切断]	内線からの着信を転送せずに、そのまま切断します。

5

[設定]をクリックします。

- 入力した設定内容を変更したい場合は、再度、入力しなおしてください。
- [初期化] をクリックすると、初期設定の状態に戻ります。
- ここで設定を外線、専用線からの着信にも適用する場合は、[一括設定] をクリックします。

ポップアップが表示されます。

6

表示されたポップアップで[OK]をクリックします。

- 内線から着信があった場合の圏外転送動作が設定されます。
- [一括設定] をクリックした場合は、外線および専用線からの着信時にも同じ設定が適用されます。

■外線着信時の転送動作を設定する(外線着信)

圏外転送モード中に外線から個別着信があった場合の転送先など、外線着信に対する転送動作を設定します。

1

[電話機の各種転送] – [圏外転送] 画面を表示して(→ P.125)、[外線着信] タブをクリックします。



[外線着信] タブの設定内容に切り替わります。

2

[内線番号] に転送動作を設定する内線番号を入力し、[選択] をクリックします。

- 一般ユーザの場合は、ご自分の内線のみ設定できます。

3

[転送種別] で目的の転送先をクリックし、必要に応じて [付加情報] の項目を設定します。

内線着信		外線着信		専用着信	
外線着信時転送設定					
外線からの回線着時に端末(PHSまたはSIP端末)が圏外だった場合、設定した圏外転送先への転送設定を行います。 ※1は必須設定項目です。					
内線番号(*) 108 振込 (半角数字1~4桁)					
転送種別					
付加情報					
<input type="radio"/> 内線転送 <input type="radio"/> 外線転送 <input type="radio"/> DGLグループ転送 <input type="radio"/> MSAグループ転送 <input type="radio"/> 内線代表転送 <input type="radio"/> 一級着信		内線番号 <input type="text" value="※1"/> 相手先番号 <input type="text" value="※1"/> 発信種別 <input type="button" value="外線"/> 方路番号 <input type="text" value="※1"/> グループ番号 <input type="text" value="※1"/> グループ番号 <input type="text" value="※1"/>			
<input type="radio"/> ガイダンス応答音 <input type="radio"/> ガイダンス応答音		応答ガイダンス ● 固定ガイダンス <input type="radio"/> パターン1 <input type="radio"/> ユーザガイダンス <input type="text" value="※2"/> ● 錄音無し <input type="radio"/> 錄音有り - メールボックス番号 <input type="text" value="※3"/> - 録音通知方法 <input type="radio"/> 電話呼出 <input type="radio"/> Eメール※4			
<input type="radio"/> 終了ガイダンス		終了ガイダンス <input type="radio"/> 固定ガイダンス <input type="radio"/> ユーザガイダンス <input type="text" value="※2"/>			
<small>※1 設定の転送種別が選択された時のみ必須設定項目です ※2 ユーザガイダンスが選択された時のみ必須設定項目です ※3 録音有りが選択された時のみ必須設定項目です ※4 通知先はボックスメールの画面から設定してください</small>					
<input type="button" value="設定"/> <input type="button" value="初期化"/> <input type="button" value="一括設定"/>					

項目	内容
内線転送	外線からの着信を指定した内線番号に転送します。
内線番号	転送先の内線番号を入力します。
外線転送	外線からの着信を指定した外線の電話番号に転送します。
相手先番号	転送先の電話番号を入力します。 ● 最大 32 枠まで登録できます。 ● 半角の 0 ~ 9、*, #、特殊コード(- : オートポーズ、P: PB 切替)が入力できます。
発信種別	プルダウンメニューから転送先の電話番号種別を選択します。 外線: 回線を指定せず、使用できるいすれかの外線で転送します。 特番展開: 入力した閉番号により専用線で転送します。 PBX: 主装置に接続されている構内交換機(PBX)を経由して外線へ転送します。 方路指定: 方路(回線の束)を指定して転送します。この場合、方路番号も入力します。
MEMO <ul style="list-style-type: none"> 転送先の設定については、『取扱説明書(多機能電話機編)』-「3-5 電話に応答できないときの便利な機能」を参照してください。 方路番号などの用語については、『取扱説明書(多機能電話機編)』-「A-1 用語説明」を参照してください。 	
工事設定 <ul style="list-style-type: none"> [特番展開] は [相手先番号] として閉番号を利用する場合に選択します。閉番号の設定については、販売店にご確認ください。 設定されている方路番号については、販売店にご確認ください。 	
DGL グループ転送	外線からの着信を指定した DGL グループ内の内線に転送します。
グループ番号	転送先の DGL グループ番号を入力します。
MSA グループ転送	外線からの着信を指定した MSA グループ内の内線に転送します。
グループ番号	転送先の MSA グループ番号を入力します。

つづく→

項目	内容	
内線代表転送	外線からの着信を内線代表機能に基づいて転送します。	<p>工事設定</p> <p>内線代表機能については、販売店にご相談ください。</p>
一般着信	圏外の場合、個別着信などを着信しても一般着信になります。	
ガイダンス応答録音	外線からの着信に音声ガイダンスで応答し、メールボックスにメッセージを録音します。	
応答ガイダンス	固定ガイダンス / ユーザガイダンス	<p>ガイダンスの種類を [固定ガイダンス] ([パターン1]/[パターン2]) または [ユーザガイダンス] から選択します。 [ユーザガイダンス] を選択した場合は、利用するユーザガイダンス番号を入力します。</p> <p>MEMO</p> <p>ユーザガイダンスは、[ユーザガイダンス転送] を使って登録できます(→ P.90)。</p>
録音無し / 録音有り		<p>相手のメッセージを録音するかどうかを選択します。 [録音有り] を選択した場合、メールボックス番号を入力します。また、[録音通知方法] でメールボックスにメッセージが録音されたことを通知する方法を選択します。[電話呼出] または [Eメール] (あるいは両方) をチェックして選択します。録音通知しない場合は、両項目ともチェックを外します。</p> <p>工事設定</p> <p>Eメールを使用するには、工事設定(Eメール機能利用情報、メール送受信サーバ情報など)が必要です。</p> <p>MEMO</p> <ul style="list-style-type: none"> メッセージ録音の通知は、[ボイスメール] の通知先に指定した電話番号または Eメールアドレスに通知されます(→ P.71)。 メッセージの録音最大時間は 1 ~ 255 分の範囲で指定できます。
終了ガイダンス	固定ガイダンス / ユーザガイダンス	<p>ガイダンスの種類を [固定ガイダンス] または [ユーザガイダンス] から選択します。 [ユーザガイダンス] を選択した場合は、利用するユーザガイダンス番号を入力します。</p> <p>MEMO</p> <p>ユーザガイダンスは、[ユーザガイダンス転送] を使って登録できます(→ P.90)。</p>
転送無し [切断]		外線からの着信を転送せずに、そのまま切断します。

4

[設定] をクリックします。

- 入力した設定内容を変更したい場合は、再度、入力しなおしてください。
- [初期化] をクリックすると、初期設定の状態に戻ります。
- ここでの設定を内線、専用線からの着信にも適用する場合は、[一括設定] をクリックします。
ポップアップが表示されます。

5

表示されたポップアップで [OK] をクリックします。

- 外線から着信があった場合の圏外転送動作が設定されます。
- [一括設定] をクリックした場合は、内線および専用線からの着信時にも同じ設定が適用されます。

■専用線着信時の転送動作を設定する（専用線着信）

圏外転送モード中に専用線から着信があった場合の転送先など、専用線着信に対する転送動作を設定します。

- 1** [電話機の各種転送] – [圏外転送] 画面を表示して（→ P.125）、[専用線着信] タブをクリックします。

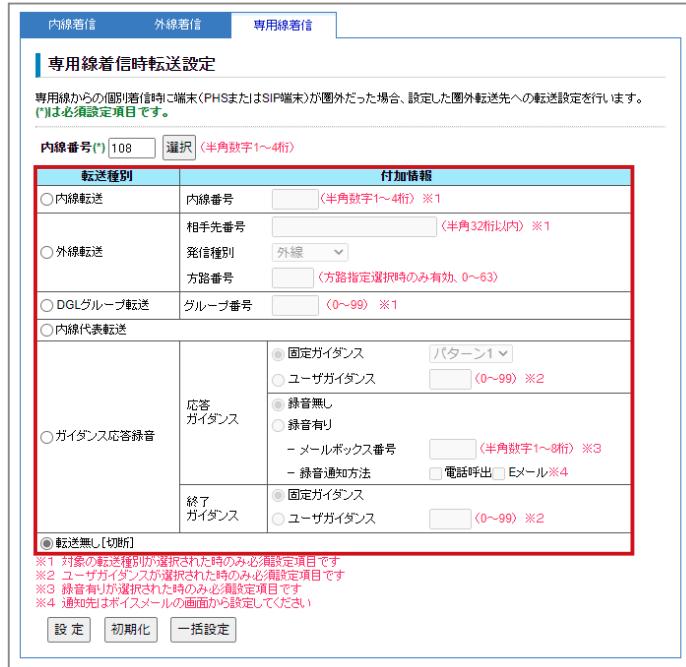


[専用線着信] タブの設定内容に切り替わります。

- 2** [内線番号] に転送動作を設定する内線番号を入力し、[選択] をクリックします。

- 一般ユーザの場合は、ご自分の内線のみ設定できます。

- 3** [転送種別] で目的の転送先をクリックし、必要に応じて [付加情報] の項目を設定します。



つづく→

項目	内容
内線転送	専用線からの着信を指定した内線番号に転送します。
内線番号	転送先の内線番号を入力します。
外線転送	専用線からの着信を指定した外線の電話番号に転送します。
相手先番号	転送先の電話番号を入力します。 ● 最大 32 衔まで登録できます。 ● 半角の 0～9、*、#、特殊コード（-：オートポーズ、P：PB 切替）が入力できます。
発信種別	プルダウンメニューから転送先の電話番号種別を選択します。 外線 ：回線を指定せず、使用できるいすれかの外線で転送します。 特番展開 ：入力した閉番号により専用線で転送します。 PBX ：主装置に接続されている構内交換機（PBX）を経由して外線へ転送します。 方路指定 ：方路（回線の束）を指定して転送します。この場合、方路番号も入力します。
<p>MEMO</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 転送先の設定については、『取扱説明書（多機能電話機編）』－「3-5 電話に応答できないときの便利な機能」を参照してください。 ● 方路番号などの用語については、『取扱説明書（多機能電話機編）』－「A-1 用語説明」を参照してください。 <p>工事設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [特番展開] は [相手先番号] として閉番号を利用する場合に選択します。閉番号の設定については、販売店にご確認ください。 ● 設定されている方路番号については、販売店にご確認ください。 	
DGL グループ転送	専用線からの着信を指定した DGL グループ内の内線に転送します。
グループ番号	転送先の DGL グループ番号を入力します。
内線代表転送	専用線からの着信を内線代表機能に基づいて転送します。
<p>工事設定</p> <p>内線代表機能については、販売店にご相談ください。</p>	

つづく→

項目	内容	
ガイダンス応答録音	専用線からの着信に音声ガイダンスで応答し、メールボックスにメッセージを録音します。	
応答ガイダンス	固定ガイダンス／ユーザガイダンス	<p>ガイダンスの種類を[固定ガイダンス]([パターン1]/[パターン2])または[ユーザガイダンス]から選択します。 [ユーザガイダンス]を選択した場合は、利用するユーザガイダンス番号を入力します。</p> <p>MEMO ユーザガイダンスは、[ユーザガイダンス転送]を使って登録できます(→P.90)。</p>
録音無し／録音有り		<p>相手のメッセージを録音するかどうかを選択します。 [録音有り]を選択した場合、メールボックス番号を入力します。また、[録音通知方法]でメールボックスにメッセージが録音されたことを通知する方法を選択します。[電話呼出]または[Eメール](あるいは両方)をチェックして選択します。録音通知しない場合は、両項目ともチェックを外します。</p> <p>工事設定 Eメールを使用するには、工事設定(Eメール機能利用情報、メール送受信サーバ情報など)が必要です。</p> <p>MEMO</p> <ul style="list-style-type: none"> メッセージ録音の通知は、[ボイスメール]の通知先に指定した電話番号またはEメールアドレスに通知されます(→P.71)。 メッセージの録音最大時間は1～255分の範囲で指定できます。
終了ガイダンス	固定ガイダンス／ユーザガイダンス	<p>ガイダンスの種類を[固定ガイダンス]または[ユーザガイダンス]から選択します。 [ユーザガイダンス]を選択した場合は、利用するユーザガイダンス番号を入力します。</p> <p>MEMO ユーザガイダンスは、[ユーザガイダンス転送]を使って登録できます(→P.90)。</p>
転送無し[切断]		専用線からの着信を転送せずに、そのまま切断します。

4

[設定]をクリックします。

- 入力した設定内容を変更したい場合は、再度、入力しなおしてください。
- [初期化]をクリックすると、初期設定の状態に戻ります。
- ここでの設定を内線、外線からの着信にも適用する場合は、[一括設定]をクリックします。

ポップアップが表示されます。

5

表示されたポップアップで[OK]をクリックします。

専用線から着信があった場合の圏外転送動作が設定されます。

- [一括設定]をクリックした場合は、内線および外線からの着信時にも同じ設定が適用されます。

外線転送の設定（外線転送）

管理

外線自動転送とは、外線から一般着信や DGL/MSA 着信があった場合に自動的に指定した転送先に電話を転送する機能です。外線自動転送モード中の転送先や転送動作などをテナントごとに設定できます。ここでは、以下の 3 つの操作について説明します。

- 外線自動転送モードを自動的に切り替える（タイム連動設定）（➡ P.133）
- 転送先情報を登録する（外線転送関連設定）（➡ P.136）
- 外線転送回線グループごとの動作を転送モードとして登録する（転送先設定）（➡ P.138）

MEMO

外線自動転送の動作は、テナントごとに設定します。Web 設定で動作を設定するときは、設定対象のテナントに所属するシステム管理電話機の内線番号でログインしてください。設定した値は、ログインした内線が所属するテナントに設定されます。

外線自動転送モードを自動的に切り替える（タイム連動設定）

タイム連動設定を行うと、曜日と時間帯ごとに外線自動転送モードを自動的に切り替えることができます。

1 Web 設定を起動します。

参照》第 1 章の「Web 設定の起動と終了」（➡ P.3）

2 左メニューで [外線転送] をクリックします。

The screenshot shows the 'Setting' screen with the left sidebar menu. The 'Outbound Transfer' option is highlighted with a red box.

設定画面	
Top	はじめに
ご注意 <ul style="list-style-type: none"> ・ ブラウザの JavaScript およびCookie の設定は、必ず「有効」にしてご使用ください。 ・ 各項目の詳細は、添付の取扱説明書を参照してください。 ・ パスワードを定期的に変更してください。 	

[外線転送] の [タイム連動設定] タブの設定内容が表示されます。

The screenshot shows the 'Outbound Transfer' settings screen with the 'Time Movement Setting' tab selected. It displays a table for setting transfer modes by day and hour.

	日	月	火	水	木	金	土	休日/祝日
00:00	転送無し							
01:00								
02:00								
03:00								
04:00								
05:00								
06:00								
07:00								
08:00								
09:00								
10:00								
11:00								
12:00								

3

自動切替を設定する曜日をクリックします。

タイム連動設定 関連設定 転送先設定

外線転送タイマ連動設定

外線からの一般着信、DGLUMSA着信時、外線自動転送モード中の状態であった場合、あらかじめ登録していた転送先に着信を自動的に転送を行います。
本転送が約2ついて、毎日時間毎に動作設定を行います。
各曜日をクリックして設定画面を表示してください。

	日	月	火	水	木	金	土	休日／祝祭日
00:00	転送無し							
01:00								
02:00								
03:00								
04:00								
05:00								
06:00								
07:00								
08:00								
09:00								
10:00								
11:00								
12:00								
13:00								
14:00								
15:00								
16:00								

4

[動作選択] で、選択した曜日の 00:00 に切り替わる動作モードを選択し、[時間帯 1] の設定を行います。

タイム連動設定 関連設定 転送先設定

外線転送タイマ連動設定(日曜日)

動作選択

スケジュールに従う 前日モードを継続

時間帯 1

開始時間 00:00

外線転送モード 外線転送1

項目	内容	
動作選択	スケジュールに従う	登録したスケジュールどおりに動作させます。
	前日モードを継続	前日と同じモードに設定します。
時間帯 1	開始時間	[時間帯 1] は 00:00 に固定されています。
	外線転送モード	外線転送モードをブルダウンメニューから選択します。 転送無し：外線自動転送を OFF に設定します。 外線転送 1 ~ 外線転送 8：[転送先設定] タブで設定した転送モード 1 ~ 転送モード 8 にそれぞれ対応しています（→ P.138）。

5

[時間帯 2]～[時間帯 10]の項目を設定します。

必要な時間帯のみ設定します。

不要な時間帯を削除するには [削除] をクリックします。

時間帯2 削除
開始時間 : (00:01~23:59) ※1
外線転送モード 転送無し

時間帯3 削除
開始時間 : (00:01~23:59) ※1
外線転送モード 転送無し

時間帯4 削除
開始時間 : (00:01~23:59) ※1
外線転送モード 転送無し

時間帯8 削除
開始時間 : (00:01~23:59) ※1
外線転送モード 転送無し

時間帯9 削除
開始時間 : (00:01~23:59) ※1
外線転送モード 転送無し

時間帯10 削除
開始時間 : (00:01~23:59) ※1
外線転送モード 転送無し

コピー先 日 月 火 水 木 金 土 休日／祝祭日

*1 未入力の場合は時間帯切替無しとなります

設定 **初期化** ▲上へ

項目	内容
開始時間	00:01～23:59 の範囲で時間帯を入力します。
外線転送モード	外線転送モードをブルダウンメニューから選択します。 転送無し：外線自動転送を OFF に設定します。 外線転送 1～外線転送 8：[転送先設定] タブで設定した転送モード 1～転送モード 8 にそれぞれ対応しています（→ P.138）。
コピー先	設定した内容を違う曜日にコピーする場合、[コピー先] で目的の曜日にチェックを入れます。

6

[設定] をクリックします。

- 入力した設定内容を変更したい場合は、再度、入力しなおしてください。
- [初期化] をクリックすると、初期設定の状態に戻ります。

ポップアップが表示されます。

7

表示されたポップアップで [OK] をクリックします。

選択した曜日と時間帯の外線転送モードが登録され、タイムテーブルに表示されます。

	日	月	火	水	木	金	土	休日／祝祭日
00:00	モード1	転送無し						
01:00								
02:00								
03:00								
04:00								
05:00								
06:00								
07:00								
08:00								
09:00								
10:00								
11:00								
12:00								
13:00								

転送先情報を登録する（外線転送関連設定）

外線自動転送モード中に外線からの一般着信、DGL/MSA 着信があったときの転送先と転送開始時間を登録します。最大 8 件まで登録できます。

1 [外線転送] 画面を表示して（→ P.133）、[関連設定] タブをクリックします。

日	月	火	水	木	金	土	休日／祝日
00:00	モード1	転送無し	転送無し	転送無し	転送無し	転送無し	転送無し
01:00							
02:00							
03:00							
04:00							
05:00							
06:00							
07:00							
08:00							
09:00							
10:00							
11:00							
12:00							
13:00							
14:00							
15:00							

[関連設定] タブの設定内容に切り替わります。

2 転送先情報を設定します。

相手先番号	発信種別	方略番号
090-1111-2222	外線	0
	外線	0

※1 未入力の場合は相手先番号無しとなります

設定 初期化

つづく→

(*)の付いた項目は必ず登録してください。

項目	内容
相手先情報 相手先 1 ~ 相手先 8	<p>転送先の電話番号を入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 最大 32 桁まで登録できます。 半角の 0 ~ 9、*、#、特殊コード（-：オートポーズ、P：PB 切替）が入力できます。 <p>[発信種別] のプルダウンメニューから転送先の電話番号種別を選択します。</p> <p>外線：回線を指定せず、使用できるいすれかの外線で転送します。 特番展開：入力した閉番号により専用線で転送します。 PBX：主装置に接続されている構内交換機(PBX)を経由して外線へ転送します。 方路指定：方路(回線の束)を指定して転送します。この場合、方路番号も入力します。</p> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>MEMO</p> <ul style="list-style-type: none"> 転送先の設定については、『取扱説明書(多機能電話機編)』－「3-5 電話に応答できないときの便利な機能」を参照してください。 方路番号などの用語については、『取扱説明書(多機能電話機編)』－「A-1 用語説明」を参照してください。 </div> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>工事設定</p> <ul style="list-style-type: none"> [特番展開] は [相手先番号] として閉番号を利用する場合に選択します。閉番号の設定については、販売店にご確認ください。 設定されている方路番号については、販売店にご確認ください。 </div>
外線転送起動時間 * 外線自動転送を開始するまでの秒数を入力します。	<ul style="list-style-type: none"> 0 ~ 180 秒の範囲で指定できます。
転送中着信鳴動 外線自動転送中に転送先と着信先(着信設定に従った着信先)の内線を同時に呼び出すか、転送先のみ呼び出すかを設定することができます。	<p>鳴動しない：転送先のみ呼び出す設定です。転送が開始されるとともに着信先(着信設定に従った着信先)の内線の着信音は鳴り止みます。</p> <p>鳴動する：転送先呼出中に内線も同時に呼び出します。転送開始後も着信先(着信設定に従った着信先)の内線の着信音が鳴り続けます。</p>

3

[設定] をクリックします。

- 入力した設定内容を変更したい場合は、再度、入力しなおしてください。
 - [初期化] をクリックすると、初期設定の状態に戻ります。
- ポップアップが表示されます。

4

表示されたポップアップで [OK] をクリックします。

外線自動転送の転送先と起動時間が設定されます。

外線転送回線グループごとの動作を転送モードとして登録する（転送先設定）

外線自動転送モード中に外線からの一般着信、DGL/MSA 着信があったときの、外線転送回線グループごとの動作を転送モードとして登録します。8種類の転送モード（[モード1]～[モード8]）を登録できます。

1 [外線転送] 画面を表示して（→ P.133）、[転送先設定] タブをクリックします。

The screenshot shows the 'Fax Transfer' configuration interface. On the left is a sidebar with various menu items. The main area has tabs at the top: 'Time Movement Setting', 'Related Setting', and 'Transfer Destination Setting' (which is highlighted with a red box). Below the tabs is a section titled 'Fax Transfer Time Movement Setting'. It contains a note about automatically switching transfer modes based on the time of day and the type of incoming call (DGL/MSA or general). A large table below shows the transfer mode for each hour from 00:00 to 16:00. The table rows are color-coded by transfer mode: pink for Mode 1, light blue for Mode 2, and light green for Mode 3.

時刻	日	月	火	水	木	金	土	日曜日
00:00	モード1	転送無し						
01:00								
02:00								
03:00								
04:00								
05:00								
06:00								
07:00								
08:00								
09:00								
10:00								
11:00								
12:00								
13:00								
14:00								
15:00								
16:00								

[転送先設定] タブの設定内容に切り替わります。

2 [外線転送] のプルダウンメニューから登録先の転送モードを選択し、[選択] をクリックします。

This screenshot shows the same configuration interface as above, but the 'Transfer Mode' dropdown menu under the 'Transfer Destination Setting' tab is open. The menu has a red box around it, and the option 'モード1' is selected. A 'Select' button is also visible next to the dropdown.

3 以下項目を設定し、外線転送回線グループ（グループA～グループD）ごとの動作を指定します。

This screenshot shows the detailed configuration for each line group. The 'Transfer Mode' dropdown is set to '通常' (Normal) for all groups. The 'Recipient Selection' dropdown for each group lists two options: '相手先1/090-1111-2222' and '相手先2'. A red box highlights the second option '相手先2' for all four groups. At the bottom of the screen are 'Setting' and 'Initial' buttons.

つづく→

項目	内容
転送種別	プルダウンメニューから転送種別を選択します。 転送無し：転送を行いません。 通常：[相手先指定]の[1:]で選択した相手先に転送します。 順次：[相手先指定]の[1:]で選択した相手先に転送を試み、相手先が話中または無応答転送モードの場合、[2:]で選択した相手先に転送します。 同時：[相手先指定]の[1:]と[2:]で選択した相手先に同時に転送します。
相手先指定	[1:]のプルダウンメニューから転送先電話番号を選択します。 ● プルダウンメニューには、[外線転送関連]タブで登録した相手先電話番号が表示されます。 ● [転送種別]で[順次]または[同時]を選択した場合のみ、[2:]の相手先を選択します。

4

[設定]をクリックします。

- 入力した設定内容を変更したい場合は、再度、入力しなおしてください。
- [初期化]をクリックすると、初期設定の状態に戻ります。

ポップアップが表示されます。

5

表示されたポップアップで[OK]をクリックします。

外線自動転送の転送モードが設定されます。

オートダイヤルの割り付け(オートダイヤル登録)

管理

一般

多機能電話機のオートダイヤルボタンに外線、ワンタッチダイヤルなどの機能を割り付けることができます。すでに割り付けられている機能を変更することもできます。また、Com@WILLソフトフォンのランプに機能を割り付けて、ランプ表示を設定することができます。

オートダイヤルボタンに機能を割り付ける

オートダイヤルボタンに外線、ワンタッチダイヤルなどの機能を割り付けることができます。また、すでに割り付けられている機能を変更することもできます。

1 Web 設定を起動します。

参照》第 1 章の「Web 設定の起動と終了」(→ P.3)

2 左メニューで [オートダイヤル登録] をクリックします。

[オートダイヤル登録] の設定内容が表示されます。

3 [内線番号] にオートダイヤルに機能を割り付ける内線番号を入力し、[選択] をクリックします。

- 一般ユーザの場合は、ご自分の内線のみ設定できます。

4 オートダイヤルボタンをクリックします。

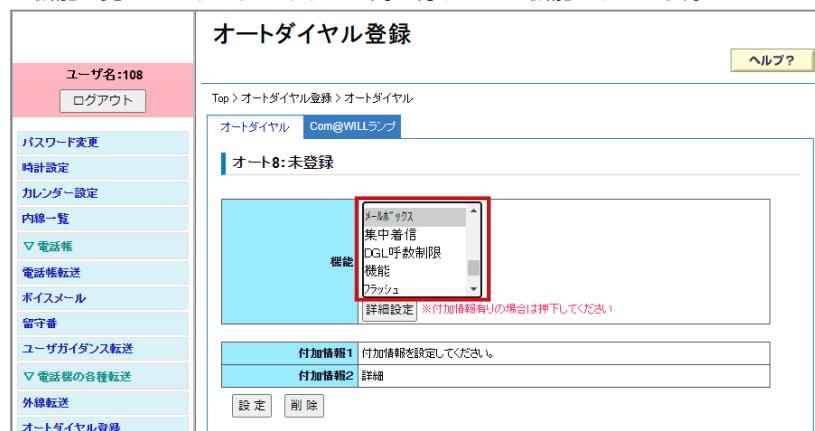
- すでに機能が割り付けられているオートダイヤルボタンをクリックすると、機能を割り付けなおすことができます。



選択したオートダイヤルボタンの設定画面に切り替わります。

5 [機能]の一覧から目的の機能を選択します。

- 機能一覧には、オートダイヤルに割り付けられる機能がすべて表示されています。



- 付加情報の入力が必要な場合は、手順 6～8 を操作してください。
- 付加情報の入力が不要な場合は、手順 9 へ進んでください。

6 (付加情報の入力が必要な場合) [詳細設定] をクリックします。

選択した機能の詳細設定画面に切り替わります。

7

詳細設定画面で、プルダウンメニューから付加情報を選択し、[確定]をクリックします。



ポップアップが表示されます。

8

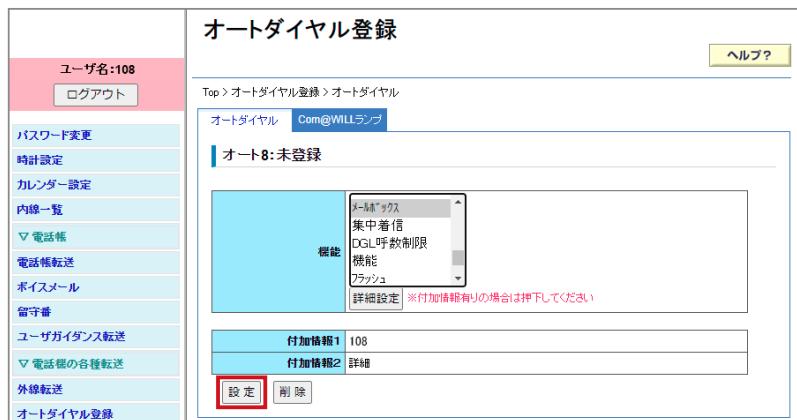
表示されたポップアップで[OK]をクリックします。

オートダイヤルボタンの設定画面に戻ります。

9

[設定]をクリックします。

- 未登録にするには、[削除]をクリックします。



ポップアップが表示されます。

10

表示されたポップアップで[OK]をクリックします。

オートダイヤルに機能が割り付けられます。

Com@WILL のランプに機能を割り付ける

管理**一般**

Com@WILL (Com@WILL ソフトフォンおよび Com@WILL ソフトフォンスマート) のランプに機能を割り付けて、ランプ表示を設定することができます。

同じ機能が割り付けられた Com@WILL ソフトフォンおよび Com@WILL ソフトフォンスマートのランプと多機能電話機のオートダイヤルボタンのランプは、連動して点灯 / 点滅 / 消灯します。

ここでは、以下の操作について説明します。

- Com@WILL ソフトフォンのランプにパーク保留の機能を割り付ける(→ P.145)
- Com@WILL ソフトフォンのランプにグループ着信規制の機能を割り付ける(→ P.149)
- Com@WILL ソフトフォンスマートのランプにグループ着信規制の機能を割り付ける(→ P.152)
- 情報不整合の場合(→ P.154)

工事設定

本バージョンでランプ設定が可能な機能(ランプ種別)は、「パーク保留」と「グループ着信規制」のみです。

「パーク保留」機能を使用する場合は、あらかじめ電話機のオートダイヤルボタンにパーク保留機能を割り付け、以下のいずれかの特番を登録しておく必要があります。オートダイヤルボタンの割り付けと特番の登録は工事者が行います。販売店にご相談ください。

- パークシーケンス保留 / 応答特番+パークシーケンス番号(000 ~ 127)
- パーク保留 / 応答特番+パークトランク番号(000 ~ 127)
- 拡張内線番号(例:17、18、19 ···)

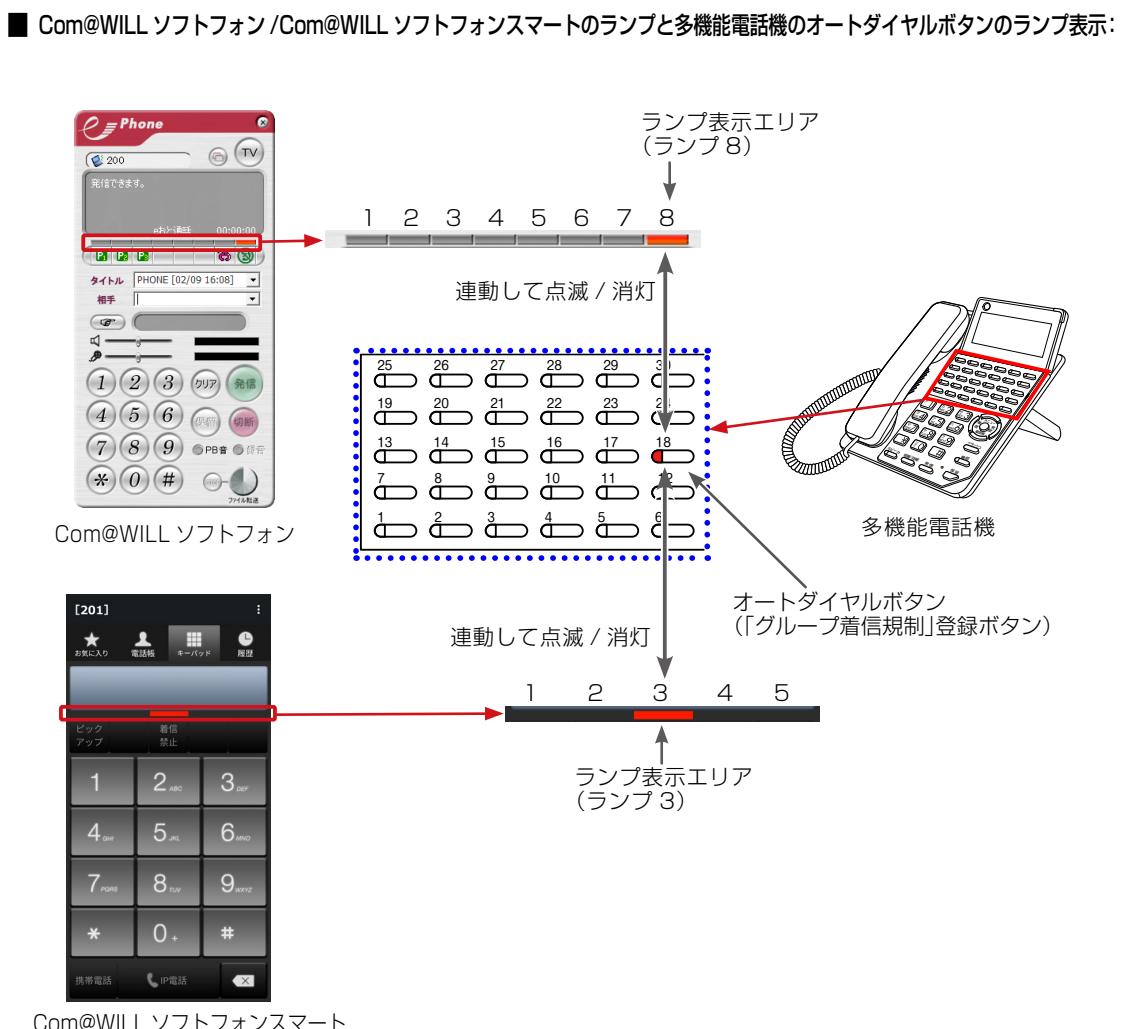
「グループ着信規制」機能を使用する場合は、あらかじめ電話機のオートダイヤルボタンにグループ着信規制機能を割り付け、以下の特番を登録しておく必要があります。特番の登録は工事者が行います。販売店にご相談ください。

- グループ着信規制特番

※パーク保留、グループ着信規制については『取扱説明書(多機能電話機編)』を参照してください。

MEMO

- 本バージョンでパーク保留のランプ設定が可能なソフトフォンは、Com@WILL ソフトフォン Light (R11.5.006 以降)のみです。
- 本バージョンでグループ着信規制のランプ設定が可能なソフトフォンは、Com@WILL ソフトフォン Light (R11.7.000 以降)と Com@WILL ソフトフォンスマート (Android 版: V2.8.1 以降、iOS 版: V1.6.1 以降)です。



機能の動作状態	対象	Com@WILL ソフトフォン	Com@WILL ソフトフォンスマート	多機能電話機
保留なし	—	消灯	—	消灯
パーク保留中	操作内線	点滅(緑)	—	中点滅(緑)
パーク保留の強制転送警報中	操作内線以外	点滅(赤)	—	中点滅(赤)
パーク保留中	操作内線	点滅(黄)	—	間隙速点滅(緑)
強制転送中	転送先内線	—	—	間隙速点滅(赤)
着信ウェイト中	応答操作内線	点滅(赤)	—	間隙点灯2(緑)
着信ウェイト中	応答操作内線以外	—	—	—
グループ着信規制モード OFF	操作内線	消灯	消灯	消灯
グループ着信規制モード ON (グループ内他内線着信可能)	操作内線	点灯(赤)	点灯(赤)	点灯(赤)
グループ着信規制モード ON (全内線着信規制中)	操作内線	遅点滅(赤)	点滅(赤)	間隙速点滅(赤)

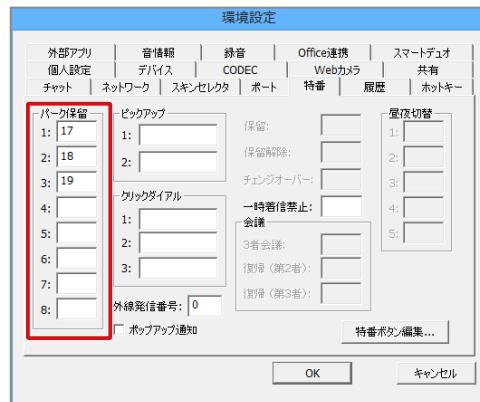
■ Com@WILL ソフトフォンのランプにパーク保留の機能を割り付ける

まず、Com@WILL ソフトフォンに特番を設定したあと、Web 設定でランプに機能を割り付けます。

1 Com@WILL ソフトフォンを起動し、パーク保留の特番を設定します。

[環境設定] – [特番] タブの[パーク保留 1 ~ 8]に、主装置に設定されたパーク保留 1 ~ 8 の特番を入力します（詳細は Com@WILL ヘルプマニュアルを参照）。主装置に設定された特番は工事者にお尋ねください。

■ [環境設定] – [特番] タブ画面の入力例



■ 主装置の特番設定(例)

機能種別	主装置に設定された特番	ダイヤル番号
パーク保留 1	17	拡張内線番号 14120
パーク保留 2	18	拡張内線番号 14121
パーク保留 3	19	拡張内線番号 14122
パーク保留 4	20	拡張内線番号 14123
パーク保留 5	21	拡張内線番号 14124
パーク保留 6	22	拡張内線番号 14125
パーク保留 7	23	拡張内線番号 14126
パーク保留 8	24	拡張内線番号 14127

※パーク保留 / 応答特番: 14、
パークトランク番号: 120 ~ 127 の場合

- [環境設定] – [特番] タブ画面で [特番ボタン編集] をクリックすると、「特番ボタン編集」画面が表示されます。[機能] 欄のプルダウンから機能を選択して、特番ボタンに機能を割り付けてください。



※表示名は変更できます。



Com@WILL ソフトフォン

<特番ボタン表示エリア>



2

Web 設定を起動します。

参照》第1章の「Web 設定の起動と終了」(→ P.3)

- 一般ユーザの場合は、設定対象の Com@WILL ソフトフォンの内線番号でログインしてください。

3

左メニューで[オートダイヤル登録]をクリックします。

[オートダイヤル登録]画面が表示されます。

4

[Com@WILL ランプ]タブをクリックします。

Com@WILL ランプ設定画面が表示されます。

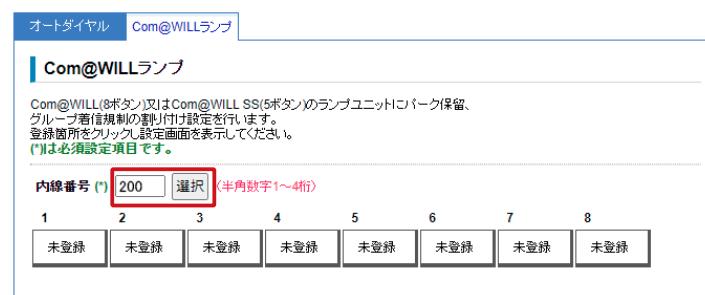


5

[内線番号]に設定対象の Com@WILL ソフトフォンの内線番号(例:200)を入力し、[選択]をクリックします。

- 一般ユーザはここでは入力できません。

選択した内線(Com@WILL ソフトフォン)のランプ表示エリア 1 ~ 8 (ランプユニット)の機能の登録状況が画面に表示されます。

ランプ表示エリア
(ランプ 1 ~ 8)

※機能が登録されているランプのボタンには機能名が表示されます。

※グレー表示されている場合は正しくデータ設定が行われていません。販売店にご相談ください。

6

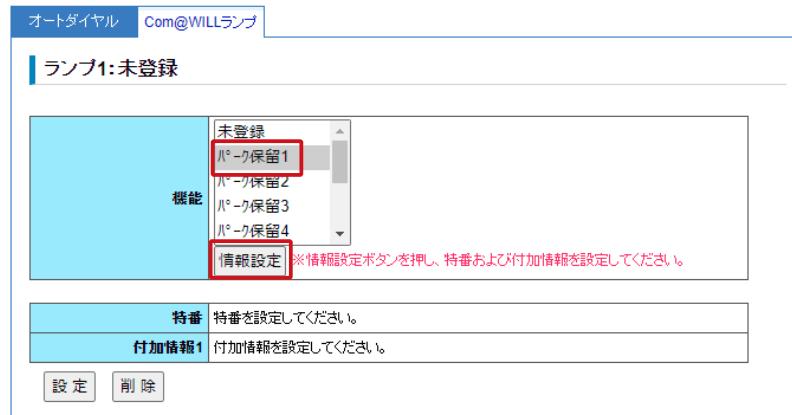
ランプ(1～8)のボタンをクリックします。

- すでに機能が割り付けられているランプのボタンをクリックすると、機能を割り付けなおすことができます。

機能登録画面が表示されます。

7

[機能]欄で、割り付ける機能を選択して、[情報設定]をクリックします。

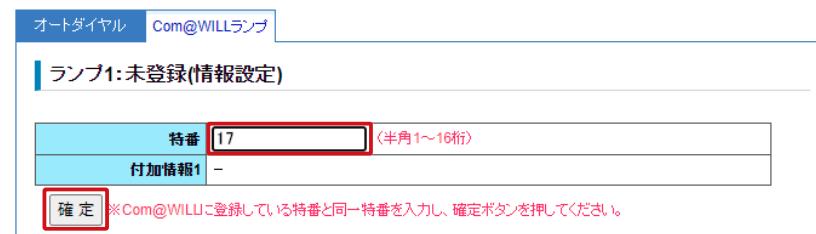


情報設定画面が表示されます。

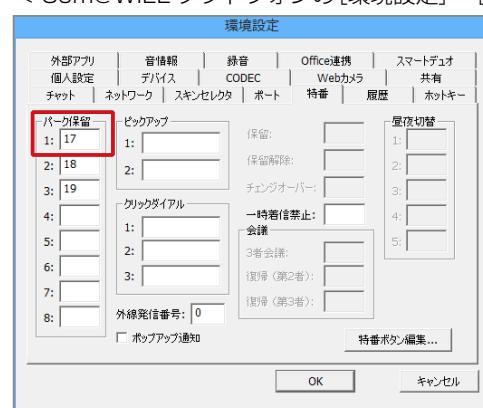
8

[特番]欄に、機能に対応する特番を入力して、[確定]をクリックします。

機能に対応する特番は、Com@WILL ソフトフォンの [環境設定] - [特番] タブ画面で確認します。前の手順で [パーク保留 1] を選択した場合は、[特番] タブの [パーク保留 1] に設定されている特番（以下の画面例では「17」）を入力してください。



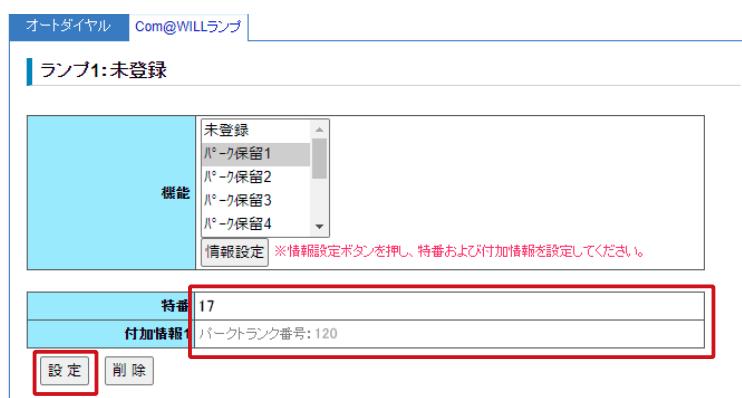
< Com@WILL ソフトフォンの [環境設定] - [特番] タブ画面 >



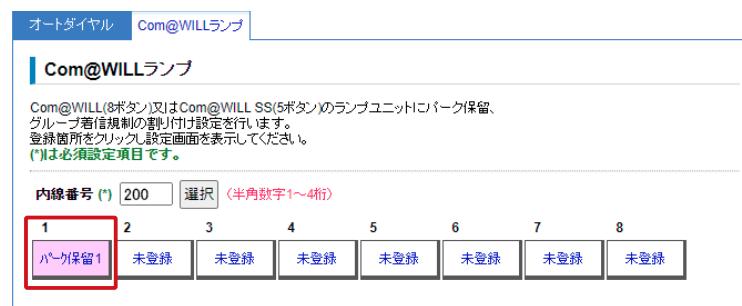
機能登録画面に戻り、設定した特番とそれに対応する付加情報が表示されます。

9

特番と付加情報を確認し、[設定] をクリックします。



Com@WILL ランプ設定画面に戻ります。機能が割り付けられたランプボタンは、機能名が表示されピンク色になります。



上の画面は、Com@WILL ソフトフォンのランプ 1 に、[パーク保留 1] の機能が割り付けられたことを示しています。

■ Com@WILL ソフトフォンのランプにグループ着信規制の機能を割り付ける

まず、Com@WILL ソフトフォンに特番を設定したあと、Web 設定でランプに機能を割り付けます。

1 Com@WILL ソフトフォンを起動し、グループ着信規制の特番を設定します。

[環境設定] – [特番] タブの[一時着信禁止]に、主装置に設定されたグループ着信規制の特番を入力します（詳細は Com@WILL ヘルプマニュアルを参照）。主装置に設定された特番は工事者にお尋ねください。

■ [環境設定] – [特番] タブ画面の入力例



■ 主装置の特番設定(例)

機能種別	主装置に設定された特番とダイヤル番号
グループ着信規制	90

- [環境設定] – [特番] タブ画面で [特番ボタン編集] をクリックすると、「特番ボタン編集」画面が表示されます。[機能] 欄のプルダウンから機能を選択して、特番ボタンに機能を割り付けてください。



2 Web 設定を起動します。

参照》第1章の「Web 設定の起動と終了」(→ P.3)

- 一般ユーザの場合は、設定対象の Com@WILL ソフトフォンの内線番号でログインしてください。

3 左メニューで [オートダイヤル登録] をクリックします。

[オートダイヤル登録] 画面が表示されます。

4

[Com@WILL ランプ] タブをクリックします。

Com@WILL ランプ設定画面が表示されます。

5

[内線番号] に設定対象の Com@WILL ソフトフォンの内線番号(例: 200)を入力し、[選択] をクリックします。

- 一般ユーザはここでは入力できません。

選択した内線(Com@WILL ソフトフォン)のランプ表示エリア 1 ~ 8 (ランプユニット)の機能の登録状況が画面に表示されます。

※機能が登録されているランプのボタンには機能名が表示されます。

※グレー表示されている場合は正しくデータ設定が行われていません。販売店にご相談ください。

6

ランプ(1 ~ 8)のボタンをクリックします。

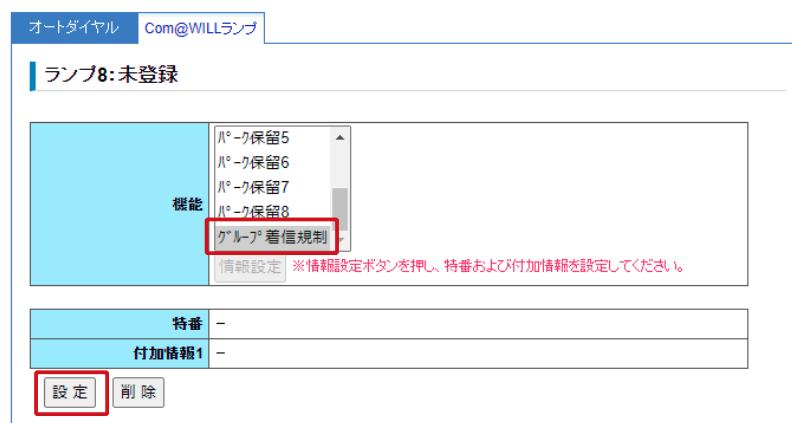
- すでに機能が割り付けられているランプのボタンをクリックすると、機能を割り付けなおすことができます。

機能登録画面が表示されます。

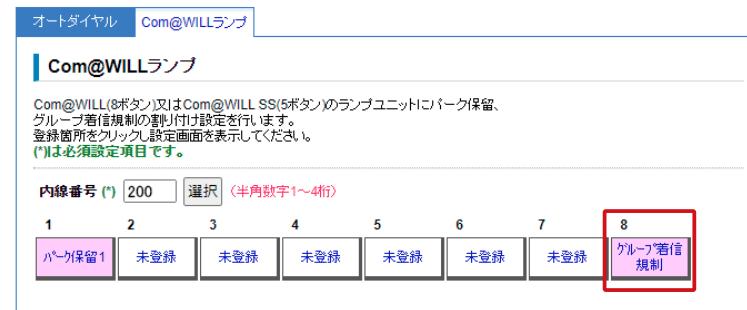
7

[機能]欄で、割り付ける機能を選択して、[設定]をクリックします。

[グループ着信規制]を選択します。



Com@WILL ランプ設定画面に戻ります。機能が割り付けられたランプボタンは、機能名が表示されピンク色になります。



上の画面は、Com@WILL ソフトフォンのランプ8に、[グループ着信規制]の機能が割り付けられたことを示しています。

■ Com@WILL ソフトフォンスマートのランプにグループ着信規制の機能を割り付ける

まず、Com@WILL ソフトフォンスマートに特番を設定したあと、Web 設定でランプに機能を割り付けます。

1 Com@WILL ソフトフォンスマートアプリを起動し、グループ着信規制の特番を設定します。

操作例 (Com@WILL ソフトフォンスマート(Android 版 V2.8.1))

[設定] - [ワンタッチキー設定] で表示された画面で、以下の①～⑤を操作して、機能種別[着信禁止]のワンタッチキー(特番ボタン)に、主装置に設定されたグループ着信規制の特番を入力します(詳細は、お使いの Com@WILL ソフトフォンスマート ユーザーズマニュアルを参照)。

※主装置に設定された特番は工事者にお尋ねください。

① [ワンタッチキーを使用] にチェックを入れて「有効」にします。

② [ワンタッチキー X 設定] を選択します(X は 3～5 のみ、1～2 は端末固定で使用のため設定不可)

③ [ワンタッチキー X を利用] にチェックを入れて「有効」にします。

④ [機能種別] を選択し、[着信禁止] を選択します。

⑤ [特番設定] を選択し、グループ着信規制特番(以下の例では「90」)を入力します。



Com@WILL ソフトフォンスマート

2**Web 設定を起動します。**

参照》第1章の「Web 設定の起動と終了」(→ P.3)

- 一般ユーザの場合は、設定対象の Com@WILL ソフトフォンの内線番号でログインしてください。

3**左メニューで [オートダイヤル登録] をクリックします。**

[オートダイヤル登録] 画面が表示されます。

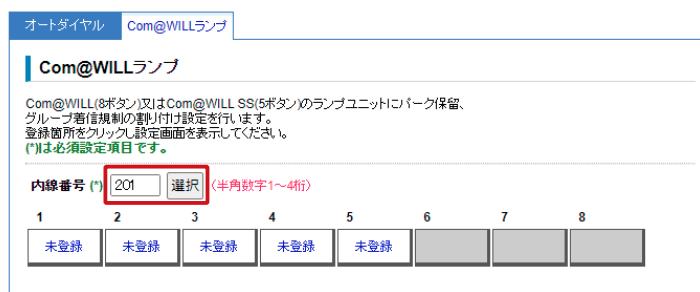
4**[Com@WILL ランプ] タブをクリックします。**

Com@WILL ランプ設定画面が表示されます。

5**[内線番号] に設定対象の Com@WILL ソフトフォンスマートの内線番号
(例:201) を入力し、[選択] をクリックします。**

- 一般ユーザはここでは入力できません。

選択した内線 (Com@WILL ソフトフォンスマート) のランプ表示エリア 1 ~ 5 (ランプユニット) の機能の登録状況が画面に表示されます。



※機能が登録されているランプのボタンには機能名が表示されます。

6**ランプ(3 ~ 5)のボタンをクリックします。**

- ランプ1～2は設定しないでください。
- すでに機能が割り付けられているランプのボタンをクリックすると、機能を割り付けなおすことができます。

機能登録画面が表示されます。

7**[機能] 欄で、割り付ける機能 [グループ着信規制] を選択して、
[設定] をクリックします。**

Com@WILL ランプ設定画面に戻ります。機能が割り付けられたランプボタンは、機能名が表示されピンク色になります。

■情報不整合の場合

Com@WILL ソフトフォンのランプの機能割り付け設定後に、主装置側で特番の設定（拡張内線番号やパークトランク番号など）が変更されると、情報不整合となり、Web 設定画面のランプボタンが黄色になります。黄色のランプボタンをクリックして、以下の操作で整合してください。

オートダイヤル Com@WILLランプ

Com@WILLランプ

Com@WILLのランプユニットにパーク保留などの割り付け設定を行います。
登録箇所をクリックし設定画面を表示してください。

(*)は必須設定項目です。

内線番号 (*) 200 選択 (半角数字1~4行)

1	2	3	4	5	6	7	8
パーク保留1	パーク保留2	未登録	未登録	未登録	未登録	未登録	未登録

※黄色のランプはシステム側で設定が変更されています。
設定を確認し、Com@WILLランプの割り付け設定を行ってください。



オートダイヤル Com@WILLランプ

ランプ2:パーク保留2

機能

未登録	パーク保留1	パーク保留2	パーク保留3	パーク保留4
-----	--------	--------	--------	--------

情報設定

*情報設定ボタンを押すと、特番および附加情報を設定してください。

特番	18
附加情報1	パークトランク番号:121

設定 削除 *情報更新が必要です。設定を確認し、Com@WILLランプの割り付け設定を行ってください。

[情報設定] ボタンをクリックし、「■ Com@WILL ソフトフォンのランプにパーク保留の機能を割り付ける」の手順 8～9 の操作で特番を再度入力し、機能割り付けを設定しなおします。

現在の設定（情報不整合）は赤文字で表示されます。

MEMO

主装置側で拡張内線番号（特番の番号）が変更された場合は、Com@WILL ソフトフォンで特番を再設定する必要があります。「■ Com@WILL ソフトフォンのランプにパーク保留の機能を割り付ける」の手順 1 の操作を再度、実行してください。

メロディの管理（メロディ転送）

管理

PC(パソコン)に保存されている音声ファイルを電話機の着信音などに利用できるメロディとして取り込むことができます。また、既存のメロディの名前を変更したり、PCの任意のフォルダに保存してバックアップすることもできます。

ここでは、以下の2つの操作について説明します。

- 既存のメロディを変更／削除／転送する(→P.155)
- PC上の音声ファイルを取り込む(→P.157)

第2章

機能設定

既存のメロディを変更／削除／転送する

すでに登録されているメロディの名称を変更したり、ファイルを削除したり、ファイルをPC上の任意のフォルダに転送し、バックアップすることができます。

1 Web設定を起動します。

参照》第1章の「Web設定の起動と終了」(→P.3)

2 左メニューで[メロディ転送]をクリックします。

The screenshot shows the 'Setting' page with the left sidebar menu. The 'メロディ転送' item is highlighted with a red box.

設定画面	
ユーザ名:108 ログアウト	Top はじめに ご注意 ブラウザ/ノートのJavaScriptおよびCookieの設定は、必ず「有効」にしてご使用ください。 各項目の詳細は、添付の取扱説明書を参照してください。 パスワードを定期的に変更してください。

[メロディ転送]に切り替わりメロディ一覧が表示されます。

The screenshot shows the 'メロディ転送' page with the left sidebar menu. The 'メロディ' tab is selected.

メロディ一覧		
固定メロディ一覧表示および固定メロディ登録およびメロディ名変更／削除／ダウンロードを行います。 メロディをクリックにより変更画面を表示してください。		
メロディ番号	メロディ名(漢字名称)	メロディ名(カナ名称)
メロディ1	メロディー1	メロディー1
メロディ2	メロディ2	メロディ2
メロディ3		メロディは登録されていません
メロディ4		メロディは登録されていません

3

編集、削除または転送するメロディ番号をクリックします。

メロディ番号	メロディ名(漢字名称)	メロディ名(カナ名称)
メロディ1	メロディー1	メロディー1
メロディ2	メロディ2	メロディ2
メロディ3		メロディは登録されていません
メロディ4		メロディは登録されていません

メロディ編集の設定内容が表示されます。

4

■メロディ名称を変更する場合

① [メロディ名(漢字名称)] と [メロディ名(カナ名称)] の内容を修正し、[メロディ名変更] をクリックします。

- [メロディ名(漢字名称)] には、全角 10 文字または半角 20 文字まで入力できます。
- [メロディ名(カナ名称)] には、半角 20 文字まで入力できます。

② 表示されたポップアップで [OK] をクリックします。

選択したメロディ名称が変更されます。

■メロディを削除する場合

① [削除] をクリックします。

② 表示されたポップアップで [OK] をクリックします。

選択したメロディが削除されます。

■メロディの音声ファイルを転送する場合

[ダウンロード] をクリックします。

選択したメロディが PC のダウンロードフォルダに保存(転送)され、画面上部のツールバーにダウンロード情報がポップアップ表示されます。

ポップアップで ([フォルダに表示]) をクリックすると、ダウンロードフォルダを確認できます。

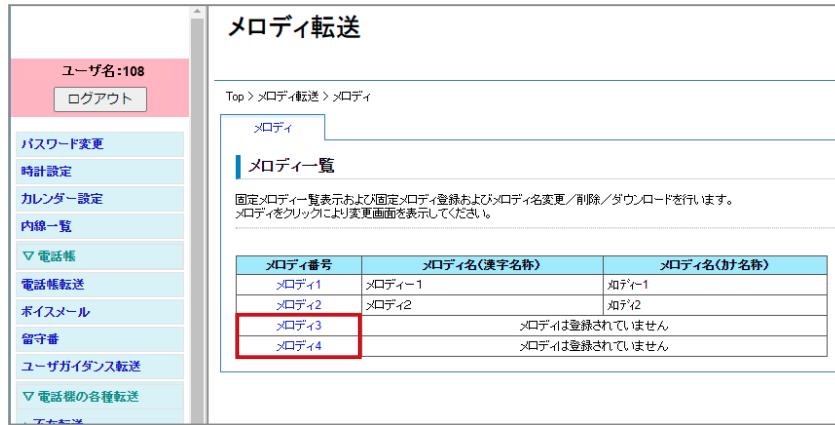
PC 上の音声ファイルを取り込む

PC(パソコン)上の任意の音声ファイルを電話機の固定メロディとして取り込みます。取り込むことが可能な音声ファイルの形式とサイズの条件は以下のとおりです。

圧縮アルゴリズム / 圧縮ビットレート	G.711 μ-Law (64kbps)
ファイル形式	WAV
1 ファイルサイズ	最大 1 Mbyte (2 分)

※音声ファイルのファイル名には、半角英数記号を使用してください。全角英数字、日本語、特殊文字などのファイル名の音声ファイルは取り込むことができません。

1 [メロディ転送]画面で(→ P.155)、メロディ番号をクリックします。



2 メロディ名称などを設定し、[ファイルの選択]をクリックします。



項目	内容
メロディ名(漢字名称)	メロディの漢字名称を入力します。[メロディ名(漢字名称)]には、全角文字(漢字、ひらがな、カナ、英字、数字、記号)で最大 10 文字まで、半角文字(カナ、英字、数字、記号)で最大 20 文字まで入力できます。 ● メロディの漢字名称には、全角半角を混在させた名称を登録できます。
メロディ名(カナ名称)	メロディのカナ名称を入力します。[メロディ名(カナ名称)]には、半角文字(カナ、英字、数字、記号)で最大 20 文字まで入力できます。 ● 漢字名称を登録せずにカナ名称のみを登録すると、メロディ一覧や電話機のディスプレイにはカナ名称が表示されます。

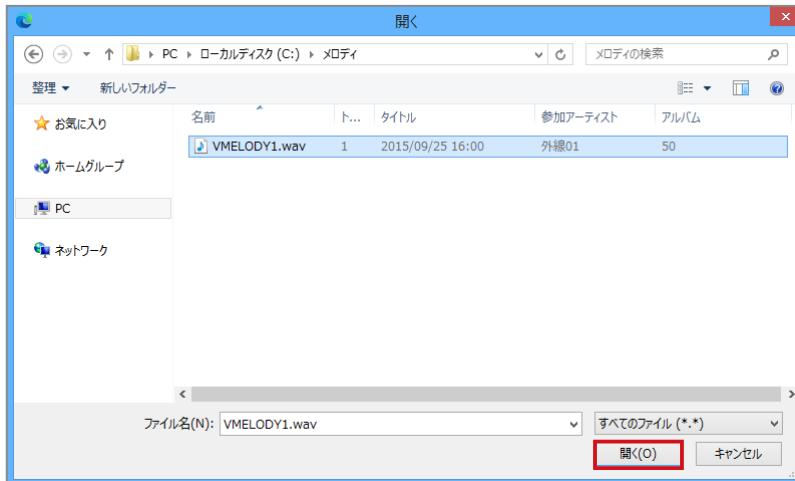
Windows の[開く]ダイアログが表示されます。

3

表示されたダイアログで取り込む音声ファイルを選択し、[開く]をクリックします。

MEMO

音声ファイルには、半角英数記号のファイル名のものを選択してください。全角英数字、日本語、特殊文字などのファイル名の音声ファイルは取り込むことができません。



選択した音声ファイル名が【ファイル指定】に表示されます。

4

[登録]をクリックします。

ポップアップが表示されます。

5

表示されたポップアップで[OK]をクリックします。



選択した音声ファイルがメロディとして登録され、メロディ一覧に表示されます。

音声自動応答(IVR)の設定

管理

音声自動応答(IVR:Interactive Voice Response)機能を利用すると、お客様から電話がかかってきたときに、あらかじめ用意した音声案内(操作ガイダンス)を自動再生し、お客様のダイヤル操作に応じて、目的の部署(問い合わせ窓口など)に着信させたり、音声ガイダンスを流したりすることができます。

IVR 機能を利用するには、電話をかけてきた相手のダイヤル操作に応じた動作の進行手順を設定しておく必要があります。この進行手順を記述した一連の処理定義を「シナリオ」と呼びます。

ここでは、IVR のシナリオの設定について、以下の順で説明します。既存のシナリオを変更する場合は(3)から操作してください。

- (1) シナリオ設定前の準備(→ P.160)
- (2) IVR のシナリオを設定する(→ P.161)
- (3) IVR のシナリオの設定内容を追加 / 変更 / 削除する(→ P.167)
- (4) 5 階層以上のシナリオを作成する(→ P.171)
- (5) IVR のシナリオを一覧表示する(→ P.173)

以下の「■ IVR のシナリオのイメージ(例)」に沿って各操作を説明します。

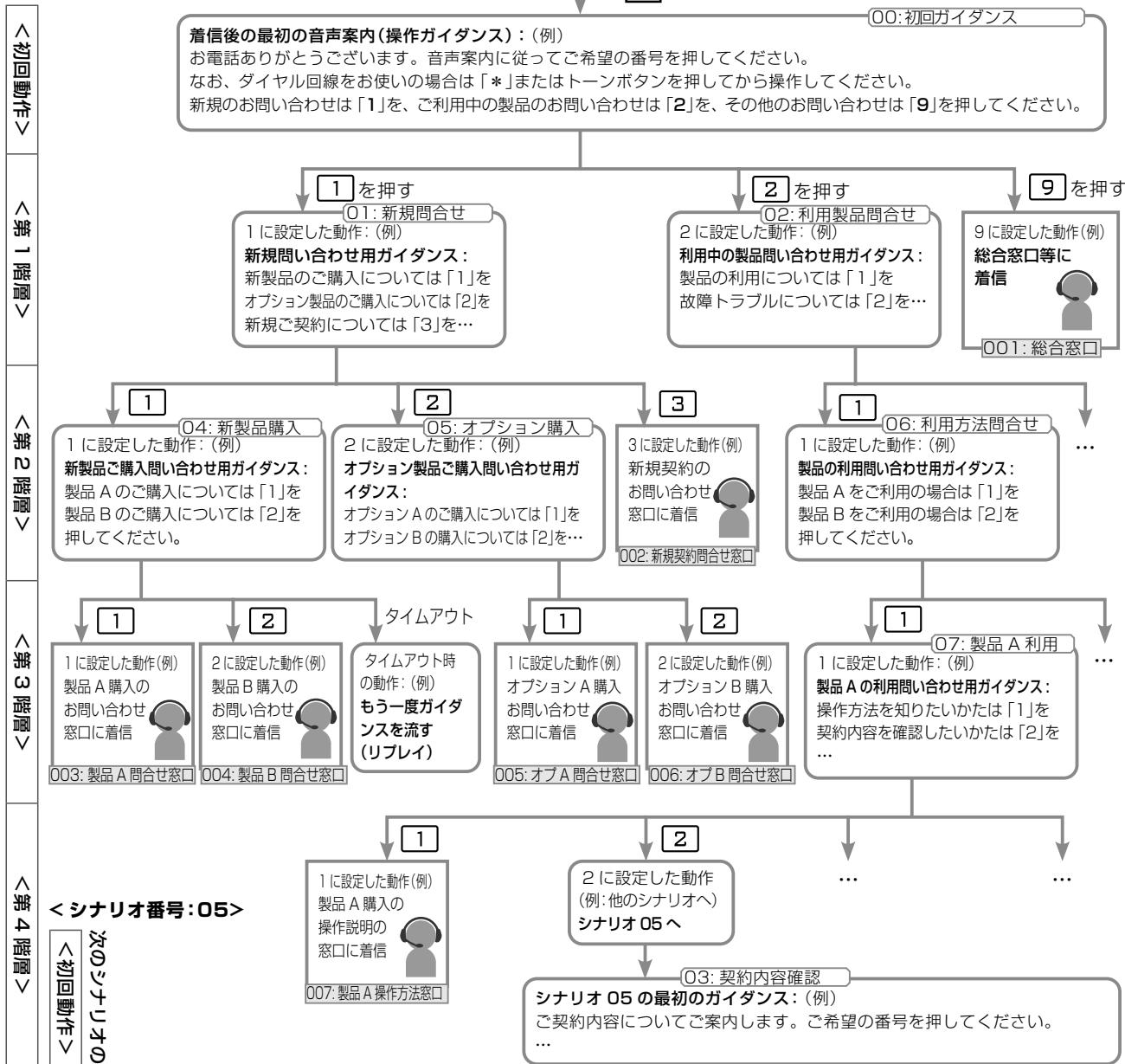
- ・ シナリオには、[0]～[9]、[*]、[#]を押すお客様のダイヤル操作と、それに対応する動作(再生するガイダンスや着信先など)を設定します。動作には、先頭または1つ前のガイダンスの再生、他のシナリオへの移動、切断なども設定できます。また、時間帯によって着信先の着信形式を切り替えることもできます。
- ・ 1つのシナリオには4階層までのダイヤル操作(またはタイムアウト)とそれに対応する動作を設定できます。
- ・ 2つのシナリオをつなげることで、最大8階層のシナリオを作成することができます。

■ IVR のシナリオのイメージ(例)

<シナリオ番号:01>



着信後の最初の音声案内(操作ガイダンス) : (例)
お電話ありがとうございます。音声案内に従ってご希望の番号を押してください。
なお、ダイヤル回線をお使いの場合は「*」またはトーンボタンを押してから操作してください。
新規のお問い合わせは「1」を、ご利用中の製品のお問い合わせは「2」を、その他のお問い合わせは「9」を押してください。



シナリオ設定前の準備

Web 設定で IVR のシナリオの設定を開始する前に、まずシナリオ全体の構成を検討し、机上でシナリオを作成してください。また、シナリオで必要な着信先とガイダンスもあらかじめ準備しておく必要があります。以下の手順で作業を進めてください。

1

シナリオの構成を検討して作成します。

シナリオ全体の構成を検討し、机上でシナリオを作成します。

参照》「■ IVR のシナリオのイメージ(例)」(→ P.159)

MEMO

選択肢・階層は最小限に抑え、お客様がガイダンスを聞く時間ができる限り短くできるようなシナリオを作成することをお勧めします。

2

音声ガイダンスを準備します。

音声ガイダンスをユーザガイダンスとして登録します。登録したユーザガイダンス番号や名称は、メモしておいてください。

※ Web 設定でのシナリオ設定時はガイダンスリストから登録済のユーザガイダンスを選択します。ガイダンスリストには、番号とガイダンス名称が表示されるので、ガイダンス名称に、「初回ガイダンス」、「新規問合せ」などガイダンス内容を把握しやすい名称を付けておくと便利です(ガイダンス名称は全角 10 文字まで)。

登録したユーザガイダンスの例: (番号と名称) :

00: 初回ガイダンス	03: 契約内容確認	06: 利用方法問合せ	99: 終了ガイダンス
01: 新規問合せ	04: 新製品購入	07: 製品 A 利用	
02: 利用製品問合せ	05: オプション購入	12: ただいまお繋ぎします	

MEMO

ユーザガイダンスを登録するには以下の 3 つの方法があります。

- [ユーザガイダンス転送] (→ P.90) を使って登録する。
- システム管理電話機から録音する。
電話機から録音する場合は、「取扱説明書(多機能電話機編)」-「4-7 主装置の設定」で、ユーザガイダンスの録音の操作手順を参照して録音してください。
- 販売店に相談し、工事者に登録を依頼する。

3

シナリオに応じた着信先を準備します(工事設定)。

シナリオの設定を開始する前に、必要なすべての「着信先」を用意しておく必要があります。

工事設定

着信先の設定は工事者が行います。販売店にご相談ください。

「着信先」には、IVR 番号(1 ~ 255)と着信先名が設定されます(例: 「001: 総合窓口」、「002: 新規契約問合せ窓口」、…。「着信先」には、時間帯ごとに着信形式(= 実際の着信先)を設定できます。時間帯は、昼夜モード(「昼間」「夜間 A-1」「夜間 A-2」「夜間 A-3」「夜間 B」)で設定します。

着信先の設定例:

IVR 番号	着信先名	昼夜モードと実際の着信先				
		昼間	夜間 A-1	夜間 A-2	夜間 A-3	夜間 B
001	総合窓口	内線: 20 (日中の窓口の担当者)	内線: 19 (夜間窓口の担当者)	開番号: 820 (他拠点の窓口。拠点番号 8、内線番号 20)	着信代行: 50 (MBX50 に着信。自動応答 / 録音)	着信代行: 50 (MBX50 に着信。自動応答 / 録音)
002	新規契約問合せ窓口	一般着信 (日中の窓口テナント)	DGL: 100 (夜間窓口のグループ)	着信代行: 51 (MBX51 に着信。自動応答 / 録音)	着信代行: 51 (MBX51 に着信。自動応答 / 録音)	
:	:	:	:	:	:	:

参照》「取扱説明書(多機能電話機編)」-「3-2 電話を受けるときの便利な使いかた」-「音声自動応答(IVR)機能を利用する」-「IVR 機能で設定できる着信先」

IVRのシナリオを設定する

作成したシナリオに従い、Web設定でIVRのシナリオを設定します。
ここでは、「■IVRのシナリオのイメージ(例)」(→P.159)のシナリオを例として説明します。

1 Web設定を起動します。

参照》第1章の「Web設定の起動と終了」(→P.3)

2 左メニューで[IVR]をクリックします。

The screenshot shows the 'Setting' page with a sidebar menu on the left. The menu items include: ユーザ名:108, ログアウト, パスワード変更, 時計設定, カレンダー設定, 内線一覧, ▽電話帳, 電話帳転送, ポイスメール, 留守番, ユーザガイダンス転送, ▽電話機の各種転送, 外線転送, オートダイヤル登録, メディア転送, IVR, ですくdeRSS, and タイマ連動. The 'IVR' item is highlighted with a red border.

[IVRシナリオ設定]タブの内容が表示されます。

The screenshot shows the 'IVR Scenario Setting' page. The left sidebar menu is identical to the previous one. The main area has a title 'IVR' and a 'Help?' button. Below it is a breadcrumb navigation: Top > IVR > IVRシナリオ設定. There are two tabs: 'IVRシナリオ設定' (selected) and 'IVRシナリオ一覧'. The 'IVRシナリオ動作' section contains a note about specifying actions for calls from the other party based on dialer operations or再生. The 'シナリオ選択' section shows a dropdown for 'Scenario Number' (※1) set to '01' and a 'Delete All Scenarios' button. Below it are notes: '※1 シナリオ番号を変更すると編集するシナリオが切り替わります' and '※2 シナリオ番号で選択中のシナリオが対象'. The 'Recording Response Actions (Scenario 01: 0 items remaining: 977/1000)' section shows a table with columns: 'Dialer (Layer)' (※3), 'Action', and 'Recipient'. A note says 'Selected scenario has no recorded response actions.' At the bottom, there are notes: '※3 ダイヤル(階層)をクリックすると設定値が応答動作追加・変更欄に表示されます' and '※4 シナリオ構成異常時、グレー表示されます(上位階層無し、上位階層がガイダンス以外、動作がガイダンスで下位階層無し)'. The 'Add Change' section at the bottom right contains fields for 'Dialer (Layer)', 'Action', 'Recipient', and a dropdown for 'ガイダンスシナリオ' (set to 'ガイダンス 00 初回ガイダンス'). Buttons for '追加・変更' and '削除' are also present.

3

[シナリオ選択] – [シナリオ番号] で、設定するシナリオの番号(01 ~ 50)を選択します。

- シナリオは最大50件(シナリオ番号1~50)設定できます。

The screenshot shows the 'IVRシナリオ設定' (IVR Scenario Setting) screen. At the top, there are tabs for 'IVRシナリオ設定' and 'IVRシナリオ一覧'. Below the tabs, a section titled 'IVRシナリオ動作' (IVR Scenario Actions) contains a note: '電話をかけてきた相手のダイヤル操作に応じた動作や再生するガイダンスを指定します。' (Specify actions and guidance to be played based on the dialed operation of the caller). A 'シナリオ選択' (Scenario Selection) section has a dropdown menu labeled 'シナリオ番号' with '※1' and a value '01'. A note below says '※1 シナリオ番号を変更すると編集するシナリオが切り替わります' (When changing the scenario number, the edited scenario will be switched). To the right of the dropdown is a button 'シナリオ一括削除' (Batch Delete Scenario). Another note '※2 シナリオ番号で選択中のシナリオが対象' (The selected scenario is the target) is also present.

4

着信後の最初の応答動作を設定します。
[応答動作追加・変更] で、以下の項目を入力します。

The screenshot shows the '応答動作追加・変更' (Add/Change Response Action) screen. At the top, it displays '登録済み応答動作(シナリオ01: 0件 残: 977/1000件)' (Registered Response Actions (Scenario 01: 0 items, Remaining: 977/1000 items)). Below this is a table with columns: 'ダイヤル階層' (Dial Layer), '動作' (Action), and '着信先' (Recipient). A note says '選択したシナリオの登録済み応答動作はありません' (No registered response actions for the selected scenario). At the bottom, there are notes: '※3 ダイヤル階層をクリックすると設定値が応答動作追加・変更欄に表示されます' (When you click on the dial layer, the settings will be displayed in the add/change response action field) and '※4 シナリオ構成異常時、グレー表示されます(上位階層無し、上位階層がガイダンス以外、動作がガイダンスで下位階層無し)' (When scenario configuration is abnormal, it will be displayed in gray (no upper layer, upper layer is not guidance, action is guidance and no lower layer)). Below the table is a '応答動作追加・変更' (Add/Change Response Action) form with fields: 'ダイヤル階層' (Dial Layer) set to '初回動作' (Initial Action), '動作' (Action) set to 'ガイダンス' (Guidance), 'ガイダンスシナリオ' (Guidance Scenario) set to 'ガイダンス' (Guidance) with a dropdown '00: 初回ガイダンス', and '着信先' (Recipient). A '追加・変更' (Add/Change) button is at the bottom right.

項目	内容
ダイヤル階層	フルダウントメニューから「初回動作」を選択します。
動作	フルダウントメニューから「ガイダンス」を選択します。
ガイダンスシナリオ	フルダウントメニューから着信後最初に流すガイダンスを選択します。 ● フルダウントメニュー(ガイダンスリスト)には、事前に登録したユーザガイダンスの番号と名称が表示されます。 作成したシナリオに従ってガイダンスを選択します。 例:「00: 初回ガイダンス」

5

[追加・変更] をクリックします。

ポップアップが表示されます。

6

表示されたポップアップで [OK] をクリックします。

つづく→

設定した動作が[登録済み応答動作]に表示されます。

※3 ダイヤル(階層)をクリックすると設定値が応答動作追加・変更欄に表示されます
※4 シナリオ構成異常時、グレー表示されます(上位階層無し、上位階層がガイダンス以外、動作がガイダンスで下位階層無し)

7 続けて、ダイヤル操作と応答動作を設定します。 [応答動作追加・変更]で、以下の項目を入力します。

例として、「■ IVR のシナリオのイメージ(例)」(→ P.159) の第 1 階層で [1] をダイヤルしたときの応答動作の設定について説明します。

項目	内容
ダイヤル(階層)	プルダウンメニューから、設定するダイヤル操作を選択します。第 1 階層のダイヤル操作は一番左のプルダウンメニューから選択します。 ● 上記シナリオの例では、「1」を選択します。
動作	プルダウンメニューから、ダイヤル操作に対応する応答動作を選択します。 ● 上記シナリオの例では、「ガイダンス」を選択します。
ガイダンス / シナリオ	[動作] で [ガイダンス] を選択した場合は、「ガイダンス」が表示されます。
ガイダンス	プルダウンメニューからガイダンスを選択します。 ● 上記シナリオの例では、「01: 新規問合せ」を選択します。
着信先	この欄は、[動作] で [着信] を選択した場合のみ表示されます。 ● 上記シナリオの例では空欄になります。

MEMO

- [動作] で [着信] を選択した場合は、[着信先] 欄に着信先リストが表示されます。
- 以下の画面は、「■ IVR のシナリオのイメージ(例)」(→ P.159) の第 1 階層で [1]、第 2 階層で [1]、第 3 階層で [1] をダイヤルしたときの応答動作の設定例です。

8

[追加・変更]をクリックします。

ポップアップが表示されます。

9

表示されたポップアップで[OK]をクリックします。



設定した動作が[登録済み応答動作]に表示されます。

登録済み応答動作(シナリオ01: 2件 残: 975/1000件)			▼拡大 縮小▲
ダイヤル\階層	*3 動作	ガイダンス\シナリオ	着信先
(?)回転操作	ガイダンス 00 初回ガイダンス		
1	ガイダンス 01 新規問合せ		

※3 ダイヤル\階層をクリックすると設定値が応答動作追加・変更欄に表示されます
※4 シナリオ構成異常時、グレー表示されます(上位階層無し、上位階層がガイダンス以外、動作がガイダンスで下位階層無し)

応答動作追加・変更

ダイヤル\階層	1			
動作	ガイダンス			

MEMO

[登録済み応答動作]の行は、シナリオの構成で上位階層がない場合や上位階層がガイダンスでない場合、またガイダンスの動作の下に階層がない場合にグレーになります。そのため、シナリオ入力の途中ではグレー表示になりますが、問題ありません。最後にグレー表示になっていないことを確認してください。

10

手順7～9を繰り返して、シナリオのすべての階層のダイヤル操作と応答動作を設定します。

■[応答動作追加・変更]の入力項目

項目	内容															
ダイヤル(階層)	<p>プルダウンメニューから、設定する階層のダイヤル操作を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 選択できるダイヤル操作は、0～9、*、#、Timeoutです。[Timeout]は一定時間ダイヤル操作が行われなかったとき(タイムアウト時)の動作を設定するときに選択します。 左から順に第1階層、第2階層、第3階層、第4階層のダイヤル操作選択用プルダウンメニューです。 <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin-top: 10px;"> MEMO <ul style="list-style-type: none"> 本システムでは、1件のシナリオに付き、ダイヤル操作とそれに応じた動作を4階層まで設定できます。 参照》「5階層以上のシナリオを作成する」(▶P.171) ダイヤル操作とそれに応じた動作は、システム内で最大1,000種類登録できます。 タイムアウト時の動作を設定していない場合は、初期設定に従った動作(工場出荷時は「一般着信」)になります。設定する場合は階層ごとに設定します。 </div>															
動作	<p>プルダウンメニューからダイヤル操作に対応する応答動作を選択します。</p> <p>以下の動作を選択できます。</p> <p>ガイダンス:ガイダンスを流します。[ガイダンス/シナリオ]で、どのガイダンスを流すかを選択します。</p> <p>着信:指定した着信先に着信させます。[着信先]で、着信先リストから着信先を選択します。</p> <p>切断:切断します。</p> <p>リプレイ:もう一度、ガイダンスを流します。</p> <p>先頭に戻る:初回動作に戻ります。</p> <p>1階層戻る:ダイヤル(階層)が1つ前に戻ります。</p> <p>シナリオ:他のシナリオに移動して、さらに階層動作を作ることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> シナリオを完結させるには、[着信]か[切断]を選択する必要があります。 タイムアウト時の動作として選択できるのは[着信]、[切断]、[リプレイ]、[先頭に戻る]です。 															
ガイダンス / シナリオ	<ul style="list-style-type: none"> [動作]で[ガイダンス]、[着信]、[切断]を選択した場合は、「ガイダンス」とガイダンスリストが表示されます。 [動作]で[シナリオ]を選択した場合は、「シナリオ」とシナリオリストが表示されます。 															
ガイダンス	<p>プルダウンメニューからガイダンスを選択します。</p> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>応答動作追加・変更</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">ダイヤル(階層)</td> <td style="padding: 2px;"><input type="text" value="1"/></td> <td style="padding: 2px;"><input type="text" value=""/></td> <td style="padding: 2px;"><input type="text" value=""/></td> <td style="padding: 2px;"><input type="text" value=""/></td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">動作</td> <td colspan="4" style="padding: 2px;"><input type="button" value="ガイダンス"/></td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">ガイダンスシナリオ</td> <td colspan="4" style="padding: 2px;"><input type="button" value="ガイダンス"/> <input type="button" value="01新規問合せ"/></td> </tr> </table> </div> <ul style="list-style-type: none"> プルダウンメニュー(ガイダンスリスト)には、「シナリオ設定前の準備」(▶P.160)で登録したユーザガイダンスの番号と名称が表示されます。 例:「00: 初回ガイダンス」、「01: 新規問合せ」など。 	ダイヤル(階層)	<input type="text" value="1"/>	<input type="text" value=""/>	<input type="text" value=""/>	<input type="text" value=""/>	動作	<input type="button" value="ガイダンス"/>				ガイダンスシナリオ	<input type="button" value="ガイダンス"/> <input type="button" value="01新規問合せ"/>			
ダイヤル(階層)	<input type="text" value="1"/>	<input type="text" value=""/>	<input type="text" value=""/>	<input type="text" value=""/>												
動作	<input type="button" value="ガイダンス"/>															
ガイダンスシナリオ	<input type="button" value="ガイダンス"/> <input type="button" value="01新規問合せ"/>															
シナリオ	<p>プルダウンメニューから、移動先のシナリオ番号を選択します。</p> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>応答動作追加・変更</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">ダイヤル(階層)</td> <td style="padding: 2px;"><input type="text" value="2"/></td> <td style="padding: 2px;"><input type="text" value="1"/></td> <td style="padding: 2px;"><input type="text" value="1"/></td> <td style="padding: 2px;"><input type="text" value="2"/></td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">動作</td> <td colspan="4" style="padding: 2px;"><input type="button" value="シナリオ"/></td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">ガイダンスシナリオ</td> <td colspan="4" style="padding: 2px;"><input type="button" value="シナリオ"/> <input type="button" value="05"/></td> </tr> </table> </div> <ul style="list-style-type: none"> [動作]で[リプレイ]、[先頭に戻る]、[1階層戻る]を選択した場合は、この欄は空欄です。 	ダイヤル(階層)	<input type="text" value="2"/>	<input type="text" value="1"/>	<input type="text" value="1"/>	<input type="text" value="2"/>	動作	<input type="button" value="シナリオ"/>				ガイダンスシナリオ	<input type="button" value="シナリオ"/> <input type="button" value="05"/>			
ダイヤル(階層)	<input type="text" value="2"/>	<input type="text" value="1"/>	<input type="text" value="1"/>	<input type="text" value="2"/>												
動作	<input type="button" value="シナリオ"/>															
ガイダンスシナリオ	<input type="button" value="シナリオ"/> <input type="button" value="05"/>															

つづく→

項目	内容																																																																				
着信先	<p>[動作]で[着信]を選択した場合、プルダウンメニューに着信先リストが表示されます。プルダウンメニューから着信先を選択します。</p> <p>応答動作追加・変更</p> <table border="1"> <tr> <td>ダイヤル(階層)</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>動作</td> <td>着信</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ガイダンスシナリオ</td> <td>ガイダンス</td> <td colspan="3">12.ただいまお禁ぎします</td> </tr> <tr> <td>着信先</td> <td>003製品A問合せ窓口</td> <td colspan="3">▶ 着信先情報表示</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 着信先リストには、「シナリオ設定前の準備」(→ P.160)で用意(工事設定)した着信先のIVR番号(1~255)と名前が表示されます。 [着信先情報表示]をクリックすると、以下のような着信先の詳細画面がポップアップ表示されます。 詳細画面の[着信先]列の着信先名(青い文字)をクリックして、着信先を選択することもできます。 <p>着信先情報 「着信先」を選択してください。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>着信先</th> <th>昼</th> <th>夜間A-1</th> <th>夜間A-2</th> <th>夜間A-3</th> <th>夜間B</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>001総合窓口</td> <td>内線:20</td> <td>内線:19</td> <td>間番号:820</td> <td>着信代行:50</td> <td>着信代行:50</td> </tr> <tr> <td>002製品問合せ窓口</td> <td>一般着信</td> <td>DGL:100</td> <td>着信代行:51</td> <td>着信代行:51</td> <td>着信代行:51</td> </tr> <tr> <td>003製品A問合せ窓口</td> <td>内線:10</td> <td>内線グループ均等:0</td> <td>着信代行:52</td> <td>着信代行:52</td> <td>着信代行:52</td> </tr> <tr> <td>004製品B問合せ窓口</td> <td>内線:19</td> <td>内線グループ均等:10</td> <td>着信代行:53</td> <td>着信代行:53</td> <td>着信代行:53</td> </tr> <tr> <td>005オプA問合せ窓口</td> <td>MSA:0</td> <td>MSA:0</td> <td>着信代行:54</td> <td>着信代行:54</td> <td>メールアクセス</td> </tr> <tr> <td>006オプB問合せ窓口</td> <td>MSA:10</td> <td>MSA:10</td> <td>着信代行:55</td> <td>着信代行:55</td> <td>着信代行:55</td> </tr> <tr> <td>007製品A操作方法窓口</td> <td>内線グループ均等:127</td> <td>内線グループ均等:127</td> <td>着信代行:56</td> <td>着信代行:56</td> <td>着信代行:56</td> </tr> </tbody> </table> <p>参照》「シナリオ設定前の準備」(→ P.160)の着信先の設定</p>	ダイヤル(階層)	1	1	1	1	動作	着信				ガイダンスシナリオ	ガイダンス	12.ただいまお禁ぎします			着信先	003製品A問合せ窓口	▶ 着信先情報表示			着信先	昼	夜間A-1	夜間A-2	夜間A-3	夜間B	001総合窓口	内線:20	内線:19	間番号:820	着信代行:50	着信代行:50	002製品問合せ窓口	一般着信	DGL:100	着信代行:51	着信代行:51	着信代行:51	003製品A問合せ窓口	内線:10	内線グループ均等:0	着信代行:52	着信代行:52	着信代行:52	004製品B問合せ窓口	内線:19	内線グループ均等:10	着信代行:53	着信代行:53	着信代行:53	005オプA問合せ窓口	MSA:0	MSA:0	着信代行:54	着信代行:54	メールアクセス	006オプB問合せ窓口	MSA:10	MSA:10	着信代行:55	着信代行:55	着信代行:55	007製品A操作方法窓口	内線グループ均等:127	内線グループ均等:127	着信代行:56	着信代行:56	着信代行:56
ダイヤル(階層)	1	1	1	1																																																																	
動作	着信																																																																				
ガイダンスシナリオ	ガイダンス	12.ただいまお禁ぎします																																																																			
着信先	003製品A問合せ窓口	▶ 着信先情報表示																																																																			
着信先	昼	夜間A-1	夜間A-2	夜間A-3	夜間B																																																																
001総合窓口	内線:20	内線:19	間番号:820	着信代行:50	着信代行:50																																																																
002製品問合せ窓口	一般着信	DGL:100	着信代行:51	着信代行:51	着信代行:51																																																																
003製品A問合せ窓口	内線:10	内線グループ均等:0	着信代行:52	着信代行:52	着信代行:52																																																																
004製品B問合せ窓口	内線:19	内線グループ均等:10	着信代行:53	着信代行:53	着信代行:53																																																																
005オプA問合せ窓口	MSA:0	MSA:0	着信代行:54	着信代行:54	メールアクセス																																																																
006オプB問合せ窓口	MSA:10	MSA:10	着信代行:55	着信代行:55	着信代行:55																																																																
007製品A操作方法窓口	内線グループ均等:127	内線グループ均等:127	着信代行:56	着信代行:56	着信代行:56																																																																

シナリオのすべての階層のダイヤル操作と応答動作の設定が完了したら、シナリオの設定は完了です。設定したすべての応答動作が[登録済み応答動作]に表示されます。

*リストの下のほうを表示するには、スクロールバーまたは[拡大]をクリックします。
[拡大]をクリックすると、表示される領域が拡大され、下のほうのリストが表示されます。
[縮小]をクリックすると、表示領域が縮小されます。

登録済み応答動作(シナリオ1: 16件 残: 963/1000件)				▼拡大 縮小▲
ダイヤル(階層)※3	動作	ガイダンスシナリオ	着信先	
(初回動作)	ガイダンス	00:初回ガイダンス		
1	ガイダンス	01:新規問合せ		
1 1	ガイダンス	04:新製品購入		
1 1 1	着信	12.ただいまお禁ぎします	003:製品A問合せ窓口	
1 1 2	着信	12.ただいまお禁ぎします	004:製品B問合せ窓口	
1 1 T	リプレイ			
1 2	ガイダンス	05:オプション購入		
1 2 1	着信	12.ただいまお禁ぎします	005:オプA問合せ窓口	
1 2 2	着信	12.ただいまお禁ぎします	006:オプB問合せ窓口	

※3 ダイヤル(階層)をクリックすると設定値が応答動作追加・変更欄に表示されます
※4 シナリオ構成異常時、グレー表示されます(上位階層無し、上位階層がガイダンス以外、動作がガイダンスで下位階層無し)

最後に、[登録済み応答動作]にグレーの行がないことを確認してください。

シナリオの構成で上位階層がない場合や上位階層がガイダンスでない場合、またガイダンスの動作の下に階層がない場合にグレーになります。

登録した全シナリオを確認するには、[IVR シナリオ一覧]タブで一覧表示すると便利です。

「IVR のシナリオを一覧表示する」(→ P.173)を参照してください。

1 IVR の画面を開きます(→ P.161)。

[IVR シナリオ設定] タブの内容が表示されます。

2 [シナリオ選択] – [シナリオ番号] で、設定内容を追加 / 変更 (または削除) するシナリオの番号を選択します。

The screenshot shows the 'Scenario Selection' tab selected. It displays a list of scenarios with their details and actions.

ダイヤル(階層)※3	動作	ガイダンスシナリオ	着信先
(初回動作)	ガイダンス	00初回ガイダンス	
1	ガイダンス	01新規問合せ	
1 1	ガイダンス	04新製品購入	
1 1 1	着信	12ただいまお葉ぎします	003製品A問合せ窓口
1 1 2	着信	12ただいまお葉ぎします	004製品B問合せ窓口
1 1 T	リプレイ		
1 2	ガイダンス	05オプション購入	
1 2 1	着信	12ただいまお葉ぎします	005オプA問合せ窓口
1 2 2	着信	12ただいまお葉ぎします	006オプB問合せ窓口

※3 ダイヤル(階層)をクリックすると設定値が応答動作追加・変更欄に表示されます
※4 シナリオ構成異常時、グレー表示されます(上位階層無し、上位階層がガイダンス以外、動作がガイダンスで下位階層無し)

MEMO

右のようなメッセージが表示された場合は、[OK]を押して、操作を続けてください。
設定済の応答動作は破棄されません。

192.168.1.200 の内容

シナリオ02に変更します。
現在選択中の応答動作は破棄されます。シナリオ番号を変更しますか？

OK キャンセル

- 追加の場合は、手順 4 に進みます。
- 変更(または削除)の場合は、手順 3 に進みます。

3

[登録済み応答動作]で、変更(または削除)するシナリオの行を選択します。

変更(または削除)する行で、[ダイヤル(階層)]の列の数字部分をクリックしてください。

登録済み応答動作(シナリオ01: 16件 残: 963/1000件)			
ダイヤル(階層)	動作	ガイダンスシナリオ	着信先
初回動作	ガイダンス	00:初回ガイダンス	
1	ガイダンス	01:新規問合せ	
1.1	ガイダンス	04:新製品購入	
1.1.1	着信	12:ただいまお繋ぎします	003:製品A問合せ窓口
1.1.2	着信	12:ただいまお繋ぎします	004:製品B問合せ窓口
1.1.T	リプレイ		
1.2	ガイダンス	05:オプション購入	
1.2.1	着信	12:ただいまお繋ぎします	005:オプA問合せ窓口
1.2.2	着信	12:ただいまお繋ぎします	006:オプB問合せ窓口

選択した行が黄色でハイライト表示され、選択した行に設定されているダイヤル操作と動作が、[応答動作追加・変更]に表示されます。

登録済み応答動作(シナリオ01: 16件 残: 963/1000件)			
ダイヤル(階層)	動作	ガイダンスシナリオ	着信先
初回動作	ガイダンス	00:初回ガイダンス	
1	ガイダンス	01:新規問合せ	
1.1	ガイダンス	04:新製品購入	
1.1.1	着信	12:ただいまお繋ぎします	003:製品A問合せ窓口
1.1.2	着信	12:ただいまお繋ぎします	004:製品B問合せ窓口
1.1.T	リプレイ		
1.2	ガイダンス	05:オプション購入	
1.2.1	着信	12:ただいまお繋ぎします	005:オプA問合せ窓口
1.2.2	着信	12:ただいまお繋ぎします	006:オプB問合せ窓口

※3 ダイヤル(階層)をクリックすると設定値が応答動作追加・変更欄に表示されます
 ※4 シナリオ構成異常時、グレー表示されます(上位階層無し、上位階層がガイダンス以外、動作がガイダンスで下位階層無し)

応答動作追加・変更

ダイヤル(階層)	1	1	1	1	1	
動作	着信					
ガイダンスシナリオ	ガイダンス	12:ただいまお繋ぎします				
着信先	003:製品A問合せ窓口	着信先情報表示				
追加・変更 削除						

4

[応答動作追加・変更]で、追加または変更したい情報を入力します。

参照》「■[応答動作追加・変更]の入力項目」(→P.165)

以下の画面例では、ガイダンスを「12:ただいまお繋ぎします」から「無し」に変更しています。

応答動作追加・変更

ダイヤル(階層)	1	1	1	1	1	
動作	着信					
ガイダンスシナリオ	ガイダンス	無し				
着信先	003:製品A問合せ窓口	着信先情報表示				
追加・変更 削除						

5

[追加・変更]をクリックします。

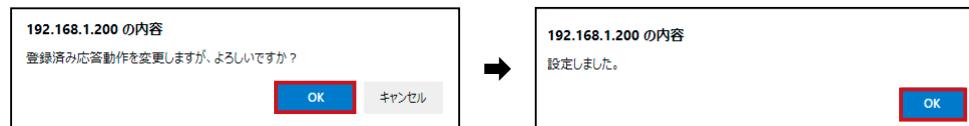
選択した行の応答動作を削除する場合は[削除]をクリックします。

ポップアップが表示されます。

6

表示された2つのポップアップで[OK]をクリックします。

■[追加・変更]をクリックした場合:



- 追加の場合は、「設定しました」というポップアップだけが表示されます。

■[削除]をクリックした場合:



設定内容の変更が[登録済み応答動作]に反映されます。

登録済み応答動作(シナリオ01: 16件 残: 963/1000件)		
ダイヤル(階層)※3	動作	ガイダンスシナリオ
(初回動作)	ガイダンス	00.初回ガイダンス
1	ガイダンス	01.新規問合せ
1.1	ガイダンス	04.新製品購入
1.1.1	着信	無し 003.製品A問合せ窓口
1.1.2	着信	12.ただいまお繋ぎします 004.製品B問合せ窓口
1.1.T	リプレイ	
1.2	ガイダンス	05.オプション購入
1.2.1	着信	12.ただいまお繋ぎします 005.オプA問合せ窓口
1.2.2	着信	12.ただいまお繋ぎします 006.オプB問合せ窓口

※3 ダイヤル(階層)をクリックすると設定値が応答動作追加・変更欄に表示されます
※4 シナリオ構成異常時、グレー表示されます(上位階層無し、上位階層がガイダンス以外、動作がガイダンスで下位階層無し)

- [削除]をクリックした場合は選択した行が消えます。

■シナリオを削除するには

シナリオ自体を削除するには、以下の操作で削除します。

7

IVRの画面を開き(→P.161)、[シナリオ選択]—[シナリオ番号]で削除対象のシナリオの番号を選択します。

ダイヤル(階層)※3	動作	ガイダンスシナリオ	着信先
(初回動作)	ガイダンス	00.初回ガイダンス	
1	ガイダンス	01.新規問合せ	
1.1	ガイダンス	04.新製品購入	
1.1.1	着信	12.ただいまお繋ぎします 003.製品A問合せ窓口	
1.1.2	着信	12.ただいまお繋ぎします 004.製品B問合せ窓口	
1.1.T	リプレイ		
1.2	ガイダンス	05.オプション購入	
1.2.1	着信	12.ただいまお繋ぎします 005.オプA問合せ窓口	
1.2.2	着信	12.ただいまお繋ぎします 006.オプB問合せ窓口	

2

[シナリオ一括削除] ボタンを押します。

Top > IVR > IVRシナリオ設定

IVRシナリオ設定 IVRシナリオ一覧

IVRシナリオ動作
電話をかけてきた相手のダイヤル操作に応じた動作や再生するガイダンスを指定します。

シナリオ選択
シナリオ番号 ※1 01 シナリオ一括削除
※1 シナリオ番号を変更すると編集するシナリオが切り替わります
※2 シナリオ番号で選択中のシナリオが対象

登録済み応答動作(シナリオ01: 16件 残: 963/1000件)
▼拡大 縮小▲
ダイヤル(階層) ※3 動作 ガイダンスシナリオ 着信先
(初回動作) ガイダンス 00:初回ガイダンス
1 ガイダンス 01:新規問合せ
...
※3 ダイヤル(階層)をクリックすると該定階層が階層構成・変更欄に表示されます

ポップアップが表示されます。

3

表示された2つのポップアップで[OK]をクリックします。

192.168.1.200 の内容
選択しているシナリオの登録済み応答動作を全て削除しますが、よろしいですか？

OK キャンセル

192.168.1.200 の内容
削除しました。

OK

選択したシナリオ番号の応答動作がすべて削除され、[登録済み応答動作] の表示内容が空になります。

IVRシナリオ設定 IVRシナリオ一覧

IVRシナリオ動作
電話をかけてきた相手のダイヤル操作に応じた動作や再生するガイダンスを指定します。

シナリオ選択
シナリオ番号 ※1 01 シナリオ一括削除
※1 シナリオ番号を変更すると編集するシナリオが切り替わります
※2 シナリオ番号で選択中のシナリオが対象

登録済み応答動作(シナリオ01: 0件 残: 977/1000件)
▼拡大 縮小▲
ダイヤル(階層) ※3 動作 ガイダンスシナリオ 着信先
選択したシナリオの登録済み応答動作はありません
※3 ダイヤル(階層)をクリックすると該定階層が階層構成・変更欄に表示されます

5階層以上のシナリオを作成する

本システムで1つのシナリオに登録できる階層は4階層までですが、2つのシナリオをつなげることで、最大8階層のシナリオを作成することができます。

ここでは以下の例で説明します。

■「シナリオ01」の4階層目から「シナリオ05」へ接続

<シナリオ01>

登録済み応答動作(シナリオ01: 16件 残: 963/1000件)			
ダイヤル(階層)※3	動作	ガイダンスシナリオ	着信先
1 2 1	着信	12ただいまお繋ぎします	005:オプA問合せ窓口
1 2 2	着信	12ただいまお繋ぎします	006:オプB問合せ窓口
1 3	着信	12ただいまお繋ぎします	002:製品問合せ窓口
2	ガイダンス	02:利用製品問合せ	
2 1	ガイダンス	06:利用方法問合せ	
2 1 1	ガイダンス	07:製品A操作方法窓口	
2 1 1 1	着信	12ただいまお繋ぎします	007:製品A操作方法窓口
2 1 1 2	シナリオ	05	
9	着信	12ただいまお繩ぎします	001:総合窓口

<シナリオ05>

登録済み応答動作(シナリオ05: 8件 残: 960/1000件)			
ダイヤル(階層)※3	動作	ガイダンスシナリオ	着信先
(初回動作)	ガイダンス	20:操作方法	
1	ガイダンス	10:契約内容の確認	
1 1	着信	無し	001:総合窓口
1 2	ガイダンス	10:契約内容の確認	
1 2 4	ガイダンス	11:故障トラブル	
1 2 4 1	着信	12ただいまお繩ぎします	002:製品問合せ窓口
4	先頭に戻る		
0	切断	99:終了ガイダンス	

1 IVRの画面を開き(→P.161)、[シナリオ選択] → [シナリオ番号]で、変更するシナリオの番号を選択します。

ユーザ名: 108
ログアウト

パスワード変更

時間設定

カレンダー設定

内線一覧

△ 電話帳

電話帳転送

ボイスメール

留守番

ユーザガイダンス転送

△ 電話機の各種転送

新規登録

IVR
ヘルプ?

Top > IVR > IVRシナリオ設定

IVRシナリオ設定
IVRシナリオ一覧

IVRシナリオ動作

電話をかけた相手のダイヤル操作に応じた動作や再生するガイダンスを指定します。

シナリオ選択

シナリオ番号	※1	01	▼	シナリオ一括削除
--------	----	----	---	----------

※1 シナリオ番号を変更すると編集するシナリオが切り替わります
※2 シナリオ番号で選択中のシナリオが対象

登録済み応答動作(シナリオ01: 16件 残: 963/1000件)

ダイヤル(階層)※3	動作	ガイダンスシナリオ	着信先
(初回動作)	ガイダンス	00:初回ガイダンス	
1	ガイダンス	01:新規問合せ	
1 1	ガイダンス	04:新製品購入	

2

[応答動作追加・変更]で、以下のように入力します。

参照》「■[応答動作追加・変更]の入力項目」(→P.165)

以下の画面では、ダイヤル操作 [2] [1] [1] [2] の応答動作に、シナリオ 05 への移動を設定しています。

応答動作追加・変更				
ダイヤル(階層)	2	1	1	2
動作	シナリオ			
ガイダンス/シナリオ	シナリオ	05		
着信先				
追加・変更 削除				

項目	内容
ダイヤル(階層)	プルダウンメニューから、設定する階層のダイヤル操作を選択します。 ● 選択できるダイヤル操作は、0～9、*、#、Timeout です。 ● 左から順に第 1 階層、第 2 階層、第 3 階層、第 4 階層のダイヤル操作選択用プルダウンメニューです。
動作	プルダウンメニューからダイヤル操作に対応する応答動作として[シナリオ]を選択します。 シナリオ :他のシナリオに移動して、さらに階層動作を作ることができます。
ガイダンス / シナリオ	
シナリオ	プルダウンメニューから、移動先のシナリオ番号を選択します。
着信先	空欄

3

[追加・変更]をクリックします。

ポップアップが表示されます。

4

表示されたポップアップで[OK]をクリックします。

シナリオ 05 へ接続する動作が[登録済み応答動作]に反映されます。

登録済み応答動作(シナリオ01: 16件 残: 963/1000件)			
ダイヤル(階層)	動作	ガイダンス/シナリオ	着信先
1 2 1	着信	12.ただいまお繋ぎします	005:オブA問合せ窓口
1 2 2	着信	12.ただいまお繋ぎします	006:オブB問合せ窓口
1 3	着信	12.ただいまお繋ぎします	002:製品問合せ窓口
2	ガイダンス	02:利用製品問合せ	
2 1	ガイダンス	06:利用方法問合せ	
2 1 1	ガイダンス	07:製品A操作方法窓口	
2 1 1 1	着信	12.ただいまお繋ぎします	007:製品A操作方法窓口
2 1 1 2	シナリオ	▶05	
9	着信	12.ただいまお繋ぎします	001:総合窓口

画面上の青い文字「05」をクリックすると、シナリオ 05 の画面にジャンプすることができます。

登録済み応答動作(シナリオ05: 8件 残: 960/1000件)			
ダイヤル(階層)	動作	ガイダンス/シナリオ	着信先
(初回動作)	ガイダンス	20:操作方法	
1	ガイダンス	10:契約内容の確認	
1 1	着信	無し	001:総合窓口
1 2	ガイダンス	10:契約内容の確認	
1 2 4	ガイダンス	11:故障トラブル	
1 2 4 1	着信	12.ただいまお繋ぎします	002:製品問合せ窓口
4	先頭に戻る		
0	切断	99:終了ガイダンス	

IVR のシナリオを一覧表示する

登録済みの IVR のシナリオを一覧表示して確認することができます。

1 IVR の画面を開き(→ P.161)、[IVR シナリオ一覧] タブをクリックします。

The screenshot shows the IVR configuration interface. On the left is a sidebar with various menu items like 'パスワード変更', '時計設定', and 'IVR'. The main area has tabs at the top: 'IVRシナリオ設定' (selected) and 'IVRシナリオ一覧' (highlighted with a red box). Below the tabs is a section titled 'IVRシナリオ動作' with a note about specifying actions for incoming calls. A table titled '登録済み応答動作(シナリオ01: 16件 残: 963/1000件)' lists scenarios with columns for 'ダイヤル(階層)', '動作', 'ガイダンスシナリオ', and '着信先'. At the bottom of this section are notes about clicking '階層' and '応答動作追加・変更' buttons.

[IVR シナリオ一覧] タブの内容が表示されます。

- このタブでは、登録されているすべてのシナリオが表示されます。

This screenshot shows the same IVR configuration interface as above, but the 'IVRシナリオ一覧' tab is now selected. The main area displays a table titled '登録済み応答動作一覧' (List of Recorded Response Actions) with columns for 'シナリオ番号', 'ダイヤル(階層)', '動作', 'ガイダンスシナリオ', and '着信先'. The table lists 16 entries corresponding to scenario 01. At the bottom right of the table is a 'ダウンロード' (Download) button.

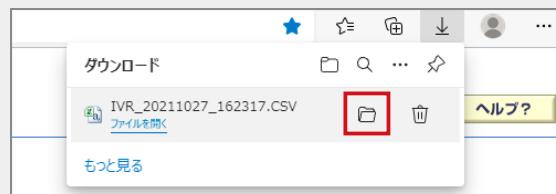
つづく→

- 【シナリオ番号】で番号を選択すると、選択した番号のシナリオが表示領域内に移動します。
- 画面右上の【拡大】をクリックすると、表示される領域が拡大され、下のほうのリストが表示されます。同様に【縮小】をクリックすると、表示領域が縮小されます。

The screenshot shows a software interface titled 'IVRシナリオ設定' (IVR Scenario Setting). A tab labeled 'IVRシナリオ一覧' (IVR Scenario List) is selected. The main area displays a table titled '登録済み応答動作一覧' (List of Recorded Response Actions). The table has columns: 'シナリオ番号' (Scenario Number), 'ダイヤル(階層)' (Dial (Hierarchical)), '動作' (Action), 'ガイダンス/シナリオ' (Guidance/Scenario), and '着信先' (Call Destination). The scenario number is set to 01. The table lists various actions such as 'ガイダンス' (Guidance) and '着信' (Call), along with their corresponding details like '00:初回ガイダンス' (00: First call guidance) and '01:製品Aのお問い合わせ' (01: Inquiry about Product A). There are also sections for '12ただしまあ禁ぎします' (12: Do not say it again) and '11故障トラブル' (11: Fault trouble). Buttons for '拡大' (Zoom In) and '縮小' (Zoom Out) are located at the top right of the table area.

MEMO

[応答動作一覧ダウンロード] をクリックすると、シナリオ一覧を PC のダウンロードフォルダに保存できます。画面上部のツールバーに表示されたダウンロード情報のポップアップで ([フォルダに表示]) をクリックすると、ダウンロードフォルダを確認できます。



- ファイルは PC 上に CSV 形式で「IVR_ 保存日付 _ 保存時刻 .CSV」のようなファイル名で保存されます。例えば、保存日時が 2021 年 10 月 27 日 16 時 23 分 17 秒の場合、以下のようなファイル名になります。

例:IVR_20211027_162317.CSV

すぐ deRSS の設定

管理

一般

「すぐ deRSS」を利用すると、インターネットの RSS サイトから新聞の見出しなどのコンテンツ情報を受信して、電話機のディスプレイにスクロール表示させることができます。

ここでは、「すぐ deRSS」を利用するかどうかを設定する方法について説明します。「すぐ deRSS」を利用する場合は、コンテンツの表示方法や利用日、更新間隔などを使い勝手に合わせて設定できます。

MEMO

- 「すぐ deRSS」の設定は、テナントごとに設定します。Web 設定で設定するときは、設定対象のテナントに所属する内線番号でログインしてください。設定した値は、ログインした内線が所属するテナントに設定されます。
- すぐ deRSS では、https から始まる URL のサイト (SSL/TLS で暗号化されている RSS サイト) の情報は表示できません。

すぐ deRSS の利用設定をする

1 Web 設定を起動します。

参照》第 1 章の「Web 設定の起動と終了」(→ P.3)

2 左メニューで [すぐ deRSS] をクリックします。

The screenshot shows the 'Setting' screen. On the left is a navigation menu with various options like 'User Name: 108', 'Logout', 'Password Change', 'Schedule Setting', etc. The 'すぐ deRSS' option is highlighted with a red box.

Setting Screen (Top)

- User Name: 108
- Logout
- >Password Change
- Schedule Setting
- Calendar Setting
- Line List
- ▼ Telephone Book
- Telephone Transfer
- Point-to-Point Mail
- 留守番
- User Guide Transfer
- ▼ Telephone's Various Transfers
- External Transfer
- Auto Dialer Registration
- IVR Transfer
- すぐ deRSS

Setting Screen (Main Content)

はじめに

ご注意

- ブラウザやCookieのJavaScriptおよびCookieの設定は必ず「有効にしてご使用ください」。
- 各項目の詳細は、添付の取扱説明書を参照してください。
- パスワードを定期的に変更してください。

[すぐ deRSS] の利用設定項目が表示されます。

The screenshot shows the 'Utilization Setting' screen for 'すぐ deRSS'. It includes fields for 'Provider' (提供元), 'RSS Site (URL)' (RSSサイト(URL)), 'Execution Day' (実行曜日), 'Execution Time' (実行時間), and 'Interval' (インターバル).

Utilization Setting Screen (Top)

Top > すぐ deRSS > 利用設定

Utilization Setting Screen (Main Content)

すぐ deRSS 利用

提供元 (全角18文字/半角36文字以内)

RSSサイト(URL) (半角128文字以内) ※1

実行曜日 (※1: 自動更新しない/システム起動時1回のみ取得)

実行時間 (00:00 ~ 00:00 (00:00~00:00:24時間動作)) ※1

インターバル (自動更新する/自動更新する 時間 30分 (自動更新する選択時のみ有効、5~1440))

※1 すぐ deRSS 利用するが選択された時の必須設定項目です

[設定] [初期化]

3

以下の設定を行います。

利用設定

ですくdeRSS利用設定

インターネット経由でRSSサイトよりRSS情報(コンテンツ情報)を受信し、電話機に表示するための、各種設定を行います。

ですくdeRSS利用	<input type="radio"/> 利用しない <input checked="" type="radio"/> 利用する
提供元	RSS (全角18文字／半角36文字以内)
RSSサイト(URL)	http://www.xxxx.yyy (半角128文字以内) ※1
実行曜日	<input checked="" type="checkbox"/> 月 <input checked="" type="checkbox"/> 火 <input checked="" type="checkbox"/> 水 <input checked="" type="checkbox"/> 木 <input checked="" type="checkbox"/> 金 <input checked="" type="checkbox"/> 土 <input checked="" type="checkbox"/> 日 ※1
動作時間	00 : 00 ~ 00 : 00 (00:00~00:00:24時間動作) ※1
インターバル	<input type="radio"/> 自動更新しない(システム起動時1回のみ取得) <input checked="" type="radio"/> 自動更新する 時間 30 分(自動更新する選択時のみ有効、5~1440)

※1 ですくdeRSS利用するが選択された時のみ必須設定項目です

[設定] [初期化]

項目	内容
ですく deRSS 利用	ですく deRSS 機能を利用するかどうかを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 機能を有効にする場合は [利用する] を、利用を中止する場合は [利用しない] をクリックします。 [利用する] を選択した場合のみ、以降の設定項目が有効になります。 初期設定は [利用しない] です。
提供元	RSS の提供元名称を入力します。 <ul style="list-style-type: none"> ここで入力した内容が、電話機のディスプレイに RSS が表示されるときのヘッダー情報になります。 全角 18 文字 / 半角 36 文字まで入力できます。
RSS サイト(URL)	RSS 提供元サイトの URL を入力します。 <ul style="list-style-type: none"> 半角 128 文字まで入力できます。
実行曜日	機能を利用する曜日をチェックします。 <ul style="list-style-type: none"> 初期設定では、すべての曜日がチェックされています。
動作時間	コンテンツ表示の開始時刻と終了時刻を入力します。 <ul style="list-style-type: none"> 初期設定では、00:00 ~ 00:00(24 時間)に設定されています。 開始時刻と終了時刻は、24 時間表示(00:00 ~ 23:59)で設定してください。
インターバル	コンテンツの更新方法と更新間隔を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 自動更新しない場合は、[自動更新しない(システム起動時 1 回のみ取得)] をクリックします。 自動更新する場合は、[自動更新する] をクリックし、[時間] に更新間隔を入力します。 初期設定では、30 分ごとに自動更新する設定になっています。 更新間隔は、5 ~ 1440 分の範囲で設定できます。

4

[設定] をクリックします。

- 入力した設定内容を変更したい場合は、再度、入力しなおしてください。
- [初期化] をクリックすると、初期設定の状態に戻ります。

ポップアップが表示されます。

5

表示されたポップアップで [OK] をクリックします。

設定した内容が保存されます。

セーフティモード / チャイムのタイマ設定(タイマ連動) 管理 一般

セーフティモードへ切り替える時刻とスピーカからチャイム音を鳴らす時刻を曜日ごとに設定できます。ここでは、以下の2つの操作について説明します。

- ・セーフティモードへの切り替え時刻を設定する(セーフティ) (→ P.177)
- ・チャイム音を鳴らす時刻を設定する(チャイム) (→ P.179)

MEMO

チャイムタイマ連動設定は、テナントごとに設定します。Web設定で設定するときは、設定対象のテナントに所属する内線番号でログインしてください。設定した値は、ログインした内線が所属するテナントに設定されます。

セーフティモードへの切り替え時刻を設定する(セーフティ)

セーフティグループ(セーフティA/セーフティB)ごとに、セーフティモードに切り替わる時刻を曜日ごとに設定します。
以降、ここで設定した曜日と時刻になると、自動的にセーフティモードに切り替わります。

1 Web設定を起動します。

参照》第1章の「Web設定の起動と終了」(→ P.3)

2 左メニューで[タイマ連動]をクリックします。

設定画面

Top はじめに

ご注意

- ・ブラウザのJavaScriptおよびCookieの設定は、必ず「有効にしてご使用ください。」
- ・各項目の詳細は、添付の取扱説明書を参照してください。
- ・パスワードを定期的に変更してください。

[タイマ連動]の[セーフティ]タブの設定項目が表示されます。

タイマ連動

Top > タイマ連動 > セーフティ ヘルプ?

セーフティ チャイム

セーフティタイマ連動

セーフティモードに切り替わるための時刻設定を行います。
各曜日をクリックし設定画面を表示してください。

セーフティA	日	月	火	水	木	金	土	休日/祝日
	--:--	--:--	--:--	--:--	--:--	--:--	--:--	--:--

セーフティB	日	月	火	水	木	金	土	休日/祝日
	--:--	--:--	--:--	--:--	--:--	--:--	--:--	--:--

注意:開始時間なしの場合は「--:--」を表示します

3 [セーフティ A] または [セーフティ B] で、切替時刻を設定する曜日をクリックします。

セーフティA							
日	月	火	水	木	金	土	休日/祝祭日
---	---	---	---	---	---	---	---

セーフティB							
日	月	火	水	木	金	土	休日/祝祭日
---	---	---	---	---	---	---	---

注意:開始時間無しの場合には'---'を表示します

4 [開始時間] に、セーフティモードに切り替える時刻を入力します。

00:00 ~ 23:59 の範囲で指定できます。

時刻を入力しないと、選択した曜日は、終日セーフティモードに切り替わりません。

セーフティ タイム連動設定(セーフティA:日曜日)

開始時間	:	(00:00~23:59) ※1
コピー先 <input checked="" type="checkbox"/> 日 <input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 火 <input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 木 <input type="checkbox"/> 金 <input type="checkbox"/> 土 <input type="checkbox"/> 休日/祝祭日		

※1 未入力の場合は切替無しとなります

設定 初期化

5 ここで設定を他の曜日にコピーする場合、[コピー先] でコピー先の曜日にチェックを入れます。

MEMO

[休日 / 祝祭日] にチェックを入れると、[カレンダー設定] の [特定日設定] で休日に設定した曜日と、[祝祭日設定] で祝祭日に設定された日付が対象になります (→ P.16)。

6 [設定] をクリックします。

- 入力した設定内容を変更したい場合は、再度、入力しなおしてください。
- [初期化] をクリックすると、初期設定の状態に戻ります。

ポップアップが表示されます。

7 表示されたポップアップで [OK] をクリックします。

選択した曜日のセーフティモード切り替え時刻が登録され、以降、対象の曜日でこの時刻になると、セーフティモードに自動的に切り替わります。

セーフティA							
日	月	火	水	木	金	土	休日/祝祭日
00:00	---	---	---	---	---	---	---

セーフティB							
日	月	火	水	木	金	土	休日/祝祭日
---	---	---	---	---	---	---	---

注意:開始時間無しの場合には'---'を表示します

チャイム音を鳴らす時刻を設定する(チャイム)

電話機のスピーカおよび外部スピーカからチャイム音を鳴らす時間帯を曜日ごとに設定します。
最大 20 回分の時間帯([時間帯 1]～[時間帯 20])を指定できます。

工事設定

この機能を使用する場合は、販売店にご相談ください。

1 左メニューで [タイマ連動] (→ P.177) をクリックしたあと、[チャイム] タブをクリックします。

日	月	火	水	木	金	土	休日/祝祭日
00:00							
01:00							
02:00							
03:00							
04:00							
05:00							
06:00							
07:00							
08:00							
09:00							
10:00							
11:00							
12:00							
13:00							
14:00							
15:00							
16:00							
17:00							

[チャイム] タブに切り替わり、チャイムタイマ連動の設定内容が表示されます。

日	月	火	水	木	金	土	休日/祝祭日
00:00							
01:00							
02:00							
03:00							
04:00							
05:00							
06:00							
07:00							
08:00							
09:00							
10:00							
11:00							
12:00							
13:00							
14:00							
15:00							
16:00							
17:00							

2 設定する曜日をクリックします。

日	月	火	水	木	金	土	休日/祝祭日
00:00							
01:00							
02:00							
03:00							
04:00							
05:00							
06:00							
07:00							
08:00							

時間帯の設定項目に切り替わります。

3

[鳴動時間 1] の [鳴動時間] に開始時刻を入力します。

- 00:00 ~ 23:59 の範囲で指定できます。

セーフティ チャイム

チャイムタイマ運動設定(日曜日)

鳴動時間1 削除 鳴動時間 : (00:00~23:59) *1

鳴動時間2 削除 鳴動時間 : (00:00~23:59) *1

鳴動時間3 削除 鳴動時間 : (00:00~23:59) *1

鳴動時間4 削除 鳴動時間 : (00:00~23:59) *1

鳴動時間5 削除 鳴動時間 : (00:00~23:59) *1

鳴動時間18 削除 鳴動時間 : (00:00~23:59) *1

鳴動時間19 削除 鳴動時間 : (00:00~23:59) *1

鳴動時間20 削除 鳴動時間 : (00:00~23:59) *1

コピー先 日 月 火 水 木 金 土 休日／祝祭日

*1 未入力の場合は鳴動時間無しとなります

設定 初期化 ▲上へ

4

手順 3 に従って、[鳴動時間 2] ~ [鳴動時間 20] の項目を設定します。

- 必要な鳴動時間のみ設定します。
- 不要な鳴動時間を削除するには [削除] をクリックします。
- どの鳴動時間にも時刻を入力しないと、その曜日は終日チャイムが鳴りません。

5

ここで設定を他の曜日にコピーする場合、[コピー先] でコピー先の曜日にチェックを入れます。

6

[設定] をクリックします。

- 入力した設定内容を変更したい場合は、再度、入力しなおしてください。
- [初期化] をクリックすると、初期設定の状態に戻ります。

ポップアップが表示されます。

7

表示されたポップアップで [OK] をクリックします。

選択した曜日のチャイム音の鳴動時刻が登録され、以降、対象の曜日でこの時刻になると、チャイムが鳴ります。

	日	月	火	水	木	金	土	休日／祝祭日
00:00	00:00							
01:00								
02:00								
03:00								
04:00								
05:00								
06:00								
07:00								
08:00								
09:00								

Web カメラの設定(Web カメラ)

管理

セーフティモードと連動して動作させる Web カメラを利用するための情報やセキュリティモードとの連動情報を設定できます。

Web カメラの利用情報を設定する(カメラ情報)

セーフティモードと連動して動作する Web カメラの利用設定を行います。Web カメラの設定は、接続されているカメラごとに行うことができます。

1 Web 設定を起動します。

参照》第 1 章の「Web 設定の起動と終了」(→ P.3)

2 左メニューで [Web カメラ] をクリックします。



The screenshot shows the left sidebar of the 'Setting' menu. The 'Web Camera' option is highlighted with a red box. The sidebar includes options like User Name: 108, Logout, Password Change, Timer Setting, Calendar Setting, Internal Line List, Phone Book, Call Log Transfer, Voicemail,留守番 (Absentee), User Guide Transfer, Call Log Transfer Options, External Line Transfer, Auto Dialer Registration, PC-to-PC Transfer, IVR, deRSS, Time Movement, and Web Camera.

[Web カメラ] の設定項目が表示されます。



The screenshot shows the 'Web Camera' configuration page. It displays camera information and a table of camera settings. The table has columns for Camera No., Action Setting, and Access Target. All cameras listed have '無効' (Ineffective) set as their action setting and '0.0.0.80' as their access target.

カメラ番号	動作設定	アクセス先
カメラ1	無効	0.0.0.80
カメラ2	無効	0.0.0.80
カメラ3	無効	0.0.0.80
カメラ4	無効	0.0.0.80
カメラ5	無効	0.0.0.80
カメラ6	無効	0.0.0.80
カメラ7	無効	0.0.0.80
カメラ8	無効	0.0.0.80
カメラ9	無効	0.0.0.80

3

情報を登録するカメラ番号をクリックします。

カメラ番号	動作設定	アクセス先
カメラ1	無効	0.0.0.80
カメラ2	無効	0.0.0.80
カメラ3	無効	0.0.0.80
カメラ4	無効	0.0.0.80
カメラ5	無効	0.0.0.80
カメラ6	無効	0.0.0.80
カメラ7	無効	0.0.0.80
カメラ8	無効	0.0.0.80
カメラ9	無効	0.0.0.80

選択したカメラの設定項目に切り替わります。

4

[有効] を選択し、以下の項目を設定します。

- [無効] を選択すると、選択したカメラは利用できません。

動作設定	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効						
IP アドレス (*)	0.0.0.0 (各 0~255)						
ポート番号 (*)	80 (1~65535)						
アクセス用ディレクトリ	(半角256文字以内)						
カメラ種別	Panasonic						
BASIC 認証	<table border="1"> <tr> <td>設定</td> <td><input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効</td> </tr> <tr> <td>ユーザ名</td> <td>(全角16文字／半角32文字以内) ※1</td> </tr> <tr> <td>パスワード</td> <td>(全角16文字／半角32文字以内) ※1</td> </tr> </table>	設定	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効	ユーザ名	(全角16文字／半角32文字以内) ※1	パスワード	(全角16文字／半角32文字以内) ※1
設定	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効						
ユーザ名	(全角16文字／半角32文字以内) ※1						
パスワード	(全角16文字／半角32文字以内) ※1						

※1 BASIC認証: 有効の場合に設定してください

設定 初期化

(*)の付いた項目は必ず登録してください。

項目	内容	
IP アドレス *	カメラの IP アドレスを半角で入力します。 ● 000.000.000.000 ~ 255.255.255.255 の範囲で指定できます。	
ポート番号 *	カメラのポート番号を半角で入力します。 ● 1 ~ 65535 の範囲で指定できます。	
アクセス用ディレクトリ	セーフティメール送信用のメールサーバアドレスを入力します。 ● 半角 256 文字まで入力できます。	
カメラ種別	プレダウンメニューからカメラの製造メーカーを選択します。	
BASIC 認証	設定	BASIC 認証が必要な場合、[有効] を選択し、以下の項目を設定します。
	ユーザ名	BASIC 認証用のユーザ名を入力します。
	パスワード	BASIC 認証用のパスワードを入力します。

5

[設定] をクリックします。

- 入力した設定内容を変更したい場合は、再度、入力しなおしてください。
- [初期化] をクリックすると、初期設定の状態に戻ります。

ポップアップが表示されます。

6 表示されたポップアップで[OK]をクリックします。

選択したカメラの利用情報が設定されます。

The screenshot shows a table titled "Webカメラ情報" (Web Camera Information) with the following data:

カメラ番号	動作設定	アクセス先
カメラ1	有効	192.168.1.50:80
カメラ2	無効	0.0.0.0:80
カメラ3	無効	0.0.0.0:80
カメラ4	無効	0.0.0.0:80
カメラ5	無効	0.0.0.0:80
カメラ6	無効	0.0.0.0:80
カメラ7	無効	0.0.0.0:80
カメラ8	無効	0.0.0.0:80
カメラ9	無効	0.0.0.0:80

メール送信の設定（アドレス登録）

管理

本システムの主装置から「セーフティメール通知」、「外線着信メール通知」および「着信履歴通知」を送信する際の送信先メールアドレスを登録できます。登録したメールアドレスへのテスト送信を行うこともできます。
また、メール送信時に認証サービスを利用できるように設定することもできます。

ここでは、以下の操作について説明します。

- セーフティメール通知の送信先を登録する（セーフティ）（→ P.184）
- 外線着信メール通知の送信先を設定する（外線着信）（→ P.187）
- 不在着信履歴通知の送信先を登録する（着信履歴関連）（→ P.189）
- メール送信時にGmailのOAuth認可サービスを利用する（メール認証（OAuth））（→ P.191）

セーフティメール通知の送信先を登録する（セーフティ）

工事設定

メール送信サーバ情報の設定およびEメール機能の利用設定が必要です。詳しくは、販売店にご相談ください。

1 Web設定を起動します。

参照）第1章の「Web設定の起動と終了」（→ P.3）

2 左メニューで[アドレス登録]をクリックします。



つづく→

[アドレス登録] の [セーフティ] タブの設定項目が表示されます。

No.	メールアドレス(*) (半角64文字以内)	グローバル IPアドレス通知	セーフティ メール通知動作	メール送信テス ト※1
1		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

*1 設定を反映させてからメール送信テスト行ってください
[設定]

3

以下の項目を設定します。

No.	メールアドレス(*) (半角64文字以内)	グローバル IPアドレス通知	セーフティ メール通知動作	メール送信 テス ト※1
1	xxxx@yyyy.co.jp	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

*1 設定を反映させてからメール送信テスト行ってください
[設定]

(*)の付いた項目は必ず登録してください。

項目	内容		
メールアドレス *	セーフティメール通知の送信先メールアドレスを入力します。 64 文字までの半角英数字を入力できます。		
グローバル IP アドレス通知	チェックを入れると、IP 電話サービス対応パッケージの WAN 側 IP アドレスが変更されたときにメールが送信されます。		
セーフティ メール通知動作	検知	チェックを入れると、セーフティモード中にセンサが検知したときに メールが送信されます。	
	セット	チェックを入れると、セーフティモードが起動したときにメールが送 信されます。	
	解除	チェックを入れると、セーフティモードが解除されたときにメールが 送信されます。	

4

[設定] をクリックします。

ポップアップが表示されます。

5

表示されたポップアップで [OK] をクリックします。

セーフティメール通知の設定が有効になります。

6

テストメールを送信するメールアドレスの【メール送信テスト】にチェックを入れ、【メール送信テスト】をクリックします。

No	メールアドレス ^(*) (半角64文字以内)	グローバル IPアドレス通知	セーフティ メール通知動作	メール送信 テスト ^{※1}
操作	検知	セット	解除	
1	xxxx@yyyy.co.jp	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

ポップアップが表示されます。

7

表示されたポップアップで【OK】をクリックします。

チェックを入れたメールアドレスにテストメールが送信され、確認メッセージが表示されます。

外線着信メール通知の送信先を設定する（外線着信）

外線着信メール通知とは、外線自動転送の転送結果（成功 / 失敗）を指定のメールアドレスにお知らせする機能です。ここでは、テナントごとに外線着信メール通知の送信先アドレスや監視する転送先、着信履歴送信の有無などを設定し、送信テストを行う方法について説明します。最大 20 件のメールアドレスを登録できます。

工事設定

- メール送信 / 受信サーバ情報の設定および E メール機能の利用設定が必要です。詳しくは、販売店にご相談ください。
- 登録できるメールアドレスの数を変更することもできます。詳しくは、販売店にご相談ください。

1 [アドレス登録] 画面を表示して（→ P.184）、[外線着信] タブをクリックします。

The screenshot shows the 'Address Registration' screen. On the left, there is a sidebar with various settings like User Name, Password Change, and Call Log. The 'Fax' tab is highlighted in red. The main area shows a table for 'Fax' registration. The table has columns for No. (Number), Mail Address (半角64文字以内), Global IP Address Notification, and Fax Test. There are checkboxes for each row. A note at the bottom says '※1 設定を反映させてからメール送信テスト行ってください' (Please reflect the settings and then perform a mail send test). A 'Setting' button is also present.

[アドレス登録] の [外線着信] タブの設定項目に切り替わります。

2

以下の項目を設定します。

The screenshot shows the 'Fax' configuration screen. The 'Fax' tab is highlighted in red. The main area shows a table for 'Fax' configuration. The table has columns for 登録エリア No (Registration Area No), メールアドレス (Mail Address) (半角64文字以内), and several columns for 転送先 (Forwarding Destination) numbered 1 to 8. There are checkboxes for each column. A note at the bottom says '※1 転送先1 : 外線転送設定-外線転送関連 相手先1に発信します' (Forwarding Destination 1: External line transfer setting - External line transfer related, call to party 1). Another note says '※2 設定を反映させてからメール送信テスト行ってください' (Please reflect the settings and then perform a mail send test). A 'Setting' button is also present.

つづく→

(*)の付いた項目は必ず登録してください。

項目	内容	
メールアドレス *	外線着信メール通知の送信先メールアドレスを入力します。 64 文字までの半角英数字を入力できます。	
外線転送	転送先 1 ～ 転送先 8	外線自動転送の結果を確認する転送先にチェックを入れます。 複数の転送先を選択することもできます。
着信履歴	<p>MEMO</p> <p>転送先 1～8 は、[外線転送] の [関連設定] タブで登録します（→ P.136）。</p>	

3 [設定] をクリックします。

ポップアップが表示されます。

4 表示されたポップアップで [OK] をクリックします。

外線着信メール通知の設定が有効になります。

5 テストメールを送信するメールアドレスの [メール送信テスト] にチェックを入れ、[メール送信テスト] をクリックします。

The screenshot shows the 'Outbound Call Reception Mail Notification Settings' screen. At the top, there are tabs: 'セーフティ' (Safety), '外線着信' (Outbound Call Reception), and '着信履歴関連' (Call History Related). The '外線着信' tab is selected.

In the center, there is a section titled '外線着信メール通知情報' (Outbound Call Reception Mail Notification Information) with the following text:

外線自動転送が成立した場合又は成立しなかった場合に、メール送信する設定を行います。
外線着信に付いて記載した場合に、着信履歴としてメール送信する設定を行います。
尚、ご利用可能な通知先メールアドレスは工事保守者のみ指定可能です。
登録したメールアドレスの送信テストを行います。（複数指定送信が可能です。）
(*)は必須設定項目です。

Below this is a table for setting up outbound call reception mail notifications:

登録エリヤ No	メールアドレス(*) (半角64文字以内)	外線転送 ※1								着信履歴	メール送信 テスト ※2
		転送先 1	転送先 2	転送先 3	転送先 4	転送先 5	転送先 6	転送先 7	転送先 8		
1	xxx@yyy.co.jp	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>							
2		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
19		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
20		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

At the bottom left, there is explanatory text for the 'Test Mail Send' checkbox:

※1 転送先1～8 : 外線転送設定-外線転送関連 相手先1に発信します
転送先2 : 外線転送設定-外線転送関連 相手先2に発信します
転送先3 : 外線転送設定-外線転送関連 相手先3に発信します
転送先4 : 外線転送設定-外線転送関連 相手先4に発信します
転送先5 : 外線転送設定-外線転送関連 相手先5に発信します
転送先6 : 外線転送設定-外線転送関連 相手先6に発信します
転送先7 : 外線転送設定-外線転送関連 相手先7に発信します
転送先8 : 外線転送設定-外線転送関連 相手先8に発信します
※2 設定を反映させてからメール送信テスト行ってください。

At the bottom right, there is a '設定' (Set) button.

ポップアップが表示されます。

6 表示されたポップアップで [OK] をクリックします。

チェックを入れたメールアドレスにテストメールが送信され、確認メッセージが表示されます。

不在着信履歴通知の送信先を登録する（着信履歴関連）

外線からの着信に無応答だった場合の不在着信履歴を送信するタイミングや履歴を確認する相手先などを設定する方法について説明します。

工事設定

メール送信 / 受信サーバ情報の設定およびEメール機能の利用設定が必要です。詳しくは、販売店にご相談ください。

1 [アドレス登録]画面を表示して（→P.184）、[着信履歴関連]タブをクリックします。

No	メールアドレス ^(*) (半角64文字以内)	グローバル IPアドレス通知	セーフティ メール送信動作	メール送信テスト <small>※1</small>
1	xxxx@yyyy.co.jp	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 検知 <input type="checkbox"/> セット <input type="checkbox"/> 解除	<input type="checkbox"/>
2		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※1 設定を反映させてからメール送信テスト行ってください。

[設定]

[アドレス登録]の[着信履歴関連]タブの設定項目に切り替わります。

2 以下の項目を設定します。

メール送信件数 ^(*)	10 <small>(1~100)</small>
メール送信間隔	10 分
送信不応答履歴種別	<input checked="" type="radio"/> 全て <input type="radio"/> 電話帳登録済みのみ

[設定] **[初期化]**

(*)の付いた項目は必ず登録してください。

項目	内容
メール送信件数 *	不在着信の件数を入力します。ここで入力した件数に達すると、不在着信履歴が[外線着信]タブで設定したメールアドレスに送信されます（→P.187）。
メール送信間隔	ブルダウンメニューから不在着信履歴のメールを送信する間隔(分)を選択します。 初期設定は、10分です。
送信不応答履歴種別	不在着信履歴の対象を選択します。 全て :すべての不在着信履歴を送信します。 電話帳登録済みのみ :電話帳に登録された相手に対する不在着信履歴のみ送信します。

3**[設定] をクリックします。**

- 入力した設定内容を変更したい場合は、再度、入力しなおしてください。
- [初期化] をクリックすると、初期設定の状態に戻ります。

ポップアップが表示されます。

4**表示されたポップアップで [OK] をクリックします。**

外線着信メール通知と合わせて不在着信履歴を送信する場合の送信タイミングが設定されます。

メール送信時に Gmail の OAuth 認可サービスを利用する(メール認証(OAuth))

Eメール送信機能で Gmail を使用する際、メールサーバとの認証方式として、「OAuth認可サービス」を利用することができます。認証方式は、すべての Eメール送信機能に適用されます。

※ Gmail の OAuth 認可サービスとは、ブラウザや主装置などの外部の Web サービスからお客様の Gmail アドレスを使ってメールを送受信することを許可する仕組みです。

本システムで OAuth 認可サービスを利用するには、Eメール送信機能でお客様の Gmail アドレスを使ってメールを送信することに同意し、以下の各情報を登録しておく必要があります。

- Google アカウントの Gmail を利用する場合：認証コード
- Google Workspace の Gmail を利用する場合：サービスアカウントキー

工事設定

本サービスを利用するには、メール送信サーバ情報などの Eメール機能を利用するための設定が必要です。販売店にご相談ください。

■ Google アカウントの Gmail を利用する場合

メール送信に利用する Google アカウントへのサインインが必要となります。お手元に Google アカウントの情報を用意ください。

1 Web 設定を起動し、左メニューで [アドレス登録] をクリックします。

- [アドレス登録] の [メール認証(OAuth)] 画面が表示されます。
- [メール認証(OAuth)] 画面が表示されない場合は [メール認証(OAuth)] タブをクリックしてください。
- [メール認証(OAuth)] タブが表示されていない場合は、販売店にご相談ください。



2

「付帯ツール」の[取得]をクリックして、表示されたポップアップで[OK]をクリックします。



主装置に保存された認証コード取得用付帯ツール(AuthTool～という名前の zip ファイル。以降、「付帯ツール」)がパソコンにダウンロードされます。

ダウンロードが完了したら、任意のフォルダに解凍してください。

3

付帯ツールを実行して、主装置からお客様の Gmail アドレスを使ってメールを送信することに同意し、認証コードを取得します。

①付帯ツールを起動します(getauthcode.bat をダブルクリック)。

名前	更新日時	種類	サイズ
prg	2023/05/13 18:37	ファイル フォルダー	
getauthcode.bat	2023/04/05 9:07	Windows パッチ ファイル	1 KB

Googleへのサインインをうながす画面が表示されます。

②[Sign in with Google]をクリックします。



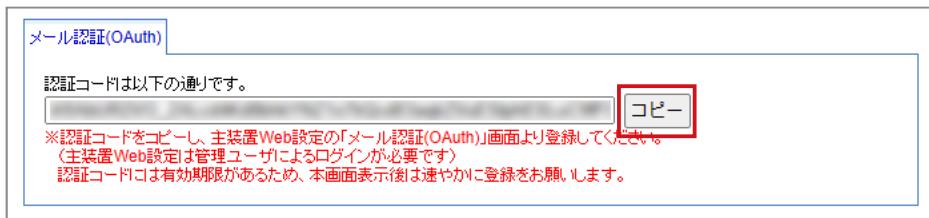
Googleのログイン画面(サインイン画面)が表示されます。

③お客様の Google アカウント(Gmail アドレス)のログイン ID とパスワードを入力し、ログインします。

④アクセス許可確認画面では、表示された利用規約の内容を確認した上で、[続行]をクリックします。

[続行]をクリックしたことで、同意したことになります。

⑤画面に表示された認証コードを、[コピー]をクリックしてコピーします。



MEMO

取得した認証コードには有効期限がありますので、すみやかに次の手順を行ってください。
もし期限が切れてしまった場合は、手順 3 の最初からやり直してください。

4

付帯ツールでコピーした認証コードを【メール認証（OAuth）】画面の【認証コード】に貼り付けて、【登録】をクリックします。

セーフティ 外線着信 着信履歴関連 メール認証(OAuth)

メール認証(OAuth)

メールサービスでOAuth認証の設定を行います。
<操作マニュアルは[こちら](#)>
OAuth認証対応メールサービス: Gmail

メールサービス提供状況

利用不可
最終動作: -
更新

付帯ツール

取 得

認証コード

登 録 (半角英数字記号1~256桁)

※ Google API から受け取った情報の使用および他のアプリへの転送は、使用制限の要件を含め、[Google API サービスのユーザーデータポリシー](#)に準拠します。

5

表示されたポップアップで【OK】をクリックします。

認証コードが登録され、画面上のメールサービス登録状況が更新されます。
以下の画面になっていれば正しく登録できています。

セーフティ 外線着信 着信履歴関連 メール認証(OAuth)

メール認証(OAuth)

メールサービスでOAuth認証の設定を行います。
<操作マニュアルは[こちら](#)>
OAuth認証対応メールサービス: Gmail

メールサービス提供状況

利用可能
最終動作: **トークン取得OK**
更新

付帯ツール

取 得

認証コード

登 録 (半角英数字記号1~256桁)

※ Google API から受け取った情報の使用および他のアプリへの転送は、使用制限の要件を含め、[Google API サービスのユーザーデータポリシー](#)に準拠します。

■メールサービス提供状況が「利用可能」にならない場合

以下を見直してください。

- サービス提供状況が「利用不可」の場合

最終動作	説明	対処方法
トークン取得 NG (JSON ファイルエラー)	正しくない認証コードを登録しました。	手順 3 からやり直してください。それでも正しく動作しない場合は、販売店へお問い合わせください。
トークン取得 NG (サーバ接続 NG)	ネットワークの障害により、Gmail サーバと正しく通信できませんでした。	ネットワークが復旧した後、手順 3 からやり直してください。それでも正しく動作しない場合は、販売店へお問い合わせください。
トークン取得 NG (サーバ拒否)	認証コードの有効期限が切れました。	手順 3 からやり直してください。それでも正しく動作しない場合は、販売店へお問い合わせください。
-	主装置からお客様の Gmail アドレスを使ってメールを送信することに、同意していません。	手順 3 ~ 4 を行ってください。

● サービス提供状況が「確認中」の場合

最終動作	説明	対処方法
メール送信 NG (サーバ接続 NG)	ネットワークの障害により、Gmail サーバと正しく通信できませんでした。	ネットワークが復旧した後、手順3からやり直してください。 それでも正しく動作しない場合は、販売店へお問い合わせください。
メール送信 NG (サーバ拒否)	送信者または送信先のメールアドレスに誤りがあり、サーバから拒否されました。	手順3からやり直してください。 それでも正しく動作しない場合は、販売店へお問い合わせの上、送信者メールアドレス設定を見直してください。
トークン取得 NG (サーバ接続 NG)	ネットワークの障害により、Gmail サーバと正しく通信できませんでした。	しばらくたってもメールサービス提供状況が「利用可能」に変わらない場合は、販売店へお問い合わせください。
トークン取得 NG (サーバ拒否)	Gmail サーバの障害が発生している可能性があります。	Google の障害情報をご確認ください。 障害が発生している場合は復旧後に再度サービス提供状況をご確認ください。
上記以外	Gmail サーバとの通信中です。	メールサービス提供状況が「利用可能」または「利用不可」に変わるまで、しばらくお待ちください。

■ Google Workspace の Gmail を利用する場合

Google Workspace のサービスアカウントキーが必要となります。お手元にサービスアカウントキーファイル(JSON ファイル)をご用意ください。

サービスアカウントキーファイル(JSON ファイル)の取得については、ご契約の Google Workspace の管理者にお問い合わせください。

1 Web 設定を起動し、左メニューで [アドレス登録] をクリックします。

- [アドレス登録] の [メール認証(OAuth)] 画面が表示されます。
- [メール認証(OAuth)] 画面が表示されない場合は [メール認証(OAuth)] タブをクリックしてください。
- [メール認証(OAuth)] タブが表示されていない場合は、販売店にご相談ください。



2

サービスアカウントキーを登録します。

- ① [ファイルの選択] をクリックし、サービスアカウントキーファイル(JSON形式ファイル)を指定します。



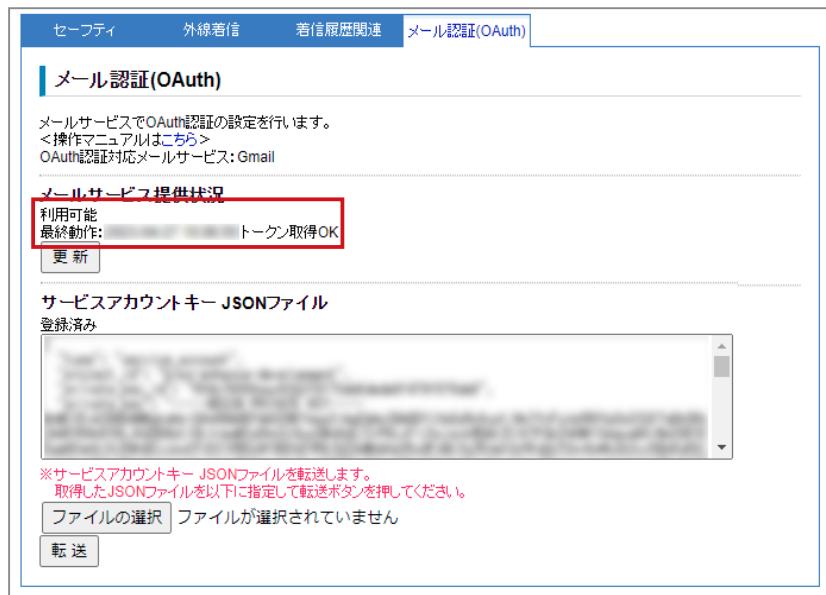
- ② [転送] をクリックします。

3

表示されたポップアップで [OK] をクリックします。

登録したクライアントキー (JSON 形式ファイル) が表示され、画面上のメールサービス登録状況が更新されます。

しばらくして以下の画面になっていれば、正しく登録できています。



■メールサービス提供状況が「利用可能」にならない場合

以下を見直してください。

● サービス提供状況が「利用不可」の場合

最終動作	説明	対処方法
トークン取得 NG (JSON ファイルエラー)	正しくないサービスアカウントキーファイルを登録しました。	正しいサービスアカウントキーファイルを用意し、手順2からやり直してください。それでも正しく動作しない場合は、販売店へお問い合わせください。
トークン取得 NG (サーバ接続 NG)	ネットワークの障害により、Gmail サーバと正しく通信できませんでした。	ネットワークが復旧した後、手順2からやり直してください。 それでも正しく動作しない場合は、販売店へお問い合わせください。
トークン取得 NG (サーバ拒否)	サービスアカウントキーが無効化されており、Gmail サーバと正しく通信できませんでした。	<ul style="list-style-type: none"> ● 主装置の時刻が正しいか確認してください。 ● Google Workspace の設定をご確認ください。 ● 上記を見直した後も正しく動作しない場合は、販売店へお問い合わせの上、送信者メールアドレス設定を見直してください。
—	サービスアカウントキーの登録が完了していません。	手順2～3を行ってください。

● サービス提供状況が「確認中」の場合

最終動作	説明	対処方法
メール送信 NG (サーバ接続 NG)	ネットワークの障害により、Gmail サーバと正しく通信できませんでした。	ネットワークが復旧した後、手順2からやり直してください。 それでも正しく動作しない場合は、販売店へお問い合わせください。
メール送信 NG (サーバ拒否)	送信者または送信先のメールアドレスに誤りがあり、サーバから拒否されました。	手順2からやり直してください。 それでも正しく動作しない場合は、販売店へお問い合わせの上、送信者メールアドレス設定を見直してください。
トークン取得 NG (サーバ接続 NG)	ネットワークの障害により、Gmail サーバと正しく通信できませんでした。	しばらくたってもメールサービス提供状況が「利用可能」に変わらない場合は、販売店へお問い合わせください。
トークン取得 NG (サーバ拒否)	Gmail サーバの障害が発生している可能性があります。	Google の障害情報をご確認ください。 障害が発生している場合は復旧後に再度サービス提供状況をご確認ください。
上記以外	Gmail サーバとの通信中です。	メールサービス提供状況が「利用可能」または「利用不可」に変わるまで、しばらくお待ちください。

● プリンタ複合機（MFP）の名称変更

管理

主装置に接続されているすべてのプリンタ複合機（MFP）の名称を登録または変更することができます。

プリンタ複合機（MFP）の名称を登録 / 変更する

1
Web 設定を起動します。

参照》第 1 章の「Web 設定の起動と終了」(→ P.3)

2
左メニューで [MFP] をクリックします。

ユーザ名:108

ログアウト

パスワード変更

時計設定

カレンダー設定

内線一覧

▽ 電話帳

電話帳転送

ボイスメール

留守番

ユーザガイダンス転送

▽ 電話機の各種転送

外線転送

オートダイヤル登録

メロディ転送

IVR

ですくdeRSS

タイム連動

Webカメラ

アドレス登録

MFP

設定画面

Top

はじめに

ご注意

- ・ ブラウザ／ノートのJavaScriptおよびCookieの設定は、必ず「有効」にしてご使用ください。
- ・ 各項目の詳細は、添付の取扱説明書を参照してください。
- ・ パスワードを定期的に変更してください。

[MFP] 画面（[プリンタ名称変更] 画面）に切り替わります。

ユーザ名:108

ログアウト

パスワード変更

時計設定

カレンダー設定

内線一覧

▽ 電話帳

電話帳転送

ボイスメール

留守番

ユーザガイダンス転送

▽ 電話機の各種転送

外線転送

オートダイヤル登録

メロディ転送

IVR

ですくdeRSS

タイム連動

Webカメラ

アドレス登録

MFP

MFP

Top > MFP > プリンタ名称

ヘルプ?

プリンタ一覧

プリンタ名称変更

プリンタに付けられた名称を変更します。

No	プリンタ名
プリンタ1	
プリンタ2	
プリンタ3	
プリンタ4	
プリンタ5	
プリンタ6	
プリンタ7	
プリンタ8	
プリンタ9	
プリンタ10	
プリンタ11	
プリンタ12	
プリンタ13	
プリンタ14	
プリンタ15	

第 2 章

機能設定

プリンタ複合機（MFP）の名称を登録 / 変更する 197

3

プリンタ名称を入力または変更します。

プリンタ名称は、全角5文字、半角10文字以内で入力してください。

ユーザ名:108 <input type="button" value="ログアウト"/>	MFP <input type="button" value="ヘルプ?"/> Top > MFP > プリンタ名称 プリンタ一覧 プリンタ名称変更 プリンタに付けられた名称を変更します。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>プリンタ名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プリンタ1</td> <td>旧棟2階東</td> </tr> <tr> <td>プリンタ2</td> <td>新棟3階南</td> </tr> <tr> <td>プリンタ3</td> <td>庶務用</td> </tr> <tr> <td>プリンタ4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>プリンタ5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>プリンタ6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>プリンタ7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>プリンタ8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>プリンタ9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>プリンタ10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>プリンタ11</td> <td></td> </tr> <tr> <td>プリンタ12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>プリンタ13</td> <td></td> </tr> <tr> <td>プリンタ14</td> <td></td> </tr> <tr> <td>プリンタ15</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	No	プリンタ名	プリンタ1	旧棟2階東	プリンタ2	新棟3階南	プリンタ3	庶務用	プリンタ4		プリンタ5		プリンタ6		プリンタ7		プリンタ8		プリンタ9		プリンタ10		プリンタ11		プリンタ12		プリンタ13		プリンタ14		プリンタ15	
No	プリンタ名																																
プリンタ1	旧棟2階東																																
プリンタ2	新棟3階南																																
プリンタ3	庶務用																																
プリンタ4																																	
プリンタ5																																	
プリンタ6																																	
プリンタ7																																	
プリンタ8																																	
プリンタ9																																	
プリンタ10																																	
プリンタ11																																	
プリンタ12																																	
プリンタ13																																	
プリンタ14																																	
プリンタ15																																	

4

[設定]をクリックします。

ユーザ名:108 <input type="button" value="ログアウト"/>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr><td>プリンタ9</td><td></td></tr> <tr><td>プリンタ10</td><td></td></tr> <tr><td>プリンタ11</td><td></td></tr> <tr><td>プリンタ12</td><td></td></tr> <tr><td>プリンタ13</td><td></td></tr> <tr><td>プリンタ14</td><td></td></tr> <tr><td>プリンタ15</td><td></td></tr> <tr><td>プリンタ16</td><td></td></tr> <tr><td>プリンタ17</td><td></td></tr> <tr><td>プリンタ18</td><td></td></tr> <tr><td>プリンタ19</td><td></td></tr> <tr><td>プリンタ20</td><td></td></tr> <tr><td>プリンタ21</td><td></td></tr> <tr><td>プリンタ22</td><td></td></tr> <tr><td>プリンタ23</td><td></td></tr> <tr><td>プリンタ24</td><td></td></tr> <tr><td>プリンタ25</td><td></td></tr> <tr><td>プリンタ26</td><td></td></tr> <tr><td>プリンタ27</td><td></td></tr> <tr><td>プリンタ28</td><td></td></tr> <tr><td>プリンタ29</td><td></td></tr> <tr><td>プリンタ30</td><td></td></tr> </tbody> </table> <p style="color: red;">(名称入力は全角5文字／半角10文字以内)</p> <p style="text-align: center;">[設定]</p>	プリンタ9		プリンタ10		プリンタ11		プリンタ12		プリンタ13		プリンタ14		プリンタ15		プリンタ16		プリンタ17		プリンタ18		プリンタ19		プリンタ20		プリンタ21		プリンタ22		プリンタ23		プリンタ24		プリンタ25		プリンタ26		プリンタ27		プリンタ28		プリンタ29		プリンタ30	
プリンタ9																																													
プリンタ10																																													
プリンタ11																																													
プリンタ12																																													
プリンタ13																																													
プリンタ14																																													
プリンタ15																																													
プリンタ16																																													
プリンタ17																																													
プリンタ18																																													
プリンタ19																																													
プリンタ20																																													
プリンタ21																																													
プリンタ22																																													
プリンタ23																																													
プリンタ24																																													
プリンタ25																																													
プリンタ26																																													
プリンタ27																																													
プリンタ28																																													
プリンタ29																																													
プリンタ30																																													

ポップアップが表示されます。

5

表示されたポップアップで[OK]をクリックします。

指定したプリンタ名称が設定されます。

- 入力した設定内容を変更したい場合は、再度、入力しなおしてください。

索引

索引

C

- Com@WILL ソフトフォン 143
Com@WILL ソフトフォンスマート 143

I

- IVR 159

M

- MFP 197

O

- OAuth 認可サービス 191

W

- Web カメラ 181

あ

- アドレス登録 184
外線着信メール通知 187
セーフティメール 184
不在着信履歴通知 189
メール認証(OAuth) 191

お

- オートダイヤル登録 140
音声自動応答(IVR) 159

か

- 外線転送 133
関連設定 136
タイマ連動設定 133
転送先設定 138
階層(IVR) 159
外部保存設定 74
各種転送の設定 95
各部の名称 5
月日指定 16, 20
カレンダー設定 16

き

- 起動 3
機能設定 8

休日設定

- 月日指定 16
曜日指定 19
休日設定(年月日指定) 25
共通電話帳 39
確認 39
新規登録 42
編集 / 削除 45
共通電話帳グループ 46
確認 46
情報登録 47

け

- 圏外転送 125
外線着信 127
専用線着信 130
内線着信 125

こ

- 個別電話帳 39
確認 49
新規登録 51
編集 / 削除 53
個別電話帳グループ 55
確認 55
情報登録 56
コメント登録 76

し

- 自動時刻設定 14
シナリオ 159
終了 7
祝祭日設定 20
解除 24
月日指定 20
変動日指定 22
祝祭日設定(年月日指定) 28
手動時計設定 13

せ

- セーフティモード切り替え 177

た

- タイマ連動 177
セーフティ 177
チャイム 179

て

ですく deRSS	175
転送	95
電話機の各種転送	95
電話帳	39
データ取り込み	59
バックアップ	57
電話帳転送	57

と

ドアホン一覧	36
確認	36
名称登録	37
動作環境	1
時計設定	13
自動	14
手動	13

な

内線一覧	32
確認	32
名称登録	34

は

パスワード	10
初期化	12
変更	10

ふ

不在転送	
外線着信	100
専用線着信	103
内線着信	98
発番号別	106
不在モード設定	95
不在理由設定	97
プリンタ複合機(MFP)	
名称登録	197

へ

ヘルプ	6
変動日設定	22

ほ

ボイスメール	60
PC 上に保存	66
一覧表示	61
外部保存先設定	74
管理	60
検索フィルタ	64
コメント登録	76
コメント付加	70
削除	69
通知先設定	71

む

無応答転送	
外線着信	118
関連設定	124
専用線着信	121
内線着信	115

め

メール認証(OAuth)	191
メロディ	
音声ファイルの取り込み	157
編集	155
メロディ転送	155

わ

ユーザアイコン	9
ユーザガイダンス	90
新規登録	92
編集	90
ユーザ種別	2

よ

曜日指定	19
------	----

ら

ランプ設定	143
グループ着信規制	149, 152
パーク保留	145

る

留守番	77
関連設定	87
手動切替設定	82
タイム連動設定	77

ろ

ログイン	3
ログインパスワード	10
録音通知先設定	71

わ

話中転送	108
外線着信	110
専用線着信	112
内線着信	108



Li-ion

リチウムイオン電池の
リサイクルに
ご協力ください

この装置は、クラス A 機器です。
この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

本製品は、外国為替及び外国貿易法で定める規制対象貨物・技術に該当する製品です。
この製品を輸出する場合または国外に持ち出す場合は、日本国政府の輸出許可が必要です。

This product designed for use in Japan is a strategic product regulated under the Japanese Law. When you plan to export or take this product out of Japan, please obtain a permission from the Japanese Government.

お問い合わせ・ご用命は下記までご連絡ください。

OKI 沖電気工業株式会社